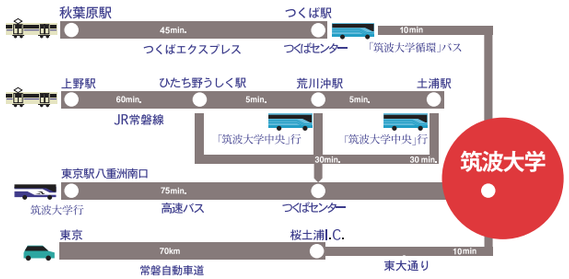
平成30年度 筑波大学入学案内 | 編集発行・筑波大学アドミッションセンター | 連絡先・305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 | 電話・029-853-7385(直通) | MAIL ac-img@mi.cc.tsukuba.ac.jp | 表紙デザイン・伊藤香里

University of Tsukuba Prospectus 2018 www.tsukuba.ac.jp





筑波大学へのアクセス | Access

○高速バス
・東京駅八重洲南口から「筑波大学」行バス（約75分）又は「つくばセンター」行バス（約65分）20分間隔の運行
つくばセンターから「筑波大学中央」行バス（10分）・「筑波大学循環（右回り）（左回り）」バス（10-15分）

○ＪＲ常磐線
・ひたち野うしく駅 バスターミナル
東口から「筑波大学中央」行バスで40-50分
（東口からタクシーで20-25分）
・荒川沖駅 バスターミナル 西口から「筑波大学中央」行バスで30-40分（西口からタクシーで20-25分）
・土浦駅 バスターミナル 西口から「筑波大学中央」行バスで35-40分（西口からタクシーで 15-20分）

○つくばエクスプレス（ＴＸ）
・秋葉原駅からつくば駅まで快速45分
つくばセンターから「筑波大学中央」行バス（10分）・「筑波大学循環（右回り）（左回り）」バス（10-15分）

○自動車
・常磐自動車道利用
桜土浦I.C.下車，つくば方面へ左折
大角豆（ささぎ）交差点右折
→県道55号線〈東大通り/ひがしおおどおり〉を北に直進
→筑波大学中央口左折（桜土浦I・Cから約8km）
・国道6号線利用
学園東大通り入口（県道55号線〈東大通り〉を北へ）
→大角豆（ささぎ）交差点を通過（直進）
→筑波大学中央口左折〈本部棟前〉

○航空機
・成田空港：空港→「つくばセンター」行バス（約60分）
つくばセンターから「筑波大学中央」行バス（10分）・「筑波大学循環（右回り）（左回り）」バス（10-15分）
・羽田空港：空港→「つくばセンター」行バス（約120分）
つくばセンターから「筑波大学中央」行バス（10分）・「筑波大学循環（右回り）（左回り）」バス（10-15分）

最新の情報や訂正については
筑波大学アドミッションセンター
のホームページをご覧ください。
http://ac.tsukuba.ac.jp

IMAGINE THE FUTURE.

筑波大学 入学案内 2018 筑波大学

筑波大学
University of Tsukuba
University of Tsukuba

平成30年度
筑波大学 入学案内
University of Tsukuba
2018

2018年度

筑波大学入学案内

http://www.tsukuba.ac.jp/

学長メッセージ		1
Tsukuba OB OG／最先端研究		2
筑波大学の教育　弾力的かつ先駆的な教育システム		8
人文・文化学群	人文学類	18
	比較文化学類	22
	日本語・日本文化学類	26
社会・国際学群	社会学類	30
	国際総合学類	34
人間学群	教育学類	38
	心理学類	42
	障害科学類	46
生命環境学群	生物学類	50
	生物資源学類	54
	地球学類	58
理工学群	数学類	62
	物理学類	66
	化学類	70
	応用理工学類	74
	工学システム学類	78
	社会工学類	82
情報学群	情報科学類	86
	情報メディア創成学類	90
	知識情報・図書館学類	94
医学群	医学類	98
	看護学類	102
	医療科学類	106
体育専門学群		110
芸術専門学群		114
学ぶための環境		118
国際交流		122
障害学生支援・LGBT学生支援		126
T-ACT つくばアクションプロジェクト／先導的研究者体験プログラム		128
医・食・住環境		130
授業料・奨学金		132
学生組織		134
文化系サークル		136
体育系サークル		138
芸術系サークル／筑波大学新聞		140
就職・進学・取得免許・国家試験等		142
大学院		148
キャンパスマップ		160
共同利用施設		162
筑波大学データ		164
入試情報		166
見学／体験学習／受験相談		174
学生募集要項等請求方法		175

学長メッセージ

IMAGINE THE FUTURE.

地球と人類社会の発展に向けて

我々はグローバル化という大きな潮流の中にいます。地球と人類社会の発展に向けて、筑波大学は、IMAGINE THE FUTURE. のロゴのもと、知の創造とグローバル社会で国際的に活躍できる豊かな人間性を備えた人材を育成することを目標としています。

本学の教育宣言である筑波スタンダードに基づく質の高い教育により、皆さんにコミュニケーション能力や論理的思考能力が身に付くように、そして武者修行型学修により皆さん自身が課題を発見し解決することができる実践力が身に付くような教育システムを用意しています。本学は、ノーベル賞受賞者を生み、またオリンピック金メダリストを生むなど幅広い学問分野を有しており、皆さんは多彩な講義・演習や活発な課外活動を通じて、専門分野のみならず幅広い教養を習得することができます。

本学はあらゆる面で「開かれた大学」として大学の国際化を先導するとともに、従来の考え方に捉われない「新しい大学の仕組み」を実現し次代の求める新たな学問分野を産み出していくことを基本理念としています。未来をめざした大学作りは、新しいことに不断に挑戦する精神を尊重します。

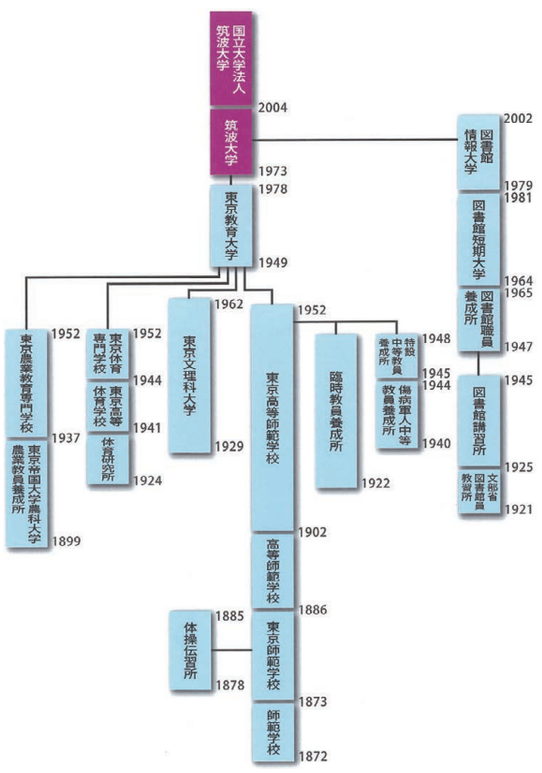
国内最大規模の広さと美しさを誇るキャンパスは、東京から45分の近距離でありながら、都会の喧騒とは縁のない場所であり、自由にじっくりと考え、創造力を育て、表現力を養う環境を備えています。周辺には数多くの国際的に認められた産官の研究機関が集積しており、大学キャンパスにも街にも国際性が日常化しています。本学は学問文化の薫り高い国際都市、筑波サイエンス・シティの中核です。皆さんと緑あふれる筑波キャンパスでお会いすることを心から楽しみにしています。



筑波大学長　永田恭介

建学の理念と沿革

本学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流連係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。 従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研修の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることをその基本的性格とする。 そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性とを持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。 更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。



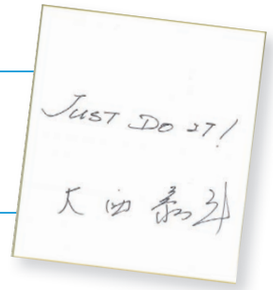
HIROTO ONISHI

TSUKUBA

OBOG

東洋学園大学の教授として教鞭をとる傍ら、30冊を超える著書を出版し、NHK Eテレ「しごとの基礎英語」の講師としても活躍中の大西泰斗さん。全国各地の講演会は高校生から80代の英語学習者、指導者で満席となります。精力的に英語教育に携わる大西さんに、ご自身の「学び」についてお話を伺いました。

PROFILE



大西 泰斗 氏

東洋学園大学教授、言語学者

1961年　埼玉県生まれ
1984年　筑波大学第一学群人文学類卒業
1989年　筑波大学大学院文芸言語研究科博士課程修了
同年　東洋女子短期大学欧米文化学科専任講師
1996年　オックスフォード大学客員研究員（～1997年）
2000年　東洋女子短期大学欧米文化学科教授
2003年～　NHK教育（Eテレ）「ハートで感じる英文法」ほか多数、同局で講師を歴任
2008年　東洋学園大学教授
HP：http://www.englishatheart.info/

― 大西さんは筑波大学5期生です。今でも鮮明に思い出すような学生時代のエピソードはありますか？

高校の教員を目指していたので、師範学校の伝統を受け継ぐ筑波大学へ意気揚々と入学したわけですが、とにかく僕は貧乏な学生で、風呂代を節約しようとトレーニング室のシャワーを使うために筋トレをしたり、アルバイトを見つける最初の夏休みまでの間に20kgも体重が減ってしまったり、入学当初はほろ苦い思い出ばかりですね。

アルバイトは「筑波インターナショナルセンター」という、JICA（国際協力機構）筑波の前身の農業技術研修施設で、毎週2晩ほど宿泊棟の夜間フロントをしていました。アフリカや東南アジアの研修生が暮らしやすいようにお世話をするのですが、ノンネイティブの多様な英語に触れて試行錯誤したおかげで、英会話力が向上したのだと思います。

僕は学生時代に留学の経験はなくて、36、7才の時にオックスフォード大学の客員研究員になったのが初めての海外長期滞在でした。

― どんな学生でしたか？

まあ、普通の学生でしたよ。昼休みにゲームセンターで1ゲームしてから午後の授業に行くとか。

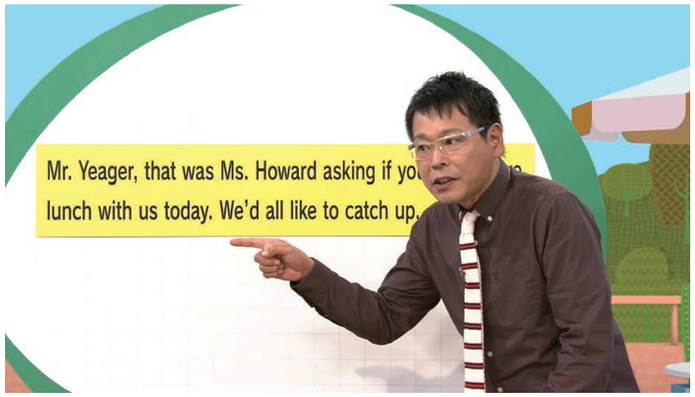
専攻の授業はほどほどに、むしろ周りの友達が取らない他学群の科目を積極的に受講しました。体育専門学群の運動生理学や比較文化学類のギリシア哲学、英米文学でネイティブの先生と1対1なんていう授業もありました。せっかく学費を払うのなら、広く知の世界を見たいと思っていました。

あまねく興味の赴くままに学んだ経験があったからこそ、得意なものや、興味のあることが浮かび上がってきたのかもしれません。筑波大学は当時から「学際性」が際立っていて、このことはその後の僕の人生にもずいぶん役立ったと思います。ずっと目標にしていた教員採用試験に合格したのに、向学心から大学院に進学して、恩師に学び、僕の運命は変わったといえるでしょう。筑波大学でなければ、研究は続けていないし、きっと本も出していない、テレビにも出ていないだろうから。

― 現在『しごとの基礎英語』（NHK Eテレ）では社会人を対象としています。また大学の授業、小学生向けの指導など、幅広い年齢層や学習レベルを対象に教えていらっしゃいます。それぞれにわかりやすく教える秘訣は何でしょうか？

『しごとの基礎英語』では、ビジネス英語を取り上げていますが、ビジネスについては共演のルーシーさんに任せて、僕自身は英語の文法、特に語順といった狭い話をしています。ただ、シチュエーションが旅行や自己紹介に変わろうと、語彙や語順は本質的なことなので、狭いけれども汎用的でもあるわけです。辞書に載っている単語の意味をすべて覚える必要はありません。根本的な意味や感覚さえ理解すれば、別の熟語も理解できます。





『しごとの基礎英語』出演中の大西さん

語順も同じ。英語を話す上でネイティブの語順の感覚を身につけることです。語順と単語が正しければ多少ブロークンイングリッシュでも相手に通じます。そのために指導者がすべきことは『正しいのは（ア）ですか（イ）ですか』なんていう問題に時間を費やすのではなく、徹底的に声を出して英語を話させることです。口から出たことのない言葉は話せません。

ですから僕の授業では、これまでの「読解」を目標にした英文法ではなく、「会話」に特化した説明をします。そしてどんどん英文を覚えて、口に出してもらいます。楽しみながら自然に頭に入ってくるというのが、僕の考える理想の授業です。

注意を惹くために手や指をならしたり、話すテンポや声色を変えたり、受講生が集中力を保てるような工夫も大学教員になってからできるようになったと思います。

― 大学教授、英語講師のほか教材出版や講演など多忙な大西さんにとって、この先のビジョンを教えてください

英語ってそんなに難しいものじゃないし、がんばって覚えるものでもないというのが20年以上英語を教え続けて思うことです。まず、この「難しい」という壁を取り払うこと、そして時間をかけすぎないことです。

高校までの学校教育において、これまでの英語は「訳す」ことが主でした。高校を卒業したら普通に海外で英語が話せるというようにこの国の学校教育を変えることが、僕の目標です。それも近い将来に。そのためには教科書に載せる文法はもっと簡略化しなくてはいけないし、指導要領も変えていかなくてはいけません。いまはそのために、教科書の執筆や教材開発に取り組んでいます。

― 最後に、後輩へのメッセージをお願いします

僕の英語教育者としての現在の仕事は英語の知識だけに支えられているわけではありません。内容を正しく、なるべく受け手の負担にならないように伝える編集テクニックは、どんな素晴らしい英文法の古典にも載っていません。工程管理や人為ミスを防ぐための技術書は、本の構成に応用できます。専門とはかけ離れた世界に触れる、学際的な学びを継続する、そういうことが自分の専門性を社会に生かすことに繋がっていきます。

だからまず、食わず嫌いな分野の授業を受けてさまざまな領域に触れてください。そして読書によってロジカルな思考を養うことです。もうひとつ、スポーツやトレーニングで体力を培うことも大切です。20代でつけた体力や集中力はその後の人生の気力に繋がります。人生には孤独に耐えてでもがんばらなければならない場面があります。仲間だとかコラボだとかばかりに血道をあげるくらいなら、トレーニングするか本を読んだ方がずっと有意義です。真の意味でクリエイティブな考えは孤独な精神にしか宿りません。孤独の価値を見極めてほしい。

大学には永久にいられるわけではありません。与えられた素晴らしい環境を生かして、貪欲に4年間を過ごしてください。それがいつか皆さんの宝物に変わるときが来るはずです。



2011年初版の『一億人の英文法』（東進ブックス）は「Amazonランキング大賞2016」の本の部門で和書総合13位、英語学習2位にランクインするロングセラー



出典：平成29年1月発行 TSUKU COMM Vol.34（筑波大学広報室）

サイバニクス研究センター
Center for Cybernics Research



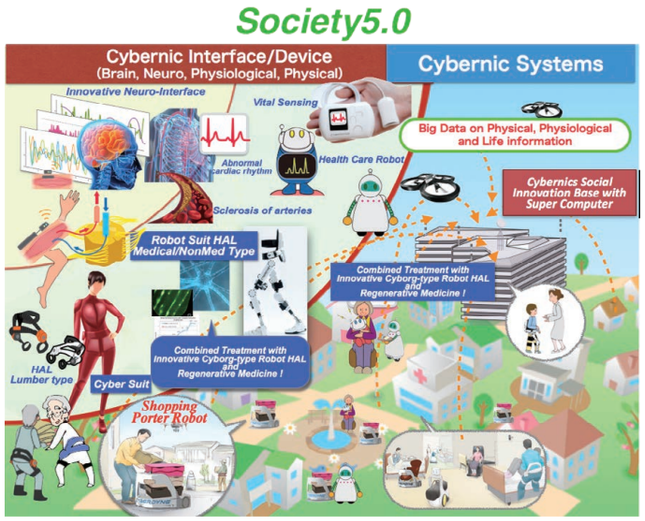
センター長

山海嘉之（Yoshiyuki Sankai）
筑波大学　システム情報系　教授
サイバニクス研究センター センター長
CYBERDYNE株式会社　代表取締役社長／CEO
内閣府ImPACT：革新的研究開発推進プログラム プログラムマネジャー

センター紹介

サイバニクス（人・ロボット・情報系が融合複合した新学術領域）を駆使して、人間を生理的・物理的・認知的に支援するイノベーティブな最先端人支援技術の研究開発とその社会実装を推進します。少子高齢化など社会が直面する課題を解決するため、医療・福祉・生活分野を中心とした「革新技術の創生」、「新産業の創出」、「未来開拓型の人材育成」を同時展開することで、基礎と実際との間でのイノベーション・スパイラルを形成し、文理融合型学際領域の発展に貢献します。また本拠点は、世界を主導しながら新領域開拓に挑戦し、産官学連携による研究成果の事業化、社会実装を推進します。人とテクノロジーと社会が密接に繋がった最先端国際サイバニクス研究開発拠点として、医工融合、産官学民の新連携体制、地域・国際連携によって、国内連携機関、欧州連携機関（ドイツ、スウェーデンなど）、米国連携機関などとの国際協働（国際同時臨床試験など）を実現・推進し、世界規模での「人支援産業の創出」「イノベーションの実現」に挑戦しています。

【Cybernis（サイバニクス）】とは、Cybernetics, Mechatronics, Informatics を中心として、脳・神経科学、行動科学、ロボット工学、IT、システム統合技術、生理学、心理学、哲学、倫理、法学、経営などが融合複合した新学術領域です。社会課題解決のための「サイバニックシステム」として、世界初のロボット治療機器「医療用 HAL」、自宅と病院を繋ぎ手軽にメディケアチェックが行える「革新的バイタルセンサー」など、人や社会や生活を支援するための様々な革新技術が生み出されています。人とテクノロジーの共生する未来社会「Society5.0」の実現に向けて、大きな貢献をしていくものと期待されています。当拠点は、医・工・文の学際的融合連携によって、「安全、倫理、法令・規制、感性、経済サイクルなど社会実装に求められる要件」を課題設定の初期段階から組み込み、技術革新を世界水準で実装してきた世界屈指の実績を有しています。



サイバニクス革命：人とテクノロジーが共生する未来社会「Society5.0」

・人体内外との情報的インタラクションと物理的インタラクションの融合複合技術をコア技術とする革新的サイバニックシステム（サイバニックインタフェース／サイバニックデバイス）の研究開発を推進



HAL 医療用（欧州モデル）



HALの高度化、バイタルセンシングのシステム化、医療・福祉関連機関との強力な連携推進、国際拠点形成の推進など、出口へ向けた展開が加速しています。
さらに、国際シンポジウムなどのアウトリーチ活動も積極的に行っています。

世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）

国際統合睡眠医科学研究機構（IIIS）

IIIS INTERNATIONAL INSTITUTE FOR INTEGRATIVE SLEEP MEDICINE　wpi

http://wpi-iiis.tsukuba.ac.jp/japanese

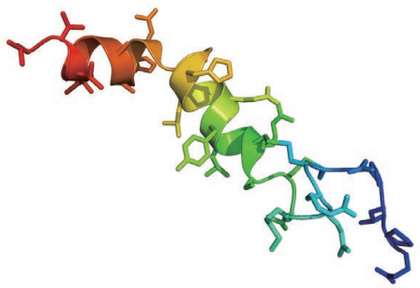


機構長
柳沢正史

筑波大学大学院博士課程在籍時に血管収縮因子エンドセリンを、渡米後に睡眠覚醒を制御する脳物質オレキシンを発見。
筑波大学・テキサス大学サウスウェスタン医学センター教授。

これからの日本の将来を担う若い方へ
機構長からのメッセージ

「人と違うことを恐れるな」―。日本は従来から、他の人に合わせなければならないというプレッシャーが強く働きがちな社会ですが、たとえ人と違っても自分が選んだ道を信じて、いろいろなことに果敢に挑戦していってください。
「よい問いを見つけることは、それを解くよりも難しい」―。なにか問題を解決しようとするとき、最初によい問い（切り口）を設定することは大変難しく、そして極めて大切なことです。どの分野に進むにしても、この言葉をいつも心に留めておくとよいでしょう。



睡眠とは何か？

私たちが人生の1/3を費やす睡眠は、生命維持に欠かすことのできない大切なものです。それにも関わらず、睡眠・覚醒とは何か、眠気はどういうしくみで起こるのか、そしてそもそもなぜ眠らなければならないのか、ということすら、実はほとんど分かっていません。

睡眠障害は、急増する生活習慣病（メタボリック症候群）やうつ病との関連性が高いとも言われています。今後高齢化社会・ストレス社会の中で、いかに良質な睡眠をとるか、どのように心の健康を維持していくかは社会的にも大きな関心事であり、その問題解決のために睡眠医科学分野の発展が強く求められています。

2012年12月、世界でも類を見ない睡眠の基礎研究を行う機関として発足した国際統合睡眠医科学研究機構では、睡眠医科学・神経科学・薬理学・創薬化学などの研究を行う世界トップレベルの研究者がつくばに集結し、新たな発見が次々となされています。私たちのプロジェクトによって睡眠・覚醒に関する原理が解明されれば、それらを応用して新しい治療法や診断法の開発に繋がると期待されます。



2015年に完成した新研究棟



研究棟内部

オレキシン
1998年に柳沢らにより発見された睡眠と覚醒の切り替えを制御するペプチド。脳内の神経細胞によって作られる。オレキシンの欠乏はナルコレプシーという病気（睡眠障害）の原因となる。

IIISの研究

睡眠の本質に迫る

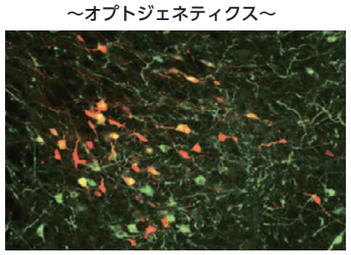
睡眠・覚醒に関わる未知の重要遺伝子の探索
～フォワード・ジェネティクス～



マウススクリーニング施設

眠る仕組みを解明する

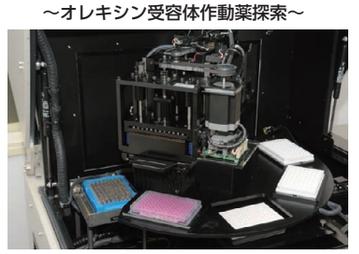
睡眠・覚醒メカニズムの観察・操作
～オプトジェネティクス～



マウス脳の神経細胞活動

オレキシン同様の働きを持つ小分子化合物を探す

睡眠障害治療の創薬
～オレキシン受容体作動薬探索～



創薬スクリーニング

科学の未踏領域を切り拓く

筑波大学
計算科学研究センター
Center for Computational Sciences

計算科学研究センター

http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/

筑波大学計算科学研究センター（CCS）は、科学のさまざまな分野と計算機科学分野の協働・融合を軸とした「学際計算科学」を推進しています。スーパーコンピュータ及び超高速ネットワーク技術の開発を行うとともに、物理・生命・地球環境など諸領域における超高速シミュレーションおよび大規模データ解析や情報技術の革新的な応用研究を行っています。

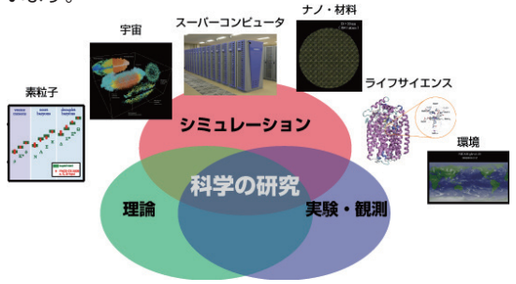
文部科学省共同利用・共同研究拠点「先端学際計算科学共同研究拠点」の認定を受け、またポスト「京」重点課題 ⑨「宇宙の基本法則と進化の解明」の代表機関として計算科学を推進しています。



「Oakforest-PACS」
筑波大学計算科学研究センターと東京大学情報基盤センターが共同で設置した最先端共同HPC基盤施設の運用するスーパーコンピュータ。ピーク性能は25PFLOPSで、スパコンの性能ランキングTOP500 (2016年11月版)で世界第6位、国内最高性能を獲得しました。

計算科学は第3の柱

科学は理論と実験によって発展してきました。しかし、実験が難しい現象や“紙と鉛筆”では理論計算できない場合がたくさんあります。これを、コンピュータを使って解明するのが計算科学です。スパコンや超高速ネットワークを用いて大規模シミュレーションや大量のデータ解析を行う計算科学は、実験、理論に並ぶ第3の重要な柱となっています。





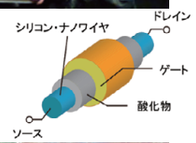
梅村センター長と「HA-PACS/TCA」
現在稼働しているスーパーコンピュータ「HA-PACS/TCA」（2013年10月から稼働）は、スパコンの省エネランキングGreen500 (2013年11月版) で世界第3位を獲得しました。

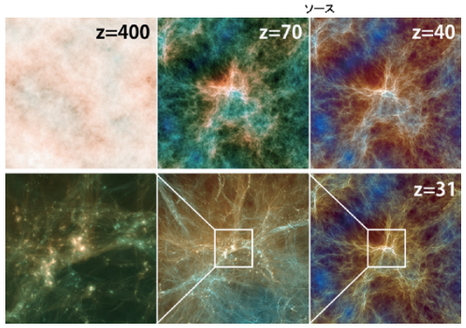
ゴードン・ベル賞2年連続受賞

ゴードン・ベル賞は、並列計算の科学技術への応用で最も優れた成果を上げた論文に与えられる最も権威ある賞です。筑波大学計算科学研究センターが「京」を用いて行った共同研究が評価され、2年連続で受賞しました。



2011年ゴードン・ベル賞最高性能賞（筑波大、東大、理研）
10万原子規模のシリコン・ナノワイヤ材料の電子状態を計算しました。





2012年ゴードン・ベル賞（筑波大、理研、東工大）
世界最大規模のダークマターシミュレーション。約2兆個のダークマター粒子の宇宙初期における重力進化の計算を「京」を用いて行いました。

研究教育成果の発信

TSUKUBA FUTURE

未来を創造するために

http://www.tsukuba.ac.jp/notes

筑波大学は、未来を創造する教育を実践し、未来を開くための研究を多角的に推進しています。その幅広い活動を広く知っていただくために、広報室ではさまざまな情報発信を展開しています。

大学ホームページのトップ下の方をご覧ください。TSUKUBA FUTUREというコーナーがあります。



総合大学である筑波大学には、およそ2000名の教員がいます。そのなかから若手を中心に注目の研究者をピックアップして紹介するコーナーがTSUKUBA FUTUREです。広報室には二人のサイエンスコミュニケーター（教授職）がいて、その取材にあたっています。



冊子化したTSUKUBA FUTUREの英語版と日本語版の表紙（左上が＃３、右上が＃４）と記事のページ（下）

人文科学や数学、工学も含めた広い意味でのサイエンスの研究成果や社会的課題を一人でも多くの人が共有するための活動をサイエンスコミュニケーションといいます。それを推進するのがサイエンスコミュニケーターの役割です。大学の研究成果を広く社会に伝えるのも仕事の一つです。学内にはサイエンスコミュニケーションに関連した学生サークルもあります。大学院では全学の共通科目として、関連授業を実施しています。

教員への取材をもとにまとめた記事は、順次ホームページに掲載しています。さらに1年分を冊子にまとめ、各種イベントなどで配布しています。これまでに、日本語版と英語版をそれぞれ4巻ずつ発行しました。

TSUKUBA FUTUREは、研究者に焦点をあてた紹介記事です。最新の研究成果は、同じホームページの「注目の研究」コーナーや、日本語と英語の大学公式フェイスブックを通じても発信しています。

筑波大学を広く知ってもらうために

広報室では、高校生の大学見学も実施しています。学校単位で申し込んでいただくと、スケジュールを調整したうえで、学内施設の見学と模擬授業などを体験できます。広報室では毎年70件以上の見学会を実施しています。

また、4月の科学技術週間には全学イベントとして「キッズ・ユニバーシティ」を企画実施しています。当日は特製の学生証（有効期限はほんとうの筑波大学生になるまで）を発行し、大学生になった気分で特別授業や実験観察教室を受講できます。イベントには学生もチューター役で参加しています。





左：高校生の大学見学会ではセグウェイ試乗のオプションもあります
右：キッズ・ユニバーシティでの特別授業風景

筑波大学の教育

弾力的かつ先駆的な教育システム



総合科目Ⅰ「筑波大学特別講義－大学と学問－」（永田学長による講義）

教育目標

筑波大学では、広い視野、豊かな人間性及び確かな学力を備えた人材の育成を教育目標としています。この目標を実現するため、筑波大学の教育には他大学にはないさまざまな特長があります。

教育組織の特長

筑波大学の最も大きな特長の一つとして、「学群・学類」制度をあげることができます。多くの大学は「学部・学科」で構成されており、教員と学生はともにそれらの学部や学科に所属しています。

一方、筑波大学では学生（＝学群生）は、「学類」や「専門学群」という教育組織に所属し、教員は「系」とよばれる教員組織に属しています。

両者は互いに独立した組織です。教員は一つの「系」に所属して専門的な研究を行いながら、いくつかの教育組織で教育を担当し、研究の成果を学生に伝えます。

学生は一つの教育組織に所属しながら、さまざまな「系」に所属する教員の授業を受けることで、幅広い学問を身につけることができます。研究組織と教育組織を分けその有機的な連携によって、学びの可能性を広げる。これが「学群・学類」制度の目的の一つです。

また新入生は、入学時に細かい専攻やコースを決めません。自分の専攻は、１～２年次の間にじっくり決めることになります。専攻が決まった後でも、必要に応じて自分の学類の他の専攻の授業、他学類・専門学群の授業を受けることができます。

なお、学問を進めていくにつれて進路の変更が必要になった場合には、審査を受けて他の学群、学類に変わることのできる転学群、転学類の制度があります（一部の学類ではできません）。

卒業後、さらに専門的なことを学びたい人は大学院に進学します。筑波大学の大学院には多くの研究科があり、その研究科にはさまざまな専攻がありますので、いろいろな選択ができます。

あるいは学群で学んだ分野とは少し違った分野の大学院に進学する人もいます。例えば、環境工学を学んだ後で造園学を学ぶために芸術学の分野に進学する人や、日本史を修めた後で教育研究科に進学し、教員を目指して社会科教育を学ぶ人もいます。また連携大学院（p.152）に進学して研究することもできます。

このように、筑波大学では教育システム全体に弾力性を持たせることで、ダイナミックに変化しながら発展する学問と、学生ひとりひとりの学びのニーズに的確に応えることを可能としているのです。

大学を卒業すると「学士」という学位が授与されます。学群・学類の入学定員や取得できる学位については表をご覧ください。さらに３年以上在学し、卒業を希望している成績優秀な学生を対象とした早期卒業制度もあります。

入学定員と取得できる学位

学群・学類		入学定員（名）	学べる分野	卒業時に取得できる学位
人文・文化学群	人文学類	120	哲学、史学、考古学、民俗学、言語学	学士（人文学）
	比較文化学類	80	比較文化	学士（比較文化）
	日本語・日本文化学類	40	日本語、日本文化	学士（文学）
社会・国際学群	社会学類	80 ※ 10	社会学 法学 政治学 経済学	学士（社会学） 学士（法学） 学士（政治学） 学士（経済学）
	国際総合学類	80	国際関係学 国際開発学	学士（国際関係学） 学士（国際開発学）
人間学群	教育学類	35	教育学（人間形成、学校教育開発、教育計画・設計、地域・国際教育）	学士（教育学）
	心理学類	50	心理学（実験、教育、発達、社会、臨床）	学士（心理学）
	障害科学類	35	障害科学 特別支援教育学 社会福祉学	学士（障害科学） 学士（特別支援教育学） 学士（社会福祉学）
生命環境学群	生物学類	80	生物学（多様性、情報、分子細胞、応用生物、人間生物）	学士（理学）
	生物資源学類	120 ※ 10	農林生物学、応用生命化学、環境工学、社会経済学	学士（生物資源学）
	地球学類	50	地球環境学 地球進化学	学士（理学）
理工学群	数学類	40	数学	学士（理学）
	物理学類	60	物理学	学士（理学）
	化学類	50	化学	学士（理学）
	応用理工学類	120 ※ 10	応用物理、電子・量子工学 物性工学、物質・分子工学	学士（工学）
	工学システム学類	130	知的工学システム、機能工学システム 環境開発工学、エネルギー工学	学士（工学）
	社会工学類	120	社会経済システム、経営工学、都市計画	学士（社会工学）
情報学群	情報科学類	80 ※ 10	ソフトウェアサイエンス 情報システム、知能情報メディア	学士（情報科学） 学士（情報工学）
	情報メディア創成学類	50 ※ 10	情報メディア創成	学士（情報メディア科学）
	知識情報・図書館学類	100 ※ 10	知識科学、知識情報システム、情報資源経営	学士（図書館情報学）
医学群	医学類	135 ◎ ＊ 5	医学、新医学	学士（医学）
	看護学類	70 ※ 10	看護学	学士（看護学）
	医療科学類	37 ※ 3	医療科学、国際医療科学	学士（医療科学） 学士（国際医療科学）
体育専門学群		240	体育・スポーツ学 コーチング学 健康体力学	学士（体育学）
芸術専門学群		100	芸術学、美術、構成、デザイン	学士（芸術学）

※3年次編入学　＊2年次編入学
◎うち5名については、平成21年度緊急医師確保対策に基づく定員増の延長の認可申請中です。詳細は平成29年11月初旬に本学ホームページで公表予定です。
(注)学修プログラム（Japan-Expert(学士)プログラム等）によっては、上記以外の学位も取得できます。

共通科目について―筑波大学の教養教育

筑波大学の教養教育は、❶専門教育を支える幅広い基礎の構築（基盤教育）、❷専門人・社会人としての高度なコミュニケーション能力の育成（アカデミック・リテラシー）、❸専門に偏ることのない豊かな人間性と高い倫理の涵養（ヒューマニティ）、❹社会に応える目的意識の形成（キャリア）の4つを目標として、以下のような科目を開設しています。

◆総合科目（**全学必修**）：入学初年時に履修する総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー、初年次導入科目）、多種多様な領域を幅広く学び、大学レベルにおける生涯学習の第一歩を踏み出すための総合科目Ⅱ、そして社会で活躍するために必要となる広い視野、学際的な視点などを涵養するために高学年で履修する総合科目Ⅲで編制されています。フレッシュマンセミナーは、大学での学習と生活スタイルの基礎を固め、順調に大学生活をスタートアップさせるための科目です。総合科目Ⅱは理系的な科目群A、文系的な科目群B、文理融合的な分野である科目群Cで構成されています。また総合科目Ⅲは総合科目Ⅱを発展させた科目群D（理系）、E（文系）、F（融合）、および総合科目Ⅰの発展科目である科目群Gの４つの科目群で構成されています。

◆体育（**全学必修**）：整備された体育施設において、ジョグ＆ウォーク、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、柔道、ゴルフ、水泳、ダンス、インラインスケート、フィットネストレーニング、ボディ・ワーク、野外運動、トリム運動など多彩な科目から選択して受講します。またキャンピング、スノースポーツやマリンスポーツの集中実技も開設されています。

トップアスリートの指導による魅力あふれる授業が多数開設されており、基礎から発展へと4年間を通じて履修することも可能です。

◆外国語（**全学必修**）：「第1外国語」、「第2外国語」として英語と初修外国語を学びます（「第2外国語」は一部の学群・学類が必修）。英語は「読む」「書く」「聞く」「話す」という４技能に対応した科目で構成され、学士課程後半での専門的な英語運用能力へとつなげていきます。「第1外国語」「第2外国語」ともに上級者向けの応用科目が開設されています。

◆情報処理（**全学必修**）：コンピュータに接して、その仕組みと情報処理の基礎を学びます。

さらに高度な内容（インタラクションデザイン、Java等）を学びたい人のための上級コースも開設されています。

◆国語（**一部の学群・学類で必修**）：レポート（論文）作成の基礎、応用・発展、総合的な表現能力の向上を目的として、日本語運用能力を系統的に修得するカリキュラムが用意されています。

◆芸術：国際的に「芸術」は大学におけるリベラルアーツ（教養）教育の重要な一分野を占めています。これからの調和的で持続可能な社会を発展させるために獲得すべき、バランス感覚や自己表現能力の育成をめざしています。

◆自由科目（**特設**）：ドイツ語、中国語、ロシア語を現地の大学で学ぶ科目や、「障害学生支援技術」「青木彰記念・ジャーナリズムとメディアの現在」「裁判員制度を体感する」など特徴的な科目が開設されています。

総合科目の例

総合科目Ⅰ	初年次導入科目	筑波大学特別講義―大学と学問―
		知の探検法
		ワーク・ライフ学
		筑波大学と嘉納治五郎
総合科目Ⅱ	科目群A	現代物理学への招待A
		ジオパークの世界
		生活を支える工学システム
		マルチメディアの舞台裏Ⅰ
		放射線と生命
	科目群B	「知ること」とは何かⅠ
		民族の世界Ⅰ
		言葉の万華鏡Ⅰ
		学校を考えるⅠ
		デザインとくらし
	科目群C	心の実験室1
		障害と共に生きるⅠ
		筑波大学から診る環境問題
		自然保護学入門
		競馬の世界
総合科目Ⅲ	科目群D	情報技術と数理工学
		知的なシステムをつくるⅡ
	科目群E	日本とは何かⅢ
		国際社会における戦争と平和
	科目群F	記録遺産学
		都市・地域・環境を探るⅢ
	科目群G	アカデミック・コミュニケーション1―伝えるための基礎―
		グローバルリーダー養成講座

高校生のみなさんへ
―筑波大学のカリキュラムの説明

みなさんの高校には先生が何人いますか？　高校卒業までにどのような教科や科目を何種類学びますか？　どのような選択科目がありますか？　学校は何時間授業で、何時から何時まで勉強していますか？

筑波大学で授業を担当する教員は1000人以上、すべての学群・学類で開講されている授業科目はのべ8000科目にもなります。これだけ大きな教育組織の中で、学生は決められた科目や単位数を4年間（医学類は6年間）で満たして卒業していきます。その際、自分の興味や関心、将来の進路を考えながら多数の科目から学びたい授業を見つけ出していくことも求められます。

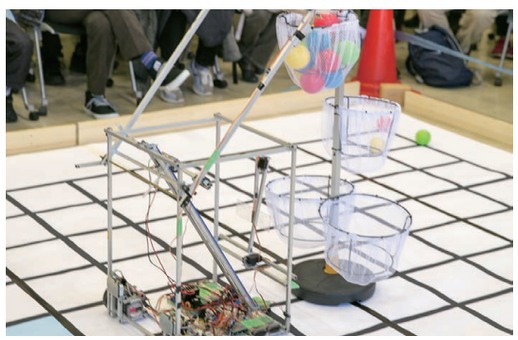
こんな大規模で複雑な教育機関できちんと勉強して卒業できるだろうかと不安になる人もいるかもしれません。ここでは筑波大学のカリキュラムはどういうものか、大学での学びはどのように進められていくのかを説明します。

TWINSで作る自分の時間割

たとえ必修科目であっても、筑波大学では自分で科目を登録する必要があります。年度の始めなどで一年間に受ける授業を決めておくことを履修登録と言いますが、筑波大学の学生は、この作業をTWINSというオンラインシステムで行っています。

学生は履修申請期間中に、PCの画面上からちょうど時間割を埋めていくような形で受講する科目を登録します。教員もTWINSで履修者名簿を管理して成績を入力するので、学生はTWINSを使って自分が履修した科目の成績や単位取得状況を確認することもできます。

TWINSはネット環境があればどこからでも接続できますので、自宅や学生宿舎で履修登録や単位を確認することが可能です。



つくばロボットコンテスト2016（玉入れロボット）

さらに、学内に設置されているTWINSの専用端末では、在学証明書、成績証明書、卒業見込み証明書、JRの学割証などを発行することができます。

TWINSは（Tsukuba Web-based Information Network System）の略称ですが、二つの峰からなる筑波山もイメージしたネーミングでもあります。

基礎的な教育と専門的な教育

教養科目や一般教養科目、あるいは専門科目といった言葉を聞いたことはありませんか。大学の教育は、教養教育と専門教育という二本柱でなり立っています。

筑波大学では、教養教育的な科目として「基礎科目」、専門教育として「専門科目」と「専門基礎科目」を設けています。「専門科目」は各専門学群、学類の教育目標を達成するための専門分野の教育を行う授業科目、「専門基礎科目」はその専門的な教育を受けるための準備教育です。それぞれの学群や学類が行う文字通り専門的な教育です。どの学群や学類でどのような勉強ができるのかは、学群学類のページを見てください。

「基礎科目」は筑波大学の学生として共通して身につけてほしい知識や技能、態度を養うための科目です。次ページの図を見ると、初年次には基礎科目が多く、学年が上がるにつれて専門教育的な科目が増えていくのがわかります。この形はくさび形カリキュラムと呼ばれています。

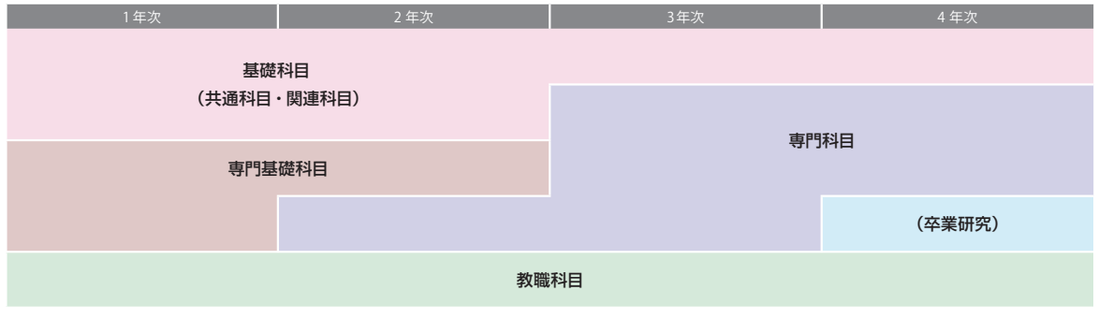
基礎科目はさらに〈共通科目〉と〈関連科目〉に分かれていますが、共通科目の内容については、p.10で詳しく説明しています。



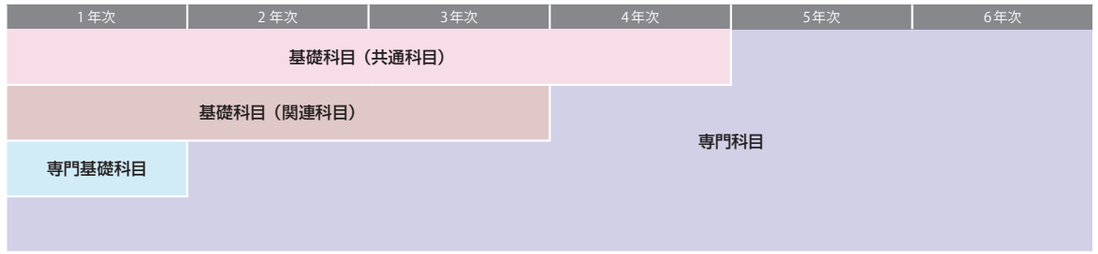
ダンスの授業

徐々に専門科目が増えるくさび形カリキュラム

医学群医学類以外の学群・学類



医学群医学類



必修科目・選択科目・自由科目

必修科目と選択科目は高校にもありますからイメージしやすいでしょう。ただ、高校に比べて大学は選択の幅が大きく、それは専門教育に進むにつれ広がっていきます。学年が上がるに従い、ひとりひとり学ぶ専門領域が異なってくるからです。高校と大学の最も大きな違いの一つは、この学びの多様性にあります。

さらに筑波大学では自由科目が設けられています。自由科目とは選択科目よりもさらに幅広い科目群の中から自由に選択して履修する科目のことです。

卒業のために必要なこれらの科目の内訳は専門学群や学類によって異なりますが、学生は各々の興味、関心、適性、将来の進路などを考えながら選択科目や自由科目を履修していくことになります。

何を勉強するためにどの授業を受けようか、毎年4月になるといろいろと考えたり、迷ったりすることになりますが、そのときみなさんは大学生であることを実感するでしょう。

多様な授業の方法

大学の授業はその方法によって、講義、演習、実験、実習、実技といった種類に分かれています。講義は教員が言葉や問いかけで知識や考え方を伝える授業のことで、高校の教育方法に近いものです。演習は講義で得た知識や技能をもとに特定の課題や問題について発表したり検討したりする少人数の授業です。

実験、実習は講義等で習ったことを実験室や実際の現場などで実物を用いて試したり学んだりする授業、実技は技術を磨く授業と言えます。

このような実際に時間割に組み込まれる授業の他に、教員の指導を受けながら学生ひとりひとりが各自で進めていく卒業論文・卒業研究や、芸術等の分野では個人指導による実技の授業がありますので、特に時間割が決まっていない授業科目もあります。

単位とはなんでしょうか

高校の教育課程も単位制で成り立っていますが、多くのみなさんはあまり実感がないかもしれません。しかし大学では、このように沢山の科目が多様な形態で提供されていますから、ひとりひとりが学ぶ内容は大きく異なります。そのため、学習の時間は単位に置き換えられ、学生は卒業するまでに定められた単位数を取得することになります。筑波大学では、講義や演習は1時限（75分）の授業を10回受けると1単位取得できます（外国語や一部学類の演習を除く）。また、実験・実習・実技で1単位を取得するためには1時限の授業を20回受ける必要があります（一部学類の実験・実習は除く）。

筑波大学を卒業するためには、学群や学類によって多少異なりますが124～127単位（医学類は197単位）を履修して単位を取得しなければなりません。また必要な単位数は、先の、「基礎科目」「専門基礎科目」「専門科目」という区分ごとに設定されています。さらにこの各区分の中で、必修科目、選択科目、自由科目の単位数が定められています。

筑波大学の一日

筑波大学の時間割は、1回の授業時間は75分で、一日6時限となっています。1時限目は8時40分から始まります。休憩時間は15分ですが、2時限目と3時限目の間は50分ありますので、これがお昼休みになります。

日課だけ見ると、朝早くから夕方遅くまで詰まっているように見えるかもしれません。確かに、低学年では基礎科目や必修科目が多いので、時間割は窮屈になります。しかし決められた単位をきちんと取得してゆけば、学年が上がるに従い、時間割にはゆとりが出てきます。学生はその余裕を利用して他学類の授業を受講したり、演習での発表準備に備え図書館で勉強したりしています。

最後の6時限目の終了が午後6時。部活・サークル活動はこの時間から。中には、論議や実験が長引き夜まで教室

時　限	授　業　時　間
第1時限	8：40 ～ 9：55
2時限	10：10 ～ 11：25
3時限	12：15 ～ 13：30
4時限	13：45 ～ 15：00
5時限	15：15 ～ 16：30
6時限	16：45 ～ 18：00

1時限：75分

や実験室に居残る場合もあるかもしれません。また、授業期間中は図書館が夜10時（中央図書館は夜12時）まで開館していますので、遅くまで勉強を続ける学生もいます。

p.15に筑波大学生の時間割の例を掲載しています。どの学群・学類も、低学年では共通科目や一般的で包括的な講義、基礎的な実験実習を履修し、学年が上がるに従い、高度で専門的な講義、実験実習へと進んでいきます。また学年が上がるにつれて、空き時間が増えていきますが、知見を広げるために他学類で開講されている科目を履修したり、ゼミでの発表や実験実習の準備をしたりする時間に充てて有効に使う学生が多いようです。

学期制とモジュール制

筑波大学では2学期制をとり、4月から9月までの春学期、10月から翌年3月までの秋学期に分かれています。各学期は15週ですが、さらに5週ずつA、B、Cに三分割して、これをモジュールと呼んでいます。

先ほど、単位の計算方法の話をしました。講義の場合、10回の授業で1単位となっていました。ですから、例えば春学期Aモジュールと春学期Bモジュールで開講されている講義は10週行われますので1単位取得できます。また秋学期Cモジュールだけでも1日に2時限連続の講義を行えば5週で10回講義することになりますので同じく１単位を

月	4月～5月		6月～7月		8月～9月	10月～11月			12月～1月		2月～3月
学期区分	春学期					秋学期					
モジュール（5週単位）	春A モジュール		春B モジュール		春C モジュール	夏季 休業	秋A モジュール		秋B モジュール	秋C モジュール	春季 休業
5週又は10週＋期末試験	→		→		→	集中講義等	→		→	→	集中講義等
	→		→		→		→		→	→	
	→		→		→		→		→	→	
15週＋期末試験	→		→		→		→		→	→	

取得することができます。ですので、学期を通した１週１回の講義は1.5単位、通年ならば3単位となります。
このように学期制・モジュール制では弾力的な時間割編成が可能となっています。

なお、授業科目によっては夏期休業期間などに連続して行われる集中授業があります。そのような授業は、学年の初めにはまだ日程が決まっていない場合がありますが、詳細が決まり次第掲示でお知らせしています。

卒業までに学ぶこと

以上のように学生は、4年または6年間で「基礎科目」「専門基礎科目」「専門科目」でそれぞれ定められている必修科目を履修し、さらに選択科目や自由科目の単位を満たしていきます。学生はTWINSなどでいつでも、どの区分の単位を何単位取得しているか（つまり卒業まであと何単位必要なのか）を確認することができます。

以上のように卒業するために必要な科目や単位数は学類、専門学群ごとに定められていますが、学生はこれらの科目に加え、教員免許などの資格取得に必要な科目や、興味のある科目を履修して卒業していきます。

資格の取得

筑波大学で取得できる資格は、p.16の表の通りです。どの学群や学類（学部や学科）で勉強するとどのような資格が得られるのか。高校生のみなさんにとっては大変気になるところでしょう。

しかし、どのような資格が取れるかと同時に、資格を取るためにはどのような条件が必要になるのかを知っておくことも大事です。

資格の取り方には以下のような種類があります。

1．指定科目の修得（卒業）により得られる資格
2．指定科目の修得（卒業）により受験資格を得て、試験に合格すると得られる資格
3．指定科目の修得（卒業）後、実務経験を要件とする資格
4．指定科目の修得（卒業）後、実務経験を要件として受験資格を得て、試験に合格すると得られる資格
5．指定科目の修得（卒業）後、指定の職就任を要件とする資格

「指定科目の履修（卒業）により得られる資格」には、教員免許状があります。大学で所定の科目を履修して要件を満たせば、免許申請の手続きをすることで、卒業の際に教員免許状を取得できます。

「指定科目の履修の修得（卒業）により受験資格を得て、試験に合格すると得られる資格」には、医師免許、看護師免許などがあります。医学類を卒業すると医師国家試験、看護学類を卒業すると看護師国家試験を受験することができます。

資格の取得を考える際には、その資格を取ることが自分のキャリアにどのような意味を持つのかを考えてみることも大切でしょう。

教員免許状の取得について

教員免許は大学で取得できる最もポピュラーな資格の一つと言えるでしょう。筑波大学でも多くの学群、学類でさまざまな教員免許を取得することができます。

教員免許状を取得するには、学士の学位を有すること（つまり大学を卒業すること）に加え、教職課程すなわち「教職に関する科目」「教科に関する科目」「教職または教科に関する科目」「その他の科目」等の所定の単位を修得しなければなりません。

教職課程で取得した単位は、ある程度卒業に必要な単位に組み込むことができますが、すべてが認められるわけではありません。ですから、卒業に必要な授業科目に加えて、自分の意志で教職科目を履修しているのだという気持ちが大切になります。

教員免許を得ても、卒業後すぐに教員になる人は1割程度でそれほど多くありません。大学院に進学して、より上級の免許状（専修免許状）を取得してから教員になる人も増えています。教員免許状の取得実績については、p.143をご覧ください。

時間割の例

人文学類

2年次春学期

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1限		人文地理学		社会教育論	東アジア文化圏の言語と文化ⅠA
	2限	博物館学Ⅰ	応用体育		社会教育論	日本史史料学Ⅲa
	3限	博物館学Ⅲ	考古学概説a			
	4限	日本史演習Ⅵ		English Writing Ⅱ	日本史史料学Ⅲa	日本倫理思想史a
	5限		日本史特講Ⅵa		歴史地理学研究法a	博物館展示論Ⅰ
	6限		日本文学概論			博物館展示論Ⅱ
B	1限		人文地理学		社会教育論	東アジア文化圏の言語と文化ⅠA
	2限	博物館学Ⅰ	応用体育		社会教育論	日本史史料学Ⅲa
	3限	博物館学Ⅲ	考古学概説a			
	4限	日本史演習Ⅵ		English Writing Ⅱ	日本史史料学Ⅲa	日本倫理思想史a
	5限		日本史特講Ⅵa		歴史地理学研究法a	博物館展示論Ⅰ
	6限		日本文学概論			博物館展示論Ⅱ
C	1限		人文地理学			
	2限	博物館学Ⅰ				日本史史料学Ⅲa
	3限	博物館学Ⅲ	考古学概説a			
	4限	日本史演習Ⅵ		English Writing Ⅱ	日本史史料学Ⅲa	日本倫理思想史a
	5限		日本史特講Ⅵa		歴史地理学研究法a	博物館資料保存論Ⅰ
	6限		日本文学概論			博物館資料保存論Ⅰ

3年次に主専攻が決まるので、史学専攻日本史コースの古代史に進むことを考えて組みました。また、学芸員資格と地歴教員免許の取得を考えています。

教育学類

2年次秋学期

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1限	地域と教育		教育社会学Ⅰ	比較教育制度論	
	2限	地域と教育	応用体育ハンドボール（秋）		比較教育制度論	日本語学概論b
	3限	教育学研究法Ⅱ	教育学研究法Ⅳ	English Writing Ⅱ	教育臨床学	
	4限	教育学研究法Ⅱ	教育学研究法Ⅳ		学校経営論	
	5限		カリキュラム開発	日本語学特講Ib	教育思想論	教育行財政論
	6限	道徳教育Ⅱ	応用言語学講義Ivb		教育思想論	障害児指導法
B	1限	地域と教育		教育社会学Ⅰ	比較教育制度論	
	2限	地域と教育	応用体育ハンドボール（秋）		比較教育制度論	日本語学概論b
	3限	教育学研究法Ⅱ	教育学研究法Ⅳ	English Writing Ⅱ	教育臨床学	
	4限	教育学研究法Ⅱ	教育学研究法Ⅳ		学校経営論	
	5限		カリキュラム開発	日本語学特講Ib	教育思想論	教育行財政論
	6限	道徳教育Ⅱ	応用言語学講義Ivb		教育思想論	障害児指導法
C	1限					
	2限					日本語学概論b
	3限			English Writing Ⅱ		
	4限	芸術（書C）				
	5限	特別活動		日本語学特講Ib		
	6限	特別活動	応用言語学講義Ivb			

中学高校の国語免許の取得を目指しつつ、「欲張りすぎて苦労した」という１年次での経験を踏まえ、週20コマを一つの目安として履修を組みました。

生物学類

2年次秋学期

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1限	動物生理学Ⅱ		ウイルス学	理科教育概論ⅡB	
	2限	博物館学Ⅱ			細胞生物学Ⅱ	神経解剖学
	3限	博物館学Ⅱ	発生生物学Ⅱ		分子生物学Ⅲ	哲学通論CⅡ
	4限			専門語学(英語)AⅢ		
	5限		学校図書館論			
	6限		学校図書館論			博物館教育基礎論
B	1限	動物生理学Ⅱ		ウイルス学	理科教育概論ⅡB	
	2限	博物館学Ⅱ			細胞生物学Ⅱ	神経解剖学
	3限	博物館学Ⅱ	発生生物学Ⅱ		分子生物学Ⅲ	哲学通論CⅡ
	4限			専門語学(英語)AⅢ	電子顕微鏡実験	電子顕微鏡実験
	5限		学校図書館論		電子顕微鏡実験	電子顕微鏡実験
	6限		学校図書館論		電子顕微鏡実験	博物館教育基礎論
C	1限					
	2限					
	3限					
	4限					寄生生物学
	5限					寄生生物学
	6限					

教職に加え学芸員資格も考えているので博物館関係の講義も入ってます。また中学時代司書教諭の先生にお世話になり、学校司書も視野に入れた履修をしています。

地球学類

3年次春学期

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1限		地圏水文学	古生物学	生涯学習論	氷河凍土学
	2限	地圏水文学	観光地域論	古生物学	生涯学習論	人文地理学・地誌学セミナーA
	3限	地球学専門英語ⅡA		人文地理学・地誌学実験A		物理実験学A
	4限			人文地理学・地誌学実験A		人文地理学演習A
	5限			人文地理学・地誌学実験A		地誌学演習A
	6限	文化人類学概説a				地球学専門英語ⅡB
B	1限		気圏水文学	古生物学	生涯学習論	氷河凍土学
	2限	気圏水文学	観光地域論	古生物学	生涯学習論	人文地理学・地誌学セミナーA
	3限	地球学専門英語ⅡA		人文地理学・地誌学実験A		物理実験学A
	4限			人文地理学・地誌学実験A		人文地理学演習A
	5限			人文地理学・地誌学実験A		地誌学演習A
	6限	文化人類学概説a				地球学専門英語ⅡB
C	1限					
	2限					
	3限					物理実験学A
	4限					
	5限					
	6限	文化人類学概説a				

3年次は時間割が空いてきますが、実験、ゼミなどの準備が大変になります。専門的な科目が増え、夏の集中講義ではスイスのサンモリッツまで行ってきました。

工学システム学類

1年次秋学期

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1限	医療のテクノロジー	線形代数B	解析学2	工学システム原論2	解析学3
	2限	デザインと社会	線形代数B	解析学2	English Integrated Skills2	English Intercultural Communication 2
	3限	English Critical Reading Strategies 2	体育	物理学実験		
	4限	中国語基礎B2		物理学実験	力学2	
	5限	宇宙工学	中国語基礎A2	物理学実験	力学2	
	6限			物理学実験		
B	1限	医療のテクノロジー	線形代数B	解析学2	工学システム原論2	解析学3
	2限	デザインと社会	線形代数B	解析学2	English Integrated Skills2	English Intercultural Communication 2
	3限	English Critical Reading Strategies 2	体育	物理学実験		電磁気学1
	4限	中国語基礎B2		物理学実験	力学2	電磁気学1
	5限	宇宙工学	中国語基礎A2	物理学実験	力学2	
	6限			物理学実験		
C	1限	数学の面白さと美しさ	線形代数B			解析学3
	2限	数学の面白さと美しさ	線形代数B		English Integrated Skills2	English Intercultural Communication 2
	3限	English Critical Reading Strategies 2		物理学実験		電磁気学1
	4限	中国語基礎B2		物理学実験		電磁気学1
	5限		中国語基礎A2	物理学実験		
	6限			物理学実験		

1年次は時間割が詰まっています。特に秋学期は実験実習が始まり、ついていくのは大変ですが、ここで頑張ると2年次からより専門的な勉強ができます。

芸術専門学群

1年次秋学期

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1限	世界のTSUKUBAで学ぶ	中国語基礎BⅡ	English Critical Reading StrategiesⅡ	基礎体育	彫塑概論
	2限		美術史概説B-Ⅰ	書実習基礎Ⅰ-2		日本語学概論b
	3限	芸術学概論-2	English Integrated SkillsⅡ	書実習基礎Ⅰ-2	中国語基礎AⅡ	哲学通論CⅡ
	4限	造形基礎演習B(3)	情報（実習）		造形基礎演習B(3)	English Intercultural CommunicationⅡ
	5限	造形基礎演習B(3)	情報（実習）		造形基礎演習B(3)	造形論A
	6限		日本文学史４		教職論Ⅱ	
B	1限	世界のTSUKUBAで学ぶ	中国語基礎BⅡ	English Critical Reading StrategiesⅡ	基礎体育	彫塑概論
	2限		美術史概説B-Ⅰ	書実習基礎Ⅰ-2		日本語学概論b
	3限	芸術学概論-2	English Integrated Skills2	書実習基礎Ⅰ-2	中国語基礎AⅡ	哲学通論CⅡ
	4限		情報（実習）			English Intercultural CommunicationⅡ
	5限		情報（実習）			造形論A
	6限		日本文学史４		教職論Ⅱ	
C	1限	コンテンツを創る，伝える，そして使う	中国語基礎BⅡ	English Critical Reading StrategiesⅡ		
	2限	コンテンツを創る，伝える，そして使う		書実習基礎Ⅰ-2		日本語学概論b
	3限		English Integrated SkillsⅡ	書実習基礎Ⅰ-2	中国語基礎AⅡ	
	4限	集中　芸術（書C）	書概論			English Intercultural CommunicationⅡ
	5限		造形論B			造形論B
	6限		日本文学史４			

専攻（書道）を意識しながらも、広い視野を得られるような科目を選択しました。必修科目は早めに履修をといった、先輩方のアドバイスも参考になりました。

各学群・学類で取得できる教員免許状の教科及び諸資格一覧

学群	学類	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の資格
人文・文化学群	人文学類	国語、社会、英語、ドイツ語、フランス語、中国語	国語、地理歴史、公民、英語、ドイツ語、フランス語、中国語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	比較文化学類	国語、社会、英語、ドイツ語、フランス語、中国語	国語、地理歴史、公民、英語、ドイツ語、フランス語、中国語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	日本語・日本文化学類	国語、社会	国語、地理歴史	社会教育主事、学芸員、司書教諭
社会・国際学群	社会学類	社会	公民	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	国際総合学類	社会、英語	公民、情報、英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
人間学群	教育学類	社会	地理歴史、公民	小学校教諭一種、社会教育主事、学芸員、司書教諭
	心理学類		公民	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	障害科学類		福祉	社会教育主事、学芸員、司書教諭、特別支援学校教諭一種、社会福祉士受験資格
生命環境学群	生物学類	理科	理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	生物資源学類	社会、理科、技術	公民、理科、農業	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補、樹木医補、自然再生士補
	地球学類	社会、理科	地理歴史、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
理工学群	数学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補
	物理学類	数学、理科	数学、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補
	化学類	理科	理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	応用理工学類	数学、理科	数学、理科、工業	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	工学システム学類	数学、理科	数学、理科、情報、工業	社会教育主事、学芸員、司書教諭、二級建築士・木造建築士受験資格（環境開発工学主専攻）、施行管理技士受験資格（環境開発工学主専攻）
	社会工学類	社会、数学	公民、数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭、二級建築士・木造建築士受験資格（都市計画主専攻）
情報学群	情報科学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	情報メディア創成学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	知識情報・図書館学類	社会、数学	公民、数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭、司書
医学群	医学類			医師国家試験受験資格
	看護学類			* 養護教諭一種、看護師・* 保健師国家試験受験資格（* は看護学類のページを参照）
	医療科学類			臨床検査技師国家試験受験資格
体育専門学群		保健体育	保健体育	社会教育主事、学芸員、司書教諭、スポーツリーダー、ハンドボールコーチ、水泳コーチ、（公認）C級コーチ、健康運動指導士
芸術専門学群		美術	美術、工芸、書道	社会教育主事、学芸員、司書教諭、二級建築士・木造建築士受験資格

＊社会教育主事、学芸員については任用資格
＊各学群・学類で取得できる教員免許状の教科については、今後変更になる場合があります。

グローバル化に対応した教育

英語の授業で専門科目の単位を取ろう！

平成21年度にグローバル30の拠点校として採択された筑波大学では、留学生が英語の授業のみで学位を取れるように、学群レベルや大学院レベルの英語コースを開設しています。

この英語コースは、日本人学生が英語による専門科目の授業を受講し、留学を促進することも目標の一つとして掲げています。

現在、筑波大学では英語による専門科目の授業が多く開講されています。そして、もっと多くの日本人学生にこれらの授業に出席してもらい、「国際的な考え方」を身につけてもらいたいと考えています。英語コースの科目は日本語による授業と同じく卒業要件に算入できます。また、少人数クラスの授業です。

英語で学び、議論する力をつければ、就職、留学などキャリアが大きく広がります。ぜひ挑戦してください。

日本人学生が受講した英語による授業科目の一例

- Food and Forest
- World Food and Agriculture
- Genome Biology Ⅰ
- Geomorphology
- Introduction to Earth Evolution Science
- Mineralogy & Stratigraphy
- Strategy of Life

TOEFL®テスト

筑波大学ではTOEFL ITPテストを学群1・3年次生を対象として毎年実施しています。

TOEFL iBT Internet Based Testing	TOEFL PBT Paper Based Testing	TOEFL ITPテスト Institutional Testing Program
コンピューターによる受験。 現在の日本における公式TOEFLテスト	マークシート形式での受験。TOEFL iBTが実施されていない国、地域で実施されている公式TOEFLテスト	TOEFLテストの団体向けプログラム。 TOEFL PBTと同じマークシート形式での受験。
Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション	Listening, Structure, Readingの3セクション+Writing	TOEFL PBTと同じListening, Structure, Readingの3セクション
スコアは0～120で表示	スコアは310～677で表示。Writingはトータルスコアと別に1～6で表示	スコアはTOEFL PBTと同様に310～677で表示

出典元：国際教育交換協議会（CIEE）
※TOEFL PBTの日本での実施は未定
※各TOEFLテストのスコアは相関関係があります（例：TOEFL iBT 61=TOEFL PBT 500=TOEFL ITP 500）

TOEFL関連科目

TOEFL ITPテストのスコア別にレベルを設定し、Listening, Grammar, Readingを中心に学修し、学術的な課題を遂行する能力を養うことを目的とした、「TOEFL Practice」や、アカデミックな分野において、自分の意見や他者の意見をクリティカル（批判的）に捉え、論理的にプレゼンテーション/ディスカッションをするためのコミュニケーション能力や、自分の意見を論理的なパラグラフ構成で整理しエッセイや論文にまとめるアカデミックライティングのスキルを養成する「TOEFL Academic English」を開講しています。

人文・文化学群

人文学類

http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　「人間とは何か」という問いを根底におき、人間存在とその諸活動の所産としての文化全般について主体的に考察しうるとともに、グローバル化が進展する世界における諸問題に積極的に関与し発言しうる、真に教養ある人材を育成します。



カリキュラム

哲学、史学、考古学・民俗学、言語学という4主専攻が全部で17のコースに分かれ、各分野を基礎からじっくり学ぶことができます。

1年次には、人間とその社会について幅広く学びつつ、専門基礎科目の履修により希望コースに進むための基礎的知識を習得します。

2年次の終わりに自らの志望により主専攻コースを選択し、それぞれの問題解決の方法論を身に付け、問題解決能力を高めていきます。

4年次では、卒業論文（必修）の作成を通じて、幅広い教養の上に立つ専門的能力を身に付けるとともに、社会との連携や対話を深め、さらに自己発信能力を獲得します。

主専攻	学びたいこと	学べること
哲学	日常的で断片的な生活に埋没せずに、確固とした原理を求めたい。 人間と社会・自然環境とのあり方に基本構造を見出したい。 人間と宗教との本質的なかかわりを認識したい。	哲学通論、倫理学通論、宗教学通論、論理学、日本思想、東洋思想、西洋思想
史学	日本列島に住みついた人々の足跡を実証的に探りたい。 中国社会あるいは中国文明の影響下にあった地域社会の本質を探りたい。 古代地中海文化の基盤の上に繰り広げられたヨーロッパ文化を把握したい。 人間集団の空間組織を復原し、時間と空間の両面からその変化の過程を解明したい。	史学概論、日本史概説、東洋史概説、オリエント史概説、ヨーロッパ史概説、歴史地理学概説
考古学・民俗学	遺跡・遺物を素材として、人々の歴史の復原と解釈に取り組みたい。 フィールドワークによって価値観を異にする人々の行動様式の理解に取り組みたい。	先史学概説、考古学概説、民俗学概説、文化人類学概説
言語学	実証的な言語研究の方法を考究し、実践したい。 個人と社会のレベルで、言語にかかわる実際的な問題を解決したい。 日本語、中国語、英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語の言語的特質、歴史、機能と構造を体系的に探求したい。	言語学概論、音声学概論、応用言語学概論、日本語学概論、中国語学概論、英語学概論、仏語学概論、独語学概論、露語学概論

人文学類パンフレットの請求方法

●http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/pamphlet/index.html からダウンロードできます。

●返信用の封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には380円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「人文学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8571 茨城県つくば市天王台１－１－１
筑波大学人文・文化学群 人文学類長室　（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます (p.175　資料請求番号は541380)

特長

4年後に身に付く力

❶専門的能力：人文系の学問の専門的知識や考え方を基盤として、文字資料や非文字資料を読み解き、主体的かつ創造的に理解する力。

❷コミュニケーション能力：日本語、外国語、コンピュータなどを駆使して自分の考えを明快に伝え、他者の考えを柔軟に理解する力。

❸想像力：「人間とは何か」という問いに根ざし、広い視野から現代世界の諸課題に積極的にかかわり、人類の未来へとまなざしを向ける力。

主専攻とコース

哲学	哲学コース、倫理学コース、宗教学コース
史学	日本史コース、東洋史コース、西洋史コース、歴史地理学コース
考古学・民俗学	先史学・考古学コース、民俗学・文化人類学コース
言語学	一般言語学コース、応用言語学コース、日本語学コース、中国語学コース、英語学コース、仏語学コース、独語学コース、露語学コース

コースに定員はないので、要件を満たせば全員が希望するコースに進むことができます。（なお、文学関係の専攻コースは比較文化学類に設置されています）。

卒業論文

哲学主専攻：他者に「出会う」ことはできるのか～『存在と時間』の思想圏におけるハイデガーの他者論の考察～ / ケアの倫理の可能性－「ケア対正義」の再考から－ /『普勧坐禅儀』諸注釈書から見る道元思想理解の変容 / 新宗教のインターネット広報と現代日本社会

史学主専攻：近世後期における人の移動と地域社会－信州南山一揆を事例として－ / 清仏戦争に見る総理衙門の性質－「外交」交渉を中心に－ / メソポタミアの創成神話とその祭儀的背景－『Dunnuの神統譜』－ /「ヒンデンブルク神話」から見る「ヒトラー神話」/ 昭和三陸津波からの復興に関する歴史地理学的研究－岩手県気仙地方の沿海村落を事例に－

考古学・民俗学主専攻：東日本大震災における歴史的建造物保存活用の課題－茨城県桜川市真壁重要伝統的建造物群保存地区を例に－ / 近世沖縄の葬墓制に関する考察－那覇・浦添を中心に－ / 神職になることと芸能伝承の関連についての考察－北海道松前神楽を事例に－ / 生活の場としてのハンセン病療養所研究－栗生楽泉園に生きる人びとの生活史から－

言語学主専攻：日本語黙読時における音韻変換の有無と事象関連電位の相関性について / The Effect of Self-Oral Reading Using a Read and Look-Up Technique on Speaking Performance(スピーキングにおけるリードアンドルックアップの手法を用いた自主音読練習の効果) / 助動詞「けむ」の変遷－「つらう」との関わりを中心として－ / 動詞の文法化－動詞と介詞の境界－ / A Contrastive Study of Body Metaphoes in English and Japanese / フランス語における帰還を表す3つの動詞の比較 / ドイツ語とスペイン語の対照研究～サッカーのゴールシーンをめぐって～ / 現代ロシア語における形容詞分類に関する数量的研究

教員からのメッセージ



村上 宏昭　助教
（史学主専攻
西洋史コース）

皆さんが大学生になった途端、頻繁に耳にするであろう一つの言葉があります。「研究」という言葉です。研究？　実験室で白衣をまとい、顕微鏡を覗いて細胞の分子構造か何かを調べることでしょうか。はたまた夏休みの「自由研究」のように、朝顔の変化を観察し、日々記録するあの作業のことでしょうか。もちろんこれらも立派な研究です。しかし、それはあくまで広い意味での研究の一環でしかありません。

実はこの研究という言葉に、高校までの勉学と大学での学問との違いが集約されています。高校までは、基本的にあらかじめ用意された問題と解答がありますね。しかし大学ではそのようなものは与えられません。自分の手で独自の問題を見つけなくてはいけないし、さらにそれに対して自分なりの答えも提示しなければならない。そしてこの「自分で問題を見つけて自分で答えを出す」ことこそ、研究なるものの最大の特徴、しかも特に人文系の研究で著しい特徴なのです。

そもそも現代社会には、まだ誰も気づいていない問題が山積していますし、一つの解決が別の問題を生み出すこともよくあります。大学で課される研究とは、まさにこうした人間社会の在り方に対処する能力を養うための、一つの訓練となるわけです。つまり、研究を通じて培われる「問題発見能力」と「問題解決能力」は、同時に現代社会を生きていくため、そしてこの社会を改善するために必須となる、二つの基本能力に他ならないのです。

Q＆A

Q　希望通りの主専攻分野に入れますか？

A　入れます。3年次に進むときに正式な主専攻分野と専攻コースの決定を行いますが、人数制限などはありませんので、当該専攻コースで定められている専門基礎科目（12単位）の履修が済んでいれば、希望通りの主専攻および専攻コースに入ることができます。

Q　主専攻分野の途中変更は可能ですか？

A　可能です。やはり、専門基礎科目の履修が条件になりますが、希望する場合は十分に可能です。例えば、史学主専攻を希望していた学生が、ロシア語の授業を受けているうちに、ロシア語を本格的に勉強したくなり、言語学主専攻の露語学コースに変更した、などの例がありました。

Q　語学教育の内容について教えてください。

A　一般語学の授業は、Center for Education of Global Communication（CEGLOC）が中心となって行われています。CEGLOCでは、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語の7つの外国語を学ぶことができます。

人文学類の学生は、上記7つの外国語から2つを選択し、それぞれ4.5（英語は5.5）単位を履修しなければなりません。授業は、講読、会話、文法、コミュニケーションなどに振り分けられていて、それぞれの外国語で実際に役立つ総合的な語学力が身につくことが期待されます。

授業を担当する先生は、それぞれの外国語を専門にしている日本人教員と外国人教員です。外国人教員は、主に会話とコミュニケーションの授業を担当します。

外国語4.5～5.5単位を履修した上で、さらにその外国語の力を伸ばしたいという希望をもつ学生には、中級および上級の授業も用意されています。また、授業以外にも外国語を学ぶ機会をもちたいと望む学生には、メディアライブラリーがあります。そこには、たくさんの語学CD・DVD教材が備えられていて、自由に利用することができるので、学生は自分のペースで学習し、どんどんと力を付けることができます。

人文学類で専門的に学ぶことのできる言語としては、日本語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、満洲語、チベット語、ギリシア語、ラテン語、サンスクリット語、ヘブル語、アッカド語などがあります。この中には国内の他大学ではなかなか学ぶチャンスのない言語も含まれます。

Q　留学制度はありますか？

A　筑波大学は65か国・地域の大学・機関と340の交流協定を結んでいます（平成29年3月13日現在）。このうち人文学類生が交換留学できる協定校については、ウェブサイト（http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/contents/international/index.html）をご覧ください。

先輩からのメッセージ



菅原 智郁
（言語学主専攻 英語学コース卒業生）

「人文学類って何を勉強しているの？」人文学類について知らない人たちからよく質問されます。答えは一人一人違うかもしれませんが、どの分野にも共通して根底にあるのは「人間とは何か」という問いです。

筑波大学人文学類は、哲学、史学、考古・民俗学、言語学という4つの主専攻に分かれています。実は、私は大学に入ってからも西洋史を勉強しようか、言語学を勉強しようか迷っていました。しかし1年次で様々な授業を履修しているうちに言語学の世界に惹かれ、特に幼い頃から身近にあった英語を研究することに決めました。

具体的な言語学の授業としては、「語学と言語学の違いって何だろう」「世界に言語はいくつあるのだろう」という素朴な疑問を扱うものや、言語学に関する英語論文を解釈しみんなの前で発表する演習形式のものなどがあります。「言語学」「英語学」と言っても、一言では表せないほど多くの側面から研究することができますが、そのサポートとなるような授業が人文学類には豊富にあると実感しています。

人文学類に入ってから、多くの出会いがありました。刺激を受けられる仲間との出会い、親身になって話を聞いてくださる先生方との出会い、魅力的な言語学の世界との出会い･･･そして、大学に入る前には想像もしていなかった「自分」との出会いがあります。ぜひ、いろいろな「出会い」を楽しみに、人文学類にいらしてください。

Q　文系は就職が不利ですか？

A　一概にそうはいえないと思います。最近の就職先については下の進路をご覧ください。

教員志望者は多く、実際に新卒で採用される優秀な学生もいます。最近は大学院教育を受けた教師が望まれていて、そういう点からすれば、大学院進学者が多い人文学類は教職に有利だといえるでしょう。

公務員志望者もかなりいて、試験に勝ち残り就職しています。ただし、公務員試験の受験勉強と人文学類のカリキュラムは直接関係ないので、就職課が開く講座や外部の通信教育などで独自に勉強する必要があるようです。

また、人文学類では就職説明会やフレッシュマンセミナーを通して文系としてのキャリアデザインについてともに考える場を提供しています。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。人文学類で取得できる教員免許状の種類と教科は、中学校一種と高等学校一種の国語・社会（高校は地理歴史、公民）・英語・ドイツ語・フランス語・中国語の普通免許状です。

進路

人文学類の卒業生の進路は多岐にわたります。かつては教職関係が多い傾向が見られましたが、最近では企業や官公庁での活躍も目立ちます。進学者が多いのも人文学類の特徴です。

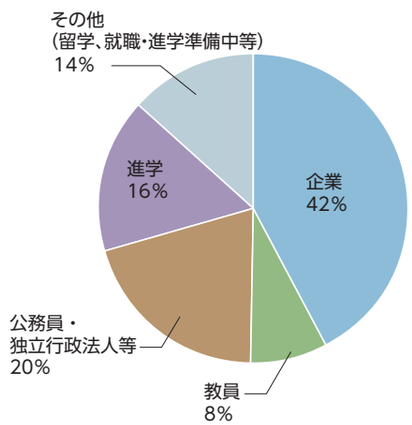
平成28年3月に卒業した学類生の進路は右のグラフの通りです。具体的な就職先としてはみずほフィナンシャルグループ、第一生命、ＪＲ東日本、日本放送協会（ＮＨＫ）、毎日新聞社、吉本興業、総務省、宮内庁などがあります。進学先は、本学の人文社会科学研究科、教育研究科が大部分ですが、他大学の大学院に進んだ者もいます。

進路の詳細については、下記のウェブサイトをご覧ください。

http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/career/02.html

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人文系の学問に必要な論理的な思考力と表現力を十分に持つと同時に、自律的な学習と考察を通して問題を自ら発見し、解決していく能力を有する人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		人文系の学問の基礎となる言語や社会に関する学科について十分な能力を習得し、希望する専攻分野に関連する他の学科についても基礎的な知識を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	入学後の学習に必要となる基礎学力と思考力を十分に持ち、人文系の学問に取り組むことのできる人材を選抜します。
	個別学力検査等（後期日程）	論理的な思考力と表現力を持つと同時に、旺盛な知識欲と探求心を有し、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習の基礎をしっかりと身につけた志願者の中から、個性豊かな課題意識と向上心を持ち、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	AC入試	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	人文系の学問に強い関心を抱くと同時に、旺盛な知識欲と探究心を持ち、よりグローバルな観点から新たな問題提起をなし得る発展性のある人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	人文系の学問に関する問題意識と論理的な思考力を持ち，入学後の学業遂行に必要な知識と日本語の運用能力を備えている者を選抜します。



人文・文化学群

比較文化学類

http://www.hibun.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　人類が築いてきた様々な文化を、「学際性」と「現代性」という問題意識のもとに比較・検討し、それを通じてひとつの学問分野に閉ざされることのない、開かれた知と批判的思考力を持った人材を育成します。また、国際的なコミュニケーション能力によって、グローバル化する社会に求められる問題解決能力と交渉力を備えた人材を育成します。



文系の学びによる自律的・主体的な思考力と行動力とが社会に必要とされています。
比較文化学類長　徳丸亜木

学べること

比較文化学類は平成25年度から新体制に移行し、学類全体を1主専攻とする、ひとつの大きなまとまりとなりました。学ぶことができる学問分野は従来とほとんど変わりませんが、学生はこの大きな枠組みの中で、さまざまな授業科目を組み合わせて学修していくことができます。

下に列挙するような「学問分野」を、閉ざされた専門分野の中でではなく、以下に示す柔軟な組織（領域とコース）を通じて学修することが本学類の特色で、現代社会が必要とする、複合的で主体的な知の錬成が可能です。

学ぶことができる主な学問分野

文学：**日本文学、中国文学、英米文学、ドイツ文学、フランス文学、比較文学、文芸学**など

地域研究：**日本研究、アジア研究、欧米研究**など

応用的な人文諸科学：**文化地理学、文化人類学、現代思想、比較宗教学**など

文化学：**文化理論、表象文化学、大衆文化論、芸術文化論、映像文化論、情報文化学**など

さらに現代の変化に応じた先進的な諸学問領域

1主専攻分野　6領域（16コース）

領野	領域	コース	教育目的・目標
地域文化研究領野	日本・アジア領域	日本研究コース	日本とアジアにおける文化の諸相を文学・歴史・宗教・社会などに着目しながら体系的に学ぶ。
		日本文学コース	
		中国文学コース	
		アジア研究コース	
	英米・ヨーロッパ領域	欧米研究コース	英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏に加え、広く欧米の地域文化圏を対象に、文学・言語・歴史・宗教・社会などに着目しながら体系的に学ぶ。
		フランス語圏文学・文化コース	
		ドイツ語圏文学・文化コース	
		英語圏文学・文化コース	
	フィールド文化領域	文化人類学コース	日本・世界の地域文化の多様性をフィールドワークによって明らかにし、場所とのかかわりから「人間とは何か」を体系的に学ぶ。
		文化地理学コース	
超域文化研究領野	表現文化領域	テクスト文化学コース	地域の限定を超えた文学や、多様な大衆文化、美術・映像・音楽などの表象文化といった人間の表現文化を広く探求する。
		文化創造論コース	
	文化科学領域	先端文化学コース	生命・身体文化、メディア、ジャーナリズムなどをキーワードに、人間社会の諸問題について複合的な視点から探究する。
		情報文化学コース	
	思想文化領域	現代思想コース	思考・認識・言語・論理・倫理・宗教などをキーワードにして、哲学と宗教を体系的に学ぶ。
		比較宗教コース	

比較文化学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には250円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「比較文化学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8572 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学人文・文化学群 比較文化学類　（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は561330）

特徴

①専門性を掘り下げるとともに、学生の個性を尊重した自由度の高いカリキュラム
- 学類全体から科目を組み合わせて履修できます。
- 領域やコースを選ぶにあたって人数制限はありません。

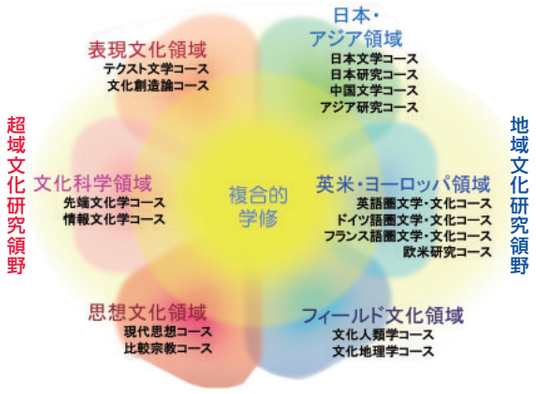
②外国語能力を伸ばせるプログラム
- 実践的な英語力を高める科目のほか、英語による専門分野の講義も開設しています。
- 第二外国語*を必修とし、高学年でも多言語能力を継続的に磨くことができます。

＊ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語などから1言語を選択。ほかにラテン語・古典ギリシア語等も学べます。

③少人数教育
- 1学年定員80名の親密な学修空間。
- ディスカッションや参画型の授業により、学生一人ひとりが主体性を高められます。

④60名以上の一流の専門研究者からなる贅沢な教授陣
- 個性あふれる多彩な教員から間近で刺激を得、マンツーマンの指導を受けることができます。

比較文化主専攻分野



文化学のコスモス

「領域」は、学修上のホームグラウンドで、皆さんの勉学にまとまりをもたせます。**「コース」**は、より専門的な自分の居場所で、ここを拠点に卒業論文を書き上げます。

全体として、地域の区分が生かされた学問群と、本質的に地域横断的な学問群の２つの「領野」に大別されます。

海外留学など
世界へと開かれた窓

「国際性」を重んじる比較文化学類では多くの学生が世界のさまざまな国に出かけ、貴重な体験を積んでいます。

平成22～27年だけみても、海外提携校への正規留学実績は45件以上、行先は米国、カナダ、ペルー、ロシア、エジプト、ドイツ、イタリア、スペイン、中国、タイを含む22カ国の36大学に及びます。このほかにも、より自由なかたちでの留学がさまざまに行われています。

主体的な学修が基本の本学類では、教員が引率するような留学制度はありませんが、学生のみなさんの留学を支援し、促進しています。とりわけ2013年からは、環境にすぐれたカナダのプリンスエドワード島大学と本学類との独自の交換協定を発効させ、学類カリキュラムと一体化したプログラムにより、留学しつつ4年で卒業できる制度が整いました。同大学での夏期英語研修（比較文化国際研修　3単位）も好評です。



左が高倉君

高倉　駿
（2017年卒業）

3年次の春休みにカザフスタンのカザフ国立大学で3週間のロシア語研修に参加しました。中央アジアの歴史を専攻しており、実際に現地を見てみたいというのが理由でした。初級のクラスに編入しましたが、最終日にはロシア語でプレゼンを行うなど、みっちり詰め込まれました。課外活動で日本語学科の学生と交流する機会が多く、彼らが筑波大学に留学してきたときには私が大学を案内することもあるなど、今でも交流が続いています。



砂子 千皓
（比較文化学類４年）

2年次の夏休みに約３週間カナダのプリンスエドワード島大学での夏期英語研修に参加しました。英語が苦手であることに大きなコンプレックスを感じていたのをなんとかしたかったというのが最大の参加理由です。そのため行く前は非常に不安でしたが、行ってしまえばカナダの人々の優しさに支えられ、とても充実した３週間になりました。その後は怖がっていた英語でも会話を楽しむことができるようになり、なんと次の年には１セメスターの正規交換留学をするまでになりました。飛び出してみて良かったと心から思っています！

卒業論文　比文らしく、自分らしく

本学類での学修の最大の焦点が卒業論文の作成です。

いわば入学した時点から、あなたの卒論に向けての作業が始まっています。自分の関心に応じて履修科目を選ぶことがその第一歩。さまざまな授業を通じて専門知識や研究スキルを獲得しながら、自分なりの問題意識を深めていってください。

問題設定能力や課題解決能力など、これからの時代にますます求められる主体的な知性を育てることができるのが、この卒論作成のプロセスです。

学類の丁寧なガイダンスおよび主指導教員と副指導教員の指導・助言によって、あなたも、個性的でありながら水準の高い自分だけの論文を仕上げることが可能です。

1〜2年次	2〜3年次	3〜4年次	4年次	完成	
テーマを探す	テーマを膨らませる	テーマを絞りこみ構成する	執筆する		審査・発表会

平成28年度に提出された主な卒業論文の題目

- 連歌的表現と和歌的表現について
- 文学作品に描かれる「鬼」の表現について―『堤中納言物語』「虫めづる姫君」を題材として―
- 都市祭礼にみる住民の共同体意識―浦安三社祭を事例として―
- ネパール・カトマンズ盆地におけるクマリ信仰の伝統と現代的諸相
- Remaking Poetic Justice: Seven Samurai and The Magnificent Seven
- バリ伝統文化の日本での受容と表現
- 埼玉県戸田市におけるオリンピック遺産の活用―戸田漕艇場を事例に―
- マレーシア・ペナン島における日本人ロングステイヤー居住地域の空間的特性
- 小林多喜二『蟹工船』における言語の問題―「標準語」と「方言」をめぐって―
- 渡辺克巳研究―新宿における撮影行為をめぐって
- 経験を伝える「叫び」―石牟礼道子『苦海浄土』における水俣病―
- 日韓から見るスポーツと政治的感情の関係―新たなライバル像の構築に向けて―
- 2013 年以降のインターネット選挙活動―若者に注目して―
- 他人の心について―チャーマーズの議論の検討を通して―
- ムスリムファッションの変容―インドネシアを中心に―
- 日本の墓地をめぐる掃苔文化の考察―雑誌『掃苔』を中心に―

授業と卒論制作

根本　拓真（2015年卒業）
（(現在の)フィールド文化領域の文化地理学コース）

このコースでは授業に現地調査を取り入れており、私はまず城下町・土浦の地形や街の成り立ち、地域の機能を調べる調査に参加し、そのあと札幌や旭川など北海道の様々な場所をバスで巡る調査にも参加しました。卒業論文ではアニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台となった大洗町を取り上げ、商工会、観光協会、役所に聴き取りを行って、アニメの聖地巡礼にやってくる観光客に対しどのような取り組みをしているかを調査しました。一人で聴き取り調査を行うのは初めてでしたが、実習で先輩たちをまねることで、知らずしらずのうちにインタビューのやり方も身についていたと思います。

比文での学修を終えて

山田　玲奈（2017年卒業）
（日本・アジア領域、日本文学コース）

私は、仏教説話文学で卒業論文を書き、大学院の教育研究科に進学してさらに学問を深めることを選択しました。正直に言うと、入学前は漠然と日本文学を学び国語の教員を目指したいと考えており、仏教説話や大学院進学にはあまり興味がありませんでした。しかし入学後、比較文化学類の多様な授業、先生、学生との出会いによって自分でも驚くほど関心や選択肢の幅を広げることができました。比較文化学類は6領域16コースに主専攻分野が分かれており、その多様性により視野を広げつつ最終的には自分の学びを極めていくのが「比文らしい学び」だと思います。これから入学する皆さんも、この比文の環境を最大限に活かして自分の可能性を開拓してほしいと思います。



取得できる資格など

教員免許

中学校一種免許状（国語、社会、英語、ドイツ語、フランス語、中国語）

高等学校一種免許状（国語、地理歴史、公民、英語、ドイツ語、フランス語、中国語）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

以上は、卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」などの単位を取得することによって得ることができます。



宿舎祭での出し物



協定校
プリンスエドワード島大学（カナダ）

卒業後の進路

卒業生は、出版、放送、文化・教育はもちろんのこと、情報処理、金融、流通、製造、地域行政、国際機関、NGOなどの各界に広く受けいれられています。大学院に進学する人も少なくありません。

先輩たちは芥川賞作家、漫画家、大学教授、新聞記者、放送ディレクターなどとして、多彩なジャンルで活躍しています。

最近数年の進路先

企業	NHK、共同通信社、角川書店、新潮社、中央出版、宝島社、中京テレビ放送、福井放送、信濃毎日新聞、朝日広告社、三菱東京UFJ信託銀行、八千代銀行、愛媛銀行、飯田信用金庫、東日本旅客鉄道（JR東日本）、首都高速道路、星野リゾート、ソフトバンク、NTTドコモ、NTTコムウェア、日本郵便、味の素ゼネラルフーズ、江崎グリコ、カルビー、キリンビール、日立建機、竹中工務店、YKK、JX日鉱日石エネルギー、ダイキン、イオンリテール、ローソン、東京流通センター、ブックファースト、ニチイ学館、ユーキャン
公務員	厚生労働省、警視庁、海上自衛隊、宮城県警、群馬県警、茨城県・千葉県・静岡県・長野県・石川県ほか県庁、つくば市・流山市・横浜市ほか市役所、港区ほか区役所、東京大学、高エネルギー加速器研究機構、全国共済農業共同組合連合会（JA共済連）、北海道漁業共同組合連合会、静岡県立病院機構
学校教員	全国都道府県立高等学校および公立中学校、東京聖徳学園、フェリス女学院
大学院進学	筑波大学、東京大学、東京外国語大学、名古屋大学、大阪教育大学、自治医科大学、明治大学、明星大学、早稲田大学

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		自らの問題意識を出発点として、さまざまな学問領域に関心を寄せながら、文化・社会について広く柔軟に学ぶ意欲を持つ人。異文化理解に裏付けられたグローバル・コミュニケーション能力を身につけようとする人。海外経験・社会経験などを通じて得た問題意識を学問的に深めたい人。
入学までに学んでおいてほしいこと		日本語及び外国語に関する優れた能力、特に文化・社会に対する旺盛な好奇心と高い教養を身につけておくことが望ましい。また、希望する学問領域に関連する社会科科目の知識を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	文化・社会に強い関心と知識を持ち、学業遂行の上で必要な能力と知識を有する者を選抜します。特に勉学に対する意欲と論理的思考力、表現力を重視します。
	個別学力検査等（後期日程）	文化・社会に強い関心と知識を持ち、学業遂行の上で必要な能力と知識を有する者を選抜します。特にコミュニケーション能力と柔軟な発想力を重視します。
	推薦入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、それを自分自身の言葉で表現する能力を重視して選抜します。
	AC入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、特定の専門分野について具体的で個性的なテーマを設定し、そのアプローチと内容に関して独自の研究成果を挙げている者を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学類の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。
	私費外国人留学生入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、日本の大学における学業遂行の上で必要な能力と知識を有する者を選抜します。

卒業生の声

水谷葉月（2012年卒業）
日本芸術文化振興会（国立劇場）



比較文化学類の一番の特徴は学生の関心や主体性が尊重されることだと思います。

私は現代美術を卒業論文のテーマにしましたが、実際は文学や宗教学など様々な授業を好奇心にまかせて受講していました。現在は就職するまでは縁遠かった歌舞伎や日本舞踊など日本の伝統芸能を上演する劇場で働いています。歴史と文化の膨大な蓄積である古典芸能の世界での仕事には戸惑うことも多いですが、学生時代に文化の広い海にどっぷり浸かり、時には溺れそうになりながらも自分なりの研究を深めていった体験が、今でも自らの土台になっていると実感します。

人文・文化学群

日本語・日本文化学類

http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　日本語を含む日本文化を総合的に捉えるとともに、世界の言語・文化の中で相対的に捉える力を養い、これによって、異言語・異文化を背景とする人たち、あるいは次世代の人たちに、日本語と日本文化を適切に発信し伝えていくための専門知識と能力を身につけた文化の創造者たる人材を育成します。



日本語研究・日本文化研究 フィールド実習－広島県呉市－



日本語・日本文化修了証授与式

主専攻	分野	学べること
日本語・日本文化	日本語分野	世界の諸言語の一つとして日本語をとらえ言語学的に研究するための専門的知識や、それを外国語として外国人に教えるための方法を身につける。
	文化分野	日本の歴史や地理、民俗、文学などに対する学問的理解を深め、日本文化を発信していくための専門的知識を身につけるとともに、国際交流や異文化理解について知識を習得する。

主な授業内容		
専門基礎科目	本学類で学ぶ日本語と日本文化全体を見渡す科目。「現代日本語」、「言語学」、「日本語教育」、「日本の歴史」、「文化論」、「日本の文学」、「国際教育」、「異文化間教育」に関する基礎的なテーマを扱う概論的講義および発言力を高めるための専門英語の授業	
専門科目	共通	卒業論文、卒業論文演習、日本人と留学生による日本語・日本文化共同研究
	日本語分野	・現代日本語の音声・音韻、語彙、文法、意味、談話、言語行動などを扱う講義および演習 ・日本語史、日本語学史、日本語教育、理論言語学、対照言語学、論理学、コンピュータ言語学、コーパス言語学、心理言語学、実験言語学などを扱う講義および演習 ・フィールドワーク、国内日本語教育実習など
	文化分野 日本文化	日本の思想、日本の宗教と芸能、文学史、日本文学とその特質、日本の政治と社会、日本の社会と民俗、日本の科学と技術の文化史、日本の経済と文化、日本の教育、日本の地誌と生活、生活文化の地理、日本の伝統文化、現代社会論、日本の芸術と文化などを扱う講義および演習、資料講読、フィールドワークなど
	文化分野 異文化理解	異文化理解、異文化間教育、国際理解教育、世界の教育制度、文化交流論、東洋の歴史と文化、欧米の歴史と文化、近代日本の国際関係、世界文学と日本文学、中国文学と日本文学、現代日本の国際関係などを扱う講義および演習など
	国際・協働	異文化理解国際研修、海外日本語教育実習、外国語模擬実習、留学生との協働科目など

日本語・日本文化学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「日本語・日本文化学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8572 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学人文・文化学群 日本語・日本文化学類　（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は561340）

最新の詳しい情報は、http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/をご覧ください。パンフのダウンロードもできます。「筑波日日」で検索！

専門として学べる内容

日本語・日本文化学類（通称「日日(にちにち)」）は主専攻・コースに分かれていません。学類全体で一つの日本語・日本文化学主専攻です。

日本語・日本文化学類の学生は、基本的な専門知識を備えた上で、日本語学・言語学・日本語教育学といった日本語分野を専門とするか、日本の歴史や地理・民俗・文学、さらには異文化理解・海外の教育事情といった文化に関する分野を専門とするか、という選択をすることになります。

特色ある授業

日本語・日本文化学類では、教室で行われる講義や演習に加えて、「実践性」と「国際性」を重視したカリキュラムを用意しています。

日本各地の農山漁村や地方都市を訪れて聞き取りを行うフィールドワーク、学内外での日本語教育実習、国際教育の現場視察、さらに海外の大学で行われる日本語教育実習（インターンシップ）や、海外の大学生とともに国際関係、文化事情を学ぶ異文化理解国際研修があります。

また、日本語・日本文化学類では日本語・日本文化研修留学生（日研生）や短期留学生、私費留学生など留学生を多数受け入れており、留学生と日本人学生が協働する日本語・日本文化共同研究という授業もあります。この授業では互いの言語・文化上のテーマについて討論、共同研究を行い、相互理解を図ります。また、これらの留学生の学習や日常生活を支援するチューター制度があり、本学類の学生がチューターとして留学生との交流を深めています。



チューター学生と一緒に：日研生研修旅行　－千葉県－

海外実習参加者の声

スロベニアでの教育実習を通じて　中嶋さくら



「日本語って何だろう？」「日本文化って何だろう？」…そんな疑問を強く抱いた場所は、日本ではなく、日本から片道 15 時間以上離れたスロベニアでした。私たちが普段当たり前に接している日本語と日本文化。それは、「わかったようで、わからない。わからないようで、わかる。」そんな不思議な存在です。その不思議な存在を改めて考え、言葉で誰かに伝えていくのは、案外難しいものです。

スロベニアでは、日本語教師として 1 年間授業を担当しました。しかし、振り返ってみると、授業を通じて自分が教えたことよりも、スロベニアの学生が教えてくれたことの方が多かったような気がします。自分が当たり前に思っていることは、異文化ではそうではないということ、そして、その差異を乗り越えるために、自分はどのように振る舞えばよいのか。留学を通じて、日本を、そして自分を、客観的に見つめ直すことができました。

この学類では、日本語・日本文化について詳しく学べるだけではなく、「どのように世界に発信するか」ということも重視しています。日本について学ぶことは、実は国際化について学ぶことと表裏一体なのです。ぜひ、みなさんも日日に入って、国際交流の第一歩を踏み出してみませんか。

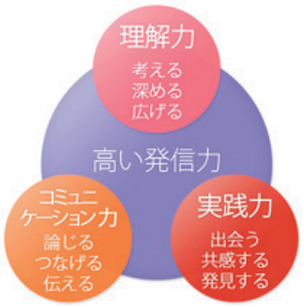
海外留学など

日本語や日本文化を客観的にながめる目を育て、世界に発信する力を育成するために、日本語・日本文化学類では海外留学を積極的に勧めています。学類と交流協定を結んでいる大学への留学の場合、単位互換、授業料免除、奨学金受給などのメリットがあります。現在、筑波大学では61の国と地域および国際連合大学と協定を結んでいます。（平成28年3月1日現在）

協定校一覧

中国：北京大学、湖南大学、大連大学、**台湾**：国立政治大学、**韓国**：韓国外国語大学校、啓明大学校、高麗大学校、梨花女子大学校、**英国**：エディンバラ大学、**イタリア**：カ・フォスカリ大学、**スペイン**：サラマンカ大学、**スロヴェニア**：リュブリャーナ大学、**エストニア**：タリン大学、**ロシア**：モスクワ市立教育大学、サンクトペテルブルク大学など

日本語・日本文化修了証プログラム



いま私たちが生きる時代は、日本語と日本文化を学術的に探究する力（理解力）、それを様々な文化的背景を持つ人々に伝達できる力（コミュニケーション力）、生きた経験から学ぶ力（実践力）などが求められています。日本語・日本文化学類は、グローバル化する新時代に相応しいこの３つの能力を習得し、国際性豊かな感性を磨くために、「日本語・日本文化修了証プログラム（通称 CP：Certificate Program）」を提供しています。

これは、所定の単位を履修することで、卒業時に授与される学士号とは別に、日本語教育力や異文化コミュニケーション力を保証する証明書が発行される仕組みです。

●日本語教育力強化プログラム（日本語CP）
●異文化コミュニケーション力強化プログラム(異文化CP)

の２つがあります。明確な到達目標があるので、能力を高めながら、将来設計の必要性を意識することができます。更なる学習の動機づけにもなります。

詳細は日日HPをご覧ください（「修了証CP」で検索）。

資格など

卒業要件以外に「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許　中学校一種免許状（国語、社会）
高等学校一種免許状（国語、地理歴史）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業論文

卒業論文は、日本語・日本文化学類で学んだことを基礎に、学生自身がテーマを決めて研究を行うもので、いわば大学での学業の集大成というべきものです。３年生の後半には指導教員が決まり、およそ1年間かけて各自のテーマを追究していきます。図書館でたくさんの文献にあたったり、学外に出てデータを収集したり、集めたデータを分析したりと苦労も多いですが、それ以上に多くのものが得られます。研究を発展させるため大学院に進学する人もいます。

最近の卒業論文から

●大阪府泉北方言における可能表現の使い分けの実態
●日本語母語話者の英語慣用句学習について ―語源・絵・例文の学習効果を中心に―
●「カレーの街よこすか」成立の背景と展開
●LINEでの「誘い」場面における談話展開の一考察 ―談話構造と配慮表現の観点から―
●食表現における音象徴語の意味研究 ―共感覚の視点から―
●星の和歌研究 ―勅撰和歌集を中心に―
●意見対立の際の言語行動 ―演劇作品の制作過程を例に―
●副詞的修飾成分の語順と文の階層性との関わりについて
●現代社会における食文化の意味 ―ユネスコ無形文化遺産とソフト・パワー―
●日本語動詞の「タ」形と「テイル」形の交替 ―過去の副詞との共起を中心に―
●小学校国語検定教科書における宮沢賢治教材の変遷 ―戦後から昭和63年にかけて―
●葬儀の変化とその社会的背景について ―浜松市細江町氣賀を事例に―
●指示代名詞ソノの後方照応文の観察と検討 ―代行指示を中心に―
●大学生の政治的無関心 ―安全保障法案についての反応に着目して―
●JSL高校生受け入れに対する教職員の動きと求められる役割 ―A高校における事例研究―
●アニメーション作品における悪役の音声的特徴について ―ディズニー作品を手掛かりとして―
●文内の漢字と仮名の黙読に音韻的要素が与える影響


教員とのランチミーティング


日本語・日本文化研修生の修了式

卒業後の進路

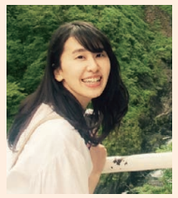
日本語・日本文化学類では、学類生のおよそ半数が教員免許（中学校・高等学校）を取得し、毎年５～６名ほどが実際に教員になっています。言語学に強く日本語教育の素養もあるユニークな国語科教員として、また世界的な視野を持った社会科（地歴）教員として活躍しています。

学類での勉強の後、さらに専門分野の研究を続けたい場合、また修士や博士の学位を得てより高次の専門職につきたい場合は、大学院進学という進路もあります。筑波大学には、修士課程（２年間）と博士課程（一貫制博士課程5年間または博士前期課程2年間）の２つの課程があります。修士課程の教育研究科、博士課程の人文社会科学研究科の文芸・言語専攻、歴史・人類学専攻、国際日本研究専攻（博士前期課程）に進学する人が多いですが、他大学の大学院や国外の大学院に進学する人もいます。

日本語教育の分野では、卒業後すぐに日本語教師となる人もいますが、大学や研究機関などの高等教育機関で働くためには、国内外を問わず修士以上の資格が求められるため、進学する人が多いといえます。

また、幅広い教養と広い視野を身につけて、公務員（県庁・市役所職員等）の道に進む卒業生も毎年数名います。多くは一般企業に就職しています。マスコミ・出版、教育サービス、情報・通信、流通・小売業、製造業、金融・保険、運輸・旅行、住宅・不動産、サービス業など、職種・業種ともに多岐にわたります。

卒業生の声



守川　梢
（(株)旅工房 池袋本社 勤務）

突然ですが、皆さんは何か夢がありますか。こうなりたい、こんな勉強をしたい。職業だけではなく、大学生活に対しても、どんな希望を持っているでしょうか。

私は高校生の時、k-POPにはまり、将来は韓国で働きたいと思うようになりました。その選択肢として浮かんだのが日本語教師という仕事であり、その夢を叶える進路として日日を選びました。実際に入学してみると、全国・世界各地から集まった学生との交流、専門分野も様々な先生方が行う魅力的な授業、日日の持つ多様性に驚かされました。また、大学3年時には、憧れの韓国へ留学。1年間の海外生活は、一生私の糧となる経験です。

さて、そんな私は今、旅行会社に勤めています。夢を諦めたのかって？いえ、そうではなく、学生生活の中で私のやりたいことが変化したのです。今の仕事を選んだ理由の一つ、「人々と喜びや感動を共有したい」という思いは、日日の学生や先生方、留学中の出会いを通して芽生えた感情ですし、旅先の魅力を伝えることは、日日の「言語や文化を適切に伝達できる人材を育む」というスピリットをうけてのことです。

私は日日で学べたことにとても感謝しています。皆さんも、ぜひ日日で様々な人、物、体験と出会い、自身の可能性を膨らませていってください。それだけのチャンスが、日日には沢山あります！

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		旺盛な知的好奇心を持ち、日本語や日本文化、国際交流や異文化理解に対する明確な問題意識とそれに対応した能力を有する者
入学までに学んでおいてほしいこと		日本語および外国語に関して、十分な読解力と自分の考えを明確に伝える表現力を高めておくことが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	日本語や日本文化、国際交流や異文化理解などに関する学問に取り組むための基礎学力と、それに基づく思考力・応用力を有する人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校における平素の学習や活動の成果などを基に、志願者の能力・適性を総合的に評価します。明確な問題意識と勉学への意欲とを持ち、日本語や日本文化、国際交流や異文化理解などの専門領域に対する適応性を示す人材を選抜します。
	AC入試	日本語や日本文化、国際交流や異文化理解について独自の視点を持ち、自ら問題を見出し、解決する能力を重視して選抜します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、日本語や日本文化、国際交流や異文化理解に対する旺盛な知的好奇心と明確な問題意識を持ち、国際的な視野に立って自ら問題を見出し、解決する能力を有する人材を選抜します。語学力を含めたコミュニケーション能力を重視し評価します。
	私費外国人留学生入試	日本語や日本文化、国際交流や異文化理解に対する明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・語学力（日本語・英語）を有する者を選抜します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert (学士)プログラム特別入試	日本語、日本文化に幅広い興味を有し、将来、国内外において日本での就学・就労や日系企業での就労を希望する者に日本語を教える日本語教師となることを希望する人材を求めています。

最近の進路状況

学校教員	茨城・長野・富山・沖縄各県立高等学校、福島・栃木・千葉・静岡各県公立中学校、麗澤瑞浪高等学校　山梨学院高等学校　など
大学教員	筑波大学　群馬大学　北海道教育大学　鳴門教育大学　秀明大学　学習院女子大学　福岡女子大学　など
海外	ホーチミン市師範大学(ベトナム)　静宜大学(台湾)　大連大学(中国)　興信大学(韓国)　リュブリャーナ大学(スロベニア)　カターニア大学(イタリア)　など
公務員	文部科学省　東京税関　福島県庁　東京都庁　埼玉県庁　愛知県庁　茨城県警察本部　土浦市役所　つくば市役所　成田市役所　沼津市役所　静岡市役所　岡谷市役所　豊橋市役所　など
一般企業	テレビユー福島　リクルート　中央出版　凸版印刷　ベネッセコーポレーション　小学館　光村教育図書　日本IBM　NEC ソフト　NTT コミュニケーションズ　三越　丸井グループ　ローソン　日本メナード　日立製作所　王子製紙　AOKI　トヨタカローラ南茨城　日本郵政　三井住友銀行　三菱UFJ 信託銀行　みずほ銀行　大和証券　全日本空輸　長谷工アーベスト　ホテルオークラ東京ベイ　明治座　マイナビ　など

社会・国際学群

社会学類

http://www.shakai.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　社会学・法学・政治学・経済学の専門知識を集中的に深める教育を提供するだけでなく、各分野の基礎知識を総合的に修得するための横断的な教育も併せて実施することで、社会科学全般のゼネラルな視点に裏打ちされた高い専門性を発揮しうるグローカル（グローバル＋ローカル）志向の人材を養成します。

主専攻	学べること	主な授業
社会学	社会学主専攻の特徴は、調査実習、演習、卒業論文が特に重視されていることです。調査実習では生きた社会的現実と接触しながらその分析の仕方を学び、演習では少人数で社会学の多様な考え方を学び、卒業論文では教員の指導のもと、自分の関心をもつテーマについて問いを立て自主的に研究し、論文にまとめ上げます。	社会学基礎論、現代社会論、社会学研究法、現代社会学の系譜、都市社会学、労働社会学、組織社会学、病いと死の社会学、知識社会学、文化社会学、スポーツ文化論、教育社会学、歴史社会学、逸脱行動論、社会統制論、地域社会学、メディアと情報化の社会学、社会階層論
法学	基本六法を中心にリーガル・マインド（法的なものの考え方）を獲得するとともに、模擬法廷を使った裁判実務の講義や演習科目を通じて「生きた法」を学びます。	法学概論、民事法概論、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法総則、物権、担保物権、債権総論、契約、事務管理・不当利得・不法行為、親族・相続、信託法、商法、会社法、有価証券法基礎、電子記録債権法、金融商品取引法、民事訴訟法、裁判実務、法制史、法律外書講読
政治学	政治学は遠くギリシャに発し、ポリス全体の理想的なあり方を問う master of sciences（諸学の王）でした。現実政治の擁護と批判の二面性をもち、現代の巨大で複雑な政治現象を理解するため、政治学主専攻では的確な判断力と分析力を養います。	政治学、政治思想、政治外交史、比較政治学、政治過程論、国際関係史序説、国際紛争論、カナダ政治、日本政治論、情報戦略と政治、アメリカ外交史、現代政治外交、アジアの国際関係、アジア政治、計量分析入門、国境を越える政治、政治学外書講読、政治学入門演習、国際政治学、東洋政治思想、現代政治分析
経済学	人間社会の重要なメカニズムである経済活動の仕組みを基礎から体系的に学びます。大きくは、(1) 理論、(2) 現状分析、(3) 政策、(4) 歴史に分けられ、各種の科目が開設されています。少人数の演習では教員の直接指導を受けながら、より深い専門的な内容を学ぶことができます。	経済学基礎論、現代経済史、基礎経済数学、ミクロ経済学、マクロ経済学、経済統計論、財政学、日本経済論、比較経済論、ヨーロッパ社会経済史、日本経済史、経済思想史、経済数学、計量経済学、公共経済学、国際貿易論、開発経済学、市場経済論、産業組織論、地域経済論



社会調査実習

社会調査実習の一環として、東京都の観光政策についてのレクチャーを受けた際、都議会議長室での写真です。社会学主専攻では、フィールドワークをすることにより、リアルな社会現象を把握し、社会の変化を分析する社会調査実習を重視しています。実習を通じて、現代社会について問題を設定し、社会学的分析を加えていく能力を育成することを目標としています。



模擬法廷教室

現役弁護士による裁判実務の講義風景です。社会学類では、例えば、実際に模擬法廷で裁判官・弁護士・検察官の立場に立って事件を考えてみる講義や、さまざまな専門家をゲストスピーカーとして招いて専門家と共に問題を考えてみたりする演習を通じて、「法的なものの考え方」を身につけてもらうことを目標としています。

社会学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「社会学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8571茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学社会・国際学群社会学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は561540）

教育内容

１・２年次には、社会学・法学・政治学・経済学という４つの主専攻分野の専門科目履修のベースとなる専門基礎科目を中心に学びます。

専門基礎科目や一部の専門科目を通じて、社会科学の基本知識を横断的に幅広く身に付けた後、２年次終了時に主専攻を選択します。

３・４年次は、主専攻の専門科目を重点学習し、その分野のプロとしての実力を身に付けるとともに、他の主専攻分野を平行して学ぶことで広い視野と総合性を獲得します。

特長

４年後に身に付く力

❶広い視野と総合性：国内外で発生する社会問題に対し、社会学・法学・政治学・経済学の多様な角度からアプローチできる総合的な能力と資質。

❷専門性と論理的表現力：少人数の専門演習科目における口頭報告や論文指導を通して培われる専門知識に基づく論理的表現力。

❸課題発見・問題解決能力：社会問題の中から主体的に課題を発見し、積極的に情報・資料収集をするとともに、課題解決につなげる能力と主体性。

ようこそ社会学類へ



社会学類長
土井　隆義

●**社会学類とは**：私たちが生きている日常世界は、社会によってさまざまな意味を付与されています。社会科学とは、その意味付与の在り方について研究する学問です。社会学類を構成する社会学・法学・政治学・経済学は、その社会科学のなかでも基礎的かつ主要な学問分野です。これら４つの学問分野で採用されている研究手法はそれぞれ異なりますが、私たちの社会の仕組みを明らかにし、その問題点の解決策を模索する点では共通しています。社会学類では、各分野の基礎的な素養を身につけた上で、さらに専門分野を深めていくことにより、ものごとを複眼的にとらえる思考法を培ってもらうことを目的としています。

●**大学生活**：社会は日々変化しています。そこに生起する問題も日々変化しています。また近年のグローバル化の進展により、ごく身近で起きる問題と国際社会の問題とが複雑に絡み合うようになっています。そこでは、社会の捉え方も、また問題の捉え方も、多面的かつ変動的なものにならざるをえません。その問題の解決策も、つねに暫定的なものでしかありえません。学生時代から、さまざまな社会問題への関心を深め、教員と一緒に、また学生どうしでも、大いに議論を戦わせてください。そして、互いに刺激しあう中で、新しい知識や思考を身につけてください。

●**市民として**：皆さんには、学生である以前に、まず市民としての自覚をもっていただきたいと思います。当たり前のことですが、私たちは一人では生きていけません。この社会の一員として、よりよい社会を築こうという気概をつねに持ちつづけてください。その社会は、いまや地域や日本に留まらず、全世界とシームレスにつながっています。複雑な社会問題を的確に把握しうる広い視野と能力を育むために、社会学類での大学生活をぜひ有効に活用してもらいたいと願っています。



政治学の演習

「現代政治分析演習」の授業風景です。社会学類の専門演習（ゼミナール）は、少人数制に基づく、きめの細かい指導を特徴としています。現代社会に対する学生一人一人の問題関心を踏まえ、参加学生による研究報告や討論および、卒業論文・ゼミ論文の執筆指導等を通じて、社会科学的に考えるための思考訓練を徹底して行います。



経済学演習の1コマ：工場見学

日立市にある工場のクリーンルームを見学した時のものです。経済学主専攻では、経済の理論と歴史をバランスよく学ぶことで、現代の様々な経済問題を分析する能力の養成を目指しています。そのため、大学キャンパスを飛び出して工場のものづくり現場や日本銀行、証券取引所の見学など実習的な取り組みも行っています。

学生からのメッセージ

山脇　耀平
（社会学主専攻）

ぼくたちは毎日大量に、情報のシャワーを浴びています。それらはマスメディアやSNS、ときには公共空間を利用し過剰なまでに訴えかけてくるでしょう。注意深く生きていなくても、なんとなく知っているニュースや話題は、圧倒的に増えました。いまの世の中で課題とされていることを多く知っているのはすばらしい。しかし知るだけで満足しては、課題を解決する力は得られません。

学問を学び、自ら仮説を立て検証していくスキルを身につけることは、生涯社会の一員として生きるうえで役にたつといえるでしょう。

わたしは地域社会学を、過疎地域の創生について学んでいます。国を挙げて制度化してもなかなか進まない地方創生ですが、地域を取材すると人びとの不仲や「そんなもんなの？」といえる点に大きな差があったりします。メディアで語られる内容ではなく、自分で考え調べてみなければわからないのです。

理論を駆使しつつ、フィールドワークで対象者に踏み込み、現代社会の意外な問題や原因を追求する。それこそが、枠にとらわれない社会学の醍醐味だと考えます。その先に何かを明らかにできたとき、得られる喜びは計り知れません。



林　健太郎
（政治学主専攻）

昨年の米大統領選挙において、ドナルド・トランプ氏の発言が日本を揺るがしました。トランプ氏が「日米安全保障条約は不平等だ。このままでは在日米軍の撤退も有りうる」という趣旨の発言を繰り返していたからです。

しかし、このように「暴言」を繰り返すトランプ氏でしたが、米国民からの支持を広げ、最終的に大統領選挙に勝利し、第45代アメリカ合衆国大統領に就任しました。それは何故か。米国の世論には、今後は国際問題には積極的に関わらず、国内問題に集中すべきだとの孤立主義の考え方も根強くあるからです。

皆さんの中には「国際問題に関与しない米国を想像できない」という方もいるとは思いますが、実は第二次世界大戦前までの米国の外交は、孤立主義の傾向が強かったのです。トランプ氏の選挙期間中での一連の発言は、過去の米国の外交政策への回帰とも言えるでしょう。

トランプ氏の登場に代表されるように、現在の世界は大きな転換期を迎えていると言えます。このような転換期にある世界情勢を理解するためには、政治学を学ぶ意義は大きいと思います。社会学類で政治の世界を理論的、科学的、歴史的に学び、日々のニュースを深く考察してみませんか。





みなさんは法学部に対してどのようなイメージを抱いていますか。広い講堂で学生に対して先生が難解な法律用語を呪文の如く唱える。私は本学に入学するまではこのような印象を抱いていました。しかし、社会学類法学主専攻での学びは、大人数に対して行われる座学のみの固い法律の授業だけではありません。法学主専攻には各学年20名前後の学生しかいません。授業では学生と先生方との間の距離も近く、疑問点を質問する機会も豊富です。学生達の素朴な疑問に先生方が真摯に答える学びの場が提供されています。ゼミでは自由で活発な議論が行われます。

さらに、法そのものについて深く考察する講義やゼミもあります。私は、小・中・高校生に対して法教育を行う授業案を考える中で、主権者である国民を守るための法のあり方について深く考えさせられました。裁判所見学等の課外授業によって実務を体感することもできます。

また、学際性あふれる本学では、多角的観点から法的問題にアプローチすることもできます。自由な議論の場で広い視野を持って問題を考察できる法学主専攻での学びをみなさんに是非お勧めします。

冨沢　元輝
（法学主専攻）



私が経済学専攻を選んだきっかけは、オープンキャンパスで受けた模擬授業でした。数式や詳しい理論のことはよくわからなかったけれど、楽しかったのです。

私は今、ゲーム理論と公共経済学の2つのゼミに所属しています。異なる内容の複数のゼミを受講することが可能である点は、「経済学」という学問に様々な角度からアプローチできるというメリットがあります。また、他大学に比べても学生の人数が少ないため、先生方との距離が近く、そのぶんわからない点を先生に聞きやすいので学ぶ環境は整っていると思います。

そして私が社会学類に入学し大学生活を送る中で一番驚いたことは、こんなにいろんな人がいるのだ、ということでした。同期のみんなの考え方、やっていること、やりたいことが自分に新鮮で良い刺激をもらっています。

社会学類では、入学後様々な分野の授業を受けることが可能で、自分の専攻を決める時間は十分に与えられていると思います。大学生活ではたくさんの出会いがあります。自分の何かを大きく変えるものもあるかもしれません。その中で、あなたが社会学類経済学専攻を選んでくれたならとても嬉しいです。

渡邉 ますみ
（経済学主専攻）

資格など

卒業要件以外の教職科目や博物館学などの単位を修得すれば、教員や学芸員などの資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（社会）

高等学校一種免許状（公民）

社会教育主事、学芸員、司書、司書教諭

卒業研究

社会学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 脱色化する祭り
- ネットにおける若者の行動
- 若者のつながりとカジュアルギフトの関係性
- 栄養学的知識の歴史社会学
- 「ライブアイドル」の社会学
- 「アメコミ」ヒーロー映画に描かれる「正義」
- 大衆文化としてのストリート・ダンスの構造と変容
- 教育すべき「子ども」と未来の「お客様」
- プロスポーツチームと周囲の支援から見える「地域」
- 科学語りと1968 の精神

法学主専攻：演習での検討課題抜粋

- 模擬裁判
- 民法に関する問題点の研究
- 民法財産法の判例研究
- 信託法に関する問題点の研究
- 株式会社の企業統治に関わる機関
- インターネットと法
- 刑法解釈
- 刑事手続の重要問題
- 司法試験問題の検討
- 国家公務員、法科大学院試験対策

政治学主専攻：卒業論文題目抜粋

- ＣＯＰ３における日本のリーダーシップ
- 転換期における日本農業の再編成
- 少子高齢化社会に向けての日本財政
- 官僚機構における組織合理性
- 震災後のいわき市における人口増加の政治学的分析
- 外国人集住地域における日本人の対外国人意識
- シンガポール政府の教育政策

経済学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 機械学習に基づく限定合理的なプレイヤーのゲーム理論分析と、そのモバイル実験環境の構築
- On a noncooperative coalitional bargaining game
- 先進国の事例から得る日本におけるマイクロファイナンス定着可能性の考察
- 日米中の成長モデルと経済思想
- ゲーム理論の混合戦略によるサッカープレイの実証分析
- ケニアにおけるマイクログリッドとMペサを例にみる電化率拡大の可能性
- 水道事業の経済分析
- 行動ゲーム理論の研究
- 一般者参加型ゲーム理論実験の企画遂行法とデータ収集法に関する研究
- 逐次的互恵均衡によるゲーム理論モデルの分析

卒業後の進路

最近の傾向でみると、就職する者が約7割います。その就職先は多岐にわたりますが、特に金融、メディア・情報通信、サービスならびに製造業分野に強く、多くの人材を輩出してきました。また公務員の道を選ぶ者も多く、全体の約2割をしめます。

一方、大学院進学や司法試験・公認会計士などの資格試験の準備をする者も、同様に約2割をしめており、将来、研究職や高度な専門職につく卒業生も少なくありません。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		社会科学を総合的に学習するために必要な基礎学力と、グローバル化する社会の様々な事象への関心や洞察力・分析力を併せ持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		社会科学を学ぶための読解力や表現力の基礎となる英語と日本語。また、地理や世界史・日本史および数学に関する基本的な知識も備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	入学後の学習に必要となる基礎学力および論理的思考力を十分に備えている人材を評価します。
	推薦入試	高等学校における学習をしっかりと身につけたうえで、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者を評価します。
	国際バカロレア特別入試	社会科学を学ぶために必要な高い基礎学力に加え、社会的な事象に対する深い関心と問題意識、明確な目標に向けて主体的に学ぶ力と積極性、語学力を含めた高いコミュニケーション能力などを総合的に評価します。
	帰国生徒特別入試（10月入学）	海外生活の経験に基づく国際性、幅広い国際体験に基づく視野の広さ、社会的問題に対する深い関心と理解力を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	社会的な事象に対する深い関心と問題意識を持ち、基礎学力の高さに加えて、論理的思考力および日本語の運用能力を有する人材を総合的に評価します。
	編入学試験	社会科学系の学問に対する高い問題意識と意欲を持ち、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関する初歩的な素養および論理的思考力を十分に備えている人材を評価します。
私費外国人留学生特別コース入試		（1）求める人材 グローバル化と情報化が進むなかで、政治的・経済的・文化的・国際的な諸問題に対して関心を示し、事象を学問的に分析できる応用力を備えた人材を求めています。 （2）入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、現代社会の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

主な就職先

- **金融・保険**：三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、ゆうちょ銀行、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、常陽銀行、千葉銀行、横浜銀行、静岡銀行、大和證券、野村証券、日本政策金融公庫、住友生命保険、第一生命保険、日本生命保険、明治安田生命保険、かんぽ生命、アクサ生命、オリックス、三井住友VISAカード、ジェーシービー
- **メディア・情報・通信**：朝日新聞、読売新聞、中日新聞、西日本新聞、信濃毎日新聞、NHK、テレビ朝日、関西テレビ、新潟テレビ、電通、野村総合研究所、NTT東日本、ソフトバンク、日立ソリューションズ、富士通エフ・アイ・ピー、NTTデータフロンティア
- **卸小売・運輸・サービス**：丸紅、丸善、楽天、日鐵商事、双日、ニトリ、ローソン、JR東日本、阪急交通、日本郵船、東急不動産、星野リゾート、真和エンタープライズ
- **製造・建設・電力業**：新日鐵住金、東芝、大日本印刷、日本ガイシ、リンナイ、P&G、日本ハム、プリマハム、味の素冷凍食品、住友林業、積水ハウス、トヨタホーム、大和ハウス工業、グンゼ、昭和シェル石油、古河機械金属、大林組、東北電力、九州電力
- **国家公務員**：総務省、厚生労働省、人事院、東京地裁、東京家裁、札幌東労働基準監督署、さいたま地裁、東京高裁管轄裁判所、国立国会図書館、名古屋家庭裁判所
- **地方公務員**：都道府県庁（東京、茨城、埼玉、静岡、栃木、岐阜、岡山など）、市役所（名古屋、横浜、さいたま、つくば、熊谷、春日部、堺など）、警察署（茨城、埼玉、千葉など）
- **教育研究機関・独立行政法人**：千葉大学、宇都宮大学、高エネルギー加速器研究機構、海洋研究開発機構、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、日本司法支援センター
- **進学(大学院)**：筑波大学、東京大学、東北大学、一橋大学、慶應義塾大学

社会・国際学群

国際総合学類

http://www.kokusai.tsukuba.ac.jp/

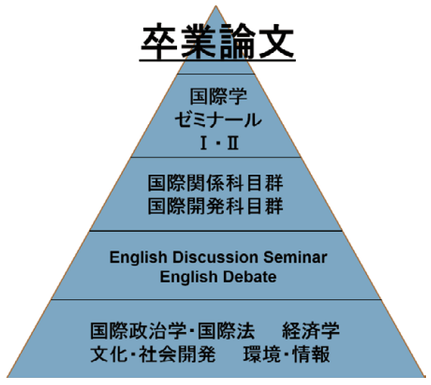
[人材養成目的]　グローバル化が進展する現在、複雑化する国際的な諸問題に対して、問題の本質を発見する洞察力と情報処理能力および分析能力を身に付け、先見性と独自性に富む解決策を提示する能力を備えた国際的に活躍できる人材を養成します。



ハワイ研修にて



ASHIPでの海外研修



主専攻	カリキュラム概要
国際関係学主専攻	国際関係学主専攻は、現代の国際問題に対する理解を人文・社会科学を中心に学際的な観点から深め、政策志向的な問題解決の能力を養うことを目標としています。国際関係学主専攻では、学生の選択の幅を広げるため、政治学、経済学、国際法、文化系領域など各授業領域ごとの垣根を低く設定していますが、それだけに自ら系統的に学習して行く努力が要求されます。
国際開発学主専攻	国際開発学主専攻では、国内外における新たな社会システム・概念の提案、人的資源の育成、合理的な合意形成に基づく社会基盤整備、情報・通信技術と社会との協調など、実社会において「創造・選択」をする際に必要となる知識や能力を養います。これに向けて本主専攻には、経済・社会開発の授業科目領域および、環境、情報・通信技術など開発工学の授業科目領域が設定されています。

主専攻分野	主な授業
必修科目	国際学概論Ⅰ（政治）、国際学概論Ⅱ（法学）、国際学概論Ⅲ（経済）、国際学概論Ⅳ（文化・社会開発）、国際学概論Ⅴ（情報・環境）
基礎科目	国際関係論、比較政治学、国際関係史序説、国際法概論、国際経済論、初級ミクロ経済学、マクロ経済学概論、グローバル・コミュニケーション論、文化・開発論、数理科学、情報科学、 English Discussion Seminar、English Debateなど
専門科目（国際関係学）	国際相互依存論、公共政策分析、アジアの国際関係、東アジア国際関係史、ヨーロッパの国際関係、ロシア政治、ラテンアメリカの国際関係、カナダ政治、日本政治、ヨーロッパ政治、中央アジアの国家と社会、ヨーロッパ社会経済史、 Globalization and Development、国際法Ⅰ、国際組織法、比較行政学、国際貿易論、ジャパニーズ・エコノミー、比較経済論、国際政治経済学Ⅰ、 Japan and the World、言語人類学、野外調査法など
専門科目（国際開発学）	開発人類学、社会開発論、国際教育論、教育開発論、人口と開発、北アフリカの経済と社会、開発途上国における諸問題、グローバル化の中の日本、世界経済史、地域開発論、計量経済学、統計科学、データ解析、応用数学、情報科学Ⅱ、Cプログラミング、パターン認識、宇宙開発、水環境論、都市文化共生計画、環境政策論　など

国際総合学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「国際総合学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8573 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学社会・国際学群国際総合学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は541430）

特長

二つの主専攻と多元的な教育体系

国際総合学類では国際関係学主専攻と国際開発学主専攻を設けています。主専攻を決める時期は３年次のはじめです。学生をはじめから主専攻に振り分けるのではなく、カリキュラムについての説明、指導を受けながらそれぞれの主専攻の科目を系統的に履修することによって、学生自らが自主的に主専攻を決めていくようにしています。教育課程は、❶政治・法学、❷経済、❸文化・社会開発、❹情報・環境を中心にカリキュラムを構成し、主たる専門分野を中心にしながらも、両主専攻の科目を幅広く学び、広い視野を涵養するように工夫されています。

現実の問題についての理解力と対応力を備えた人材を養成するために、卒業論文の提出を義務づけています。

これらの研究指導では、現代社会の問題をテーマとして、学際的なアプローチをとらせながらも、自分が選んだ学問分野のスキルを身につけられるように指導しています。

また、高い職業意識を持つ人材の育成を目的として、学生が在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を行うインターンシップの制度も取り入れています。海外でのインターンシップにも力を注いでいます。

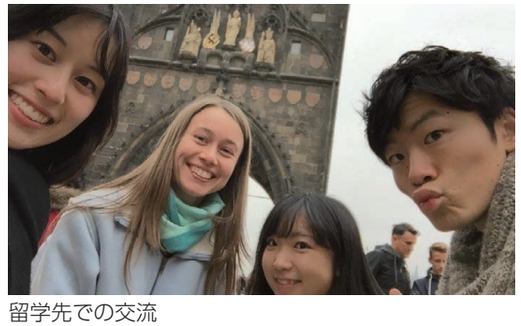
コミュニケーション力の養成

これからの時代に必要な、英語を中心とするコミュニケーション能力の向上や、情報処理技術の修得に力をいれています。そのため、国際総合学類では３分の１近くの授業を英語で行っています。これは単純に英語を重視するというよりも、異なる文化背景による異なる言語上での他者とのコミュニケーション能力を培うためです。その中にはディスカッション中心のものや日本の伝統文化を英語で読み解く授業もあり、留学生・日本人学生双方がこの能力を育てられるように設置されています。これらを通じて、卒業までに、専門分野について英語で水準の高い議論ができる程度の力を身につけることが期待されています。そのため、多くの外国人教員や外国の大学で教育に携わってきた教員による、英語の講義や演習を大幅に取り入れています。

文・理融合教育

政治学の理論や政策決定のプロセス、経済動向、またその背景にある文化等を学ぶことで世界の変化を定性的に理解できるようにすると同時に、統計学やデータ分析の授業で数値による定量的な分析能力が身に付くように養成します。本来、政治学・人類学といった文系の学問と数学・経済学・情報工学・環境工学といった理系の学問は、融合すべき密接な関係を持つものです。工業化社会においてこれまで実現されてきた産業的発展は生命のない物質面に偏重し、これと全く同様に大切な社会的・政治的あるいは精神的な面との有機的関係が軽視されてきたことは否めません。その結果として、環境破壊、資源エネルギーの枯渇、貧富の差の拡大、それに伴う民族紛争などの困った問題が後を絶ちません。理系・文系双方の分野からなる学際融合教育を目指す当学類の特徴を活かして、当学類で学んだことを人類全体の物心両面にわたる快適な生活の充実に活かしていってほしいと願っています。さらに、フィールドワークの授業も設置されており、どう分析するのかを実践を通して学ぶことが可能です。


ゼミの風景


留学先での交流

海外留学など

国際総合学類では在学中の留学を奨励し、特定の協定校との交換留学制度の拡充をはかっています。この交換留学制度を利用して留学した場合、修得した科目の単位を内容に応じて一定限度まで学類の単位として認めています。毎年15～20名の学類生がアメリカ、オーストラリア、オランダ、ロシア、チェコ、中国、韓国などの大学に１年間留学しています。そして、海外からほぼ同数の留学生を受け入れています。この他にも、語学研修やインターンシップを目的として、海外に渡航する学生が毎年30名ほどいます。英語研修については、オーストラリアやニュージーランドの著名な大学での研修に参加できます。このような活動を通じて、国際総合学類では、全体の４割程度の学生が１年間の海外生活を経験します。

また、私費外国人留学生、国費外国人留学生を積極的に受け入れており、一方では、帰国生徒入学制度も導入しています。このように、本学類は学生の構成という面からも国際性豊かなコミュニティーであるということができます。

主な協定校への留学先

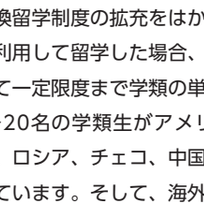
カリフォルニア大学（バークレー校，ロサンゼルス校、サンディエゴ校など)、マサチューセッツ大学アマースト校、オハイオ州立大学、ペルー・カトリカ大学、オランダ・ユトレヒト大学、チェコ・カレル大学、オーストラリア国立大学、ロシア・サンクトペテルブルグ大学、ウズベキスタン・タシケント国立東洋学大学

卒業論文

論文題目の例

- 感染症対策における文化的対立　－エボラ出血熱の蔓延を例に－
- フランス保護領期のハノイにおける住宅地の形成と現代における変容
- スペインは何故没落したのか　－英国との比較－
- 条約の留保に関する一考察　－人権条約に対する留保を中心として－
- オフショアリングが自国経済に与える影響：理論分析とケーススタディ
- 開発途上国の障害児教育に対する日本の援助　－スウェーデン・アメリカとの比較から見るその課題と展望－
- 韓国における教育疎外層の形成と格差解消への取り組み　－生涯教育政策の視点から－
- ミャンマー軍事政権に対する米国の対応　－米中緬三国間関係の観点から－
- 異文化マネジメント　－IN-OUT型M＆Aの現状とこれから－
- ロシア・サハリン州と北海道における官民主導の経済交流に関する実証研究
- 汚染逃避地効果の検証　－東・東南アジア途上国とG7の貿易に焦点をあてて－
- 日本における外国人の「不法就労」について
- ヨーロッパにおけるエネルギー安全保障　－EUとその東方近隣諸国を中心に－
- 1930年代の日本外交　－対英関係の視角から－

卒業生の声



様々な機会を通じ、自身の可能性の探求・成長を！

5期　福丸博之
三菱商事株式会社 ロジスティクス総括部

「ロシアのクリミア半島編入に対し欧米諸国が同国に制裁発令」、「シリアが内戦状況に」、「イスラム国（過激派組織）によるテロ」、「ギリシャ財政危機」、「ネパールで大地震発生」・・・これら最近のニュースを聞くと、私の仕事は俄然忙しくなります。

私は総合商社で、これら経済制裁、内乱、テロ行為、為替の制限・禁止、自然災害等で海外における事業が損害を受けるリスク（一般的に「カントリーリスク」と呼ばれています）をカバーする特殊な保険（貿易保険）を扱っております。

仕事上、日々の国際政治・経済情勢が直接関係し、社内の世界ネットワーク等による関連情報に接しながら業務を遂行しております。また、特に発展途上国向けプロジェクトにおいて十数年もの間、当該国のカントリーリスクを一民間企業で保有することは現実的ではなく、保険引受者（実質日本政府）に対する保険引受交渉が実を結び当該プロジェクト遂行、ひいては当該国の経済発展に寄与出来ることでこの仕事にやりがいを感じています。

さて、今思い返せば、私の大学時代（四半世紀ほど前、入学は昭和！）は多くの友人との出会い、旅行等であっという間でした。

当時、インターネットやスマホ等はなく、同じ学類、サークル等で知り合った他学類の友人、留学生等と直接朝まで語り合った日々。（1年生の時、同級が何気に貸してくれた北朝鮮に関する本を読み、当時関心が薄かった同国に興味を持ち、卒論テーマに選んだことも思い出の一つです）

また、纏まった時間がとれると、ふらっと国内（北海道、東北一周や船で29時間かけて行った沖縄等）やバックパッカーで海外（アジア、欧州、北米、オセアニアの10ヵ国以上）を旅し、現地人や世界からの旅行者との出会い等様々な現地体験は今もって私の考えや行動に良い影響を与えています。

現在、世界は激動の時代を迎えていると感じており、本学類で学んだ政治、経済、歴史、宗教、文化、安全保障等は、世界の動向を理解する上で今なお役に立っています。まさに、これら幅広い分野が学べる本学類は、現代を理解する知識、対応するヒントを与えてくれると思います。

そして、共に学ぶ友人、深い専門知識をお持ちの先生方、世界・幅広い分野に散らばるOB/OG（ＦＢのグループメンバーは800名以上！）等の存在は、自分を見つめ直し、自らの可能性を探求し、自身の価値を高めることに有益だと思います。

本学類には、このような自分の可能性を探求し、高める多くの機会が存在します。これら貴重な機会を逃さず、自身が大きく成長されることを願ってやみません。

（大学時代は長いようであっという間ですよ・・・）

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許：中学校一種免許状（社会、英語）
　　高等学校一種免許状（公民、英語、情報）
社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

卒業生は社会の多様な分野の国際部門で活躍しており、それぞれの分野で高い評価を得ています。本学類生が伝統的に強い外務公務員、一般公務員など官公庁、総合商社、マスコミ、金融等に加えて、最近では製造業、流通業、運輸・通信・情報業などの分野に職を得る人が増えてきました。本学類生の進学先は多様化しており、修士号以上の学位を取得した後に国際公務員を目指す人もいます。

主な就職先

外務省、財務省、防衛省、経済産業省、東京国税局、JICA、ジェトロ、日本赤十字社、三井物産、三菱商事、住友商事、電通、朝日新聞社、読売新聞社、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、富士通、マイクロソフト、野村證券、キヤノン、パナソニック、野村総研、日本航空、全日空、商船三井ほか。

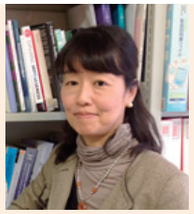
主な進学先

筑波大学大学院人文社会科学研究科、同システム情報工学研究科、同生命環境科学研究科、同人間総合科学研究科、東京大学大学院法学政治学研究科、同公共政策大学院、同新領域創成科学研究科、一橋大学大学院経済学研究科、東北大学法科大学院、東京工業大学大学院総合理工学研究科、京都大学大学院アジア/アフリカ地域研究研究科、名古屋大学大学院国際開発研究科ほか。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		既成観念にとらわれず、多様な価値観の存在を想像しながら、ものごとを観察し、何が問題かを見分け、何をどうすればいいのか、筋道をたてて考え、それを周りに説明でき、理解者を増やしていく意欲・チャレンジ精神をもつ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		優れた外国語能力、国際人として必要な地理歴史の基本的知識、基礎的な数学の知識を備えていること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	高い基礎学力と優れた語学能力に加えて、地理歴史または数学の能力を総合的に評価し選抜します。
	推薦入試	基礎学力とコミュニケーション能力に加えて、国際関係や国際開発への幅広い関心と強い学習意欲を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、国際関係や国際開発の諸問題を主体的に学ぶための知識や思考力、問題意識、明確な目標をもって学ぶ意欲、語学力を含めたコミュニケーション能力を総合的に評価し選抜します。
	帰国生徒特別入試（10月入学）	海外生活の経験に基づく国際性と協調性に加えて、国際関係や国際開発の諸問題に対する深い関心と理解力を総合的に評価し選抜します。
	私費外国人留学生入試	国際関係や国際開発の諸問題についての深い関心に加えて、入学後の学修に必要な基礎学力・語学力と知識を総合的に評価し選抜します。
私費外国人留学生特別コース入試		（1）求める人材 グローバル化と情報化が進むなかで、政治的・経済的・文化的・国際的な諸問題に対して関心を示し、事象を学問的に分析できる応用力を備えた人材を求めています。 （2）入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、現代社会の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

教員からのメッセージ



井出里咲子 准教授
（言語人類学）

言語人類学、社会言語学という学問を通して、ことばと文化の相関関係や異文化コミュニケーションについて研究しています。日本人はなぜ頻繁に「すみません」というのだろう?アメリカ人はなぜジョークが上手いように聞こえるのだろう？といった疑問について、実際に会話データを取って分析し、ことばの用いられ方に現れる文化的な手触りの仕組みについて明らかにしてきました。

高校時代はイルカの調教師 という職業に憧れていました。また、マザーテレサの影響で、国連勤務がしたいという夢も持ちました。しかし、どちらも中途半端なまま、大学の卒論で手がけたアメリカの教育テレビ番組「セサミストリート」の分析をきっかけに、社会が言語の多様性を認めると同時に、言語を統一しようとする二つの流れに興味をもち、研究の道に足を踏み入れました。

この社会はすべてコミュニケーションで成り立っていることを考えると、言語というのは、政治、経済、通貨と同様に価値の体系としての動的な様態をもつものです。同時に、詩歌や文学を生み出す創造性の源です。研究の醍醐味は、他者への偏見やステレオタイプなども含めて、差異の構造を説明し、ミクロ、マクロのレベルで異文化を説明する面白さにあると思います。最近は、日本と米国女性の出産育児体験の語りの比較から、両者の描く家族、社会観の違いを浮き彫りにしました。今後は異文化間コミュニケーションにおける「空気の読み方」の違いを分析していく予定です。

筑波大学は広くてキャンパスも魅力的ですが、是非つくばを出て、自分の足でさまざまな土地を歩いてまわってください。子供の頃はとても臆病者の私でしたが、大学院時代の友人たちに感化され、時に好奇心に突き動かされて、世界の多くの場所を旅したことが今の私の世界の見方の礎となっています。またコミュニケーション力や語学力を磨くためにも、いろいろな人と語り合い、考え続けてください。そして必ずこの地球をよりよい場所にしていくのだという強い自覚のもと、人生を逞しく切り開いていっていただきたいと思います。

人間学群

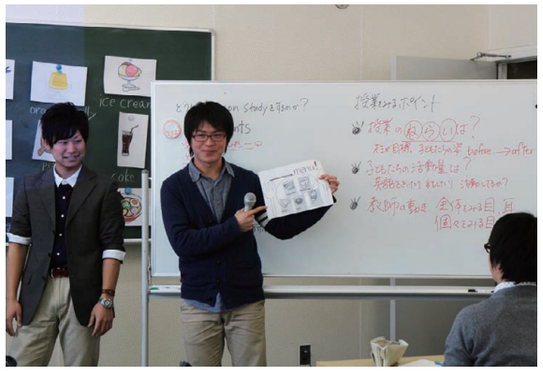
教育学類

http://www.human.tsukuba.ac.jp/education/college/

[人材養成目的]　人間形成、学校教育開発、教育計画・設計、地域・国際教育にかかわる教育学の専門的知識・技能を活用し、学校、自治体、民間機関、国際機関など様々な分野で貢献できる人材、研究能力を有する人材を養成します。



「わたしたちクラス代表はみなさんの入学をお待ちしています！」



授業のひとこま（初等外国語活動）

主専攻とコース

共通科目		＜人間学群共通科目＞　教育基礎論、心理学、障害科学、キャリアデザイン入門、人間フィールドワーク等	
		＜教育学類共通科目＞　教育インターンシップ実践演習、教育学研究法、教育学実践演習、卒業研究等	
コース	系列	学べる内容	主な授業
教育学コース	人間形成系列	教育に関する基礎について学びます。世界や日本の歴史をさかのぼって、教育という営みや学校というものがどのように成立・展開してきたかを考えたり、今日の教育のあり方を導いた人物の足跡・思想を捉え直したりします。教育の本質や原理を考える教養を習得し、学界や教育界の多様な分野への進路選択が期待できます。	教育哲学、日本教育史、道徳教育論、比較道徳教育論演習、教育思想論演習、キャリア教育論、アジア教育史
	教育計画・設計系列	現代社会では、教育実践の営みは国や地方自治体あるいは機関・団体などによる支援のもとに成り立っています。教育計画・設計系列では、教育の制度、行財政・法制、学校の組織・経営について、理論や歴史、日本や諸外国の制度や実践から学びます。そして、これからの学校教育のデザインと支援を開発・提言・実践できる人材を育成します。	教育制度論、比較教育制度論、教育行財政論、教育制度論演習、学校経営論、学校経営論演習、教育法制・行財政論演習、比較学校経営論
	地域・国際教育系列	教育的営みを社会・文化とのかかわりで実践的・理論的に探求します。地域社会における教育・学習活動について幅広く理解し、公民館、図書館、博物館、カルチャーセンターやスポーツ施設等の生涯学習の場で学習支援を行う地域社会教育の専門家、あるいは国際理解教育など国際的な場での教育支援に従事する専門家の道を目指してほしいと考えます。	教育社会学、生涯学習論、教育援助政策論、地域と教育、言語と教育、環境教育論、生涯学習論演習、教育社会学演習
初等教育学コース	学校教育開発系列	児童・生徒の成長とともに学校での教師のかかわり方は変わり、社会背景とも絡みながら、学校は進化し続けます。そんな学校教育の基礎・基本を学び、さらにそれを基盤として進化する学校教育に適応し、よりよい方向に変えていく力をもつ人間を育成することが学校教育開発系列の目指すところです。また、初等教育学コースでは実践的研究力を身につけた教員としての資質・素養を学ぶことができます。	教育課程論、社会認識教育論、数学教育論、科学教育論、児童文学論、初等教科教育法、教育臨床学演習、カリキュラム開発演習



新入生オリエンテーションのひとこま

教育学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形2 号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205 円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「教育学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8572 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学人間学群教育学類（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は541330）

進化を続ける「筑波教育学」

教育学類には約30名のスタッフがおり、教育学のあらゆる分野をカバーします。スタッフは皆、それぞれの専門分野で学界の研究をリードし、国や地方自治体の教育政策の形成に関与しているスタッフも少なくありません。

教育学類は、教育への理論的関心も実践的関心も大切にします。学生諸君にとって、これほどバラエティに富んだ分野を包摂している教育学の学士課程は、珍しいと言えるでしょう。教育学類で学ぶ皆さんは、特定の狭い視野にとどまらない、多元的・多角的な視座から、教育問題に対する総合的な見方・考え方を獲得することでしょう。

このような筑波教育学は、明治以来、連綿として受け継がれてきた「教育学の総本山」としての歴史と伝統の中で培われてきました。日本の教育学をリードする多彩な教授陣が、最新の研究成果をもって教育学の面白さを伝え、理論と実践力を兼ね備えた人材を育成します。「筑波教育学」は常に進化し続けています。たとえば、2012年度からは、小学校教員免許状を取得できる「初等教育学コース」が誕生し、2016年3月には第1期生が卒業しました。



緊張した面持ちの新入生
（入学式直後の人間学群オリエンテーションにて）



緊張がほぐれた新入生
（教育学類の新入生と担当教員）

優秀卒業研究賞

人間学群では、毎年度、「修学・教育活動、課外活動において優秀な成績を収め、或いは顕著な功績のあった学生」を対象とした人間学群長賞表彰を実施しています。平成28年度、教育学類からは、卒業研究の成績が優秀であった小川祥史さんと小川和哉さんが人間学群長賞を受賞しました。

小川　祥史

〈卒業論文のテーマ〉
発達障害傾向のある大学生におけるピア・サポートの効果の検討



喜びの笑みを浮かべて
（人間学群長賞表彰式・学位記授与式会場にて）

小川　和哉

〈卒業論文のテーマ〉
「大東亜共栄圏」をめぐる英語教育の戦時編制

海外での勉学チャンス

海外留学

教育学類の学生は、人間学群が交流協定を結んでいる海外の大学への交換留学に応募することができます。協定校に留学すると、❶留学先での習得単位が教育学類の単位として認定される、❷筑波大学への授業料を納入すれば、留学先の授業料は納入不要、というメリットがあります。現在、協定校は、カリフォルニア大学やベルリン自由大学などの大学間（全学）協定校をはじめ、国立台湾大学や南インディアナ大学などの部局間（人間学群）協定校です。

タイの学校での日本語補助教員実習

人間学群のコア科目の一つ、「国際教育協力実習」では、約３ヶ月間タイにホームステイしながら、カセサート大学附属学校またはコンケーン大学で日本語補助教員としての実習を行います。旅費は自己負担ですが、毎年、数名の学生が海外の学校での教育実習の貴重な体験をしています。

教育学類での学び

教育学の総合性と４つの系列

教育学類では、教育学の総合性に対応した４つの系列を設けています。すなわち、「人間形成系列」「学校教育開発系列」「教育計画・設計系列」「地域・国際教育系列」です。

学生はこれらすべての系列に関する科目を履修しますが、将来の目的に合わせて特に関心のある系列を1つ選び、その系列に含まれる授業を集中的に学ぶことになります。そこで学んだ知識・技能を活かして、４年次に卒業研究をまとめていくことになります。

ただし、教育学類では、学生に各系列に「所属すること」を求めていません。その理由は、１つの系列のみの知識・技能を習得することよりも、教育学に関する知識・技能を全般的に学ぶことの方が、教育に関連した優秀な理論家・実践家となるのに有効であると考えているからです。

なお、新設された初等教育学コースは、「学校教育開発系列」の一部として組み込まれています。

卒業生からのメッセージ

10年後の姿を描いてみませんか？

平成18年度
人間学類教育学主専攻卒業
（筑波大学人間系特任助教）

星野真澄

「教育学研究者になりたい」
高校生の時に「10年後の私」という作文の中で思い描いた夢。それを実現させるために筑波大学で教育学を学び、数多くの研究者を輩出している筑波大学の博士課程に進学して、博士号を取得したい。そんな夢と希望を持って平成16年に筑波大学へ入学しました。

充実した大学生活を送る中で、大学を３年間で卒業できる「早期卒業」という制度を知り、博士号取得の計画は、その制度にチャレンジすることから始まったのです。念願の大学院へ進学すると、学内での授業はもちろんのこと、学会活動を通じて、教育界の至る所で活躍なされている諸先輩方との交流も深まり、あらためて筑波大学の教育学の偉大さを認識しました。

筑波の教育学は、「教育学の総本山」として明治以来受け継がれてきた歴史と伝統の中で、豊富な教授陣から手厚い指導を受けることができる環境にあります。こうした先生方の的確な指導と心温まる励ましのお陰で、私は平成26年3月に博士号を取得することができました。

「教育学研究者になりたい」と思い描いた高校時代からちょうど10年。夢に向かってまたこの先10年も充実した日々を過ごせるよう、具体的な目標を立てて、ゆっくりとじっくりと歩んでいきたいものです。

みなさんも10年後の姿を思い描いてみませんか？

「教育学の総本山」で、一緒に教育学を研究しませんか

平成26年度教育学類卒業
（筑波大学大学院
人間総合科学研究科院生）

村田翔吾

「教育学を学びたい」と考えている皆さんにとって、筑波大学人間学群教育学類は、日本で最も恵まれた環境にあるといっても過言ではありません。教育学類では、教育に関する様々な分野の先生による講義を受けることが可能です。また、教育に関する様々な関心を持つ仲間たちと共に学ぶことが可能です。

教育学というと、学校の先生になるための学問と思われるかもしれません。それは間違いとはいえませんが、実はもっと幅が広く、奥が深い学問です。例えば、日本及び外国における教育の歴史、各教科の教育的意義、学校における教育課程、指導における方法と評価、学校教育の制度、学校の運営、成人の学習、諸外国の教育など、これらはすべて教育学類で学ぶことができる内容です。このように教育学には、多種多様な研究分野が存在しますが、教育学類では、各分野の第一線で活躍されている先生から指導をいただくことができます。

私は、教育学類に入学して、教育という営みに対する自分の認識の狭さを痛感しました。けれども、先生方や仲間達と出会えたことで、入学前では気づくことのなかった、教育学の魅力に気づくことができました。そして、私は現在、大学院に進学し、教育学の研究を続けています。ぜひ私達と共に教育学を研究し、充実した4年間を過ごしてみませんか。

授業の形態

専門の授業は、講義、演習、実習など様々な形態で行われます。講義であっても受講生の数は最大40名程度で、演習や実践演習の場合は数名の受講生ですから、とても密度の濃い指導を受けることが可能です。授業づくり、ソーシャル・スキルトレーニング、学校訪問観察など、各専門分野に応じて多彩な体験的活動も取り入れられています。卒業研究に向けての本格的な指導は、３年次に履修する教育学実践演習で着手することが可能です。

資格など

教員免許

小学校一種免許状
中学校一種免許状（社会）
高等学校一種免許状（地理歴史、公民）
※他学類の授業を履修すれば他の教科の免許状も取得可能です。

他の資格

社会教育主事、学芸員、司書教諭





附属小学校の子どもたちとの交流

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人間社会が形成してきた文化や教育・学習活動に対する幅広い関心と高い問題意識を抱き、学問的に深めたいという志を持ちながら、自主的に学び、考え、科学的、論理的、かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		人間の発達や支援、教育について、様々な考え方や見方に触れることにより、人間、社会、自然に関する興味と関心を培うようにして欲しい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科のいずれかの学力を総合的に評価します。
	推薦入試	一定のレベル（高等学校の上位10％以内）の学力を有し、教育学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、教育学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。あるいは、教育学について明確な問題意識を持ち、その問題意識に関連した優れた活動実績を有するかどうかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、教育学類の学習について明確な目的意識を持ち、教育に関する領域で国際的視野に基づく活動を志しているかどうかを評価します。
	私費外国人留学生入試	教育的な事象に対する強い関心と問題意識を持ち、基礎学力の高さに加えて、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を総合的に評価します。

卒業後の進路

これまで人間学類教育学主専攻の卒業生は、社会のさまざまな分野で活躍してきました。教育学類になって以降も、それは変わらないものと思われます。

過去５年間の人間学類教育学主専攻の卒業生の進路をみてみると、年度によって変動はありますが、約３割～４割が進学で、６割～７割が就職になっています。進学先は、本学の大学院修士課程教育研究科か博士課程人間総合科学研究科が多くなっています。就職先は、教員、公務員のほか、教育関連企業、出版、放送、金融など幅広い業種にわたっています。

最近の傾向としては、「進学」が増えていることが挙げられます。大学院修士課程教育研究科へ進学した者の中には、修了後、中学校・高校等の教員として就職していく人が数多く含まれています。また、大学院博士課程に進学した者の多くは、大学教員・研究者の道を選ぶケースが多いです。

さらに、新設された初等教育学コースでの小学校教員免許状取得により、実践的研究力を身につけた教員として学校現場で活躍する卒業生が多くみられるようになるでしょう。



人間学群

心理学類

http://www.human.tsukuba.ac.jp/psyche/college/

[人材養成目的]　人間の心と行動に関する幅広い興味や関心を基盤に、人間の心や行動を科学的・実証的に分析し理解する姿勢及び専門的な知識や技能を身に付け、さらに、これらの学習成果を生かして、実際的な問題を主体的かつ創造的に解決する能力を有し、国際的にも通用する知性・人間性・逞しさを備えた人材を育成します。



1年生には心理学の概論の講義だけでなく、研究を遂行するための心理学の方法論や心理統計、さらには大学院進学に関するレクチャーまで、幅広い内容の授業が用意されています。将来を見据えて学ぶ学生の目は自然に真剣なものになっていきます。

心理学は、人間の心を科学的・実証的に探究しようとする学問です。日常生活の中で私たちが見たり、注意をしたり、思い出したり、あるいは考えたりといった精神活動や、うれしかったり、悩んだりといった様々な人生体験を対象として研究します。このような精神活動や体験は、手にとって直接的に「ものさし」をあてて測ることができませんので、何らかの方法で間接的に測ることになります。そこに心理学の難しさと創造性を発揮する楽しみがあります。心理学は、たいへん間口が広く、生理、比較、感覚知覚、認知、学習、教育、発達、社会、臨床などの多くの専門分野があり、深い人間理解が可能となる魅力的な学問です。

専門として学べる内容

入学後は、1・2年次で心理学の基礎的な知識を学ぶと同時に、統計や実験、調査といった科学的実証的な研究を行うための手段を方法論として学びます。2・3年次からは主体的に選択して専門分野の講義を受けつつ、演習で最新の研究動向を勉強します。同時に、実際に自分で研究計画を立て、データを集め、分析し、まとめ、発表するという一連の研究実習を行います。そして、この研究実習体験に基づいて、4年次に各自の興味関心に応じた分野で卒業研究を行います。

心理学類のカリキュラムは、学類共通と5つの研究領域、すなわち、実験心理学、教育心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学から編成されています。

学類共通の授業科目では、全般的な心理学の基礎知識や、心理統計や実験実習など方法論の習得を目指します。4年次で作成する卒業論文は心理学類における教育の総決算です。

研究領域	学べる内容
実験心理学領域	視覚、聴覚、嗅覚などの感覚や知覚の興味深い現象やその仕組み、人と動物の心の共通性や違い、学習・記憶、感情、動機づけ、ストレスなどの脳やホルモンのメカニズムについて学ぶことができます。
教育心理学領域	人々の教えあいと学びあいのプロセスの仕組み、とくに学びを支えることばなどの社会文化的仕組みや、記憶や認知現象などの基本的仕組み、そして学びを通した能力の発達や変化、さらに心の変化を測定する方法などについて学ぶことができます。
発達心理学領域	対象とする年齢によって、幼児、児童、青年、老年の心理学に大きく分かれますが、一生の発達を統合的に扱おうとする立場もあります。発達は時間的変化という点で1つの研究法ともいえますので、認知の発達、感情の発達といった点から心を捉えることも可能です。発達臨床心理学では親子関係や子どもの発達の様々な問題の理解とケアに取り組みます。
社会心理学領域	個人と社会の関係を心の働きという側面から理解する分野です。そこでは、集団が個人の行動や意識に与える影響、対人関係の心理、人種や性別による偏った人の見方、災害時の行動やマスメディアの影響などの社会現象、攻撃といった社会行動の病理的側面などについて学ぶことができます。
臨床心理学領域	心理的障害や不適応に関する基礎理論や臨床的方法について学ぶとともに、ストレスの問題など個人及び集団の心と身体のウェルビーイングについて心理学的視点から検討します。またパーソナリティの理論と病理、カウンセリングを支える理論と技術についても学ぶことができます。脳の損傷と認知の障害との関連についても学習できます。

心理学類パンフレットの請求方法

●返信用のレターパックライトもしくは400円分の切手を貼った角形2号封筒を下記の請求先へ送付してください。請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「心理学類案内請求」と必ず朱書してください。「つくばの心理学」も同封されます。

請求先 〒305－8572 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学人間学群事務室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は541340）

特長

心理学は19世紀後半に誕生し、現在では1人の心理学者ではすべてをカバーできないくらい、研究対象や研究方法は多岐にわたっています。心理学に関係する学会も、日本に限っても50以上あります。今日、心の問題やカウンセリングなどに興味をもつ人々が増えていることもあって、心理学を学ぶことのできる大学も数多くあります。しかし、専任の教員を約25名抱え、脳と行動の基礎研究から心理臨床に関する実践研究まで、ほぼすべての分野にわたって心理学を学べる大学は筑波大学の心理学類をおいて他にはありません。

①体系的なカリキュラム
　共通科目から個別的な専門科目、そして卒業研究まで、段階的に学ぶことができます。

②豊富な科目構成
　多彩な専門科目が用意され、各自の興味関心に従って、より深く学ぶことができます。

③多様な心理学的知識の学習
　実験心理学から臨床心理学まで、幅広く偏りなく学びます。

④新たな知識を「産み出す」ためのメソッド
　知識を産み出すための方法を講義や実験で体得し、ツール（統計、英語）もしっかり学びます。

⑤実践的科目の充実
　実践的・実習的な演習科目も用意されており、リアルな学びが得られます。

以上のように、心理学類では、学生の皆さんひとりひとりの興味・関心に応じて、心と行動への多様なアプローチを身につけることができます。講義や少人数での演習もたくさん用意され充実しています。



2年生の研究実習の授業です。学生と年齢の近い新進気鋭の若手教員から、具体的な研究方法を習い、そのあと実際に自分たちでやってみます。



学生は実験実施者になって実験の教示を行ったり、実験協力者になって実験課題を遂行したりします。

心理学への招待



金井　雅仁

心理学類
（平成21年度入学）
出身校：常総学院高等学校

「心理学やっています。」というと、「人の心読めるの？」と聞かれることがあります。何もしていないのに「私の心、勝手に読まないでね！」と釘をさされることもしばしば・・・。ですが残念なことに、心理学では人の心を読めません。そもそも「心理学＝他人の心を読む」という認識が心理学に対する大きな誤解なのです。心理学とは科学であり、人間の心を科学的に探求しようとする学問です。人の心について考えることはあっても、ふだんの生活の中で相手の心を読んだり、その人の考えていることを当てようとしたりすることはまずありません。多くの場合、実験や調査、面接などにより得たデータを統計的に分析し、そこから人間の精神活動に対する科学的な知見を得ることを目的としています。

また、心理学と聞くとカウンセリングのイメージを持つ方も多いと思いますが、心理学で取り扱う領域はこれだけにとどまらず、知覚、認知、行動、対人関係、発達、心理測定など様々なものが心理学の対象になります。

筑波大学の心理学類では、多様な領域の心理学を学ぶことができます。そのため学生の興味もいろいろで、同じ心理学類の学生でも人それぞれ全然違う「心理学」に興味を持っていると言ってもいいくらいです。皆さんもこのような夢あふれる環境の中で、人間の「心」の探求をしてみてはいかがでしょうか。

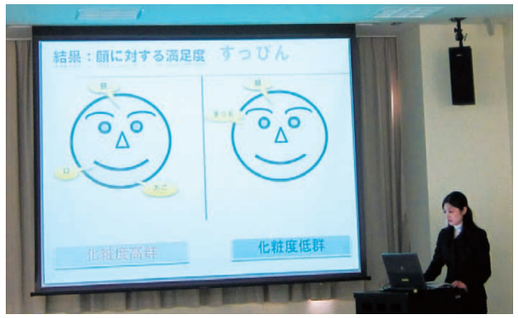
卒業後の進路

心理学類生たちの進路について紹介しましょう。筑波大学で心理学を学んだ卒業生たちは、社会のさまざまな分野で活躍していますが、卒業後の進路は、大学院などへの進学と社会に出て職に就く就職とに大きく分かれます。

進学の場合、ほとんどが大学院への進学になりますが、学士入学で大学に入り直す人や、資格を取るために専門学校に進学する人もいました。大学院へ進学する場合、博士課程前期あるいは後期を終えると再び進路を決定しなければなりません。大学院修了後の見通しをもって進学することが望まれます。

就職は、(1) 企業／団体、(2) 公務員等、(3) 教員 の3つに大きく分かれます。企業には製造業からサービス業までいろいろな業種があります。卒業生たちは、営業職から人事担当まで、いろいろな部署に配属されているようです。公務員は国家公務員や地方公務員があり、心理職で受験する人も行政職で受験する人もいます。教員については、県の教員採用試験を受ける人、私立学校の教員となる人がいます。公務員試験や教員採用試験はかなりの狭き門ですが、強く決意してその道を目指した学生たちの多くは、夢を実現させています。

現代では、同じ職場で一生涯働き通すということが一般的ではなくなりつつあります。卒業後、3年、5年、10年と月日がたつと、就職した人が転職したり、大学院に進学した人が修了後に教員になったり、就職した人が大学院に入り直したりと、進路が変わっている可能性も高いのです。心理学類に入学したからといって、就職先が確保されるわけではありません。また就職先が限定されるわけでもありません。大学生の進路は、本人の努力次第で無限に広がります。心理学を大学で学んだからといって、必ずしもそれだけにこだわる必要はありません。心理学は、自己理解と他者理解に役立つ学問ですから、人と人がかかわる多様な場面に役立てることができます。学んだ知識と方法論はあらゆる職場で活用できるはずです。皆さんも、働く人生の夢と希望を、心理学を学びながら育てていってください。



卒業研究発表会では、学会発表とほぼ同じ形式で発表と質疑を行います。


池と芝生と広場に隣接する研究棟で、心理学の実験を行います。

資格など

心理学類では公認心理師の受験資格が取得可能な教育体制の検討を進めています。

取得できる資格

教員免許

高等学校一種免許状（公民）

心理学関係

認定心理士（社団法人日本心理学会）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業研究発表会が終わった後の４年生は，ホッとする気持ちとやり遂げた達成感とで誰もが笑顔になります。自分が知りたいと思うことを研究によって明らかにし論文にまとめる。これが４年間大学で心理学を学ぶことの意味です。これは教育機関と研究機関を併せ持つ大学という場所でなければできません。

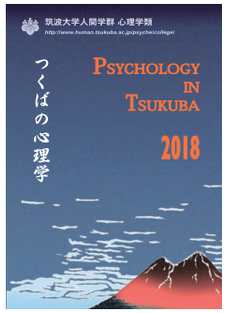


つくばの心理学

心理学類の全教員が執筆している「つくばの心理学」という小冊子があります。各教員の研究内容や心理学の研究知見をわかりやすく紹介した研究アラカルト、卒業生からのコメント、さらには心理学類の教員が選んだお薦めの図書など、筑波大学で心理学を学びたい受験生にはぜひ読んでいただきたい一冊です。心理学類のパンフレット請求をしてくださるといっしょに郵送いたします。



「心理学類パンフレット」



「つくばの心理学」

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人間のこころと行動に高い関心と興味を持ち、さらには、人間を深く理解しようとする探究心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校での学習内容を深め、特に英語書籍・論文を理解できる英語力を習得していることが望ましい。さらに、自分の考えを明確に伝える日本語および英語の表現力を高めておくこと。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と英語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科のいずれかの学力を総合的に評価します。
	推薦入試	一定レベルの学力を有し、人間のこころと行動について明確な目的意識を持つ人材で、心理学類の教育に適応性があるか評価します。または、人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、それに関連する自主研究やクラブ活動、社会活動等において優れた実績を有するかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、心理学類の学習に関して明確な目的意識を持ち、心理学の領域において国際的視野に基づく活動を志す人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	心理学類の学習に高い関心を有し、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語運用能力を有する人材を選抜します。

心理学類をめざすみなさんへ　先輩たちからのエール



渡邊　佑太さん

私は、勇気を持つことと精神的な健康との関連について卒業研究を行いました。丁寧な指導をしてくださった指導教員をはじめとして、先輩や同期の友人達など、たくさんの人たちに支えてもらうことができ、非常に恵まれた環境の中で自身の研究に取り組むことができました。

また、多くの人と出会い、そして気の合う友人たちと過ごした筑波大学での4年間はとても充実しており、その経験は私の宝物だと思っています。これからも、大学で得た学びを活かしながら頑張っていこうと思います。



金井　遙さん

私は応援部に入って毎日声を枯らしていましたが、「心理学を使って、当たり前をもっと楽しくしたい」と思うようになり、みんなが当たり前に通う学校で働きたいと考えるようになりました。教師になりたいという夢をもってからは、教育心理学の分野を中心に勉強しました。

私はこの春から、東京都の中学校の数学教師として働きます。教師になりたいと思わせてくれたのは、筑波大学の授業です。私の人生を変えたのは、筑波大学だったと思っています。部活も研究も、やりたいことはとりあえずやる、そんな4年間でした！



安里 喬泰郎さん

私はニオイの好ましさが上昇する要因について研究しました。さらに心理学だけでなく、デザインやアート、都市計画など幅広い分野の授業を履修しました。筑波大学のカリキュラムの自由さをうまく活かした学びができたと思っています。

学びはもちろんのこと、ゆったりとしたつくばの環境で友人とのびのび暮らせた時間もとても貴重だったと感じています。

春からは広告代理店の企画職として、心理学の知識を活かしながら人の心を動かすアイデアを生み出す仕事をします。

人間学群

障害科学類

http://www.human.tsukuba.ac.jp/IDS/shougai

[人材養成目的]　乳児から高齢者までの感覚、運動、認知、言語などの機能の障害、健康や高齢・発達に関わる障害、障害をめぐる環境や社会・文化的課題に関する基礎的知識と支援方法を、教育・心理・福祉・医療などの領域から総合的に身に付け、共生社会の創造に貢献する、国際的に通用する能力をもつ人材を養成します。

「障害科学類」は、障害を科学し、人間の本質を探究し、人類と社会に貢献する人材を育てる、わが国では他に類を見ないユニークな学類です。障害のある人々への具体的なサポート、その基盤となる基礎的な研究、そして人間の本質そのものを探究します。

障害科学類の歴史は、1951（昭和26）年に国内最初の障害児教育の教育研究機関として設置された東京教育大学教育学部特殊教育学科にさかのぼります。その遺産は、筑波大学では人間学類心身障害学主専攻に継承・発展され、2007（平成19）年度からは人間学群障害科学類として新たに発足しました。

障害科学類は、すべての障害を専門とする国内で最大の教員数を擁していますので、年齢では乳幼児期から高齢期まで、機能的には学校教育から障害福祉まで、教育学・心理学・病態生理学を融合した高度で先進的な総合科学を学ぶことができます。また、障害のある子どもをもつ親の方々や学校の教員に対する相談やサポート、子どもに対する臨床的指導など、優れた社会的貢献も行っています。障害のある人たちへの具体的なサポート、その基盤となる基礎的な研究、人間の本質の探究に興味がある人には、魅力ある学類といえるでしょう。

障害科学類の特徴

- 学生の関心や目標に応じた3つの履修モデル
- 特別支援学校教員免許状では、5つの教育領域（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）すべてに関する免許の取得が可能
- 社会福祉士国家試験受験資格の取得が可能
- 教職免許　特別支援学校／高校（福祉）／その他、中学校・高校の教科
- 障害者特別入試（推薦入試）を実施

カリキュラムの特徴

3つの履修モデルと取得可能資格

障害科学類では、学修の参考のためにいくつかの履修モデルを示しています。履修モデルは、その通りに授業をうけなければならないものではありません。ただし、資格と関係する履修モデルは、必要科目が過不足なく含まれていますので、モデルが基準になるでしょう。履修モデルを基に、学ぶ人の希望と意欲に沿った学修計画を立て、自主的に学ぶことになります。

●障害科学履修モデル

障害科学類の基本的な履修形態です。障害科学の全体的な理念・概念の理解を基に、障害科学が包含する特別支援教育、障害心理・生理、障害福祉等の全領域に関して、視覚障害学、聴覚障害学、言語障害学、運動障害学、健康・高齢障害学、知的・発達・行動・情緒障害学の基礎的な知識や技能を修得します。さらに、この分野を新たに開拓していくための研究方法の学修として、臨床研究、実験や調査、文献研究等で用いられる多様な技術の基礎を修得します。

履修モデル	学べること
障害科学履修モデル	障害と社会との関わり、障害科学セミナー、様々な障害の理解と支援、障害科学の基礎、障害児の指導法など
特別支援教育学履修モデル	障害児教育基礎理論、障害児教育課程論、障害児教育方法学、障害特性に応じた指導法、特別支援教育実習など
社会福祉学履修モデル	社会福祉学入門、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、相談援助の理論と方法、ソーシャルワーク演習・実習など
人間学群共通（専門基礎科目）	障害科学入門、教育学入門、心理学入門、国際教育協力論、卒後の進路入門、各研究室での研究活動への参加など
障害科学類共通（専門基礎科目）	障害科学理論入門、障害科学実践入門、障害科学研究法入門、障害科学研究法実習など

障害科学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2 号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205 円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「障害科学類案内請求」と必ず朱書してください。

  請求先　〒305－8572 茨城県つくば市天王台1－1－1
  筑波大学人間学群事務室（学生募集要項の請求先とは異なります。）
- テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は561280）



●特別支援教育学履修モデル

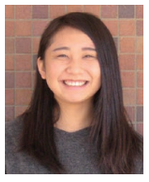
わが国における特別支援教育に関わる先導的な研究・教育を担う専門家の養成を目指すものです。特別支援教育とは、これまでの特殊教育において培ってきた専門性及び新たに求められる専門性に依拠して、障害がある幼児児童生徒はもとより、さらに地域における発達障害などの教育的ニーズに応じた指導・支援を行うという、いわば新たな学校教育の枠組に基づく教育といえます。特別支援教育学履修モデルでは、障害科学類の充実した人的資源を活用して、特別支援学校教諭一種免許状に対応した豊富な科目群を設け、履修者に特別支援教育に関わる広い教養と深い専門性を身に付けさせることを意図しています。障害科学類では、5つの教育領域（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）すべてを担当できる特別支援学校教諭免許状の取得が可能です。4年間の在学中にすべての教育領域の免許が取得できる大学は他にはほとんどありません。



●社会福祉学履修モデル

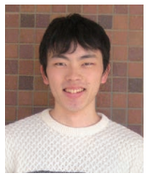
社会福祉学を探求するとともに、社会福祉士を目指す「社会福祉学履修モデル」を設定しています。現代の社会福祉が対象とする高齢者、障害児者、及び、家庭養育環境や発達に伴う生活問題を抱えた子どもたちについて、ノーマライゼーションという福祉理念を実現するための施策や援助方法を、包括的かつ科学的に学修します。また、従来の社会福祉学の枠組を越えて、「障害」をめぐる教育や医療・リハビリテーションとの連携について、社会福祉の現場実習を含めて融合的に学修します。指定された科目を履修することにより、社会福祉士国家試験受験資格を得ることができます。

在校生からのメッセージ



林　知奈美（障害科学類3年）

私は、教育的側面だけに限らない視点から知的障害について学ぶことで、将来的に支援に活かしていきたいと思い、筑波大学の障害科学類を選びました。入学前は知的障害にしか目を向けていませんでしたが、1年生で他の障害にも触れ、2年生でそれぞれの障害を専門とする先生方の講義を受けたことで、興味の幅が広がりました。また、1年生の附属特別支援学校での実習やボランティア体験、サークル活動を通して、たくさんの方に出会い、障害についてもっと学びたいという活力になっています。障害科学類の人数は少ないですが、それぞれが自分の考えや意思を持って入学した優しくあたたかい人たちです。授業でのディスカッションや毎日の会話で皆の意見を聞くことで、自分では気づかないようなことを教えてもらうこともあり、日々支えられながら楽しい毎日を過ごしています。2年間勉強してもまだまだ知らないことが溢れているこの分野について、皆さんと共に学べる日を楽しみにしています。



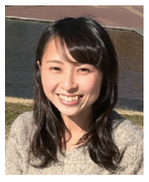
日比野　創真（障害科学類3年）

私は現在、社会福祉学履修モデルで社会福祉士になるための勉強をしています。私は、小・中学校のころ障害や不登校などを抱える同級生に対して周りが冷たい態度を取ってしまう場面を何度か見たことがありました。彼らが当時どのように感じていたのか、また、私自身は何ができたのかを考えるうちに福祉に興味を持ち、社会福祉士を目指すようになりました。大学に入学するまで福祉や障害についてほとんど学んだことが無かったため初めは不安もありましたが、基本的なことから専門的なことまでわかりやすく教えていただける環境で現在ではとても充実した学びができていると思っています。社会福祉士になるための大学は他にもたくさんありますが、そのための勉強だけではなく特に障害について広く深く学べるというのが障害科学類の魅力の一つだと思います。もちろん、サークルやアルバイトなど勉強以外の学生生活も充実させることのできる環境です。これから皆さんと一緒に学んでいけることを心待ちにしています。

海外留学・海外研修

障害科学類では、筑波大学や人間学群で交流協定を結んでいる海外の大学に留学する機会を設けています。

2015年度人間学群国際化プロジェクト（ベトナム訪問）に参加して



大西　麻由（障害科学類4年）

私は、日本とは異なる教育の在り方や他国の学校の様子を知ることで、日本の特別支援教育についてより深く学ぶことに繋がるのではないかと思い、海外研修に参加しました。正直なところ、言葉も文化も全く異なる国に渡航することには大きな不安がありました。でも、先生方や前年度に研修に参加した先輩方からお話を伺う中で、自分も現地に行き、様々なことを経験して成長したいと強く思うようになりました。実際にベトナムに渡航してみると、日本との違いに驚くことが多かったのですが、次第に、その違いこそがお互いの国の教育をより良いものにするためのヒントになるのではないかと考えるようになりました。そして、もう一つ海外研修を通して感じたのは、自分から挑戦することの大切さです。大学生になり、どこか受け身になっていた私にとって、この海外研修は大きな挑戦でした。自分から学びに飛び込む気持ちを大切に、一緒に充実した大学生活を送りましょう！

卒業後の進路

障害科学履修モデル

本学には障害科学に関するわが国で最も整備された大学院（人間総合科学研究科）があり、学類卒業後には進学することを勧めています。近年、障害関連職種での専門化が進み、大学院修了資格を有したより専門性の高い人材が求められています。進学以外の進路としても、一般社会での障害者の活躍が進み、そのための支援の充実が広がる中で、障害に関連した種々の職種の中で専門家としての知識・技能の発揮が期待されています。教職課程を履修すれば、教員免許状の取得も可能です。大学院では、学校心理士、臨床発達心理士などの申請資格を取得することが可能であるほか、自閉症スペクトラム支援士の実践歴が得られます。

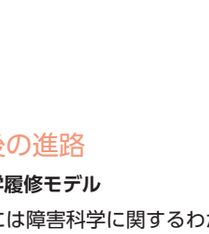
特別支援教育学履修モデル

主として特別支援学校及び小・中学校などの特別支援教室の教員のほかに、国家公務員、地方公務員に就くことを想定しています。また、本学大学院（人間総合科学研究科）への進学も勧めています。学類と大学院との一貫したカリキュラムの履修により、進学者は専修免許を取得し、より専門性の高い教育者や研究者となることを目指すことができます。

社会福祉学履修モデル

指定された科目を履修することにより、社会福祉士国家試験受験資格を得ることができます。福祉系の国家公務員・地方公務員、社会福祉協議会、教員、障害者・高齢者・児童等の福祉専門職、シルバーサービス関連の一般企業等、福祉の専門性を生かした職種の中で、専門家としての知識・技能を発揮することが期待されています。もちろん、本学の大学院（人間総合科学研究科）への進学も可能です。

卒業生からのメッセージ



伊藤 詩織（平成26年度卒）

私は千葉県にある聴覚に障害のある生徒達が通う特別支援学校で英語を教えています。聴覚に障害があるというと、全く耳が聞こえない生徒に教えている印象を与えるかと思いますが、実状は異なります。残っている聴力を活用する生徒やほとんど耳が聞こえない生徒など様々な生徒が一緒に学習しています。そのため、それぞれの生徒に合った表現方法や伝達手段が必要となり、日々の工夫が欠かせません。どうすれば英語を理解して好きになってもらえるか、と考えながら授業を行っていますが、試行錯誤の毎日が続いています。

しかし、このような教員生活の中でとても役に立っていることがあります。それは障害科学類で特別支援教育に必要な５領域（知的障害、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱）の内容を全て学ぶことができたことです。現在の特別支援教育は生徒一人一人のニーズに応えることが求められており、多様な視点から生徒を見る目が必要です。例えば授業一つを考えるだけでも、聴覚という観点からだけではなく、視覚的なこと、学習障害に関することなど他の障害領域と合わせて考えた方がよい場合が多くあります。その際、障害科学類での幅広い学びが、専門だけでは見えてこなかった可能性を示唆し、新しい授業の展開を模索するきっかけを与えてくれています。また、障害科学類では学生の時から実際の教育現場を見る機会がたくさんありますので、理論だけでなく実践的に学ぶことができます。そのおかげで生徒自身を見ることが大切であるという姿勢を作ることができ、今でも生徒と向き合うことを第一に生徒と関わっています。

今思い返すと、このように障害科学類での学びは、特別支援学校で勤務する私に大切なことを教えてくれるだけではなく、私を支えてくれる糧となっていると言っても過言ではなく、本当に魅力的な学類だと感じています。



３年生主催の「卒論お疲れ様会」にて

卒業後に就く主な職種

特別支援学校及び小・中学校などの特別支援学級の教員、公務員、福祉専門職、企業 他

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

高等学校一種免許状（福祉）

特別支援学校教諭一種（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）

社会福祉士国家試験受験資格

社会教育主事、学芸員、司書教諭

注）教科「福祉」以外の教員免許と社会福祉士国家試験受験資格とを4年間で同時に取得することは、カリキュラム編成上、原則としてできません。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人の障害や障害をめぐる様々な事象についての関心と問題意識、さらには、人間を深く理解しようとする探求心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		障害科学類では障害に関する様々な学問領域を学ぶ基礎として、英語のほか、文科系、理科系にわたる基礎教科について十分な知識と理解を得ていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科いずれかの学力を総合的に評価します。
	推薦入試	一定のレベル（高等学校の上位10％以内）の学力を有する者、または筑波大学の個別学力試験等に合格できる程度以上の学力を有する者で、障害科学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究やクラブ活動、社会的活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。そのほかに，外国語能力や問題解決能力等において国際的素養を有し，将来，障害科学の分野において国際的に活躍する資質を十分に有しているかどうかを評価します。
	推薦入試（障害者特別入試）	重度の身体障害を有し、各科目において優秀な成績を修めた者で、障害科学に対する高い学習意欲を有するかどうか、障害者としての自立に高い意欲を持ち自立的な態度を有しているかどうかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	障害科学類の学習に関して明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学の領域において国際的視野に基づく活動を志す人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	人の障害や障害をめぐる様々な事象に対する関心と明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を選抜します。

平成22～27年度卒業生（人間学群障害科学類）の進路

進　路		人数	%	これまでの進路先
進学	筑波大学大学院	73	32.4	人間総合科学研究科（障害科学専攻・感性認知脳科学専攻）など
	他大学・大学院など	12	5.3	一橋大学大学院、日本社会福祉事業大学大学院、国立障害者リハビリテーションセンター学院、お茶の水女子大学大学院、首都大学大学院、富山大学大学院
	小計	85	37.7	
企業など		42	18.7	ソフトバンク、JCB、新日鉄エンジニアリング、JALエクスプレス、スターツコーポレーション、東急リゾート、テレビユー山形、全日本空輸株式会社、郵便事業株式会社、大和証券、みずほ銀行、三井住友銀行、常陽銀行、かんぽ生命保険
教員		29	12.9	北海道特別支援学校、青森県特別支援学校、福島県特別支援学校、長野県特別支援学校、栃木県特別支援学校、東京都特別支援学校、千葉県特別支援学校、三重県公立中学校、長崎県特別支援学校
公務員		36	16.1	青森県庁、福島県庁、埼玉県庁、千葉県庁、神奈川県庁、愛知県庁、富山県庁、岡山県庁、川崎市役所、横浜市役所、家庭裁判所、保護観察官、和歌山県警、東京都、法務省
福祉系法人など		14	6.2	全国社会福祉協議会、東京都社会福祉事業団、東京都障害者スポーツ協会
その他		19	8.4	
合計		225	100	

生物学類

http://www.biol.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　生物界のシステム、生体機能のメカニズム、生命現象の本質、生物学の研究方法及び先端研究の意義を理解し、生物と関わる幅広い学問分野でグローバルに活躍する研究者、教育者、技術者、企業人など、先端科学と社会の接点となる人材を育成します。



菅平高原実験所での野外実習



下田臨海実験センターでの臨海実習

主専攻	分野	主な授業
多様性コース	「生命の起源」以来、個々の生命が継続的に維持され、結果的に多種多様な種が生じてきました。これらの個体群が存続するための仕組みも、種によって多様であるばかりか、生物の集団や個体群、個体、細胞、生体高分子などという各レベルにおいてもそれぞれ異なっています。長い進化の結果、現在の地球上に見られる様々なレベルにおける生物の多様性はどのように生じ、保たれてきたのでしょうか。また、生物は環境により影響を受けているだけでなく、環境に対しても影響を与えており、生物と自然環境は複雑な関係を保ち続けてきました。個体間や種間の、さらには生物と環境との相互作用など、生物の生活と環境が創り出す現象や法則に関する基本的諸問題もこのコースで学べます。	植物系統分類学、動物系統分類学、微生物学、進化遺伝学、海洋物質循環学、植物生態学、動物生態学
情報コース	近年、生物の集団・細胞・生体高分子の各レベルにおいて、構造・機能の多様性と普遍性に関する膨大な研究情報が蓄積されています。生物学のさらなる発展のためには、これらから有用な情報を抽出し有効利用しなくてはなりませんが、その道具としてコンピュータは不可欠です。本コースでは、コンピュータの高度利用を前提として行われる先端的生物学研究の方法論を習得することを目標とします。また、その基礎となる数理・情報科学の各種手法に対する理解も深めます。昨今コンピュータに秀でた生物学専門家の需要が高まっており、本コース修了者はこうした需要に応えうる人材となることが期待されます。	プログラミング、数理生物学、生物多様性情報学、分子進化学、ゲノム生物学、生物物理学
分子細胞コース	生物の体の成り立ちや自然に適応する仕組みは大変見事で、私たちを驚嘆させます。どのようにして生命活動が成り立ち、生物個体が形成され、機能しているのでしょうか。また、生物が自分と同じ子孫をつくりつつも、一方で長い年月の間に進化していくのはどうして可能なのでしょうか。そのような生命の基本的なしくみを理解することを目指して、遺伝子やタンパク質、細胞の機能に関して学習するのが「分子細胞コース」です。さらに、そこで得られた知識の発展として、基礎研究や人間社会に貢献するテクノロジーについても学びます。	細胞生物学、発生生物学、植物生理学、動物生理学、代謝生理化学、生殖生物学、分子生物学
応用生物コース	生体が作り出す様々な機能分子とそれらを使ったダイナミックな代謝が生命を支えます。また、様々な環境で暮らす生物は、生存のために必要な多様な機能を備えています。「応用生物コース」では、生命現象を主に生化学的に解析することを通して、生命を支える分子の機能やその化学的制御機構に関する基礎知識を学ぶとともに、生物が備える生理・生態的機能についても学習します。生物の有用機能の開発・利用技術を学び、さらにこれらを応用することで、人類の直面している諸問題解決への貢献を目指します。	生体機能分子学、植物制御学、動物制御学、機能微生物学、生物化学、生物活性化学、植物バイオテクノロジー
人間生物コース	人間は我々にとって最も身近で複雑な生き物です。「人間生物コース」では、一つの生物種としてのヒトに的を絞り、人間を制御する基本原理や法則を学びます。このコースの一部の授業は医学群や体育専門学群の教員によって行われますが、学習の目的はヒトを生物学的に理解することにあり、医学や医療科学の立場とは異なります。	人間生物学、神経解剖学、免疫生物学、寄生生物学、細菌学、ウイルス学、放射線生物学、人類学

生物学類パンフレットの請求方法

●学類のWeb ページ（http://www.biol.tsukuba.ac.jp/）でもパンフレットのPDF ファイルを見ることができます。
●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は561290）

専門として学べる内容

2年次から、多様性コース、情報コース、分子細胞コース、応用生物コース、人間生物コースの5つのコースに分かれます。一部の授業を除けばどのコースの授業もほぼ自由に履修できます。

カリキュラム

生物学とは「生物及び生命現象を研究する科学」です。生物学では、DNAのようなミクロなものから生物群集といったマクロなものまで、その対象はさまざまであり、生理学、生態学など、アプローチの仕方もいろいろあります。しかし、その根底に「いきもの」があるという点でどれも共通しており、生物学を学ぶならばどんな分野であっても生きている生物そのものを見ることを忘れてはいけません。そのため、実験や実習においてさまざまな生物に直に触れ、その生物の生きている姿を見ることはとても大切です。また対象とする生物について、さまざまな面から考えることが必要であり、基礎生物学を中心に、将来自分が専門とする分野以外についても学ぶ必要があります。筑波大学生物学類には、これらを実現するための環境が整っています。

特長

1年次から生物学を学べるカリキュラム

1年次では必修の講義（概論8科目：系統分類・進化学、分子細胞生物学、遺伝学、発生生物学、生化学、生態学、動物生理学、植物生理学）と基礎生物学実験があります。これにより生物学の基礎を身に付けるとともに生物学の本当の面白さを再発見し、専攻分野をしぼっていくきっかけをつかむことができるでしょう。

5つのコースからなるユニークなカリキュラム

生物学類は、多様性コース、情報コース、分子細胞コース、応用生物コース、人間生物コースの5つのコースを設けています。1年次で自然科学及び生物学全般にわたる基礎的知識と技術を学び、2年次から学生の希望によりいずれかのコースを選択して専門科目の履修を始めます（人間生物コースには人数制限があります）。これらのコースにおいて開講されている各授業科目は、基本的に講義と実験から構成されています。また充実した設備をもつ下田臨海実験センターや菅平高原実験所などを利用したさまざまな野外実習も開講されています。さらに、通常の授業科目ではカバーしきれない、魅力ある個別的なテーマを取り上げた生物学の特講も多数開講されています。3年次後半には特定のテーマに関して多数の論文を読んで知識を深める生物学演習を行い、4年次の卒業研究へと発展させます。教員や大学院生とともに過ごす研究室での生活やセミナーを通じて議論の仕方や論文の読み方を修得し、生物学の研究方法を身につける卒業研究によって、生物学の本当のおもしろさを知ることができます。

世界にはばたくための英語教育

生物学に関する論文や専門書のほとんどは英語で書かれており、英語は必要不可欠なスキルです。そのため、生物学類では4年間一貫して英語の授業が必修となっています。特に、3年次では少人数（1人の教員に4〜8人の学生）で授業を行うため、きめ細かい指導が受けられます。1〜3年次に、生物学類専属の外国人教員が担当する授業があり、聞き取る力や話す力を強化します。

グローバル30プログラム

生命環境学群では、外国人留学生に英語で授業を提供する学際プログラムを行っています。生物学類では日本人学生も一緒に30科目以上の授業を受けることにより、専門性と同時に国際性も身につけることができます。

豊富な実験・実習

実験・実習が数多く開設されており、1年次の基礎生物学実験から4年次の卒業研究まで、4年間を通じて実験・実習に参加できます。また野外実習は、下田臨海実験センター、菅平高原実験所、長野県八ヶ岳などで行われ、自然の中で本物の生物に触れながら学習できます。

充実した基礎生物学

系統分類学・生態学など基礎生物学分野（特に生物多様性分野）が充実しており、これらに関する講義や実験・実習が数多く開設されています。またゲノム生物学など、近年目覚ましく発展している先端分野も充実しています。



基礎生物学実験

多様な生物学分野

応用生物化学・農林学・医学・体育学を専門とする教員も授業を担当しており、農学や医学との境界領域など、幅広い生物学分野を学べます。

早期卒業制度

3年間以上在学すれば、希望によって早期に卒業できる制度があります。もちろん卒業に必要な規定単位数を優秀な成績で取得していることが前提です。1年次からしっかり学習計画を立てて勉学に励むことが求められます。

研究マインド応援プログラム

学習・研究に対する意欲と能力により選ばれた1～3年生は、教員と大学院生のサポートのもと、希望する研究室で独自の研究テーマを追究できます。

国際交流

生物学類では国際交流委員会を組織し、学類レベルでの国際交流を推進しています。特に1999年に国際的にも著名な英国のマンチェスター大学生物科学部と学部間交換学生協定を結び、毎年3名の学類生を1年間マンチェスター大学に派遣し、またマンチェスター大学からの留学生を受け入れています。2013年にはフランスのパリ第13大学とも協定を結び、学生交流を始めました。この留学制度には、大学の入学金と授業料が免除される、大学の学生寮に居住できる、単位措置によって休学の必要がない、などの様々な特典があります。また米国のカリフォルニア大学、パデュー大学など、筑波大学が大学間交流協定を結んでいる多くの大学への留学を奨励するとともに、積極的な支援を行っています。



生物学類発行の
オンラインジャーナル
(http://www.biol.tsukuba.ac.jp/tjb)
教員や先輩からのメッセージ、
研究紹介などが掲載されています。

卒業生からのメッセージ

生物学類で出来ること　2004年度卒業　神通　芳江



マレーシア昆虫観察旅行にて研究室メンバーと

私は生物学類を卒業後、生命環境科学研究科に進学して博士号を取得し、研究員(ポスドク)として長野県の菅平高原実験センター（現：菅平高原実験所）で昆虫の発生学的研究を行ってきました。

菅平高原実験所は35haもの敷地面積があり、敷地内には実験施設のほか、広い草原や森林があり、多種多様な野生動物の生息する豊かな自然に恵まれて研究を行うことができます。

私の専門とする昆虫の発生学も、虫の飼育・採卵や発生の観察など、そのほとんどが生き物に直接触れる作業で占められます。実際に生きている対象をつぶさに観察することから感動を得、それが新たな疑問や研究の発想に結びついていくのです。多くの研究分野があるなかで現在の進路を選んだのは、私がそのような過程を楽しいと感じられるからだと思います。

近年、私たちの周りの自然はだんだんと小さくなっていますが、生物学類の皆さんは菅平と下田の2つの実験センターで、驚くほど豊かな自然と生物に触れることができます。ぜひ積極的に利用して頂きたいと思います。

私は学類4年次にマンチェスター大学への交換留学を体験しました。マンチェスターでは、筑波では体験できなかったような多様な文化に触れ、これまでにない深い友情を得ることもできました。このように、私にとっての学類時代は、筑波、マンチェスター、菅平と大きく3つに分けられ、それぞれの体験からいろいろなことを学んできました。

私のように“おもいきった”選択をする学生は珍しいと思いますが、生物学類に用意されているさまざまな施設・機会をうまく利用して、学類での4年間をより豊かなものにして頂けたら、幸いです。

学類長からのメッセージ



生物学類へようこそ
生物学類長　千葉智樹

生物学に関する研究は、生命現象をつかさどる「ミクロな世界」を解明しようとする分野から、生物が集まり環境との関係を築き上げる「マクロな世界」を解明しようとする分野まで、非常に多岐にわたっています。生物学類で開設されている多くの授業・実験・実習は、皆さんの生物学に対する興味を更に発展させ、そして、新たな探求心を引き起こすことでしょう。皆さんの入学を心からお待ちしています。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（理科）

高等学校一種免許状（理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

各コースは相互に補いあい、関連性のある教育を行えるように配慮され、生物学の発展を推進する人材はもとより、生物学を基礎として他の諸科学との学際的領域で活躍し得る人材の養成を目指しています。本学類では卒業生の約8割が生命環境科学研究科等の大学院に進学します。その後、生物学の幅広い学問分野の研究者・教育者、企業人、理科教員、先端科学と社会の接点となる人材として活躍しています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		生き物や生物学が好きで、自然科学と語学の基礎学力をもち、広範で多様な生命現象に対して強い好奇心と探究心をもつ、創造的能力が豊かな人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校の生物の内容を十分に理解していること。また、授業は英語で行われることもあるため、十分な英語の読み書き会話の能力を有していること。さらに、ホームページや電子メール等からの情報の取得、パソコンを用いた文章・表作成などが必要となるため、それらの操作に習熟していること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と高い学習意欲、高度な思考力、そして理解力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校における学習及び課外活動の成果やそれらを通じて培われた生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、そしてそれらを学ぶ意欲、さらには人間性も含めて総合的に評価します。
	AC入試	生物界や生き物の仕組みに対する強い興味を持ち、自ら設定したテーマに関してユニークな研究をし、その結果を分析して、独善的な考えに陥ることなく、科学的及び論理的にレポートにまとめ、それを具体的に発表する能力を評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際生物学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、それらを主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標を持って学ぶ意欲、さらには語学力を含めたコミュニケーション能力を重視して、総合的に評価します。
	帰国生徒特別入試（10月入学）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から生命現象をとらえ、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力と生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力等を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と学習意欲、生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力および日本語能力等を総合的に評価します。
	編入学試験	生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と高い学習意欲、高い語学力、専門的な生物学教育を受容できる基礎的な学力、高度な思考力と理解力を総合的に評価します。
私費外国人留学生特別コース入試		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。
私費外国人留学生特別コース入試（編入学）		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

生命環境学群

生物資源学類

http://www.bres.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　人類の生存、安全で豊かな生活の基本である生物資源に関する総合的な知識を有し、地域的かつ地球的視野をもって、我が国及び世界の食料の確保、環境と調和した生物資源の開発・保全と持続的利用に貢献できる人材を養成します。



つくば機能植物イノベーション研究センターでの実習



学生実験

「生物資源学（農学）」とは何でしょうか？日本学術会議は、「食料や生活資材、環境を対象として、①生物資源の探索・開発・利用・保全、②農林水産分野の生産基盤システムの高度化、③農林水産分野の多面的機能の保全・利用、を目的とする基礎と応用からなる生命科学系の総合科学である」と定義しています。「総合科学」というからには、それを支えるための幅広い基礎を身につける必要があります。また解決すべき問題を見いだし、基礎と連携した専門的な手法を用いてそれらに対処する応用力も獲得しなければなりません。農学の特殊性には「ローカル性」もあります。気候や地域などによって生産性や収穫物が異なるため、農学はこのローカルな視点を大切にします。一方、世界的な環境問題や食料難など、地球規模の課題も数多くあり、ここで求められるのはグローバルな視点です。このように農学を志すのは実は大変なことで、「農学は他の学類生の2倍勉強しなければいけない」と言われたものです。しかし安心してください！大学生には誰にも邪魔されない自由な4年間があります。「責任と義務」を自覚しつつ、「自由」を謳歌し、農学・生物資源学の発展に貢献して下さい。

学　年	コース・研究室決定のスケジュール	履修スケジュール
1年次	クラスに所属します。クラス担任などから履修・進路選択についてのアドバイスを受けます。	「生物資源科学入門」「生物資源現代の課題」「生物資源科学演習」「生物資源科学実習」の必修科目などを通じて、生物資源科学とは何か、何が問題になっているのかについて学びます。学群コア科目などの修得によって幅広い能力をもつ専門家としての基礎を築きます。
2年次	2年次末に専門コースの選択を行います。（農林生物学・応用生命化学・環境工学・社会経済学の4コース）	各コースが開設している専門科目Ⅰからの履修を行うことで、専門のための手法を身につけていきます。希望コースの科目を中心に履修を組み立てていきますが、様々なコースの専門科目や横断領域科目を修めることで幅広い知識を身につけることができます。
3年次	所属コースごとのクラス編成となります。 後半には指導教員の仮決定を行います。	コース開設の専門科目Ⅱの履修を行います。これにより卒業研究など専門的学術研究を行う上での知識・技能を確立します。同時に、3つの横断領域科目の履修を行うことで、コースの専門性にとらわれない学際的な知識を養うことができます。
4年次	卒業研究	指導教員によるマンツーマンの指導のもとで卒業研究を行い、問題解決を目指す道筋の立て方を学ぶとともに、研究手法や高度な専門知識・技術を習得します。また、専門科目Ⅱ・横断領域科目の履修を引き続き行います。

生物資源学類パンフレットの請求方法

●http://www.bres.tsukuba.ac.jp/ からダウンロードできます。
●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は561530）

専門として学べる内容

学生は1・2年次に基礎を学んだ上で、3年次からは手法に基づく4つのコースのうち1つに所属し、専門的な研究をしていきます。これらの専門科目には、講義のみならず演習・実習科目が含まれ、専門的な技能・研究能力を身につけるために、それらを修めることが求められています。

またコースに所属しながらも、対象にこだわる学生には、食料・環境・国際の3領域の科目群が用意されており、問題解決を意識した研究を進めることもできます。

こうしたコースや領域で用意した科目に加えて、他学群・他学類の科目も含めた多くの授業の中から、学生は自分自身で授業を選び、カリキュラムを組み立てて行きます。学類の科目も含めた多くの授業の中から、学生は自分自身で授業を選び、カリキュラムを組み立てて行きます。

3つの横断領域科目

●食料領域：人類の生存にとって欠くことのできない食料に関わる科目群
●環境領域：身のまわりの環境から地球環境まで、生物資源に関係する環境問題に関わる科目群
●国際領域：開発途上国の農林業生産や農村問題に関わる科目群

各コースの内容・特色

農林生物学コース

生物学および生命科学を基礎として、生物資源とそれを取り巻く環境資源の多様性を分子、個体、集団および生態系のレベルで究明し、食料の持続的生産や生産環境と生態系の持続的保全管理と利活用に役立つ理論と技術を習得した人材を育成します。

研究室
作物学・比較環境農学、蔬菜花卉学、果樹生産利用学、植物育種学、動物資源生産学、作物生産システム学、森林生態環境学・地域資源保全学、植物寄生菌学、応用動物昆虫学、食資源利用科学、代謝ネットワーク科学、植物遺伝情報解析学

応用生命化学コース

4つのサブコースに分かれ、化学及び生命科学を基礎として、生物の機能を個体から、細胞・遺伝子・分子のレベルで究明し、医療、食品、農業、環境等の分野で活躍する人材の育成を目標としています。

研究室
植物機能生理化学、天然物化学、土壌環境化学、植物環境生化学、生体成分化学、昆虫情報化学、構造生物化学、ゲノム情報生物学、生体情報制御学、食機能探査科学、食品生化学、分子発生制御学、微生物機能利用学、負荷適応分子生物学、産業微生物学、生物プロセス工学、生物反応工学、細胞機能開発工学、生体模倣化学

環境工学コース

工学を視点として、化学・生物科学的手法も加え、生物資源の基盤である山・水・農地の利用と管理、生態環境の保全と修復、生物資源の循環利用の技術について考え、多様な問題に総合的に取り組む基礎学力を身につけてもらうことを目指しています。

研究室
砂防工学、衛星リモートセンシング、水圏環境工学、社会環境工学、自然地域計画学、水質源管理工学、環境コロイド界面工学、土壌物理学、生物生産機械学、農地工学・農村計画学、木材化学・木材保存学、生物材料工学、応用高分子化学、農産食品加工学、食品工学、食品・生物資源プロセス工学、生物資源循環工学

社会経済学コース

農業経済学と林業経済学の2つの学問領域から構成され、社会学と経済学を基礎に、農地や森林・林地の管理、さらに食料や林産物の生産・流通・消費とそれを担う人や企業について学び、農林業に関する社会や国際関係のあり方、環境保全、国際協力について考究します。

研究室
生物資源経済学、国際資源開発経済学、農業経営および関連産業経営学、農村社会・農史学、森林資源経済学、森林資源社会学

注記　コースの選択は学生の希望によりますが、各コースの定員の上限は60名（1学年の人数の約半数に相当）です。各コースの希望者数が上限を超えた場合は、2年次までの成績で振り分けを行います。

教育の特長

教育のグローバル展開

生物資源学類は、国際化拠点整備事業（G30）として開設された、英語で授業を行う「生命環境学際プログラム」を実施しています。また、タイ王国カセサート大学、アメリカ合衆国コーネル大学、ユタ州立大学、フランス共和国ボルドー第二大学と単位互換可能な相互留学制度（4～12ヶ月間）を実施するなど、国際的視野を養う授業が豊富で、希望によりこれらの授業を履修することが可能です。

特色あるインターンシップ科目

生物資源学類には、海外の協定校での実地体験やJICA筑波国際センターでの研修を単位として認定する「国際農業研修」、食・みどり環境の活動や研究所・工場体験に参加する「食と緑のインターンシップ（農林生物学・環境工学）」など、大学で学んだ専門知識や技術の社会での適用を試みることができる特色あるインターンシップ科目が用意されています。

学類長からのメッセージ



生物資源学類長
北村　豊

生物資源学類を志す皆さんへ

生物資源学類は他で「農学部」と呼ばれる教育組織に相当します。そこでは、社会に変革・革新を生み出す基礎科学と産業の発展・振興に不可欠な応用科学の両方を学べます。「生物資源学類は内容が広すぎる」と言われることもありますが、逆に言えば、他のどこよりも幅広く専門分野や卒業研究を選べます。また、地域的かつ地球規模的な観察・思考力、そしてスーパーグローバル大学（トップ型）にふさわしい英語力も、日々の授業や実験実習、インターンシップなどを通じて修得できます。誰にも妨げられることのない自由な4年間を活用して、新しい農畜産物の創出、優良微生物の発見、機能性食品の開発、食の安全安心の立案、森林生態系の保全や活用、生命現象の分子レベルでの解明、水資源や土壌環境の数理アプローチ、農山村社会の多様性解析など、生物資源に関わる無限の研究テーマに取り組んでください。

先輩からのメッセージ

農林生物学コース　本田 悠理子

大学入学後、専門科目の授業を通して、作物の育種に興味を持ちました。農林生物学コースでは作物の育種技術についてはもちろん、育種を理解するうえで重要な作物の生理や生態など様々な分野を幅広く学ぶことができるため、このコースに進学しました。

私はトマトの収量増加を目標として、果実肥大について研究をしています。所属研究室ではある遺伝子が変異することにより、トマトの果実肥大が強化されると考えられている変異体を所有しています。しかし、その変異体の果実肥大がどの程度強化され、優れた育種材料として利用できるのかということについては不明でした。卒業研究では、変異体を栽培して収量や果実の表現型などを調査し、遺伝子の変異によってトマトの果実肥大がどの程度強化されるのか、その変異体が果実肥大を強化した品種開発のための新たな育種材料となり得るのかということについて評価を行いました。

生物資源学類には幅広い専門分野があり、それぞれの研究室で多種多様な研究が行われています。幅広い分野の知識を身に付けることができるだけではなく、より深く掘り下げて学ぶことも可能です。まずは幅広く様々な知識を身に付け、たくさんのことを学んでみてください。入学して間もない頃は漠然としていても、生物資源学類で多くのことを学ぶにしたがって、きっと興味や関心のある分野が見つかるはずです。そしてその興味や関心を突き詰め、学生生活を充実したものにしてほしいと思います。

環境工学コース　銭谷 菜々未

入りたいと思った研究室がこのコースだったことが一番の理由です。また、私は顕微鏡スケールのミクロな対象ではなく、目で見てわかるものや現象を対象にした研究をしたい、と思っていたので環境工学コースの研究室が研究の対象とする食品や水、土、木材などに興味をひかれたこともあります。

卒業研究テーマは「熱処理木材中に残留する低分子量の糖が振動特性に与える影響」です。私は、楽器に使われる木材の改質を目的とした熱処理について研究をおこなっています。楽器材料には伐採から長い年月を経た木材（＝古材）がよいとされていますが、由来の確かな古材を手に入れることは難しく、月日を経ることで木材の物性がどのように変化するかはよくわかっていません。一方、木材を楽器材料に適した物性にする方法の一つとして熱処理があります。熱処理によって木材の物性を短時間で変化させることが出来、その効果は加熱時間や温度、処理反応槽内の湿度によって決まります。私は、処理反応槽内の湿度に注目し、湿度を変えて熱処理した木材の振動の変化を測定するとともに、熱処理によって生成した木材中の糖が振動に与える影響について検討しています。

生物資源学類には本当に様々な分野の先生が在籍しているので、１つのことに限らずいろいろ学べる環境が整っています。様々なことを学んでいく過程で論理的な思考力を身につけることができ、自分を客観視することもできるようになっていけると思います。多くの刺激を受けつつ自身の方向性を探求していくことが可能な学類ですので、皆さまの入学をお待ちしています。

応用生命化学コース　浅見 留依

高校生の頃からアロマテラピーや漢方に興味を持っていて、医薬に限らず植物の力を何か人の生活に役立てる方法を研究したいと考え生物資源学類に入学しました。大学2年次の研究室紹介で現在私が所属している研究室の教員の研究内容を知り、自然界に生息する動植物や微生物に含まれる天然物の多様性やそのポテンシャルに強く興味を抱きました。それらを学んでいこうと思い、応用生命化学コースを選択しました。

卒業研究では「ヒマワリ芽生えからの生理活性物質の探索」というテーマで研究を行っています。植物は周りの環境変化にすばやく対応するための様々な生物機能を持っていて、その一つに光屈性があります。このメカニズムは植物ホルモン・オーキシンの偏差分布によって説明されてきましたが（Cholodny-Went説）、私が所属する研究グループでは光によって増加する成長抑制物質により制御される新たな説（Bruinsma-Hasegawa説）を提唱しています。近年ヒマワリから強い成長抑制活性を持った数々のポリアセチレン化合物が見つかっているため、光屈性にこれらの物質がどのように関わっているかを研究しています。また、ポリアセチレン化合物には抗腫瘍活性も知られているため、将来的にはヒマワリから単離したポリアセチレン化合物を人の健康に役立てることも視野に入れて研究しています。

生物資源学類では、本当に幅広い分野の講義や研究が行われていて、様々な考え方や視点を持った多くの教員や学生と出会うことができます。自分の学びたいことの専門性を深めつつ、様々な学問や人と出会うことで自分の可能性を広げていける学類だと思います。

社会経済学コース　清水 司

第一次産業に関心があり、産業の面から地域活性化ができないかと考えていました。社会経済学コースでは、経済学、経営学、歴史学、社会学といった様々な視点から第一次産業を学ぶことができます。一つの事象にとらわれず、第一次産業を取り巻く環境全体の知見を得たいと思い、社会経済学コースを選びました。

農業を取り巻く潮流が刻々と変化する中、新たな農業の担い手として注目されているのが農業法人です。自社のみならず、周辺や日本全国の経営体と提携し、生産力や販売力に秀でたネットワーク組織が台頭しています。それらの事例がどのようにネットワーク組織をつくり、発展させてきたのかを研究しています。

生物資源学類は幅広い専門分野を持っており、好奇心をくすぐられる分野がきっと見つかると思います。また、生物資源学類には、その好奇心に応える環境が整っています。選択肢を絞らず、生物資源というキーワードのもとで、幅広い分野から情熱を注げる研究を見つけてみてください。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（社会・理科・技術）

高等学校一種免許状（公民・理科・農業）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補、樹木医補

自然再生士補

卒業後の進路

卒業生は民間企業や官公庁などに就職し、国内外で広く活躍しています。特に公務員試験では全学の中でも多くの合格者を出しています。大学院への進学者は7割に及び、多くは筑波大学大学院生命環境科学研究科に進学します。



1年次の生物資源科学実習の1コマ（学内の施設見学）

生物学類との相違点について

生物学類は、理学（生物学）を中心とした基礎科学を学ぶ学類です。それに対して生物資源学類は、人類と生物との関係や生物の人類への利用を考える応用科学を学ぶ学類です。具体的には、食料など人間の生活に必要な生物資源を生産し利用すること、また環境を保全しつつ生物資源を生産・利用することなど、生物資源の利用に関する応用研究を重視しています。ただし、教員・学生の交流も活発で、共通している分野も少なくありません。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		生物資源、農業、環境保全に関心が強く、広範な学問を学ぶことのできる柔軟な思考力を持ち、問題解決に意欲のある人材を望んでいます。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、さらには応用する能力および語学力を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と高い語学力に加え、生物資源に関する学問を学ぶのに必要な数学、理科、地理歴史のいずれかの学力を総合的に評価して選抜します。
	個別学力検査等（後期日程）	全般的な基礎学力と語学力に加え、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力を総合的に評価して選抜します。
	推薦入試＊	高等学校において優秀な成績を修め、あるいは課外活動などで優れた実績を有し、生物資源に関する学習意欲や適性、論理的表現力ならびに基礎学力と語学力を総合的に評価して選抜します。
	AC入試	生物資源及び関連事項に対して強い興味と問題意識を持ち、自ら問題を発見し解決に取り組む能力と、それを他人に伝え論理的に説明する能力、そして基礎学力と語学力、学習意欲を持つ人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	生物資源に関する学問分野について主体的に目標をもって学ぶための知識、思考力に加えて、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して人材を選抜します。
	帰国生徒特別入試（10月入学）	海外生活で得た知識や経験に基づいた生物資源に関する高い関心と問題意識を持ち、関連する学問を学ぶのに必要な基礎学力と語学力、論理的な思考力や表現力を有する人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	生物資源に関する高い関心と問題意識を持ち、関連する学問を学ぶのに必要な基礎学力と日本語能力、論理的な思考力や表現力を有する人材を選抜します。
	編入学試験	短期大学や高等専門学校で得た学習成果を基にして、専門科目に関する学力や語学力に加え、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力を総合的に評価して、本学類で発展できる人材を選抜します。原則として、３年次への編入学ですが、場合によっては２年次への編入学となることもあります。
	私費外国人留学生 Japan-Expert(学士)プログラム特別入試	人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に興味を持ち、日本の農林業研究・技術に関心がある人材及び日本の農林業研究・技術を活用し、将来、国内外の農林業に関する研究機関や企業等でアグロノミストとして貢献する人材を求めています。
私費外国人留学生特別コース入試		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。
私費外国人留学生特別コース入試（編入学）		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

＊専門高校・総合学科特別入試枠を含みます。

生命環境学群

地球学類

http://www.earth.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　地球の誕生から現在に至る地球の進化、大気圏・水圏・岩石圏で起こる様々な現象とそのプロセス、そして地球環境を舞台に展開される人間活動についての総合的な知識と思考力を有する、社会の諸分野で国際的な視野に立って活躍できる人材を養成します。

地球は46億年の歴史をもつ、水や生物に満ちあふれた惑星です。近年、人間の居住空間としての地球環境を破壊することなく持続的に利用することが社会的に強く求められています。そのためには、地球の進化過程を明らかにするとともに地球環境の動態と人間システムとのつながりを正しく理解し、その未来を予測する学問が必要です。それが地球学であり、地球ダイナミクスを多角的な観点から明らかにし、様々な社会的要請に応える使命をもっています。



国際野外実験（スイスアルプスでの氷河観察）



野外実験（三浦半島での露頭観察）

教育内容・カリキュラム

地球学が対象とする課題は、顕微鏡下の世界から地球規模の事象、秒以下の単位から億年の単位まで時空間スケールが幅広く、自然現象の解明から災害や環境問題の追及、人間社会の未来予測に至るまで多様です。また、それらの課題に取り組む手法も野外調査や室内実験、数値計算、文献研究など多岐にわたります。

地球学類では、多様な課題に対応できる幅広い知識と高い専門性を両立させるため、段階的に専門化するカリキュラムを組んでいます。また、高度な専門教育・研究のために、現在の地球環境について探求する「地球環境学主専攻」と、地球の変遷史について探求する「地球進化学主専攻」の二つの主専攻を設けています。

	カリキュラムの特徴
1年次	自然科学全般の基礎的知識を身につけるほか、専門基礎科目により地球学の基礎知識を網羅的に習得します。また、実験・野外実験科目により、実験機器の使用の基礎的な事項や能力を身につけ、野外調査の経験を積みます。
2年次	地球学への入門としての専門科目とともに、地球学に必要な数学、物理学、化学などを学びます。また、コンピュータや実験機器の利用能力を高め、野外調査の経験を積みます。さらに、英文の読解能力や英語によるコミュニケーション能力を修得するための専門英語の受講が始まります。
3年次	いずれかの主専攻を選択し、専門科目を中心に履修します。専門科目は、講義、セミナー、室内実験、野外実験で構成されており、これらの受講により専門知識を深め、専門的な野外調査と室内作業を確実に実施する能力を修得します。
4年次	卒業研究が中心となり、教員や大学院生と議論をしながら調査・実験を進めることで、研究の企画・遂行・総括能力や研究成果の内容を第三者に的確に伝達する能力を高めていきます。

地球学類パンフレットの請求方法

●http://www.earth.tsukuba.ac.jp/ でパンフレットのPDF ファイルを見ることができます。
●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は583310 ）

各主専攻の内容・特色

地球環境科学主専攻

現在の地球における大気、水、地形などの自然現象と、そこを舞台に展開する人間活動の特性を多角的に探求

人文地理学
都市・農村空間構造、文化景観、産業空間のダイナミズム、地理情報システム(GIS)

地誌学
人間環境システム、地域生態、グローバル・ローカル、ツーリズム空間

地形学
地球表層変動、崩壊・地すべり・土石流、地形の模型実験、氷河と永久凍土

水文科学
水循環、流域の水環境、水質汚染、地下水の流動

大気科学
大気循環とエネルギー収支､気候形成と変動の機構､天気予報と降水システム、大気環境と人間活動との相互作用

環境動態解析学
水環境解析、リモートセンシング、水・物質循環、土壌浸食、同位体トレーサー、原発事故

最近の卒業研究
- 最終間氷期の軌道要素とアジアモンスーンの変動との関係
- 竜巻発生要因となった寒冷渦の解析
- 日豪間直行便の航空ネットワークの進展
- 山地源流域における地下水滞留時間の季節変動とその要因
- 北陸地方における都市群の近接性の変化と要因分析
- 表層崩壊が流路発生点の移動に及ぼす影響ー広島市花崗岩山地の事例ー
- 透水性が海浜地形におよぼす影響:造波水路実験
- 天候変動に対する森林内気温の短期応答
- 東京大都市圏における15歳未満通学者の通学行動の経年変化
- リモートセンシングによる水面温度を用いたナイル川の蒸発量の推定
- 社会的空間からみた首都圏在住ムスリムの日常生活に関する研究
- 新田川流域における除染活動が河川内の浮遊砂移行量・粒径分布および放射性Cs-137動態へ与える影響

地球進化学主専攻

地球進化史の多様な地質現象の探求を基礎として地球生命圏の共進化の解読と未来予測を目指す

地史・古生物学
中・古生代、生物の進化、放散虫・有孔虫､DNAの解読

地層学
陸上付加体、堆積岩、堆積相と堆積システム、地球表層環境と堆積作用

地球変動科学
地震発生のメカニズム、沈み込み帯・付加体、地震と地殻変動、岩石の変形・破壊

岩石学
地球の年代測定、地殻・マントル進化、大陸の移動と衝突、火成岩と変成岩

鉱物学
鉱物生成メカニズム、結晶構造の解析、鉱物の物理特性隕石の成因

地球資源科学
鉱物資源、元素の分散と濃集、廃棄物処分

最近の卒業研究
- 現地調査と地震波形を用いた震源過程解析:熊本地震への適用
- 四国東部四万十帯の奈半利川層の砂岩岩石学―堆積環境と構造環境に関する研究
- 炭素質コンドライト中のガラス包有物による原始太陽系の化学的環境
- 関東山地東縁部日高市に産出する蛇紋岩に関する研究
- Effects of water on crystal structure and phase variation of the magnesium carbonate hydrate mineral
- 福島県沿岸部(浜通り)の高塩濃度泉について
- 海底熱水鉱床の地球化学的探査法の構築
- コンドリュール中のガラスに記録された原始太陽系の化学的環境
- 大分県玖珠盆地野上層から産出するサケ科魚類化石
- 福井県今立郡池田町の上部白亜系の層序と植物化石
- シュードタキライトにおける炭質物のラマンスペクトル

特色

綿密な指導体制

各学年50名に対して、50名近い地球学類担当教員が在籍し、卒業研究では教員1名あたり学生約1名という体制で、きめの細かい親身な指導をしています。

充実の野外・室内実験

地球学はフィールドサイエンスを基盤としているため、現地での観察・測定・資料収集を通して、フィールドの様々な課題を考察する野外実験が1年次より多く準備されています。また、室内の実験・実習授業でも、地球情報の数値解析、顕微鏡での岩石の観察、鉱物のX線分析、水質の化学分析、堆積作用の水理模型実験をはじめ、様々な技術を身につける機会があります。

国際性をはぐくむために

地球学類では、生命環境学群グローバル30プログラムの一環として外国人留学生向け英語授業を開講しています。この授業には日本人学生も参加することができ、国内にいながらも、英語による教育と留学生との交流を通して国際性を高めることができます。また、スイスや米国、タイなどの国際野外実験、英国シェフィールド大学や米国アラスカ大学との学生交流など、国際感覚に磨きをかける数多くのプログラムが準備されています。

学類長からのメッセージ

地球学類長　**松井　圭介**

地球学類とは、“地球”に関する現在の様々な現象や人間環境・生活、および地球の過去を探る分野の総称であり、それらを地球科学という学問として体系的に扱います。この学問分野は、高校では地学や地理学に最も近い分野になりますが、それらを高校で履修していなくても大丈夫なカリキュラムが組まれています。地球科学を学ぶためには、今まで知らなかった様々な情報や他の学問分野の知識が必要になります。地球学類では、これらの新しい知識、学問を含めて幅広く学ぶことができます。新しいこととの出会い、またそれらの探求は、大学における楽しみでもありまた自己向上心にも繋がると思います。

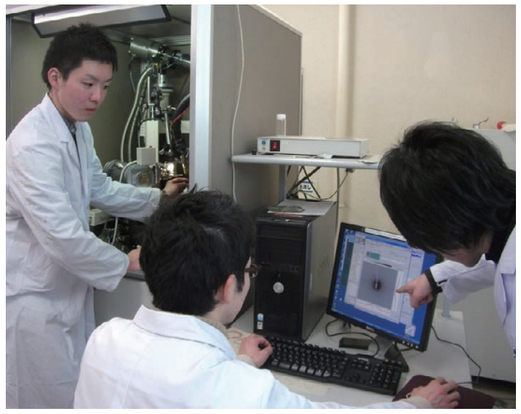
地球学類において学び、研究する上で特徴的で基礎的な部分は野外での調査・観測です。これらの調査・観測で得られた情報・試料を基に、実験室で各種機器による分析・測定やコンピューター等を用いた解析を行います。これらを行うためには、知力だけでなく少々の体力（+忍耐力）も必要になるでしょう。各種観測・実験・統計処理等では、数学、物理学、化学、生物学などが、また国内外での調査・データ解析等では、英語、経済や歴史の知識なども必要になります。これらの幅広い分野の知識の習得は地球科学を学び、研究する上で重要であり、これらの知識を得ることにより、扱えるテーマが広がり、より深い探究ができます。また、個別に得意分野のある場合にはそれを生かすことも可能です。地球学類は、これらを実践するための絶好の場所です。地球に興味があり、また意欲のある皆さんを歓迎いたします。

社会とのつながり

地球学類では、地学オリンピックやジオパーク設立に向けた活動に協力することで、学生が地球学を通じて社会との接点を持つ機会を設けています。また、周辺の中高校生や住民と講演・見学会を通じて、地域交流も盛んに行っています。

資格など

所定の単位をとれば、中学校教員免許(理科、社会)、高等学校教員免許(理科、地歴)、学芸員資格を取得でき、またGIS(地理情報システム)学術士になれます。



室内実験（X線回折による岩石鉱物の同定）

卒業後の進路

卒業生の6～7割が本学の生命環境科学研究科などの大学院に進学します。民間企業への就職も多く、卒業生の約3割を占めます。総合的な知識・思考力を身に付けた卒業生は、地理情報・気象・環境・地質等のコンサルタント、土木建設や資源開発関係、観光・交通、出版、金融、電気通信など多種多様の業種に進出しています。公務員や教員は1割程度です。

大学院に進学した学生は、修士課程でより高度な専門知識・技術を身につけて、民間企業・公的機関・教育機関等でより専門性の高い職につくか、博士課程に進学します。博士課程で、更に専門性に磨きをかけて博士の学位を取得し、大学教員、企業や公的機関の研究員になります。

Q＆A

Q　高等学校で地理や地学を履修していませんが、大丈夫ですか？
A　地理や地学を履修していなくても十分理解できるように、専門基礎科目では配慮されています。ただし、自主的な予習・復習は必要です。

Q　主専攻や卒業研究分野は希望通り選べますか？
A　主専攻は進級要件を満たしていれば希望通りになりますが、卒業研究分野は過度な集中が見られる場合に成績によって選抜することがあります。

Q　在学中に海外留学したいのですが、その間は留年や休学になるのでしょうか？
A　協定校への留学でしたら、留学中に取得した単位を振り替えることができるので、留年しなくてもすみます。

最近の進路

大学院進学		生命環境科学研究科、教育研究科 東京大学、京都大学、東京工業大学、九州大学、イエール大学、エジンバラ大学　ほか
企業	気象	ウェザー・ニューズ、ウェザー・サービス、日本気象協会
	地理・情報	ナビタイム・ジャパン、ゼンリン
	地質・環境	国際航業、中央復建コンサルタンツ、東京建設コンサルタンツ、コスモ・サイエンティフィク、日本海洋掘削
	運輸	東海旅客鉄道株式会社（JR東海）、はとバス、浜松観光バス株式会社、ツーリスト・エキスパーツ、近鉄エクスプレス
	資源	千葉ガス、出光興産
	情報・通信	東洋信号通信社、鉄道情報システム、光通信
	金融・保険	みずほファイナンシャルグループ、横浜銀行、七十七銀行
	電機・機械	豊田自動織機、東洋技研、日立ソフトウエア、アポロ技研
	商社	豊田通商（株）
教員		高校教員　茨城県、岐阜県、東京都ほか 中学校教員　茨城県、埼玉県ほか
官庁・自治体		気象庁、警視庁、経済産業省、国土交通省、埼玉県庁、栃木県庁、つくば市役所、横浜税関　ほか
研究機関		筑波大学

卒業生の声

青木 慎弥（地球環境学主専攻）

外に出て景色をよく眺めてみると、いろんな不思議なことを発見します。各地を歩き回って旅行するのが好きな私は、そうした野外で発生する疑問を解明する地球学類に強い魅力を感じました。ここでは地球科学だけではなく、それに関わるあらゆる分野を自由に学ぶことができます。先生方は私たちを熱心に指導してくださり、遠くへ連れていって野外で学ぶことの楽しさを教えてくれます。恵まれた学習環境の中で、同じように地球科学を志した仲間と一緒に、よく遊んで、よく学んだ、とても楽しい4年間を過ごすことが出来ました。みなさまも地球学類で学びませんか！

冨永 紘平（地球進化学主専攻）

私が地球学類に入学して「よかった」と思うことは、地球が好きな仲間と出会うチャンスがあったことです。高校までは、地球科学に興味を持っていて地球科学を勉強し将来の専門としたいと考えている人は、せいぜい学年で2、3人程度だと思います。しかし、地球学類では、50人いれば50人が、程度の差はあれど地球が好きな仲間になります。国際巡検に参加したり留学生と交流を持ったりすることで、日本だけでなく海外からの仲間と知り合うことができます。そのような仲間とともに学び、議論し、ときにはふざけ合う環境が地球学類にはあると思います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

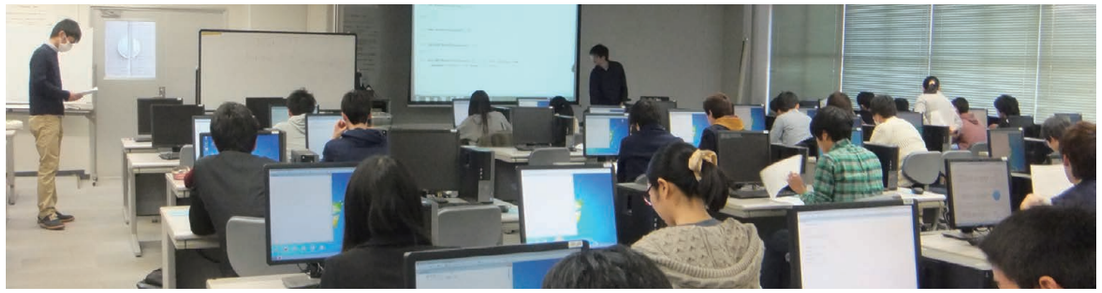
求める人材		地球環境や地球進化に高い関心と探究心を持ち、問題解決に向けて自主的かつ積極的に取組み、広い視野から事象を分析することができる人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		理科の諸科目と数学についての知識と理解力、日本語の文章表現力や英語の読解・作文能力を身につけていることが望ましい。また、地理や地学に強い関心を持ち、自ら学ぶ努力をしてほしい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を総合評価して選抜します。
	個別学力検査等（後期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、地球環境や地球進化に対する広い興味と高い学習意欲を持ち、論理的に思考・表現する能力を持つ人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確であり、論理的に思考・表現する能力のある人材を選抜します。
	AC入試	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化に強い好奇心を持ち、自ら設定したテーマに対して、創造的かつ問題解決志向で取り組む能力を持ち、それを表現する能力のある人材を選抜します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際地学オリンピック・国際地理オリンピック等に出場した者、またはその代表選考会等において一定の成績を収めた者を対象とし、地球環境や地球進化を学ぶ意欲、論理的な思考力・表現力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力を持ち、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、学習に取り組む意欲のある人材を選抜します。
	帰国生徒特別入試（10月入学）	海外生活の経験を活かし、国際性と協調性を身に付け、グローバルな視点から地球環境や地球進化を探求する意欲と能力を持つ人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	地球学に対する高い関心、入学後に地球学を学ぶために必要な基礎学力と、学生生活に適応するための日本語能力、協調性を総合的に評価します。
	編入学試験	自然科学や社会科学に関係する高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、論理的な思考力・表現力を持つ人材を選抜します。
私費外国人留学生特別コース入試		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。
私費外国人留学生特別コース入試（編入学）		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

理工学群

数学類

http://www.math.tsukuba.ac.jp/college/

[人材養成目的]　純粋数学から応用数学まで現代数学の基礎について幅広い知識を習得することにより、高度な論理性を身につけると同時に、問題を分析しその構造を読み取って解決するという数学的思考能力を身につけた、社会の様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成することを目的としています。



数学は、人間の知性が最も自由に発揮される学問です。一方、昔から自然科学・工学の基礎として近代科学文明を支えてきました。

数学は、その構築された理論体系の完成度から見ても人類文化を代表する学問の一つであり、世界中どこでも通用する普遍的な学問です。古来、多くの人々が、数学の持つ美しさ・奥深さに魅せられ、その英知を傾け、全身全霊を込めて創り出してきた傑作が現在の数学の姿です。この点で、数学は絵画・音楽などの芸術に似た美しさ・自由さ・多様さを秘めています。そして数学は今もなお生き生きと発展し続けています。それに伴って社会の数学に対する有用性と重要性の認識がさらに深まってきました。現在、数理科学的手法が自然科学のみならず、社会・人文科学、医療関係など社会のあらゆる面に応用され、コンピュータによる情報化社会の進展ともあいまって、数学の利用はますます広く高度なものとなっています。

数学類では、高校で学んだ数学をさらに発展・深化させて、純粋数学、情報数学を含む数理科学における現代数学の理論の基礎とその応用について幅広い知識を習得することができます。数学類は、高度な論理性を身に付けた、社会の各方面で活躍できる人材の育成を大きな目標にしています。こうした能力は、新しいものを創造する上で不可欠なもので、現在、社会から強く求められているものです。

学べること

	1年次	2年次	3・4年次
基礎	微積分、微積分演習、線形代数、線形代数演習、数学基礎	線形代数続論、線形代数続論演習、集合入門、集合入門演習	
代数		代数入門、代数入門演習	アーベル群、単因子論、体論入門、環論入門、群論入門 ガロア理論、リー代数、環論
幾何		ベクトル解析と幾何、ベクトル解析と幾何演習、トポロジー入門、トポロジー入門演習	曲面論、曲面論演習、多様体入門、多様体入門演習、ホモロジー論、基本群、微分幾何学概論、位相幾何学概論
解析		微分方程式入門、微分方程式入門演習、関数論、関数論演習	ルベーグ積分、ルベーグ積分演習、偏微分方程式、関数解析入門、関数解析入門演習、確率論の基礎、確率論概論、関数解析概論、複素解析概論
情報 数理論理学			数理論理学入門、数理論理学続論
情報 数理統計学		統計学入門、統計学入門演習	数理統計学概論、社会科学と自然科学の統計学
情報 計算機数学		計算機演習	計算機数学入門、計算代数入門
セミナー	フレッシュマンセミナー、数学類特別セミナー	外書輪講	外書輪講、卒業予備研究、卒業研究

数学類ホームページ

●http://nc.math.tsukuba.ac.jp/college/でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。パンフレットに載せきれなかった情報も掲載してあります。

専門として学べる内容

数学類では各種の講義や演習とともに、１年次から４年次まで、数学類特別セミナー、数学外書輪講、少人数で行う卒業研究等のセミナーが設けられています。学生自らが学習成果を発表し、教員のきめ細かな指導のもとで、個々の能力が伸ばせ、そして数学的思考能力が身につきます。また情報数学にも配慮されたカリキュラムが用意されています。教職（数学、情報）の免許取得も可能です。

１、２年に学ぶ数学は、３、４年次に学ぶ数学に向けてのウォームアップにあたります。１年次の数学の科目は専門科目でなく、専門のための専門基礎科目にあたります。微分積分学、線形代数学、集合論は、いずれも数学のどの分野においても基本的かつ必須なものです。また、２年次には、代数、トポロジー、ベクトル解析と幾何、微分方程式、関数論、統計等の入門的授業が始まります。

３年次の数学は、現代数学の第１ページというべきもので、内容は大きく分けると、代数学、幾何学、解析学、情報数学です。また、後期には、卒業研究の準備として卒業予備研究が始まります。授業や演習に出席するだけでなく自ら専門書を読むなどしてそれぞれが興味を見出し、より理解を深めます。この卒業予備研究を通して数学を学ぶ楽しさと数学の奥深さを実感できるものと思います。

３、４年次の数学には、次のような専門的授業があります。ガロア理論、リー代数、環論、微分幾何学、トポロジー、確率論、関数解析、複素解析、数理論理学、数理統計学、計算機数学などで、学生諸君はこれらを学ぶことにより、純粋数学のみならず情報数学を含む数理科学についても視野が広がるように配慮されています。

４年次には、卒業研究を受講することになります。卒業研究ではセミナーが用意され、学生はそれぞれの研究分野への関心に応じて、幾つかのグループに分かれます。セミナーでは、それぞれの専門分野の数学について、研究発表をしたり指導教員と議論を交えたりします。講義とはまた違った充実感を味わえるものと思います。卒業研究発表会は日頃の成果を示す恰好の場になります。

特　長

純粋数学を学べるだけでなく、情報数学を含む数理科学についても広く学ぶことができるので、専門性を深めることと同時に、数理科学的視野を身につけることができます。



先輩からのメッセージ

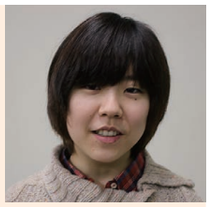


向川原　弘明
数学類4年

突然ですが、皆さんはどのような理由で大学を目指しているのでしょうか。数学に興味があって、就職のため、みんなが行くから、なんとなく…様々だと思います。僕は、論理的思考力をつけたくて数学を学び始め、今もそれは変わっていません。

さて、大学で学ぶ数学の中身ですが、大学の数学は高校までの数学とは全く異なります。高校まではある程度の証明はやっているものの、そのほとんどが暗記した公式の利用に終始していたと思います。しかし、大学では、数学を行う上で基礎となる論理式・証明の読み方と書き方から学びます。高校までとは求められる能力がかなり違うため、最初はそのギャップに戸惑い苦労しました。ですが、徐々に理解できる部分が増えてきて、数学の持つ深みや面白さを感じることができました。また、1年次には化学・物理・地学などの数学以外の理系科目も学びます。今自分の学んでいる数学がこれらの科目でどう使われているかを知ったことは、非常に有意義な経験でした。

大学生活の4年間は長いようで実際はすごく短いです。その貴重な4年間、ぜひ数学類で数学を学んでみませんか。



上田　華乃子
2017年数学類卒業

数学が得意だと思う瞬間は私にはありませんでした。幼い頃から絵やものづくりが好きで、勉強は嫌い、数学もよく分かりませんでした。ただ分からないからこそ憧れのようなものが絶えずありました。それだけで決めた進路も、当初は受験前から「卒業論文なんて書ける気がしない」と行き過ぎた心配をしたものです。

高校数学も得意でなかったぶん、大学での数学にギャップは感じませんでした。ただ日常言語は減ったように思います。この図形は輪が1つ、頂点が3つ、といった特徴が数学の言葉で表現されるのです。それは日常の言葉よりも様々な解釈の可能性を秘めて佇み、ときに創作的な装いで煌きます。そう感じて私は数学がより面白くなりました。しかし今でも自分は数学向きではないだろうと思っています。筑波で出会った頭の切れる先輩や友人たちの議論にはすぐに置いていかれます。それでも面倒見の良い先生方に支えられ、卒業研究をやり遂げることができました。そして今でも数学は憧れなので、大学院で学び続けています。

不得意はきっと不利にはなりません。もしも惹かれ続けるものがあるなら、皆さんも筑波大学で数学に触れてみてください。

数学類長からのメッセージ

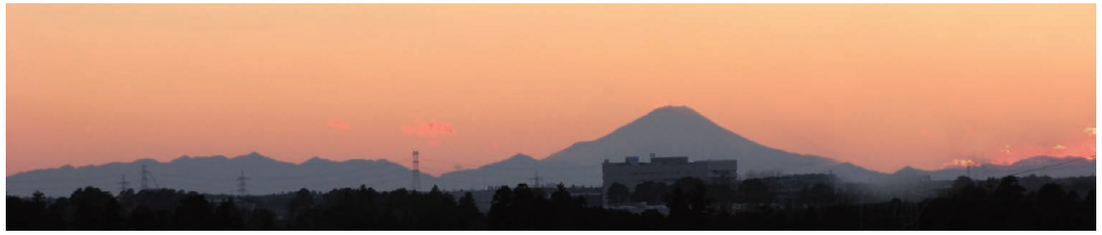


竹内　潔
数学類長

フランスを代表する数学者・哲学者であるパスカルは、その代表作「パンセ」の中で「人間はひとくきの葦にすぎない。自然のなかで最も弱いものである。だがそれは考える葦である」と述べています。つまり、人間を人間たらしめるものは、思索する精神である、ということです。ところが現代社会では文明が極度に発達した結果、既存の知識を頭につめこむことが学問であると勘違いしがちです。確かに受験勉強などでは、多くのバラバラな知識を何ら疑問を持つことなく受け入れることが一時的に有利に働くこともあるかも知れません。しかしそのまま大人になり社会の歯車となって、本当に自由な人間だといえるでしょうか？パスカルの思い描いた理想とは180度ずれた方向に向かっているとしかいいようがありません。

数学には他の学問にない際立った特徴があります。それは何千年にもわたって我々人類が必死に考え、ありとあらゆる疑問や批判にさらされることで得られた、絶対的に正しい真理のみからなるということです。それらは普遍的な真理であるがゆえに非常に高度に集積し、比類なく美しい理論体系が構築されています。

数学類においては自らとことん考えることを通じて、この人類が生んだ最高傑作に触れることができます。小中学校の時に比べ、高校の数学がずっと本格的でがぜん面白くなったと感じている皆さんにとって、次のステージではさらに素晴らしい光景が広がっていることが容易に想像できると思います。この感動をぜひ一緒に体験しましょう。



Q　筑波大学数学類の特色は、何ですか？

A　筑波大学数学類には約40名の教員がいます。卒業研究などのセミナーによるきめの細かな指導は、筑波大学数学類の伝統です。授業に関しては、代数、解析、幾何といった抽象的な数学を学べるだけでなく、数理統計学、数理論理学、計算機数学といった応用的な数学も学ぶことができます。これが、筑波大学数学類の大きな特徴です。他学類の授業も比較的自由に受講することができます。学生に関しては、本学の前身が東京教育大学ということもあって教員免許を取得する人が多く、これも筑波大学数学類の特徴といえます。

Q　筑波大学数学類の授業は、どのようなものですか？

A　大きく分けて、講義と演習そしてセミナーがあります。講義では、「関数の連続性とは何か？」「f(x)=x が連続なのはなぜか？」のように、『とは』（定義）と『なぜ』（証明）を重視します。演習では、練習問題を解いて理解を深めます。セミナー（外書輪講・卒業予備研究・卒業研究）では、学生数名がグループを作り、指定されたテキストの内容を交代で説明し、担当教員の指導のもとで議論を深めます。筑波大学数学類では、受講生が問題を解けるようになるだけでなく、数学の理論体系を組み立てられるようになることも目標としています。

Q　筑波大学数学類を卒業すると、どんな職業に就けますか？

A　現代社会は、科学・情報技術に大きく依存しています。科学・情報技術において、思考の基本的な枠組みを提供する共通の言語が、数学です。現代社会が、数学に秀でる人材を多く必要とする理由が、ここにあります。筑波大学数学類の卒業生は、数学の研究者をはじめ、アクチュアリー、システムエンジニア、医学薬学統計などの統計解析に携わる職種、金融商品の開発や投資戦略を考案する職種、中高等学校の教員など、幅広い分野で活躍しています。

Q　数学は、どのようなところで役に立ちますか？

A　数学は、科学の多くの分野で、理論を記述し展開するための基礎学問になっています。数学は、その厳密性や普遍性により、多くの科学研究の土台として、科学の発展に多大に貢献しています。数学は、物理学、工学、経済学、生物学などに広く応用され、また、統計学を通じて医学や心理学、社会調査、保険業などにも使われています。数学は、現代社会において多様な役割を担っているといえるでしょう。

取得できる資格

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

教員免許

中学校一種免許状（数学）
高等学校一種免許状（数学、情報）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補

卒業後の進路

数学類卒業後の進路は大きく分けて３つあります。

１．企業や公務員への就職

数学類卒業生の高い分析力、構成力、論理性、柔軟な思考力は、多くの企業や官庁等で強く必要とされているものです。そのため、一般的な業種であればほとんどすべての企業が、数学類卒業生の就職先の対象となります。その中でも特に多いのは、ＩＴ企業や（銀行や保険会社等の）金融系企業への就職です。

２．中学校・高等学校の教員

筑波大学は東京教育大学を母体にしてできた大学です。そのため、教員を育成するための環境や気風が強くあります。数学類の卒業生からも、これまでに多くの中学・高校の教員を輩出してきました。また、数学類卒業後には、筑波大学大学院の数理物質科学研究科数学専攻（博士前期課程）や教育研究科数学教育コースに進学し、高度な数学や数学教育を身につけることで、専修免許を取得することができます。

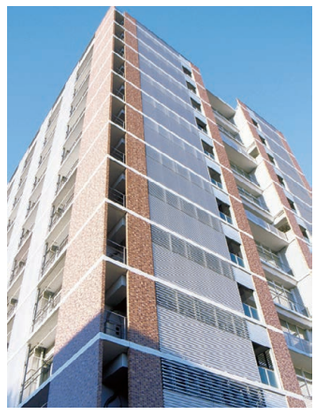
３．大学院への進学

より高度な数学の知識や経験を得たい場合は、筑波大学大学院数理物質科学研究科数学専攻（博士前期課程）などの、数学を学べる国内外の大学院に進学します。現在では毎年５割ほどの学生が大学院に進学しています。大学院で修士号を取得した後は、上の１や２のように企業や公務員、教員に就職したり、数学の研究をさらに続けるために博士後期課程に進学したりします。もし、いわゆる数学者（大学の数学教員）を目指すのであれば、博士後期課程に進学して、研究論文を作成する必要があります。



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		数学が好きであり、分からないことがあれば、答えが出るまで根気強く考えられる人材。また論理的（数学的）思考能力を身につけたいと願っている人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校レベルの数学の理解を深めておくこと。また数学のみならず自然科学全般に対する関心と理解を深める姿勢を養って欲しい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と、数学を学ぶ上で必要な論理的思考力・数学的思考力・応用力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で優秀な成績を修めており、数学を学ぶ目的意識が明確であること、数学という学問に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	AC入試	数学に対する強い好奇心を持続的に有していることを重視するとともに、独自に課題を設定し解決する能力および基礎学力を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際数学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持っていること、数学に関連する基礎学力、および数学への学習意欲等を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	協調性、数学に対する高い関心、そして入学後に数学を学ぶのに必要な基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な数学教育を受容できる基礎的な学力を有していること、数学に対する強い関心と思考力を有していること等を総合的に評価します。



理工学群

物理学類

http://www.butsuri.tsukuba.ac.jp/

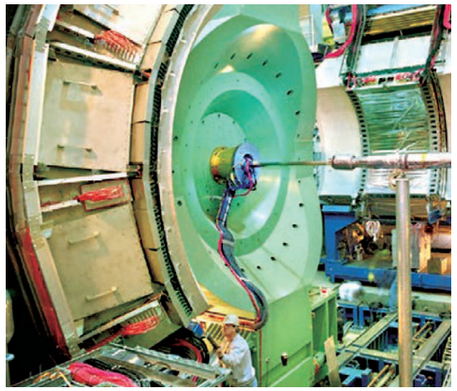
物理学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には140円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「物理学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8571 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学理工学群物理学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は583670）

[人材養成目的]　多様に発展する現代物理学について、しっかりとした基礎と高度な専門的知識を備え、かつ、真理を探求する過程を通して育んだ柔軟な思考力と、物事の本質を洞察し問題を根本から解決する力を持つ人材を育て、それらの人材がそれぞれの能力を生かして社会の様々な分野で活躍することを目的とします。





物理学は、自然界で起こる様々な現象の基本法則を解き明かしていく学問です。自然界の法則というと、原子・原子核・素粒子などのミクロな世界の成り立ちとそれらを理解するために必要な量子論、そして広大な宇宙空間に浮かぶ星や銀河の世界や時間と空間を結びつける相対論が思い浮かぶことでしょう。これら極限の世界で成り立つ新しい法則を探ることは、現代物理学の重要なフロンティアです。

私たちの周囲にある世界に目を向けましょう。物質は、固体・液体・気体・プラズマなどの姿を示し、また固体は金属や半導体、磁性体、超伝導など、様々な性質を示します。物理学はこれらの性質を理解する基礎を与えます。最近は生命現象に対する物理学も発展しています。このように、物理学は自然の成り立ちや自然界で起こる様々な現象を、その基礎から明らかにする学問であるということができます。

さらに物理学は、現代の先端的な科学技術の基礎を支えています。例えば、今日のコンピューター社会を支える半導体技術の発展や、様々な用途で用いられているレーザーの発明は、ミクロな世界の物理学の発達なしには成しえなかったものです。このように物理学は、現在そして将来の科学技術の根幹を支える学問でもあるのです。

そして、そのような物理学を学び研究する過程を通して何事にも「自ら学ぶ」ことを学び、身につけて欲しいと願っています。これは将来のどのような分野においても力となり、また人生を豊かにすることでしょう。

	授業科目
1年次	微積分、線形代数、力学１・２、電磁気学１・２、基礎化学、課題探求実習セミナー、生物学Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎セミナーⅠ・Ⅱ、総合科目、体育、情報、英語、物理学実験１
2年次	量子力学１・２、熱物理学、電磁気学３・４、連続体物理学、力学３、特殊相対性理論、物理数学１・２、計算物理学１、科学英語１、課題探求実習セミナー、物理学実験２
3年次	量子力学３・４、統計力学１・２、電磁気学５、計算物理学２・３、一般相対性理論、物理実験学１・２、生物物理学Ⅰ・Ⅱ、科学英語２、課題探求実習セミナー、物理学実験３、生物物理学実験、動物生理学Ⅰ・Ⅱ
4年次	素粒子物理学概論、原子核物理学概論、物性物理学概論、宇宙物理学概論、プラズマ物理学概論、生物物理科学、素粒子物理学、原子核物理学、物性物理学、宇宙物理学、プラズマ物理学、分子進化学Ⅰ・Ⅱ、卒業研究

特長

物理学類では、教員が講義・演習・実験・セミナーなどを担当するとともに、10の研究グループに属して様々な分野で最先端の研究を進めています。４年生では、これらのグループのいずれかに属して卒業研究を行います。また、多くの卒業生は大学院に進学し、それぞれの研究グループで最先端の研究活動を行っています。また、筑波大学には全国共同利用施設である計算科学研究センター、プラズマ研究センターを始め、多くの物理学に関係する研究センターがあります。さらに筑波研究学園都市には多くの国立・民間の研究施設があります。筑波大学の教員とこれらの研究機関との共同研究も盛んに行われています。

専門として学べる内容

物理学類のカリキュラムは、しっかりした基礎を築くことを重視するとともに、現代物理学の幅広い知識が得られるよう配慮されています。また、物事の探究力や思考力を養うことも目標にしています。

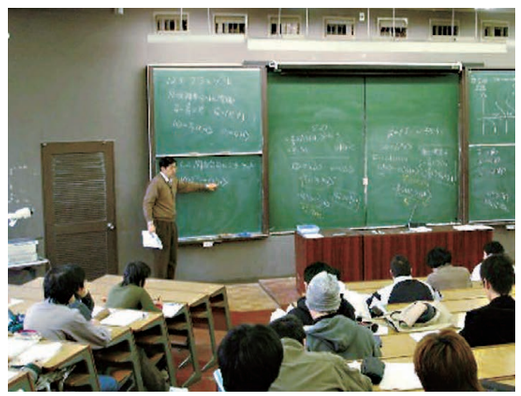
１年次では、広く一般教養を身につけるとともに、物理学の学習に向けて基礎的な科目を学びます。現代物理学には２つの相補的な視点があります。ひとつは現象を「質点の運動」として捉える立場、もうひとつは「波（あるいは場）の運動」として捉える立場です。そこで、力学と電磁気学で、それぞれの観点からの物理法則を見通しよく学習します。

２年次から量子力学や特殊相対論など、現代物理学の基礎となる主要な科目を学ぶようになります。物理学類では、物理学実験が必修科目として課されます。計算機を使った数値計算による物理や測定制御なども経験します。また、課題探求実習セミナーによって特定課題について自主的に深く探求します。

３年次では、より高度な物理学実験を行うとともに、量子力学、統計力学、計算物理学など、より進んだ基礎科目を学びます。

４年次では卒業研究が必修科目となっています。自分の専門を決めて１年間その研究室に所属し、研究に集中します。物理学類には、理論系と実験系の研究室があるので、専門を決める際には、理論にするか、実験にするかを考える必要があります。また、４年生向けに開講される授業では、素粒子、宇宙、原子核、物性、プラズマについて最先端に近いテーマが取り上げられます。１年間の研究を終えると、卒業論文を提出し、発表会に臨みます。





研究グループ

素粒子理論

格子量子色力学
超弦理論

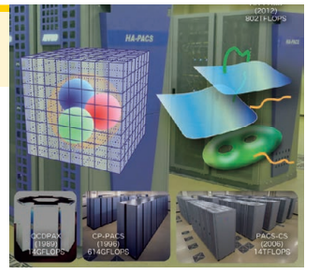


図:素粒子と時空の原理の探求と、専用計算機の開発

宇宙理論

銀河形成・宇宙論
計算宇宙物理学

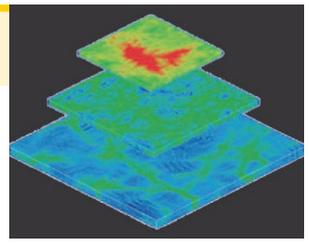


図:宇宙の再電解過程の計算機シミュレーション

原子核理論

原子核の構造と反応
量子ダイナミクスの計算科学

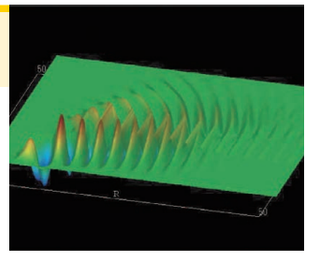


図:原子核分解反応の量子ダイナミクス

物性理論

量子輸送物性
量子物性理論
ナノ量子物性
表面界面物性
ナノ構造物性

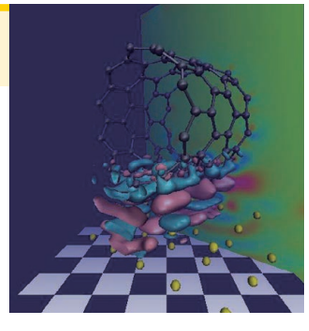


図:金属上におかれたカーボンナノチューブ

計算生命理論

生体機能の原子レベルでの理論的解明

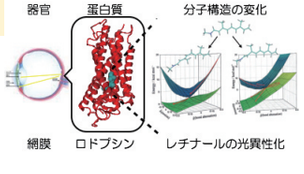


図:生体現象の階層性

素粒子実験

陽子陽子衝突実験ATLAS
国際線形電子陽電子実験ILC
ニュートリノ崩壊探索実験

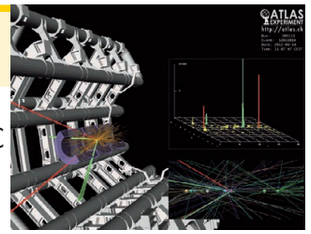


図:ATLAS実験で観測されたヒッグス粒子候補事象

宇宙観測

銀河・ブラックホール
南極望遠鏡計画

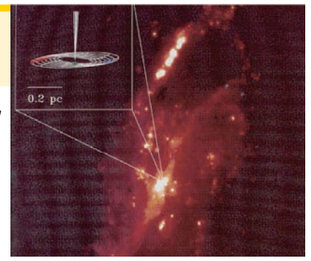


図:銀河中心にある巨大ブラックホールの観測

原子核実験

クオーク・グルーオン・プラズマ
不安定核、宇宙元素合成

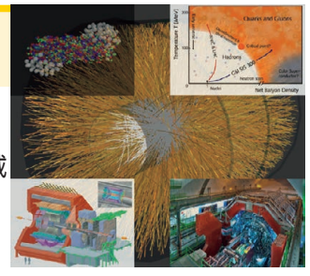


図:CERN-LHCでのALICE実験における鉛・鉛衝突

物性実験

半導体物性
表面物性
低温物性
磁性物性

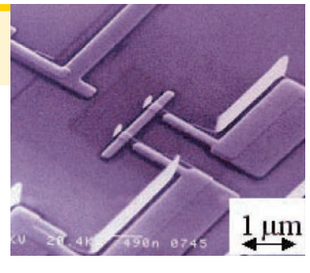


図:単一電子トランジスタ

プラズマ物理学

プラズマ閉じ込め、加熱
ミラー型核融合実験装置

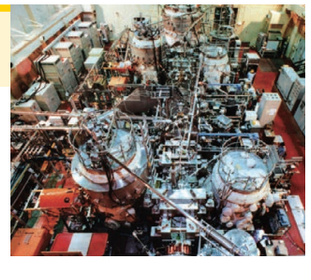


図:プラズマ実験装置ガンマ10

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補

卒業後の進路

物理学類の卒業生の進路は、大きく３つに分かれます。

①大学院への進学（基礎科学の探究）

②企業での開発研究（基礎科学の応用）

③中学・高校の教師（基礎科学の啓発）です。

①が80％程度で最も大きな割合を占めます。進学先は筑波大学の大学院である数理物質科学研究科が中心ですが、他大学の大学院に進学する場合もあります。大学院進学者のうちには、修士学位を取得後に、②、③に進む者も多く、②、③を目指す場合にも大学院に進み知識を拡げてから就職する場合が多くなっています。博士学位取得者は、大学や各種研究所の研究員となり研究者への道を歩んでいきます。



JCAHPC

筑波大学では1996年に当時世界最高速の並列計算機を開発するなど計算物理学の分野で先駆的な研究を行っています。

写真は2016年12月より東京大学と共同で運用を開始した、メニーコア型大規模スーパーコンピューターシステムOak Forest-PACSです。この計算機を用いて、物質・生命・宇宙・原子核・素粒子等広い分野で物理学の最先端研究が行われています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		高等学校のさまざまな科目についての基礎学力を有し、それを元にさらに物理学を学んでゆく能力を持った人材を求めます。また、広い視野を持ち、自ら学び、未知の物事に対して柔軟に対応できることが要求されます。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校レベルでの物理ならび数学に関する知識と理解、さらにはそれを応用する基礎的な能力。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、物理に関する高い関心と目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	AC入試	自然科学に対する持続的な強い関心、独自に問題を発見し解決する高い能力、物理学に関連する基礎学力、そして物理学への学習意欲を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際物理オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持ち、物理学に関連する基礎学力、そして物理学への学習意欲を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	協調性、物理に対する高い関心、そして入学後に物理学を学ぶのに必要な基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	大学２年生程度の基礎学力と物理学を学び修得するために必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価します。



理工学群

化学類

http://chemistry.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　自然界における普遍的な法則と未知物質・未知現象の探求、機能性物質の創製と材料開発、環境問題やエネルギー問題の解決、生命現象の分子レベルでの解明などに対する意欲を持つために十分な基礎的化学知識を有する人材を育成します。その上で、これらの知識と理解に裏打ちされた柔軟な思考力と国際的に活躍できる能力を有する人材の育成を目指します。





化学という学問

科学技術の進歩はめざましく、人類の発展を支えてきました。この技術革新において、基礎化学の果たした役割は極めて大きいといえます。化学者による新素材の研究を基盤として材料が開発され、実用化されているからです。化学とは、化学現象を分子・電子レベルで研究し、自然界における普遍的な法則を追求する学問ですが、そのような基礎研究から、新規化合物の創製、環境汚染やエネルギー問題の解決、生命現象を分子レベルで理解する研究などへ展開されています。このため、化学の重要性はますます高くなると言われています。

専門として学べる内容

化学類では、基礎知識の重視、柔軟な思考力の養成、国際的に活躍できる人材の育成などを念頭において、学生の指導・教育を行っています。

化学類の学生は、1年次に全学共通科目のほか、理学系学類共通の専門基礎科目を履修し、2年次では、無機化学、分析化学、物理化学、量子化学、有機化学、生物化学などの専門的な講義と基礎的な化学実験を履修します。さらに、3年次では、学びたい化学分野を一層深く理解するために、専門科目が用意されています。特に、実験の時間が大幅に増えるのが特徴です。専門化学実験Ⅰ・Ⅱ（無機・分析化学、有機化学、物理化学）は必修科目で、毎週3日間、午後はこれらの専門実験で実験技術を磨きます。2 、3年次でそれぞれ開講されている基礎化学外書講読、専門化学外書講読では、英語論文を読む力をつけ、卒業研究の準備をします。

4年次では、卒業研究が中心になります。化学類では、無機化学、無機物理化学、生物無機化学、錯体分子化学、物理化学、有機物理化学、量子化学、超分子化学、有機合成化学、構造有機化学、生物有機化学、有機地球化学、分析化学、放射化学などの分野をおき、物質の構造、物性、反応、合成などに関する基礎研究をはじめ、広い視野に立った境界領域の研究を行っています。希望に応じてそれぞれの分野の研究室に配属され、教員の直接指導のもとに卒業研究を行います。教職員や大学院生、国内外の研究者らと親しく接しながら活発な雰囲気の中で卒業研究を行い、研究成果を研究室セミナー、卒業研究発表会や日本化学会の研究発表会で報告し、化学者としての第一歩を踏み出します。

	授業科目
1年次	基礎化学、化学結合論、基礎無機化学、基礎有機化学、化学実験、化学基礎セミナー、化学セミナー、全学共通科目、理学系学類関連科目
2年次	無機化学Ⅰ、分析化学、物理化学Ⅰ、量子化学、有機化学Ⅰ・Ⅱ、生物化学、基礎化学外書講読、基礎化学実験、化学セミナー
3年次	無機化学Ⅱ、分子構造解析、物理化学Ⅱ・Ⅲ、有機化学Ⅲ・Ⅳ、界面・コロイド化学、専門化学演習Ⅰ・Ⅱ（無機化学、有機化学、物理化学）、専門化学実験Ⅰ・Ⅱ（無機・分析化学、有機化学、物理化学）、専門化学外書講読、化学セミナー
3年または4年	構造物理化学、物性物理化学、放射化学、計算化学、合成有機化学、錯体物性化学、超分子化学、固体物性化学、構造有機化学、天然物化学、無機化学Ⅲ、環境放射化学
4年次	卒業研究、無機・分析化学特論、物理化学特論、有機化学特論、生体関連化学特論、化学セミナー

化学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形2 号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には140 円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「化学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8571 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学理工学群化学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は583680）

特長

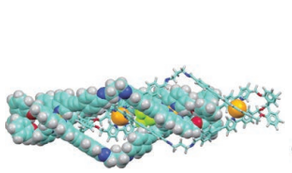
化学類の学生が4年次に配属される研究室では、以下に示すような最先端の研究を行っています。

錯体化学の最前線

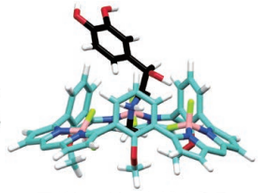
金属錯体は金属イオンと有機配位子からなる化合物であり、自然界や現代社会において反応触媒や機能性物質として重要な役割を担っています。最近、金属錯体の構造や電子状態を精密に制御設計することができるようになりました。また、金属イオンを組織的に集合させることにより、個々の金属イオンの特性が相乗的に機能する物質も合成され、その高度に設計された分子システムの化学的・物理的機能にますます期待が高まっています。錯体化学者は、未知の構造と機能に魅了され、日々物質合成と機能探索を続けています。

超分子化学

超分子化学は、水素結合や静電的な引力、ファンデルワールス力、水と油が分離する疎水作用など、分子と分子の間に働く弱い相互作用によって形成される超分子を扱う分野で、分子が分子を捕まえる化学、分子が集まって特別な機能を発揮する集合体の化学ともいえます。たとえば、二重らせんのDNAやタンパク質の集合体、液晶、生物にいたるまで超分子の一種ですから、超分子化学は基礎化学から生命科学、材料科学に及ぶ幅広い分野と深く関係し、近年めざましい発展を遂げています。特に、人工酵素、人工のホルモン受容体、分子センサー、バイオイメージング、ドラッグデリバー、さらには2016年のノーベル化学賞の対象となった分子マシーンなど、非常に複雑で魅力に溢れた超分子の研究が盛んに行われており、今最もホットな科学分野の一つです。

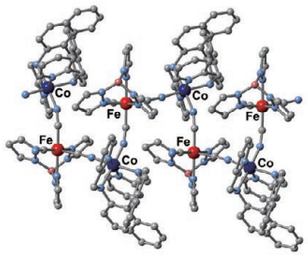


分子が分子を認識してできあがるインターロック型超分子

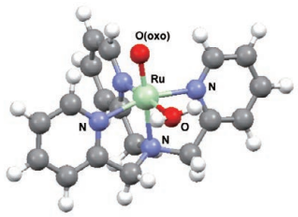


アドレナリンを捕まえる人工レセプター

(a)



(b)



(a) 光と電場で磁性を変換できる鉄・コバルト錯体
(b) 高効率光酸化触媒反応の活性種となるルテニウム錯体（DFT最適化構造）



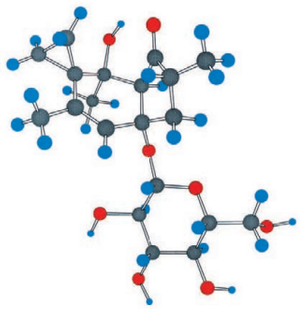
有機化学の研究には欠かせない核磁気共鳴装置(NMR)

精密有機合成

有機化合物は三次元構造をもっているため、その多くは空間における原子の配列だけが異なる立体異性体から成っています。医薬品は立体異性体により効力が異なるため、その合成には、立体異性体や位置異性体などを自由に作りわける手段である精密有機合成が不可欠です。厳密に決められたある特定の立体構造をもつ化合物を正しい分子設計理論にもとづいて合成するのが、有機合成化学です。

生物現象を化学の目で見る

生物のかかわる現象の多くは化学物質によってコントロールされています。個体内あるいは個体間の情報伝達物質（ホルモン、フェロモンなど）や生物内に存在する様々な生物機能物質（生物毒、抗生物質など）を化学の目を使って研究する分野が生物有機化学や生物無機化学です。化学はますます力をつけてきており、生命現象を分子レベルあるいは分子集合体レベルで解明できるようになってきました。これらの研究は、我々の福祉に直接関わる医薬品や農薬などの開発研究を支える基礎を提供するとともに、生物現象をいっそう深く理解するための大切な情報となります。



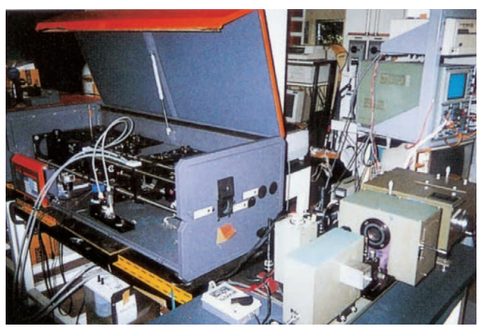
ワラビの発癌物質の構造

ソフトマターの物理化学

人類は古来、物質を「道具」の材料として利用してきました。その多くは、天然高分子を除くと、セラミックスや金属などの固い物質であり、高分子や液晶に代表される「やわらかい物質（ソフトマター）」の利用が本格化したのは20世紀の後半になってからです。たとえば、代表的なソフトマターである液晶を抜きにして現代の暮らしを想像することは難しいでしょう。また、私たちの体を作っている生体膜も代表的なソフトマターです。ソフトマターは、たくさんの分子が自発的に集まって複雑かつ柔軟な構造を作り出し、固い物質にはない性質を示すことを特徴としています。この仕組みを解明し、制御する方法を見つけることは、新材料の開発だけでなく生命の仕組みを明らかにすることにも繋がっています。

超高速化学反応の追跡

物質と光の相互作用としては、ホタルの光、アサガオの開花、また、目で物をみる現象である視覚等の多くの身近な現象があります。分子は光エネルギーを吸収して励起状態になり、反応活性になります。レーザー光を用いると特定の分子のみを狙い打ちして高速で反応を起こすことが可能です。ごく短い時間内（ナノ秒ns ＝ 10^{-9}s、ピコ秒ps＝10^{-12}s）の吸収スペクトルや蛍光スペクトルの変化を測定し、励起状態や反応中間体の振舞を明らかにし、超高速反応も追跡することができます。



超高速光化学反応追跡のためのレーザー分光システム

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（理科）

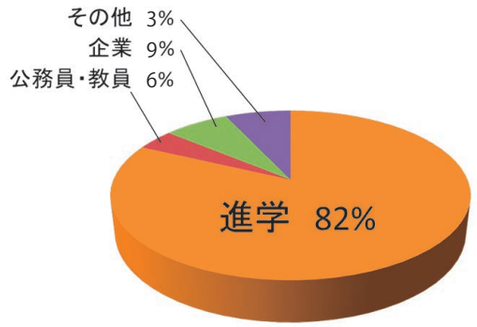
高等学校一種免許状（理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

卒業生の約8割は大学院へ進学し、その他は公務員（県庁など）、教員（高等学校、中学校）、企業などへ就職します。

大学院修了後の主な進路は、化学関連の企業や公的機関への就職、博士後期課程への進学です。

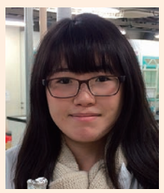


入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		自然界における物質的多様性と普遍的法則を追究し興味ある新規物質や未知現象を探究する能力と意欲を有する人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校レベルの化学についての基礎的知識を修得し、それを応用する能力を身につけていること。数学、物理学、生物学など関連分野に関する基礎的知識と語学の基礎的な能力を持つことが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と、化学を学ぶ上で必要な科目の高度な理解力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めており、化学に関する高い関心、目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	AC入試	化学及び関連事項に対する強い関心を持ち、独自に問題を発見し、明確な目標のもとに主体的に学習し、問題解決する高い能力を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際化学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持ち、化学に関連する基礎学力、そして化学への学習意欲を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	協調性、化学に対する高い関心、そして入学後に日本人とともに化学を学ぶのに必要な基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な化学教育を受容できる基礎的な学力、化学に対する強い関心、論理力、思考力、応用力を総合的に評価します。

学生からのメッセージ

化学の世界



下村　日夏
出身：埼玉県立川越女子高等学校
化学類　在学中
2014年度入学

皆さんは化学にどういうイメージを持っているでしょうか。白衣を着てフラスコやビーカーを持って化合物を合成する。こんな光景を想像するかもしれません。しかし実際の化学は白衣を着ずに解析や測定を行って研究する分野も多くあります。大学で勉強すると化学の世界の広さと深さに驚くことでしょう。どんな光景が待っているのかは勉強するまでの楽しみにしておいてください。また、筑波大学は広大なキャンパスでそれぞれ異なる分野を学ぶ学生達が集まっています。私自身サークル等でいろんな学類の友達ができました。自分と全く違う分野の友達を持つことは良い刺激になりますし、何より楽しいです。ぜひ筑波大学で学業も生活も充実した大学生活を送ってください。

広がる自分の世界



武石　匡史
出身：埼玉県立秩父高等学校
化学類　在学中
2014年度入学

筑波大学に入学して感じた最も高校と違う点は実験です。筑波大学化学類では、実験設備が非常に充実しており様々な分野の実験を行うことができます。実験をしていく中である法則が成り立たない場合での実験結果や理論的な数値からずれる結果が得られる場合もあります。この時、なぜそのような結果が得られたかを考察することで、考える力や問題を解決する力を身につけることができると思います。また、筑波大学には多くの学生団体があり化学類だけでなくほかの分野を学んでいる人や様々な国の人とも交流できるため、視野を広げることができると思います。最後に、大学生活は楽しいことばかりではないかもしれませんが、それゆえ大きな達成感や充実感を得ることができると思います。

理工学群

応用理工学類

http://www.oyoriko.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] われわれの社会を維持・発展させ続けるために必要な最先端工学の基盤となる科学・技術を原理から理解し、さらに発展させることができる、創造力豊かな技術者・研究者を養成します。

特定の分野にこだわった学部や学科では高度に細分化された専門性を学ぶことができます。しかしながらその一方で、現代、さらにはこれからの工学には、複雑化・難題化が進む社会の要請に応えるために広い学際性も要求されています。そのためには、自然科学の基礎を幅広く身に付け、それらを融合して難題に対応できる総合的な工学力が必要です。応用理工学類では、数学×物理学×化学×生物学で表されるように、各分野の経験・知識を相乗的に融合させることで、特に素材や計測技術など日常生活では直接目には触れなくとも工業の基礎となる分野において、現在の問題から将来の未知なる課題にも対応可能な工学士を育成することを目標としています。

主専攻	学びたいこと	授業で主に学べること
応用物理（視て現象の本質に迫る）	・光や粒子線を応用して、先進的な医療技術を確立したい。 ・核磁気共鳴などの物理現象を利用して、生体計測技術を開発したい。 ・核融合を目指したプラズマ制御や次世代エネルギー源の開発で、エネルギー問題を解決したい。 ・グリーン環境に配慮した、グラフェンなどの次世代機能性材料を開発したい。 ・バイオ技術や蛋白工学を駆使して、新たな病理診断や治療に役立てたい。	電磁波による生体計測技術、量子ビームによる表面計測・超微細加工・医療技術、プラズマ物理／核融合技術、理論計算による物質設計　など
電子・量子（ミクロな量子の力をエネルギーや環境のマクロな問題に応用）	・環境、資源、エネルギー問題を科学と技術で解決したい。 ・高効率太陽電池を研究・開発したい。 ・工学を医療分野へ応用することにより、技術で治療を支援したい。 ・環境に優しい材料で情報機器を作りたい。 ・情報機器を低消費電力化し、太陽光だけで稼働する高性能電子機器を作りたい。 ・原子・分子の配置を制御し、固体の性質を自在にデザインしたい。 ・レーザービームや反物質ビームで、固体、分子、原子構造を解明したい。	半導体・磁性体などの電子状態、トランジスタや太陽電池などの動作原理、有機・無機電子デバイス、ナノテクノロジーによるデバイス作製、パワー／グリーンエレクトロニクス　など
物性工学（新材料！科学を拓き未来を創る）	・超伝導素子や半導体メモリを開発し、エレクトロニクスを発展させたい。 ・電力不足の解消のために、新しいタイプの太陽電池やLEDなどの光機能素子を創成したい。 ・医療用金属、形状記憶合金、ナノ金属、原子細線など、次世代金属材料を実用化したい。 ・地球環境問題の解決に向けて、自然に優しいセラミックスや有機素子を創り出したい。 ・コンピュータ計算を用いて、役立つ人工物質を設計したい。 ・量子ビットを設計・制御して、量子コンピューターを実現したい。	超伝導現象の原理とその応用、物質内の原子・分子の配列状態、金属・半導体・セラミックスの特性、ナノ構造物質の性質、無機・有機材料の合成法、物質の性質の理論的な取り扱い　など
物質・分子（新しい物質で新しい時代を）	・誘電性ポリマーや有機磁性体のような新規な有機材料を開発したい。 ・原子や分子について理論的に研究したい。 ・環境やエネルギーの問題解決に貢献する触媒を開発したい。 ・ナノ粒子を利用した高純度、高活性な薬剤合成法を開発したい。 ・生体内の化学物質を高感度に検出するバイオセンサーを開発したい。 ・再生医療やがんの治療に関わる研究を行いたい。 ・太陽光のエネルギーを変換する植物の光合成について学びたい。	有機／無機化学、物理化学、化学合成法、触媒／表面反応、バイオケミストリー、バイオテクノロジー　など

応用理工学類パンフレットの請求方法

●http://www.oyoriko.tsukuba.ac.jpからダウンロードできます。
また、主専攻や授業内容などのより詳しい情報もあります。

専門として学べる内容

応用理工学類の理念は、特定の分野に直結した応用ではなく、理学と工学を広く融合させることで、より複雑化・難題化する社会の要求に“応えて用いる”ことのできる工学力を養成することです。そのために、カリキュラムとして筑波大学の他学類や他大学の理科系学部に比べて多方面の学問にわたる科目が必修となっているのが特長です。1,2年では自然科学の基礎的な科目として数学、物理学、化学、生物学とともに、工学への応用のための導入科目を学びます。1,2年次に十分に基礎力を培い将来の夢や希望がより明確になった時点で次なるステップとして、3年進級時に4つの主専攻（応用物理、電子・量子、物性工学、物質・分子工学）に分かれて専門性を高めます（どのようなことが各主専攻で学べるかの具体例は下記表を参考にしてください）。主専攻に分かれても応用理工学類の理念である分野融合のもと、固体物理学、量子力学、統計力学、化学、生命科学は重要な共通的科目と位置付けています。4年進級時にはそれまでの授業主体の学びから、研究室に配属され本格的に研究活動を始めます。応用理工学類を担当する教員の専門分野は、デバイスや計測技術の応用開発から基礎的理論、物理から生物、化学分野と大変幅が広いです。これら教員のもとでの卒業研究を通して、工学分野での研究・開発に関する基礎を習得します。

教員からのメッセージ

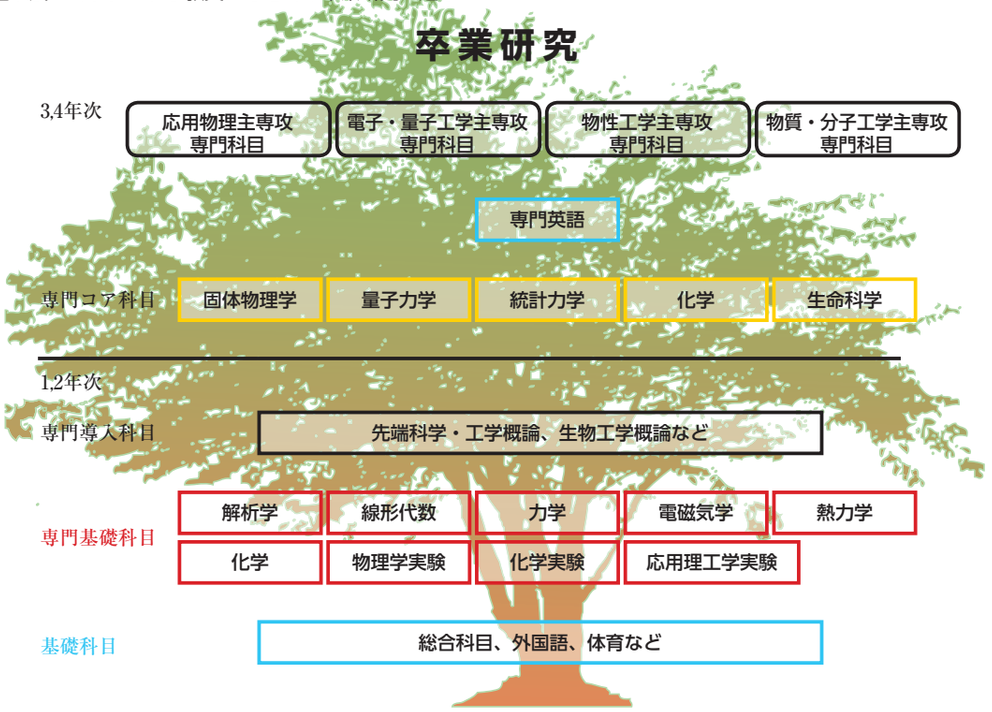


数理物質系物質工学域
准教授
鈴木 義和

最近では、もくもくと黒煙を吐きながら走るダンプカーやバスを見る機会はめっきり少なくなった。しかし、一歩日本から外にでてみるとこの状況は一変する。日本のように整備の行き届いた車が走っているというのは、どちらかといえばまれである。年季の入った旧式のディーゼル車が大量のモノや人を乗せ、黒煙をまき散らしながら街を行き交う。「…ディーゼル粒子除去フィルターだって？　そんなもの見たこともないよ。」

ここで我々材料研究者は考える。「今よりもっと安くて簡単に、いいモノを作ることができれば」、と。理系だからといって研究室にこもっているだけでは答えはでない。インターネットは便利だけれど、その情報には限りがある。足を使って、いろんな人に話を聞き、具体的な解決策を考えていく。このテーマ設定が研究の醍醐味だ。無限の組み合わせの中から、化学や物理の知識を総動員し、新しい材料をイメージしながら、実現可能なプロセスを描きだしていく。さあ、実験だ。

世界のさまざまなところで顕在化している環境やエネルギー問題。「新材料」をひっさげて、問題解決に挑んでみよう。

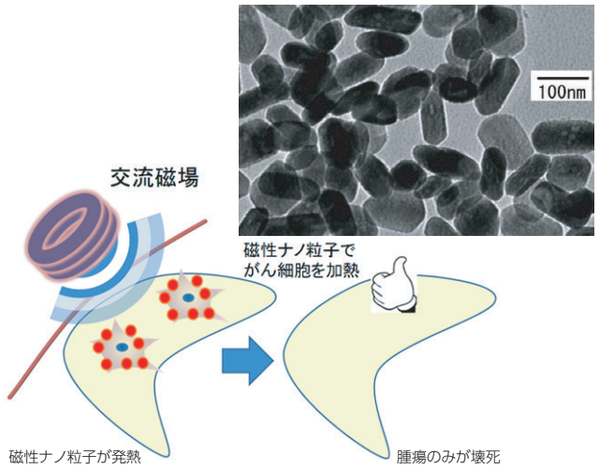


学類担当教員の研究紹介

磁気の力で体に負担を掛けずに癌を退治！
(喜多・柳原研究室)

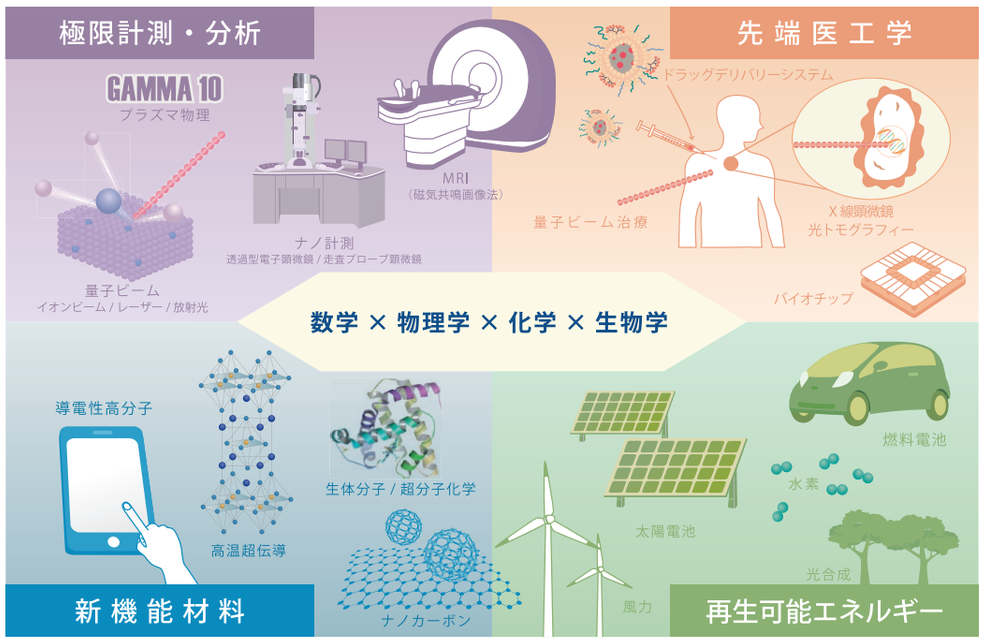
癌は日本人の死因の第一位です。この癌を克服するために、世界中で様々な治療方法の開発がおこなわれています。現在、一般的に用いられている治療法には、（1）外科的療法、（2）化学療法、（3）放射線療法の３つがあります。我々の研究室では、より優れた治療方法を目指し学内の医学系研究室などとの共同で磁性ナノ粒子を用いた癌の焼灼療法の開発を行なっています。これは、強磁性体に交流磁場を与えるとヒステリシス損失で発熱することを利用して、局所的に腫瘍を焼く治療方法です。抗体反応などを利用することで磁性ナノ粒子を腫瘍部分に集め、体外から磁場を加えることで腫瘍部のみを局所的に高温加熱し、壊死させることができます。この方法は、現行の治療法では治療が困難な難治症例に対して大きな効果が期待されているばかりでなく、患者にとっても負担の少ない治療手法と考えられます。

磁気記録の分野で広く利用されていた磁性粒子には、その作製方法、磁性の設計・制御方法、分散技術など、高い基礎技術の蓄積があり、癌の焼灼療法に適したナノ粒子の作製に応用できます。医学・生化学研究グループとの連携を取りながら、高性能な磁性ナノ粒子の作製と高磁場発生装置の設計・開発を中心に、この革新的な癌治療方法の実現に向けて研究をしています。



上図：磁性ナノ粒子（赤丸）を癌細胞（星形）に集め、体外から交流磁場を加えることで癌腫瘍のみを壊死させる。写真はそれに用いる磁性ナノ粒子。

他の研究例については学類HP をご覧ください。



資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を履修すれば、次の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科、工業）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

目覚ましい科学技術の進歩とともに、工学分野は急速に複雑多様化が進んでいます。最新の科学技術に触れ、より高度な対応能力や経験を身に付けるため、90% 近くの卒業生が大学院に進学しています。応用理工学類に直結した大学院は数理物質科学研究科です。そこでは、連携大学院制度などを通じて、筑波研究学園都市に存在する大学以外の研究機関にて世界レベルの科学技術を学ぶことも可能です。大学院修了生を含めた卒業生のほとんどは、大企業、大学や国立研究所などで研究者や技術者として活躍しています。その具体的な分野としては、電気・通信、半導体、精密機械・計測、鉄鋼・金属、自動車・機械、電力・インフラ、高分子化学、食品・バイオ、官公庁や教員など多方面にわたっています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		先端科学技術を原理・原則から理解するための基盤となる数学的・論理的思考力を有し、物理学・化学などの科学的基礎知識を備えたうえで、それらの先端的工学応用に興味を持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学Ⅲまでの数学および物理基礎・物理、化学基礎・化学の十分な知識・理解力・応用力を有していることが望ましい。また、生物基礎程度の基礎的知識と理解力が備わっているとさらに望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	科学の技術分野への応用やミクロな自然法則に基づく科学・技術の習得に必要とされる数学や理科の学力を中心に判断します。基礎学力と進学後の勉学に対する適性を評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	先端技術を科学の視点から本質的に理解する基礎学力を持ち、かつ大学進学後の勉学の目的を明確に示すことができ、物理・化学法則に基づく工学分野へ進む意欲を持つ人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、自然科学の技術分野への応用を理解し、自然法則や物質、材料に関連する事柄について自分の興味や進路を適切に表現できる能力を持ち、かつ考察能力、分析能力を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	先端科学技術を科学の視点から理解し発展させるために必要な強い意欲と数学や物理に関する基礎学力を有し、これを学ぶに必要な日本語および英語の語学力を有する人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	協調性、工学に対する高い関心、そして入学後に工学を学ぶのに必要な基礎学力とコミュニケーション能力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な工学教育を受容できる大学２年生程度の基礎学力と勉学意欲、工学に対する強い関心と論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。

学生からのメッセージ



佐々木 椋一さん
（応用理工学類４年）

応用理工学類では、自然科学の原理を十分に理解したうえでそれを技術に応用するという、いわば理学と工学の双方の視点を持っており、非常に先進的な学びの場となっています。数学・物理学・化学・生物学の幅広いバックグラウンドの知見をもとに、様々なミクロの分野での最先端研究が行われており、混沌とした現代社会で求められる研究者・技術者の理想像がここにあると思います。研究の選択肢の幅広さも魅力で、入学後にじっくりと選ぶことができます。

私は基礎の教養から専門の専攻へと入ったところですが、今後の研究への道に日々わくわくしています。学類内の学生の仲も非常に良く、充実した学生生活を送れます。皆さんもこのような魅力的な場で共に学びましょう！

卒業生からのメッセージ



加藤 恵介さん
（現在　スタンレー電気株式会社 勤務、H20年3月工学基礎学類（応用理工学類の前身）卒業、H22年3月大学院数理物質科学研究科修了）

応用理工学類にはあなたの“眼ヂカラ”を養う機会に溢れています。

現象・物事を違う角度から観察したとき、今まで見えていた姿とは全く違った！ということは実生活にも研究生活にもよくあることです。物事を多面的に観察するには、幅広い知識と常識にとらわれないチャレンジ精神が必要です。応用理工学類では多分野にわたり国内トップレベルの研究が行われているので、自身の専門分野を極めるだけでなく、知識の裾野を無限に広げられる環境が整っています。また学内を見渡すと留学生が多いということも特色の一つで、国内にいながら様々な国の人とコミュニケーションをとり新たな価値観の発見をすることも出来ます。もしあなたに多面的に観察する“眼ヂカラ”があれば新たな発見で世界を変えることが出来るかもしれません。

理工学群

工学システム学類

http://www.esys.tsukuba.ac.jp

[人材養成目的]　安全で安心であり、快適で豊か、かつ持続可能な人間生活を工学面から支え牽引できる人材、すなわち、１.広い分野に応用できる基礎能力、２.広い視野を持った仕事の遂行能力、３.社会人・職業人としての人間基本力を身につけた技術者・研究者を養成します。

カリキュラム

「工学システム」は工学の新たに確立された学問体系です。工学システム学類では、急速に細分化が進み専門化されすぎた工学を、新しい観点から整理し系統立てて教育することにより、工学の様々な問題を解決できる独創的な人材を育成することを目的としています。このため、数学や物理といった工学全体の基礎を広く学ぶとともに、計算機の利用技術、情報処理技術を修得し、さらに新しい工学を作り出すための系統的（システム的）方法論と手法を学びます。また、高度な発展を遂げてきた諸技術の要点を把握し、それらの例を通じて系統的な考え方を理解し、まとまった機能を持つシステムの設計や実現を体験する中で、高度な工学的独創性を磨いていくことを目指します。

主専攻	学べること	主な授業	
知的工学システム	高度情報化社会における人間や環境にマッチした高度な知的処理に基づく、人間にやさしいシステムの構築・設計のための理論・技術に関する教育・研究を総合的に行っています。目標とする工学的システムの知能化に要求される広い意味での情報の計測・設計、処理、伝送に関する理論と技術を修得します。ここでは、エレクトロニクスや、限りなく人間や環境にやさしく調和する高度な知的処理なども教育・研究対象の一つとなっています。	システム工学、システム制御工学、人工知能、画像処理、ヒューマンインタフェース、通信工学、数値解析、プログラミング序論、コンピュータアーキテクチャ、情報理論、研究・開発原論、安全工学、システム信頼性工学　など	数学、物理学、応用数学、専門英語、物理学実験、計算機序論、基礎実験、専門実験、応用実験、卒業研究、工学者のための倫理
機能工学システム	人間と機械要素を統合的に捉えるマン・マシン制御システムやロボットと、人間の耳目や頭脳要素にあたる各種センサやバイオコンピュータ、ニューラルネットワークを含むインテリジェントデバイスなどについて理論と技術を修得します。現在、情報化社会や最先端技術の中で、各種の大規模知能化制御システムが活躍しています。このようなトータルシステムでは、機械要素のみならず人間もシステムの構成要素として考える必要があります。本主専攻では、そのようなシステムを設計するエンジニアの養成を目的としています。	システム工学、システム制御工学、機械設計、システムダイナミックス、システム最適化、ロボット工学、計測工学、メカトロニクス機構学、メカトロニクス機能要素概論、プログラミング序論、コンピュータアーキテクチャ、バイオシステム基礎　など	
環境開発工学	社会を支える基盤的システムを革新し、設計、運用するための理論と技術を習得します。対象は、建築物、橋梁、河川・海岸施設、発電装置、船舶、航空宇宙機、自動車、精密機器、電気電子機器など多岐にわたります。これらシステムとして捉え、効率性と信頼性の追求、また地球環境に与える影響への配慮などができる総合的な能力を備えたエンジニアを育成します。	材料力学、振動工学、構造力学、コンクリート工学、複合材料学、流体力学、熱工学、環境リモートセンシング、設計計画論、機械設計、信頼性工学、産業技術論、機器運動学　など	
エネルギー工学	動力、電力、熱、光、化学、原子力にわたる広範囲なエネルギーと変換過程についての基礎的知識と、エネルギーの変換、輸送、貯蔵、利用、それらを融合した性能の高いシステムを設計し制御するための理論と技術を習得します。太陽・風力など再生可能エネルギーの導入、燃料電池の開発と応用、自動車や航空宇宙分野での新技術開発に代表される高効率化やCO_2排出削減といった資源・環境問題を解決できる能力、エネルギーの未来についての優れた見識を兼ね備えた社会貢献に資するエンジニアを育成します。	電磁気学、電力工学、電気回路、パワーエレクトロニクス、物理化学概論、熱工学、伝熱工学、流体力学、自然エネルギー工学、燃料電池工学、エネルギー機器学、機械設計　など	

工学システム学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類Web ページからダウンロード可能です。
http://www.esys.tsukuba.ac.jp/
●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は541440）

専門として学べる内容

教育内容と4つの主専攻分野

工学システム学類では、旧来からある教養課程と専門課程という段階的な区分を設ける教育システムを採っていません。カリキュラムは、4年間を通じて一般的な科目と専門的な科目とを融合的に学べるように配慮されています。このため1年次からレベルに応じた専門的な学問に触れることができます。2､3､4年次では、「知的工学システム」、「機能工学システム」、「環境開発工学」、「エネルギー工学」の4つの主専攻分野に分かれますが、学生本人の希望により他専攻、他学群・学類の講義も受けることができる柔軟な教育体制の中で深さと幅広さの両方を追求できるようになっています。

特長

本学類の教育課程は､ＪＡＢＥＥ(日本技術者教育認定機構）の認定を受けています。卒業生は、今後世界で活躍するために必要となる技術士の一次試験が免除されると共に、技術者教育のグローバルスタンダードのひとつであるワシントン協定を通じ、同協定加盟国の認定プログラム修了者と同等に評価されることになります。

特色のある授業



人の上腕の運動特性計測と、人と協調して働くシステムの設計・製作・実験・評価などを行い、サイバニクス技術について学びます。



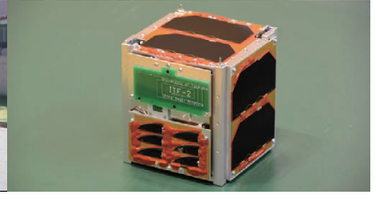
ワンチップマイコン、超音波距離センサ、磁気センサ等を搭載して自律飛行する飛行船を設計・製作します。

学生の活動









実験関連授業をはじめとして、各種コンテストへの参加や課外活動など、横断的な工学分野の知見を生かせる様々な場面において、工学システム学類の学生たちは在学中から活躍しています。筑波大学初の小型人工衛星ITF-1に続き、ITF-2（写真右下）の設計開発でも、工学システム学類の学生たちが力を発揮しました。

研究教育施設



計算機室：24時間利用可能です。電子メールやインターネットからの情報収集をはじめとして、レポートの作成、計算機言語の習得、各種のシミュレーションなど多角的に活用されています。



カーボンニュートラル対応エネルギーシステム：直流と水素のネットワークにより、再生可能エネルギーを極限まで利用しながら安定的な電力供給を実現するエネルギーシステム。



大型載荷試験機：1/3スケール～実大規模の建築、土木構造物モデルに地震力などを模擬した加力実験を行う加力フレームと100トンアクチュエータ



最先端の科学技術計算・モデリングツール：研究開発・企業や政府機関で通用するソフトウエア環境を利用可能です。

卒業生からのメッセージ



高橋　恵輔
工学システム学類　卒業
（機能工学システム主専攻）

工学システム学類では広範囲の学問を学ぶことができ、汎用性の高い技術を得ることができます。就職後は在学中とは異なる分野を手がけることになりましたが、学類で学んだ知識は大いに役に立っています。また、大学で出会った友人の中には、同じ年とは思えないほどの技術やセンスを持っている人が多く、刺激的な毎日を送ることが出来ました。私が筑波大学で過ごした期間は、人生の中で最も充実した時間だったと誇りに思っています。



上道　茜
工学システム学類　卒業
（エネルギー工学主専攻）

工学システム学類には、幅広い工学分野をカバーしたカリキュラムや真剣に研究に取り組むことができる設備といった、すばらしい環境が整っています。私は現在、大学院生として研究を行っています。ここでは、学類時代に学んだ工学知識や、課外活動として主導した宇宙技術プロジェクトでのハイブリッドロケット製作経験から得た技術が活かされています。筑波大学というフィールドを目一杯使い倒して、グローバルな課題を解決できる人材になりましょう！

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科、情報、工業）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

技術士（一次試験が免除）

二級建築士・木造建築士受験資格（環境開発工学主専攻）

（卒業後、2年以上の建築等に関する実務経験を経ることによって、一級建築士国家試験の受験資格）

施行管理技士受験資格（環境開発工学主専攻）

卒業後の進路

卒業生は、将来の先端的な分野で活躍することが期待されています。毎年の卒業生約140名のうち、約10名が就職、約130名は大学院に進学しその修了後に就職します。知的工学システム主専攻と機能工学システム主専攻の卒業生の主な就職先は、電気・電子、情報、機械、通信、サービス等の企業や官公庁です。また、環境開発工学主専攻とエネルギー工学主専攻の卒業生は、上記の企業や官公庁に加えて電力、航空宇宙、重工業、建設、金属分野等の企業へも就職先が広がっています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		(1) 工学系に必要な基礎学力とセンスがあること。 (2) 好奇心と学習意欲に溢れていること。 (3) 技術者になるという明確な目的意識があること。 (4) 優れた思考力、判断力、表現力とコミュニケーション能力を身につけていること。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学IIIと物理基礎・物理の内容および基礎的な英語能力を身につけていること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	自然科学、数学における基本的な概念や原理・法則への理解の深さ、事象を自然科学的に考察して理解するとともに数学的に処理する能力の高さを評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	基礎学力の評価に加えて、工学的システムに対する関心の高さと、自然科学や数学における基本的な概念の理解の深さ、並びに、勉学への意欲を評価します。
	推薦入試	高等学校在学中における、授業科目の学習と生徒会やスポーツなどの課外活動への取り組みの両立を評価するとともに、数学など工学系に必要な基礎学力と科学的思考姿勢と工学センス、並びに、思考力、判断力、コミュニケーション能力などを評価します。
	AC入試	本人からアピールされた、今までの経験、ものに継続的に取り組む態度、数学・物理の基礎学力とその運用力、論理的な文章を作成する能力、コミュニケーション能力に基づいて、技術者になるという明確な目的意識、並びに、興味の深さと広さ、積極性、行動力、表現力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学や数学の基礎学力に加えて、主体的に学び考える力およびコミュニケーション能力、工学を積極的に学ぶ強い学習意欲を評価します。
	私費外国人留学生入試	工学に対する関心や理解力の高さ、日本語能力に加え、入学後の学修に必要な基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な工学教育を受容できる基礎学力と勉学意欲、工学に対する強い関心と論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。



研究基盤総合センター工作部門（筑波大学全学共通施設）：精密な実験装置の加工や部品の製作を先進の設備と技術で行うことができます。

理工学群

社会工学類

http://www.sk.tsukuba.ac.jp/College/

[人材養成目的]　人間行動が複雑に絡み合う社会的諸問題を工学的・実践的・戦略的に分析するために必要な文理融合型思考能力を持ち、総合的な問題解決のためのシステムを設計できる人材を養成します。



“つくばの社工”: 筑波大学 理工学群 社会工学類

現代社会が直面する複雑・多様な諸問題は、もはや伝統的な学問の個別領域で単独に解決することが困難となっています。そこで“つくばの社工”では、社会・経済（社会経済システム主専攻）、企業・経営（経営工学主専攻）、都市・地域（都市計画主専攻）に関する社会問題に対して、そのメカニズムを科学的・客観的に理解し、新たなよりよい社会システムを提案できる未来構想人材の育成を行っています。

“つくばの社工”の1年次

1年次の学生は主として基礎的科目（情報関連科目、数学関連科目、専門基礎関連科目）を履修します。特に専門基礎関連科目は3主専攻の専門科目への入門的な性格を持ち、1年次の学生が早い段階で“つくばの社工”に馴染めるように提供されています。また、“つくばの社工”は専門知識の実践的活用を重視するため、社会工学実習、情報リテラシー演習、プログラミング実習等の実践的科目を専門基礎科目群の一部として位置付け、2年次以降の専門課程にスムースに移行できるように配慮しています。

“つくばの社工”の2年次以降

2年次から学生は主専攻に所属し、専門科目を履修します。各学生は、1年次の勉強をふまえ、自由に主専攻を選択できます。主専攻の変更や、他の主専攻の教員から研究指導を受けることも可能であり、この自由な教育研究環境が“つくばの社工”ならではの大きな特徴です。そして、2年次には入門的な専門科目を、3年次と4年次の学生にはより高度な専門科目を学習できるようにカリキュラムを工夫しています。

“つくばの社工”では、各主専攻の専門科目をエリアという科目群に分けています。具体的には、社会経済システム主専攻には「計量分析システム」・「国際・公共システム」・「戦略行動システム」の3エリアが、経営工学主専攻には「マネジメント」・「情報技術」・「数理工学モデル化」の3エリアが、そして都市計画主専攻には「環境とまちづくり」・「都市構造・社会基盤」・「地域科学」の3エリアがあります。幅広く専門領域を学習し総合的・学際的な問題解決能力を醸成するためにも、主専攻の専門科目だけでなく、他の主専攻の専門科目をエリア単位で修得することを卒業要件として課しています。

社会工学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類Web ページからダウンロード可能です。
http://www.sk.tsukuba.ac.jp/College/
●ご興味のある方は、インターネットで“ 社会工学類”を検索してください。

学類長からのメッセージ



“つくばの社工”へのご招待

社会工学類長　秋山 英三

人間行動の場である社会・経済、企業・経営、都市・地域においては、自然現象などの影響だけでなく人間の行動の結果として様々な現象が起こり、多種多様で複雑な問題が発生します。自然現象への対処に関しては工学の得意とするところです。しかし、人間行動に起因する問題解決のためには、学際的な叡智を結集して、それぞれの人間行動の規模に適した合理的な理論モデルを構築し、客観的なデータ分析に基づいた合意形成や意思決定をしなければなりません。

近年において、このような文理融合型の教育の必要性はますます強調されてきています。“つくばの社工”では、それに先駆けて経済学、経営学、心理学、社会学などの文系科目と数学、統計学、オペレーションズ・リサーチ、情報工学、計算機科学、都市・環境工学などの理系科目をカリキュラムに取り入れた教育を行ってきました。そして、専門科目の授業だけではなく、実習、実験や演習を重視した実践的な教育を行うことにより、学際的思考力と客観的な分析能力を身につけるようなカリキュラムを提供しています。

データ分析に基づいた、より客観的な目で人間行動の現象を理解したいと思いませんか。また、得意な数学を駆使して人間の行動の場で発生する現象を理解したいと思いませんか。“つくばの社工”では、このような要望を満たすことができる基礎学力と応用力を身につけることができます。

主専攻	学びたいこと	学べること
社会経済システム	☆社会・経済がどのような制度や慣習に基づいているかを知りたい。 ☆社会・経済問題を解決する制度設計のあり方を提示できるようになりたい。 ☆制度の中で人々がどのような行動をするのか、自発的に協調できるのかを追究したい。	計量分析システム 国際・公共システム 戦略行動システム
経営工学	☆経営問題の原因を科学的に特定し、解決策を提示できるようになりたい。 ☆世界で戦える経営技術（数学力×IT力×現場力）を身につけたい。 ☆顧客と企業が互いによりhappyになる姿を追究したい。	マネジメント 情報技術 数理工学モデル化
都市計画	☆都市・地域の諸問題の原因と構造を科学的に特定したい。 ☆住み良い快適な都市のデザインや計画を提案できるようになりたい。 ☆地域の活性化に貢献できるようになりたい。 ☆世界中の都市について知りたい。	環境とまちづくり 都市構造・社会基盤 地域科学

経済学部との違い

社会経済システム主専攻と経済学部の経済学科との大きな違いは、数理的アプローチの重視度です。経済学の一通りのことを学び、それがベースになることはもちろんですが、社会における様々な問題を発見し、数学や統計学などをツールとして問題分析をした上で、解決の方法を見つける能力を養成すべく実習・演習などが組み込まれています。また、専攻間をまたいだ問題に対しても容易に専門家を見つけられるというのは大きなメリットです。

経営学科との違い

経営工学主専攻では、経営学、会計学、経営組織論といった経営学部でも学ぶ科目の他に、「IT力」と「数学力」を養成します。それらの応用として金融工学や品質管理といった、工学系ならではの科目に大きな比重が置かれている点が最大の違いといえます。また、会計工学研究室のように、“つくばの社工”にしかない目玉研究室が多数あります。社会経済システムや都市計画についても学ぶことができ、他大学にはない長所を持っていると言えます。

建築学科・土木工学科との違い

建築学科・土木工学科と異なるのは、都市・地域の諸問題について、これらを分析し解決するための社会的・科学的・計量的アプローチを重視している点にあります。そのために実習・演習では、身近な問題を取り上げ、実地調査などを踏まえ、対策を立案し表現する能力の養成に主眼が置かれています。つまり、従来のハード重視の建築学科・土木工学科に比べ、政策も含めたソフト面が重視された内容となっています。もちろん、建築士の受験資格を得るためのカリキュラムも用意されています。

社会学習・資格など

実社会体験を行うインターンシップを教育の中に取り込み、学生が将来の仕事のイメージをつかめる機会を設けています。数学、社会、公民、情報の教育職員免許状も取得できます。また、留学生の受け入れや派遣も積極的に取り組んでいます。

卒業生からのメッセージ



玉井　恵美
（2005年卒業）
（社会経済システム主専攻）
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
日興コーディアル勤務

筑波大学の良いところは、まず何といっても、緑に囲まれた広大な敷地でのびのびと充実した学生生活を過ごすことができるということです。社会人になって感じたのは、落ち着いた環境で勉強に励むことができたことは本当に恵まれていたんだということです。また、“つくばの社工”では経済を社会工学的アプローチで学べ、基礎から応用、実践的技能までしっかりとしたカリキュラムが組まれており、指導してくださる先生方も幅広い分野の先生方に恵まれております。経済を科学的・工学的アプローチで分析し、問題解決を図る力は、きっと社会に出た時に非常に強みになると思います。



流王　智子
（2007年卒業）
（経営工学主専攻）
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
鉄道総合研究所勤務

“つくばの社工”では、問題に直面したときに、頭の中だけでなく、問題解決の裏づけとなる数学的な根拠の部分にまで踏み込んだ学習をします。この数学的根拠は非常に重要で、自分の考えを受け入れてもらうには必要不可欠です。その上で今どのような問題が社会で起きているのかを自ら発見し、何が原因となっていて、自分はその解決のために何ができるのか考える能力が重要です。この能力を養う機会が“つくばの社工”には多くあると思います。



嶋田　章
（2010年卒業）
（都市計画主専攻）
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
環境省勤務

“つくばの社工”で都市計画を学んだことは、私にとって得難い経験です。都市計画主専攻では、フィールドワークやアンケートなどの調査と、モデル化、シミュレーションなどの数理的な手法とを組み合わせて都市・地域の問題解決を考えます。３年次の実習では、実在する地域・街区を題材に、問題解決のための提案や設計を考え、根拠とともにプレゼンテーションし、各分野でご活躍の先生方からアドバイスをいただきます。現場に足を運んで体感すること、また合理的な根拠とともに提案を示すことの重要さを学んだ経験は、行政官としての仕事にも非常に役立っています。





都市計画関連の実習では、実在の敷地を課題地とした集合住宅設計や、自治体を対象としたマスタープラン策定を行い、環境に配慮したまちづくりの方法を学びます

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		社会・経済、企業・経営、都市・地域において生起する多種多様な社会問題を認識し対処するために必要な学際的思考力を修得し、国際社会に貢献できることを希望する人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		社会・経済現象、企業経営、都市計画上の問題に対して高い関心を有し、かつ論理的・数理的な思考ができること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	数学と外国語の基礎学力とともに、高等学校における国語・社会・理科の学習内容の理解度を評価して選抜します。
	個別学力検査等（後期日程）	高等学校における学習内容の理解度とともに、現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的分析力、自分の言葉で表現する能力、英文の読解力を評価して選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。
	AC入試	数学と外国語の基礎学力を有し、社会システムについての問題を発見・解決するまでの一連の活動を意欲的かつ主体的に行うことのできる明確な目的意識と勉学意欲を持つ人材を選抜します。（AC入試は平成31年度入試（平成30年度実施分）から廃止となります。）
	国際バカロレア特別入試	数学の基礎学力を有し、国際的な経験を通して広い視野を持ち、一連の学習活動を主体的に行うことのできる明確な目的意識と勉学意欲を持つ人材を選抜します。
	私費外国人留学生入試	広い視野を持ち、入学後の学習に必要な基礎学力・日本語能力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。社会の出来事や課題についての関心度、論理的・数理的分析力、表現能力を総合的に評価します。
	編入学試験	社会工学における専門的知識を修得できる基礎学力と勉学意欲、社会工学に対する強い関心と論理的・数理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。

卒業後の進路

卒業生の約50%が大学院に進学しています。大学院修了者も含め、企業・団体、公務員、教員など、国内外で広く活躍しています。

社会工学類 → 約50% → [他大学大学院]　大阪大学、京都大学、東京大学、東京工業大学、一橋大学　ほか
社会工学類 → 約50% → [筑波大学大学院]　博士前期課程 システム情報工学研究科　ほか → [筑波大学大学院]　博士後期課程 システム情報工学研究科　ほか

[主な企業・団体]

【建設・不動産】NTT都市開発、大林組、鹿島建設、クボタ、清水建設、大成建設、大和ハウス工業、東急不動産、日建設計、長谷工コーポレーション、三井不動産住宅リース、三菱地所
【製造】旭硝子、出光興産、NEC、花王、京セラ、コマツ、シャープ、ソニー、東芝、日産自動車、パナソニック、日立製作所、ブリジストン、本田技研工業、三菱重工、ヤマハ発動機、東京計器
【情報通信】SCSK、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア、NTTデータ、NTTドコモ、NTT西日本、NTT東日本、KDDI、新日鉄ソリューションズ、日本アイ・ビー・エム、ヤフー
【流通・商社】JR西日本、JR東日本、西武鉄道、東急鉄道、阪急鉄道、三井倉庫、三菱商事、ヤマト運輸、豊田通商
【金融・保険】ゴールドマン・サックス証券、信金中央金庫、日本政策金融公庫、農林中央金庫、野村證券、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行
【専門・技術サービス】日本総合研究所、野村総合研究所、アクセンチュア、あらた監査法人、NTT研究所、監査法人トーマツ、構造計画研究所、新日本監査法人、帝国データバンク、電通、日本赤十字社、リクルート
【生活関連】テレビ静岡、中国放送、グリー、ディー・エヌ・エー、バンダイ、マツモトキヨシ、ユニクロ、楽天

[公的機関]

茨城県庁、石川県庁、香川県庁、埼玉県庁、島根県庁、千葉県庁、東京都庁、栃木県庁、長野県庁、新潟県庁、福島県庁、山形県庁、山梨県庁、静岡県庁、経済産業省、国土交通省、環境省、東京国税局　ほか

主な進路概況（50音順）

情報学群

情報科学類

http://www.coins.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　現代社会の原動力である情報を生成・伝達・変換・活用するための工学的な技術やその原理となる数理や自然科学を理解し、それを実社会における様々な問題に適用して解決する実践力を備え、グローバルな視点に立って情報技術の発展を主体的に担うことができる人材を養成します。

21世紀に入り、世界の先進国は工業化社会から高度情報化社会へ変容を遂げつつあります。そこでは、「物」や「エネルギー」に比べて、「情報」とそれが内包する「知識」が、より大きな価値と役割を担います。知識集約型の情報産業は、既に我が国の産業の中で極めて重要な地位を占めていますが、今後もその重要性はますます増大し、「情報」の本質を理解し使いこなす人材の必要性も、ますます大きくなっていくに違いありません。「情報」は現代文明を支える科学技術のキーワードです。情報科学類では、社会のあらゆる分野で必要とされる「情報」に関する科学技術を対象にした学問ー情報学ーを学びます。情報学は、情報そのものについての科学と、コンピュータなどを用いて情報を扱う技術とを対象にした学問であり、電子工学、通信工学、機械工学などの工学、数学、物理学、生命科学など自然科学、さらには、社会科学・人文科学や医学、芸術など、多様な分野に関連する新しい学問分野です。

科目分類	概要	学べること
共通	1 － 2 年次では、情報科学の全体像の理解、数学・物理学など自然科学の素養、情報科学を支える理論や方法論、情報技術の基礎となるプログラミングやコンピュータの構成法などを学習します。また、学生自身が学習テーマを設定する授業や技術的な英語を習得する授業など多彩な授業を用意しています。 3年次では、情報科学の専門的学習の共通基盤となる科目を学習し、4年次では研究室に所属して先進的な研究の一端を担う卒業研究を行います。	(1、2年次) 線形代数、解析学、コンピュータリテラシ、プログラミング入門、論理回路、離散構造、情報科学概論、力学、電磁気学、シミュレーション物理、確率論、複素関数論、コンピュータ数学、データ構造とアルゴリズム、システムプログラミング序論、論理回路実験、電気回路、数値計算法、システム制御概論、情報理論、論理と形式化、論理システム、ソフトウェア技法、オブジェクト指向プログラミング実習、論理システム実験、コンピュータグラフィックス基礎、情報特別演習など (3、4年次) Mathematics for Computer Science、ソフトウェア品質保証、インターンシップ、情報技術の最新動向、専門語学、卒業研究など
ソフトウェアサイエンス主専攻	自律して動作するロボットが人間の生活空間の中で活動したり、コンピュータが音楽を表情豊かに自動演奏したり、あるいは、ネットワークを通して何千台ものCPUが連携してシミュレーションを行ったり、このような活動の中で現代のコンピュータは複雑な情報を即座に処理しています。自然・社会・人間の脳などにある多種多様な情報をコンピュータで処理するためには、情報とは何かを知り、目に見えない情報をいかに表現すればよいか、どのように処理すればよいかを考えることが必要です。ソフトウェアサイエンス主専攻では、このような情報の意味・表現・処理の基本となる理論とその応用技術を学びます。	プログラミング言語論、数理アルゴリズムとシミュレーション、人工知能、プログラム理論、計算モデル論、オートマトンと形式言語、プログラミングチャレンジ、システム数理、数理メディア情報学、インタラクティブCG、情報線形代数、情報可視化、ソフトウェアサイエンス実験など
情報システム主専攻	ブロードバンドや携帯電話などの情報関連技術は、短期間に劇的に普及し、ダイナミックに変化を遂げる性質を持っています。しかし、表面的には大きな変化を遂げているように見えても本質的なことはゆっくりとしか変わっていません。本主専攻では、オペレーティングシステム、プログラミング言語、データベース、プロセッサ、ネットワーク等の基盤情報技術の本質を体系的に理解し、未来におけるさらなる発展を担う人材の育成を目指します。基盤情報技術のほぼすべてを網羅する国内屈指の教授陣とカリキュラムを有しており、目覚しい勢いで発展を続ける情報関連技術を牽引していくことができる人材を養成しています。	コンピュータネットワーク、計算機アーキテクチャ、データベース概論、オペレーティングシステム、並列処理アーキテクチャ、VLSI工学、プログラム言語処理、システムプログラム、ソフトウェア工学、情報検索概論、分散システム、システム評価技法、電子回路、情報システム実験など
知能情報メディア主専攻	「コンピュータに目・耳・知能・安全を与える」技術を学びます。例えば、コンピュータにどのようにして知識を与えるのか、それを使えばどのような思考や推論が可能となるのか、コンピュータは画像や音声をどのように理解するのか、マルチメディア情報はどのようにデザインされ記憶・伝達されるのか、ネットワークでやりとりされる情報の安全を守るにはどのような工夫が必要かなどについて、演習や実習を交えながら理解を深めます。今後ロボットやコンピュータなどの機械はますます高度化・複雑化していきますが、これらの機械を「安全に、効率よく」かつ「簡単に」使えるようにする際に中心的な役割を果たすことのできる人材を育成しています。	信号処理概論、パターン認識、ヒューマンインターフェース、認知科学概論、統計学、信号解析、ディジタル信号処理、音声聴覚情報処理、自然言語処理、視覚情報科学、知識処理概論、情報セキュリティ、画像メディア工学、画像認識工学、機械学習、知能情報メディア実験など

教員からの一言



岡　瑞起

ウェブサイエンスの研究をしています。「ウェブサイエンス」とは、ウェブの産みの親であるティム・バーナーズ＝リーらによって提案された新しい科学領域です。ウェブページやリンクが爆発的に増加したことによって、現実社会とは別の社会がネット上に構築され、発展を続けています。そうした創発的な特性がどのように生じたのか、どのように利用できるのか、今後どんな現象が生まれるのか、それが人類にとってどのような意味を持つのか。そういった問題の解明を一緒に目指しませんか？

専門として学べる内容

情報科学類には、ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディアの3つの主専攻があります。各主専攻に分かれるのは3年次からで、1・2年次では、共通の基礎的知識や理論及び技術を学び、3・4年次では主として主専攻ごとの専門的な科目を学びます。4年次では、選択したテーマを基に研究室に配属され、卒業研究を行います。卒業研究では、ソフトウェア科学、計算機システム、知能情報、情報数理の各分野から提供される多彩な研究テーマを選択できます。

特長

情報科学類は、情報学の基礎となる考え方や技術を学ぶだけでなく、これらを実社会における様々な問題に適用して解決するための思考力と洞察力を養い、情報化社会の中核となる人材を育てることを目指しています。そのために情報科学類では、情報科学の基礎理論、コンピュータを用いた情報処理技術、基礎理論や技術を具体的な問題へ適用する情報システム工学、人にやさしい知能情報技術など、幅広い分野に対する充実したカリキュラムを用意しています。また、講義に加えて、コンピュータを用いた演習や実習を行い、情報学を体験的に学べるように配慮しています。

情報科学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類Webページからダウンロード可能です。
http://www.coins.tsukuba.ac.jp/
●テレメールによる請求もできます。（p.175　資料請求番号541280）

資格など

卒業要件以外に「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許
- 中学校一種免許状（数学）
- 高等学校一種免許状（数学、情報）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

この他に、以下のような資格を有している卒業生や学類生がいます。

情報処理技術者試験
- 基本情報技術者
- 応用情報技術者
- ネットワークスペシャリスト
- エンベデッドシステムスペシャリスト
- 情報セキュリティスペシャリスト
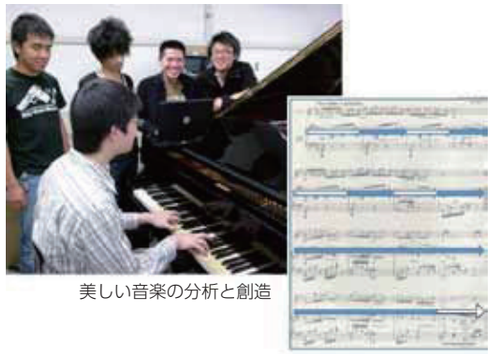
Oracle認定Javaプログラマ
LPICレベル1
第一級陸上無線技術士
工事担当者DD第1種
第3種電気主任技術者
技術士補（電気電子）
弁理士　など

設備



24時間、140台のiMacと30台のWindowsコンピュータが利用可能な計算機室

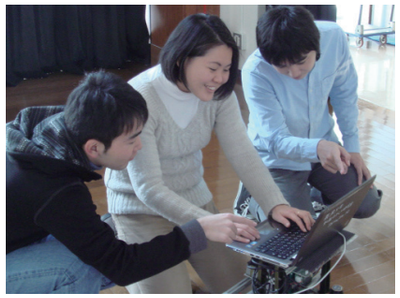
研究紹介



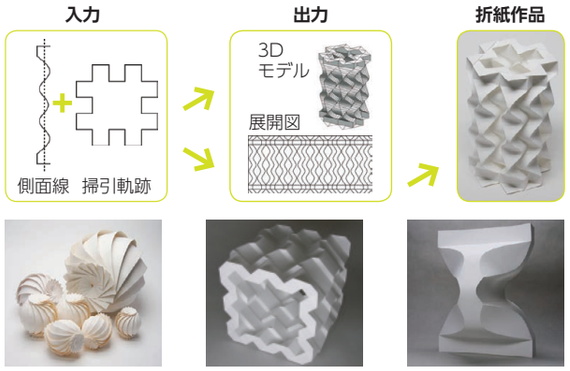
美しい音楽の分析と創造



スーパーコンピュータによる大規模計算



自律ロボットの研究と開発



計算機を用いた立体折紙の設計。1枚の紙から立体的な折紙作品を作ることができる。曲線、曲面も含めることができる。

先輩からのメッセージ



村田雄一
2009年卒
株式会社ディー・エヌ・エー
オープンプラットフォーム事業部システム開発部

情報科学類の魅力は多様性です。自分は高等専門学校からの３年次編入生として情報科学類（旧情報学類）に入りました。学類生の中には、学術性の高い講義や研究に打ち込む学生もいれば、産学連携の実践的な研究に従事する学生、大学ゆかりのベンチャーで活躍する学生もいます。そうした思考や興味の異なる学生と交流しながら切磋琢磨することによって、視野を広げつつも、情報科学について学んでいくことができます。

卒業後の進路も様々で、専門性の高い研究職に就く人もいれば、実践的な開発職に就く人もいます。自分の場合は後者のケースに当たります。実践的な開発現場においても、在学中の講義や研究活動を通して身につけた計算機科学の基礎的素養や、科学的思考は、仕事をこなすよで自身の強みになっていると常日頃から感じています。

情報科学に興味を持っている人であれば、学問として極める道も、実践的な取り組みに進む道もひらけている。それが情報科学類の特徴だと思います。



長城沙樹
2016年卒
筑波大学大学院
システム情報工学研究科

情報科学類では、自分の興味のある分野を学ぶのに素晴らしい環境が用意されています。情報科学類には、iMacが140台、Windowsマシンが30台整備されており、学類生は24時間自由に使うことができます。授業内容も多岐にわたり、自分の興味のある授業を受けることができます。コンピュータの初心者の方でも、最初は基本的なことからひとつずつ学ぶ授業が用意されていますので、安心して学ぶことができます。また、1年生でも上の学年の授業を履修することができます。このように自分のレベルに合わせて学習できる環境が備わっているのも、情報科学類の魅力だと思います。筑波大学は、ひとつのキャンパスに多くの学類があります。自分の興味ある授業が自由に取れるのも、筑波大学の魅力のひとつです。また、他学類の人と交流もできるので、自分の視野を広げることができます。学問を通じてではなく、サークル活動や学内組織の活動も活発で、全国から集まった人たちと多くの交流ができます。筑波大学では、多くの入試形態が用意されており、自分とは違う環境で学んだ人たちとも出会うことができます。このように、多くの個性的な人々と出会い、交流することで、自分にとって良い刺激を受けることができます。皆さんも、情報科学類でこのような魅力あふれる学生生活を送ってみませんか？

主専攻の選択

主専攻は2年次の1月に、希望に基づきながら、3主専攻の人数に偏りがないように振り分けを行います。

卒業研究を行う研究室の選択

卒業研究を行う研究室は、3年次の10月に行う希望調査に基づいて決定します。研究室には定員がありますが、多くの担当教員の中から選択することができるため、ほぼ希望の研究を行うことができます。

卒業後の進路

情報科学類の卒業生には、情報化社会の中核を担う活躍が期待されており、前途は非常に有望です。最近数年間の卒業生の進路は、大学院進学が約7 ～ 8割、企業などへの就職が約2 ～3割です。就職先企業は、情報・通信をはじめ、電機・自動車などの製造業から、金融、マスコミにいたるまで、幅広い分野に亘っています。また、公務員や教員［高校（数学、情報）、中学（数学）各々一種］を目指す道もあります。このように、分野を越えて活躍の場があることは、情報科学類に特有の自在さです。

情報科学類に対応する大学院であるシステム情報工学研究科には、博士前期課程（2年）と博士後期課程（3年）があります。大学院に進学した人達は、さらに深く専門の研究を行って修士号や博士号を取得したあと、企業や大学・国公立の研究機関、海外などで活躍しています。

卒業生の主な就職先は以下の通りです。（大学院進学後の就職も含む）

情報・通信・システム：
NTTデータ、日本IBM、新日鉄住金ソリューションズ、日立情報制御ソリューションズ、日立ソリューションズ、日立システムズ、リコーITソリューションズ、ソフトバングループ、日本ユニシス、東芝ソリューションズ、三菱スペースソフトウェア、ヤフー、アイヴィス

電機：
日立製作所、NEC、富士通、パイオニア、ソニー、三菱電機、キヤノン、リコー、スタンレー電気

通信サービス・生活サービス：
NTT研究所、NTT東日本、NTTドコモ、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア、JR東日本、ドワンゴ、任天堂、KDDI

自動車・機械・エネルギー：
トヨタ自動車、東レ、電源開発、小松製作所、スタンレー電気、日本精機、キーエンス、アルパイン

マスコミ・出版・銀行・保険・シンクタンク・小売りなど：
楽天、NHK、野村総合研究所、日本総合研究所、三井住友銀行、三菱UFJニコス、リクルートホールディングス、セコム、サントリーホールディングス、サイバーエージェント、ミクシィ、日本取引所グループ、ノジマ

その他：
総務省、防衛省、内閣府、特許庁、陸上自衛隊、県庁・市役所等

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		情報科学や情報技術への好奇心と探求心を持ち、習得した知識を創造的に活用・発展させて情報化社会の中核を担う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		情報科学や情報技術についての基本的な理解力を身につけていることが望ましい。数学的な知識も備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	情報科学や情報技術を学ぶために必要な数学、理科、外国語の学習内容に対する理解度を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	総合的な基礎学力に加え、情報科学や情報技術への関心や学習意欲、学習に必要な論理的思考能力や応用力を評価します。
	推薦入試	高等学校における学習状況と課外活動への取組みとともに、情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、自己表現能力、論理的に思考しその結果を的確に説明するコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	AC入試	情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を有し、その過程と結果を論理的に説明することのできる人材を選抜します。
	国際科学オリンピック特別入試	日本情報オリンピック本選でA ランクとなった者、または情報処理推進機構が主催する未踏ＩＴ人材発掘・育成事業に採択されたテーマのチームクリエータを対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、論理的思考能力、語学力を含めたコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	情報科学や情報技術に対する高い関心、そして入学後に情報科学や情報技術を学ぶのに必要な基礎学力、協調性等を総合的に評価します。
	編入学試験※	情報科学や情報技術を学ぶために必要な数学、情報基礎、物理学の学力、専門的知識を学ぶために必要な大学２年次修了程度の英語（TOEFL/TOEICスコアによる）の学力を総合的に評価します。

※情報メディア創成学類との併願が可能です。



情報学群

情報メディア創成学類

http://www.mast.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　これからのネットワーク情報社会を発展させるために不可欠な基盤的技術分野や、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱い流通させる分野などにおいて、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる技術者、研究者を養成します。



春日エリアの概観

コンピュータや携帯電話の普及とネットワークの進歩により、人間を取りまく環境は一変し、かつては想像もできなかったネットワーク情報社会が実現されています。例えば、Webで知りたい情報を検索したり、携帯電話を使って好きな場所でテレビを見たり、インターネットで音楽や映画をダウンロードしたり、またホームページやブログで世界中の人々に対して情報を発信し交流することが可能になっています。

このようなネットワーク社会を支え発展させるのに必要なのは、従来の情報技術者とは一線を画する新しいタイプの情報メディア創成学に関する技術者、研究者です。つまり、コンピュータ、プログラミング、通信、ネットワーク、画像、音、言語、知識、知能など情報技術全般に対する基礎力を身につけ、幅広い視野と思考能力を持ち、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱う技術と、それらを流通させるためのネットワークメディア技術を創成できるような人材です。現在このような新しい人材のニーズはまだまだ潜在的で広く認知されているとは言えないかもしれませんが、今後のネットワーク社会の進化とともに情報メディア創成学の技術者、研究者の社会的重要性はますます高まっていくことは間違いありません。

情報メディア創成学類は、このような社会のニーズに応えるため、情報技術全般を基礎として、コンテンツやネットワークメディアに取り組む人材を育成する新しく誕生した学類です。

この「コンテンツ」、「ネットワークメディア」の二つが、本学類の教育を象徴するキーワードです。「コンテンツ」は中身・内容という意味ですが、音、映像、テキストなどの情報を伝える媒体を元にして構成されるWeb・映画・音楽・ゲームなどのことを指します。また、「ネットワークメディア」とは、インターネット、携帯電話、テレビやラジオの放送などの情報を伝える流通経路全般のことを指します。

そして、確固たる情報技術の知識の上に、コンテンツを扱う情報機器や手法に関する技術的な知識や技能、実際に様々なコンテンツを制作・デザイン・評価したりビジネスにつなげるセンス、ネットワークの仕組みや管理に関する技術的な知識や技能、ネットワークの効果的な利用法やネットワークを使ったビジネスのセンスなどを身につけ、これからのネットワーク社会における中核として活躍できる技術者、研究者を育成します。

科目分野	専門基礎（1 ～ 2 年次）	専門科目（3 ～ 4 年次）
情報科学・情報技術に関する科目	コンピュータリテラシ、プログラミングⅠA／Ⅰ B・Ⅱ、コンピュータシステムとOS、データ構造とアルゴリズム、情報理論	パターン認識、画像・映像情報処理、音声・音響学基礎、音楽・音響情報処理、オートマトンと形式言語、システム運用・管理、プログラム言語論、システム数理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、知識・自然言語処理、ソフトウェア構成
コンテンツテクノロジーに関する科目	コンテンツ概論、コンテンツ応用論、コンテンツ表現演習、コンテンツ流通基礎概論、情報デザインⅠ、CG基礎、信号とシステム	先端技術とメディア表現、情報デザインⅡ、映像表現論、映像表現実習、ディジタルドキュメント、インタラクティブCG、ディジタルコンテンツ表現実習、エンタテインメントコンピューティング演習、情報可視化、実世界指向システム
ネットワークメディアに関する科目	情報メディア概論、情報通信概論、ネットワークメディア概論、データ工学概論、Webプログラミング	マークアップ言語、通信ネットワーク、データベースシステムⅠ・Ⅱ、情報通信プラットフォーム論
人間の科学、社会、文化に関する科目	情報社会と法制度、知的財産概論、メディア社会学、認知科学、人間計測の方法	視覚情報科学、知覚心理学、インタラクションデザイン、コンテンツプロデュース論、コンテンツビジネス・マーケティング

情報メディア創成学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類のWebページからダウンロード可能です。
http://www.mast.tsukuba.ac.jp/
●テレメールによる請求もできます。(p.175　資料請求番号 541290)

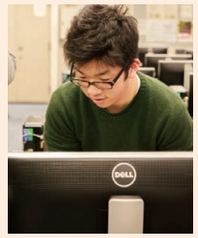
学生の声



坂下　申世
平成26年入学

Q　志望した動機は？
小学校高学年のときに自分のパソコンを買ってもらってから中学3年生まで、絵をかいたり、動画・画像編集したり、ウェブページを作ってみたりして、何か新しいものや面白いものを自分で作り出すことが好きになりました。高校生になって、コンピュータを用いたあらゆるコンテンツやメディアについて学べる大学に行きたいと感じるようになり、そんな中で、情報メディア創成学類のカリキュラムや環境に魅力を感じ、「ここで学びたい！」、と強く感じるようになりました。

Q　今一番夢中になっていることは？
授業で学んだ知識やノウハウをアウトプットする場として、友達とハッカソンなどのイベントに出て面白いものを作ったり、ゼミに参加して研究をしたりしています。ハッカソンでは、新しいコミュニケーションのためのWebアプリケーションを開発したりしました。また、研究では、KinectやIMUなどのセンサーを使って、自分の好きな分野の研究をしています。同じ興味や志を持った大学の仲間と一緒に、励ましあって勉強や研究ができるということは、とても楽しく、また、人生の中でとても価値のあるときだと思います。



鈴木　健太
平成27年入学

Q　入学してみての印象は？
学ぶということに関して自由度が高く、学生は多様かつ個性的な人が多い印象です。学類では、情報学という専門性と、それをどう応用するかという学際性を求められます。授業では、音楽、映像、CG、認知科学等、様々な分野を扱っており、自分の興味や能力に応じて学んでいくことができます。何かをやりたい！と思った時には、一緒にやろうと集まる友人、相談に乗ってくれる先輩や先生、作業できる環境が整っています。

Q　大学に入っての活動で印象に残っているもの
自分はメディアアートとメディアに関する研究がしたいと思い、この学類に入学しました。メディアアートとして、芸術専攻や同じ学類の仲間と幾つかの作品を製作しました。自作のスクリーンにVJでプロジェクションマッピングするシステムや、自転車の置き方にインタラクションする自転車置き場を製作したことが印象に残っています。様々な専門を持つ人と一緒に活動しやすい点が筑波大学の良さです。メディアに関する研究は、大学の先導的研究者体験プログラム(ARE)を通じて、レーザープロジェクターの開発をしました。主体性さえあれば、授業外でも学ぶことができる環境がある点も良さの１つだと感じました。

専門として学べる内容

コンピュータ、ネットワーク、コンテンツ、メディアの世界がダイナミックに変容している現代社会において、情報メディア技術は、コミュニケーションによる人間の可能性を飛躍的に拡大する推進力です。このような現状を踏まえて、情報メディア創成学類では、コンピュータサイエンスを基礎とする情報メディア技術の総合的な能力を修得し、それを土台にニーズに応じて自由に科目を選べる1主専攻でのカリキュラム構成になっています。

1～2年次では数学、プログラミング、コンピュータリテラシなどを始めとして、情報メディア技術の基礎となる数理・技術に関わる科目を重点的に学びます。それと並行して、コンテンツ表現演習、コンテンツ応用論など、優れたコンテンツを評価し創造するセンスを養う科目や、技術を人間的側面から科学的に評価するために欠かせない認知科学などの科目もあります。

それらの基礎的な勉強を踏まえて、3～4年次では情報メディア技術が対象とするコンピュータサイエンスやネットワークメディア、コンテンツテクノロジーなど、多彩な分野の高度な内容について、様々な専門科目で学びます。

科学技術に関する科目に加え、知的財産などの社会制度に関する科目、科学技術の流通やビジネスに関する科目なども用意されています。

また、演習や実習を重視し、本学の教員だけでなく、産業界で実際にコンテンツ開発などで活躍している方々をお招きしてのプロジェクトベースのグループ授業なども行われ、映像、音響、Web、ソフトウェアなどを実際に作成し、実践的な力を身につけます。



アーティストの福原志保先生によるバイオアートに関する講義

特色ある講義

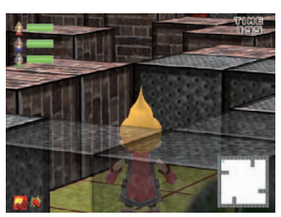
第一線で活躍するクリエータ、プロデューサをお招きしての講義

音楽、映画、ゲーム、放送番組などの既存の枠組みを超えた、新しいコンテンツやメディア表現が生み出されています。この授業では、インターネットメディア、コンテンツ制作、研究、起業などで横断的活動をされている多彩なゲストによる講演と質疑応答から、新しいコンテンツについて議論を深めます。これまでに、医療CGクリエータの瀬尾拡史さん、仮想現実をテーマとする脳科学研究者の藤井直敬さん、バイオアーティストの福原志保さんをはじめとする、第一線で活躍中の方々からお話を伺いました。

Embedded Technology Campus OJT
University of Tsukuba

組み込み技術キャンパスＯＪＴ

“OJT”は“On the Job Training”の略で、「実際に仕事をしながら仕事のやり方を学んでいく」という現実の職場でよく行われている訓練技術です。平成21年に筑波大学情報学群は、「組み込み技術」について、大学内で学生にOJTを行う産学協同教育プログラムを開設しました。本プログラムでは、潤沢な寄附金で準備された学習環境下で産業界の第一線の方々から直接指導を3年次に通年で受けることができます。平成28年度の第8期までで延べ200名の情報学群生を教育し、優秀な技術者を輩出しています。詳しい情報は、http://inf.tsukuba.ac.jp/ET-COJT/ をご覧ください。



学生が制作した3D対戦アクションゲーム

enPiT BizSysD
成長分野を支える
情報技術人材の育成拠点の形成

enPiT-BizSysD
「ICTを活用するIoT時代のイノベーション人材育成のためのビジネスアプリケーション/システムデザイン実践教育ネットワーク」

ICT及びIoTの先進要素技術を理解し、これらを応用することで、ユーザや社会のニーズに応え、新しい価値を提案するアプリケーションやシステムを、PBL（Project Based Learning）形式によりチーム開発することを主体とした産学連携の教育プログラムです。筑波大学情報学群は文部科学省の「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）-ビジネスシステムデザイン分野（ByzSysD）」事業の一環として9つの大学と共同で分野を構成し、組み込み技術キャンパスOJTとも連携して実施しています。詳しい情報は、http://bizsysd.enpit.jp/をご覧ください。

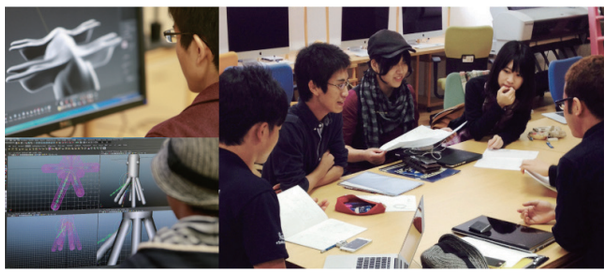
施設紹介

情報メディア創成学類では、学生の授業、実習をサポートするために、さまざまな施設を用意しています。



実習室

実習室には、全学計算機システムとして68台の計算機があります。各計算機は、科学技術計算用ソフトウェア、マルチメディアコンテンツ開発環境、デスクトップパブリッシング用ソフトウエア等を搭載しており、情報メディア処理の初歩から応用に至る授業・実験に利用されています。実習室は24時間利用可能にしていますので、授業時間外は学生が自習に使うことができます。



クリエイティブメディアラボ

映像編集、コンピューターグラフィックス、作曲等の実習を行うための実習室。“創ってわかる、使ってわかる”を合言葉に全員が制作や編集を体験できる環境が用意されています。



研究事例：一枚の画像の中の映り込み部分（光沢のあるテーブルや床）に、別の画像の映り込みをリアルに合成。

特長

平成19年度に発足以来、10年が経ちました。最大の特長は、皆さんが興味を持っている音楽・映像・Web・ゲームなどのコンテンツや、日常使っているインターネットや携帯電話などのメディアを題材として勉強できることです。好きなことなら夢中になって取り組めるでしょう。教員と一体になって情報メディア創成学を作っていけるバイタリティのある方に来て欲しいと考えています。

資格など

必要単位を履修することで、教員や学芸員の資格を得ることができます。教員免許の場合、通常授業以外の「教職科目」等を履修することで、「中学校一種免許状（数学）」、「高等学校一種免許状（数学、情報）」の取得が可能です。

卒業後の進路

現代のネットワーク情報社会においては、どのような分野・産業でも、情報システムやメディアは不可欠です。情報メディア創成学類はこれからのネットワーク社会の様々な分野に大きく貢献する技術者、研究者を育てることを目指しており、その卒業生の活躍の場は無限に広がっています。まずは大学院に進学し、高度な専門性を身につけて産業や研究の場で活躍していただくことが薦められますが、様々な業種・職種に直接就職することも可能です。

就職先としては、ソフトウェア・Webシステム・情報サービス・出版・放送・エンタテイメントなどの各種メディアやコンテンツを扱うサービス産業はもちろんのこと、電機・自動車などの製造業や、流通・金融・運輸・建設などの社会的インフラを構築する産業など、幅広い分野での活躍が期待されていおり、実際の卒業生もそれらを始めとする広範な業種にすでに進んでいます。なおアニメやゲームなど、クリエータの道に進むことも可能ですが、それらの養成が学類の教育目的でないことにはご留意ください。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		理数系の素養と文化や芸術に対する豊かな感性を兼ね備え、ネットワーク情報社会における各種の技術や学問分野に対する強い興味と学習意欲を持ち、創造的に社会貢献することを目指す人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		在学中に学んだ科目、特に数学や英語についてはよく復習して内容を身につけておく。ネットワークを含めて広く社会に対して関心を持ち、意欲的に知識や見識を広げていくことに心がける。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	幅広い基礎学力に加えて、数学並びに外国語の学力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	幅広い基礎学力に加えて、情報メディアの科学と技術を理解するために必要な数学並びに英語の学力、論理的な思考能力、分析力、論述能力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校在学中の学習状況や基礎学力、課外活動への取組みとともに、情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や目的意識、自己表現能力、自己分析能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	AC入試	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	日本情報オリンピック本選でAランクとなった者、または情報処理推進機構が主催する未踏ＩＴ人材発掘・育成事業に採択されたテーマのチーフクリエータを対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力、及び本学類での学修に必要な数学などの基礎学力や日本語でのコミュニケーション能力を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力、及び本学類での学修に必要な数学などの基礎学力や日本語でのコミュニケーション能力を総合的に評価します。
	編入学試験※	情報メディアの科学と技術に対する高い学習意欲と、専門科目に関する知識を学ぶのに必要な大学２年次修了程度の英語（TOEFL/TOEICスコアによる）、数学および情報基礎の学力を有する人材を選抜します。

※情報科学類との併願が可能です。

さらに深く勉強や研究を行うためには大学院の博士前期課程・後期課程に進学することになります。進学先は、筑波大の研究科のほか、他大学大学院や留学なども可能です。大学院に進学した後には、企業・公共機関の研究所や、大学などの教育研究機関で活躍する道が用意されています。

情報メディア創成学類の平成28年度の具体的な就職先の例や進学状況についてはP.145～147をご覧ください。

情報学群

知識情報・図書館学類

http://klis.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　知識や情報を活用する能力を育み、関連する社会制度と技術の専門教育を行います。これらの教育を通じて、知識資源の形成、加工、流通、利用の発展に寄与する専門家と人間、社会、技術にわたる総合的視野や問題解決能力を持った職業人を育成します。

特長

情報の海から知識の高みへ

知識情報学は、古代から図書館が培ってきた知識情報に関わる文化・制度と、コンピュータを中心とする知識情報の科学・技術との融合の上に成り立つ学際的な学問です。

人と技術と社会をむすぶ総合科学

知識情報・図書館学類では、知識や情報の創造、選択、収集、蓄積、分析、評価、利用という一連のプロセスに関わるあらゆる機関、システム、活動、現象を教育・研究の対象とします。

知識や情報のスペシャリスト

4年間の教育を通して、知識や情報の管理や流通に関わるスペシャリストを育てます。さらに、知識や情報を蓄積・提供するだけでなく、知識や情報を活用でき、広い視野と論理的な思考力を備えた柔軟な発想のできる人材を養成します。

教育内容と3つの主専攻

主専攻	学ぶこと	1年次	2年次	3・4年次
知識科学	知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法などを理解し、知識の形式化や探索・収集技術、伝達方法、知識と情報の仲介技術などを修得します。データを分析的・解析的に扱い、知識を抽出する方法を修得します。	[全学共通] 総合科目Ⅰ・Ⅱ 外国語 体育 [学群共通] 情報社会と法制度 [学類共通] 知識情報概論 哲学 情報システム概説 図書館概論 情報基礎 情報基礎実習 プログラミング演習 情報数学 基礎数学A 統計	[全学共通] 総合科目Ⅰ・Ⅱ 外国語 体育 [学群共通] 知的財産概論 [学類共通] 知識情報演習 情報探索論 情報行動論 知識発見基礎 知識資源組織化論 データベース概説 コンピュータシステムとネットワーク 自然言語解析基礎 メディア社会学 経営・組織論 公共経済学 生涯学習と図書館 質的調査法 量的調査法 基礎数学B 多変量解析 知的探究の世界 テクスト解釈 専門英語A	[全学共通] 総合科目Ⅲ [学群共通] 体験型システム開発 ビジネスシステムデザイン グローバルチャレンジ演習 [学類共通] 知識情報特論 専門英語B・C インターンシップ 国際インターンシップ 卒業研究	知識論 知識形成論 テクニカルコミュニケーション 学術メディア論 レファレンスサイエンス コミュニティ情報論 情報評価 データマイニング ソーシャルメディア分析　ほか
知識情報システム	知識情報を効率よく扱うための理論と技術、たとえば、知識情報の分類や構造化、Web における知識情報の提供と共有、大量の知識情報を管理するデータベース、知識情報から有益な情報を取り出すための自然言語処理や情報検索などの技術を修得します。			ディジタルライブラリ ディジタルドキュメント ディジタルキュレーション テキスト処理 情報検索システム Webプログラミング クラウドコンピューティング 情報デザインとインタフェース 知識資源の分析　ほか
情報資源経営	図書館をはじめとする情報サービス機関や組織やコミュニティにおいて、知識情報の蓄積・管理・提供サービスを企画、運営していくための知識や技術を修得します。著作権や特許といった知識情報に関する社会的制度の設計や運営、多様な情報メディアの特性やその歴史・文化などについても学びます。			アーカイブズの構築 映像メディア論 情報サービス経営論 コレクションとアクセス 教育文化政策 情報法 知的財産権論 学術情報基盤論 図書館論 図書館文化史論 学校図書館論　ほか

知識情報・図書館学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類Webページからダウンロード可能です。
http://klis.tsukuba.ac.jp/
●テレメールによる請求もできます。(p.175　資料請求番号 561270)

学べる内容

1、2年次で全学共通の科目と本学類の全体的な内容を扱う専門基礎科目を学びます。3年次から、知識科学、知識情報システム、情報資源経営という三つの主専攻のいずれかに属し、より専門的な内容を扱う専門科目を学びます。主専攻の決定は2年次末です。主専攻には教員の数に応じた受入上限が設けられ、希望者数が上限を超過した場合は成績順に主専攻が決まります。

各主専攻では3年次に実習（必修）があります。実習では主専攻のテーマに沿った内容をグループ学習したり、それぞれが調査したことをプレゼンテーションしたり、あるいはシステムを実際に構築したりします。構築したシステムが学外のコンテストで入賞するなど、実習を通じて高いレベルの技術・専門知識を修得することができます。4年次の卒業研究では、1年をかけて論文作成に取り組みます。

少人数で行う「知的探求の世界」、「インターンシップ」といった特色ある科目も用意しています。インターンシップは、日本や海外（アメリカ、カナダ、中国、韓国）における図書館及び日本の官庁・企業体等での実務体験を通じて、情報の収集・処理・提供に関する業務の実際を理解し、専門的職業人としての意識を高めることを目的としています。内容は実施機関によって異なりますが、図書館の業務や官庁・企業の情報システム関係業務などがあります。国内の場合は3年次の夏休みに2週間、海外の場合は夏休みに約10日間です。インターンシップを通じて将来に向けて自分の適性や関心も知ることができます。

enPiT とキャンパス OJT

情報学群は産学協働で情報技術を活用した課題解決型学習 (PBL) を推進する拠点 (enPiT) に選ばれ、2017 年度から「ビジネスシステムデザイン」という、チーム開発を主体とする実習科目を新設しました。「体験型システム開発」は IT ベンチャー企業から派遣された技術者の指導を、キャンパス内に設けられた先端的なファブリケーション設備を備えた特別教室 (openfab 創房) で受けながら、実践的な開発力を養う授業です。いずれも情報技術を活用して社会を変革する人材を育成するため、情報学群として一体的に取り組んでいる教育プログラムです。

資格など

知識情報・図書館学類では、司書と司書教諭の資格が取得できます。司書や司書教諭は他の大学でも取得できますし、場合によっては通信教育や司書講習でも取得できます。しかし、同じ資格でも知識情報・図書館学類では以下の点が異なります。

①日本や海外の図書館での実習が「インターンシップ」「国際インターンシップ」として組み込まれています。そのため貴重な現場経験を積むことができます。

②理工系の知識、たとえば情報システムにも精通する科目内容になっています。ITの発達により、現在の図書館は情報センターとしても機能していますが、そこで必要とされる情報処理技術を身につけることができます。

また知識情報・図書館学類では、教員（中学校一種免許状（社会、数学）、高等学校一種免許状（公民、数学、情報））、学芸員、社会教育主事の資格も取得できます。

施設・設備

チューターと呼ばれる先輩学生が学類生のいろいろな相談にのってくれる「春日ラーニングコモンズ（KLC）」が、図書館情報学図書館にあります。そこでは履修計画の立て方、学生生活の過ごし方、レポートの書き方、図書館の使い方、パソコンの使い方などを教えてもらうことができます。

知識情報・図書館学類ではグループ作業を中心とする演習・実習が多いので、小グループでのディスカッション用にグループ毎にホワイトボードと大型ディスプレイを占有できるグループ作業用の実習室を設けています。また、様々な方法でのプレゼンテーション能力を高めるために、大判ポスタープリンターを用意しています。学生は卒業研究の発表会や学外の学会発表でポスターを用いたプレゼンテーションも行っています。

一般的なIT環境も充実しており、全教室や学生ラウンジ、食堂で無線LANが利用できるほか、春日エリア全体で約230台の教育用コンピュータが設置されています。より高度なサーバプログラミングの実習用として、学類専用の仮想サーバ環境なども用意しています。

最近の主な進学・就職先

進学	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科、システム情報工学研究科、教育研究科、広島大学大学院総合科学研究科、京都大学大学院人間・環境科学研究科、東京大学大学院情報学環学際情報学府、イリノイ大学大学院ほか
企業	アクセンチュア、朝日旅行、足利銀行、茨城県信用組合、NEC、NTTデータ、岡谷鋼機、技術評論社、北日本銀行、近鉄エクスプレス、コニカミノルタ、三省堂書店、サンリオ、JR東日本情報システム、静岡銀行、ジャストシステム、商工組合中央金庫、ソフトバンク、筑波銀行、東京書籍、東邦システムサイエンス、凸版印刷、ドワンゴ、日外アソシエーツ、日本生命、日本電子計算、八十二銀行、ハピネット、日立アプライアンス、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー、ヤフー、ゆうちょ銀行、ラックほか
公務員・図書館・学校等	外務省、青森県、茨城県、大阪府、神奈川県、栃木県、富山県、徳島県、栃木県、宮城県、川崎市、さいたま市、静岡市、横浜市、茨城大学、九州大学、熊本大学、静岡大学、千葉大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、東北大学、名古屋大学、新潟大学、日本医科大学、一橋大学、高エネルギー加速器研究機構、国立情報学研究所、日本音楽著作権協会ほか

先輩からのメッセージ



大学院生から

大北　昂斗

筑波大学大学院
図書館情報メディア研究科

私は高等専門学校を卒業し、知識情報・図書館学類に編入、その後大学院の図書館情報メディア研究科で VR (Virtual Reality) に関する研究をしています。

この学類の名前をみた時、「図書館って何…？」という感想を抱く方も多いかと思います。かくいう私も、高専卒業後の進路に迷っていた時にそう思ったことを記憶しています。真っ先に思い浮かぶことは、「図書館について学ぶのかな」「司書になるために行くところなのかな」ということだと思います。知識情報・図書館学類ではもちろん図書館についても学びますし、司書になるために必要なことも学べる学類ですが、しかし、その内実はこれとは全く（というと大げさですが）異なります。

ではこの学類は何を学ぶ学類なのでしょうか？私なりに表現すると、図書館に限らず「“情報”や“知識”を活かす方法」を学ぶ学類だと思います。今日では IoT（Internet of Things）という言葉も聞かれるようになりました。今後家電製品や乗り物など様々なモノがインターネットに接続され、そして今までよりもっと膨大な量の情報が集積・蓄積されるような未来が訪れることが予想されます。では、そうして集まったたくさんのデータをどのように活かせばよいのでしょうか？どのように保管して、どのようなデータを、誰に提供すればより良い社会になるでしょうか？そういった情報や知識を活かす方法を考える、また考えるために必要なことを学ぶのが本学類です。

それって何が面白いの？という方もいるかもしれません。私は、この学類の最大の魅力は「未来を見据えることができる」ことにあると思います。先にも触れたとおり、今以上に情報があふれる未来がやってきます。そんな未来に目を向けながら学ぶことができる学類は他には少ないのではないでしょうか。また、高校までの学びは教科書をベースにした過去に目を向ける過程ですが、大学での学びや研究は未来に目を向けることが重要になります。情報があふれる未来を、あなた自身がどう生きるのか、どう変えていくのか、そんなことを考えられる本学類で学んでみてはいかがでしょう。



社会人から

小笠原　静華

大阪大学附属図書館

私は、知識情報・図書館学類の1期生として卒業し、現在は大阪大学附属図書館で働いています。図書館で働いてみて思うのは、大学の4年間で得るものは非常に大きかったということです。

この学類では、理系・文系を問わず、沢山のことを学ぶことができます。入学した当初、私はバリバリの文系人間で、理系分野はサッパリでした。ですから、1年生の必修科目である「プログラミング演習」という実習形式の授業には、とても苦労した思い出があります。しかし、先生や友人たちの助けもあり、最終的には簡単な蔵書システムのプログラムが書けるまでに成長することができました。実際に図書館で働いてみると、書誌学や図書館論といった、いかにも「図書館学」の知識はもちろん、プログラミングや統計といった「情報学」の知識や技術が役に立つことが多々あります。これらを総合的に学ぶことができるのが、この学類の大きなメリットではないでしょうか。まだ自分の将来に悩んでいる人も、幅広い分野の授業を受講していくうちに、自分が「本当にやりたいこと」を見つけることができるはずです。

また、一学年100人という学類にも関わらず、教員の数は約50人と非常に恵まれた環境にあることも、この学類の大きな特徴です。ゼミではもちろん、普段の授業であっても、講義室で単に講義を聴くだけではなく、実習を含めて、積極的に学生が参加する授業が行われています。高校生までの授業とはずいぶん違うので、慣れるまではびっくりするかもしれませんが、繰り返してゆくうちに「自ら学ぶ力」が身につきます。社会人になると、テストのように正解のある問題は少なく、自分で課題を見つけ、的確に対応していくことが求められます。そんな時に、この学類で身につけた「自ら学ぶ力」はきっと大いに役立つはずです。

大学生になると、自分を取り巻く環境が大きく変わります。自由な時間や、出来ることが沢山増えることでしょう。知識情報・図書館学類に入学した時には、自分が「本当にやりたいこと」を見つけて、精一杯、頑張って下さい。自分の夢にむかっているみなさんが、一番キラキラと輝いているはずですよ！

高校での学習内容との関係

知識情報・図書館学類では「知識」や「情報」という広い概念を扱うため、そこでの学習内容は高校での学習内容に限らず、これまで身につけてきたすべての学習内容と関係します。様々な事柄に幅広く興味を持つ姿勢や教養が大事です。したがって入試科目も多岐にわたりますが、高校での文系・理系に関係なく受験できるように配慮しています。「知識」や「情報」に興味を持つ人なら、コンピュータが苦手でも、数学Ⅲを履修していなくても大丈夫です。

また、高等専門学校、短期大学などで専門分野を修めた人には3年次編入制度があります。

就職指導・キャリア支援

全学レベルでのキャリア支援活動に加えて、知識情報・図書館学類として、進路説明会や学生間で情報を共有するための進路情報カフェ等を実施しています。また、個別相談に対応するため、進路指導担当教員のほか、専門のキャリアアドバイザー（週1日）を配置しています。

卒業後の進路

卒業後は、研究者や大学教員を目指してより深い内容を修めるための進学と、知識や情報に関連した機関や企業への就職があります。身近な大学院としては、図書館情報メディア研究科（2年制の博士前期課程と3年制の博士後期課程）があります。他大学や海外に進学するケースもあります。

就職先には、知識や情報のサービスを行う機関、図書館、企業や研究所の情報部門、さまざまな企業、製造業や印刷・出版・書店、サービス業及び官公庁などがあります。

主な進路は前ページの通りです。本学類の特徴のひとつである文理融合のカリキュラムから学んだ知識と技術力を生かし、知識情報・図書館学類の卒業生は、幅広い分野で活躍しています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		文理融合型カリキュラムの下で、知識・情報の蓄積・流通にかかわる社会や文化、人間の行動、情報技術を幅広く学ぶ意欲を持つ者。特に、問題を主体的に見いだし、率先して解決に取り組む自律的な姿勢を持つ者。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校までの学習内容に広く関心を持ち、特に英語、国語、数学（数Ⅱ・数Bまで）の基礎学力を身につけていること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	外国語、数学に加えて文科系科目または理科系科目のいずれかの深い理解と、知識に基づいた論理的思考力、応用力を評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	総合的な基礎学力に加えて、論理的思考力、表現力、広い視点からの発想を評価します。
	推薦入試	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れていることに加え、論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力、豊かな発想を評価します。
	AC入試	社会における情報の伝達や知識の創造に関して幅広く興味を持ち、関連した課題を自ら発見し、分析・解決していく能力を評価します。課題の分析結果を論理的に説明することや、説得力のある提案ができることも評価します。
	国際バカロレア特別入試	主体的に学ぶ意欲のある者を対象として、語学力を含む基礎学力や論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力を評価します。
	私費外国人留学生入試	知識と情報に関連した内容に深い関心と問題意識を持ち、理解力、思考力、表現力や日本語能力に加えて、大学での学修に必要な基礎学力を有する人材を選抜します。
	編入学試験	知識と情報に関する領域で学んだ知識・技術を深めたり、異なる領域で学んだ知識・技術を基に新しい領域に挑戦したりする意欲と学力を有する人材を選抜します。



医学群

医学類

http://igaku.md.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　高い問題解決能力と他者との協調性、外国語運用能力を基盤とした臨床能力、研究能力を備え、人類の健康・福祉の増進に生涯貢献する強い意志と豊かな人間性を有する臨床医、医学研究者、保健・医療・福祉行政者を育成する。全ての卒業生は将来、広く国際社会で活躍することが期待されている。

カリキュラム

医学類は、社会の要請に応えうる医師の養成を目標として、新しい医学教育を行っています。平成28年度には第43回生の諸君を迎えました。また、多様な学識と社会経験を有する大学卒業者を対象に医学教育を行う目的で、編入学制度も採用しています。最近の医学の目覚しい進歩と医療の変化に伴い、医学生が学習すべき内容量は急速に増大し質も著しく変わってきました。最新の知識と技能を最大限に詰め込んで卒業しても、そのままでは日進月歩の医学と医療の世界から取り残されてしまいます。

卒業後も自己学習・自己開発を続け、発展させる能力を獲得しなければなりません。さらに、医師は、病気の予防・治療や健康の保持・増進という問題に、生涯にわたって取り組んでいかなければなりませんし、その点で大変やりがいのある専門的職業です。医師の対応する問題には身体的のみならず精神的・社会的な要素も含まれています。このため医師には、医学や自然科学だけでなく、人文・社会科学にわたる知識と洞察に基づいて問題を解決する能力も要求されます。医学類ではこのような医学・医療と社会の要請にかんがみ、卒業の時点で学生が基本的臨床能力と基礎的研究能力を備えていることを教育目標としています。

また、放課後や長期休暇を活用して、興味のある分野の研究室で教員のアドバイスを受けながら、学生時代から最先端の医学研究を行うことができます。その延長で5年次後半・6年次に医学研究者養成コースである「新医学専攻」を選択して、将来へつなげる道も用意されています。平成23年度からは、さらに研究医育成コースを新設し、卒業後直ちに大学院博士課程へ進学する道もできました。



少人数グループ学習



病理実習

主な授業科目	
Phase1（医学の基礎コース）	1年次から医学セミナーや介護体験を通して医学、医療に触れるとともに、3年次終了までに生命科学やヒトの構造と機能の基礎、ヒトの正常と病態を、全てが統合された形で学びます。学習形式はナビゲーター役の教員と少人数のグループ制での自己学習、討議、レポート作成とその評価が主になりますが、導入部や必要とされる部分では学習の鍵になる講義もなされます（テュートリアル教育）。テュートリアル人間学入門では医学生として円滑な勉学開始のために、医療の心を理解して勉学への意欲をもち、学問への取り組み方を知ってそれを習慣づけます。また3年次までに『生体と薬』、『先端医療から考える人間学入門』など基礎医学中心のコースから『呼吸』、『循環』、『消化』など臨床医学を中心としたコースまで約20のコースに分けてテュートリアル教育を基本とした医学基礎教育を行います。
Phase 2（臨床実習）	4年次からの2年間は実際の診療を通して必要な知識、臨床技能・態度を学びます。学生が診療を見学するというのではなく、診療チームの一員に個人として加わり、患者さんを受け持つことになります。4年次では、筑波大学附属病院で複数の診療科のチームの一員として過ごし、様々なカンファレンスなどに参加する間に基本的な臨床技能として医療面接、系統的身体診察、カルテ記載法、基本手技などを確実に身につけます。5年次は、筑波大学附属病院での実習に加えて、学外における実習（病院実習、診療所、保健所、救急、行政など）も経験します。4〜5年次の実習終了時には、全ての診療科や診療部門を必ず経験することになりますが、この中で単に疾病を学ぶのではなく、患者さんを中心に問題をとらえ、多面的に解決する思考能力を身につけていきます。また、将来の進路を決定する手がかりを得ます。
Phase 3（自由選択学習）	6年次前半は選択制で、基礎・臨床・社会医学の研究室、学外施設（医院、緩和ケア、保健所、行政など）、海外の病院から様々な組み合わせの選択が可能です。臨床実習後に医学をもう一度、基礎・臨床・社会などの各専門分野から見つめ直すことを目的とし、進路を決める際の重要な参考にもなります。後半は卒業試験に先立ち、総括的講義が開講されます。

専門として学べる内容

卒業生は将来、優れた医師（一般臨床医・専門医）、医学教育者、医学研究者あるいは保健・福祉行政者としてそれぞれの分野で社会に貢献することが期待されます。この目標を達成するため、本学類では必要な知識と技能の修得にとどまらず、自ら学ぶ態度と習慣を身につけ、未知の問題を解決する能力を獲得することに教育の重点をおいています。独自のカリキュラムは6年一貫の医学教育を行うためのもので、豊富な実験・実習と様々な学問分野を組み合わせた統合カリキュラムを取り入れて、総合的な理解力の育成をはかっています。

具体的には、1年次から医学セミナーや介護体験を通して医学・医療に触れるとともに、3年次終了までに、生命科学やヒトの構造と機能の基礎、ヒトの正常と病態を全てが統合された形で学びます。これらはナビゲーター役の教員と少人数グループでの自己学習、討議、発表のテュートリアル形式で行われますが、重要な所ではピンポイントの講義もなされます。4〜5年次の病院での臨床実習では、各個人が診療チームの一員として行動しながら、医学士となるべき知識・態度・技能を学び、実習終了時には医療に関係する全ての領域を網羅できるように組まれています。6年次には海外の大学や病院での臨床実習、学外の医療施設での実習、基礎医学や社会医学の研究室での研究を通して将来の進路を考えながら学びます。



医学群ガイドブックの請求方法

●医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html
●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は541390）


臨床病理カンファレンス

教育の特色

医学類の教育の特色として、自己学習能力・問題解決能力の涵養を重視し、E-learning環境など学習のサポート体制を整備している点、及び体験型プログラムが充実している点などがあげられます。また、教育の質を保証するために、医学教育企画評価室を設置し、カリキュラムのプランニング、各種教育プログラム実施支援、評価のすべての段階において、教育の司令塔としての役割を持たせています。具体的には、社会のニーズに対応するための新たなプログラムの企画（チーム医療に関する医学群3学類合同コースなど）、評価結果に基づく現行プログラムの改善、テューター養成、教員研修会、卒業生のフォローアップ調査などを実施しています。

医学図書館は夜も開かれている他、全てのセミナー室にはネット環境が整備されており、E-learningシステムを活用して学生が必要な時に、病理組織標本などにアクセスして自習できます。また臨床技能実習室には、身体診察や救急蘇生を練習するためのシミュレーターが多数整備されています。

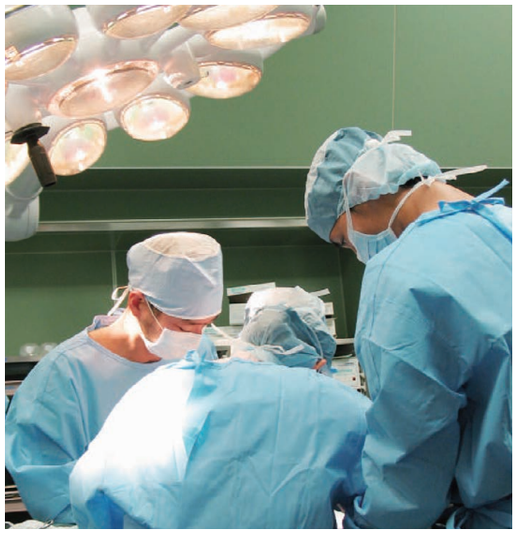
資格など

学士（医学）
医師国家試験受験資格

卒業後の進路

平成28年4月末現在、第37回卒業生までの3,663名が医師国家試験を受験し、平均合格率は96.8％です。卒業後、卒業生の多くは臨床医として、医療の第一線で活躍していますが、基礎医学の道を選び、研究者として国際的に非常に高い評価を受けている人達もいますし、保健・福祉の行政者として国際機関や厚生労働省等の政府機関、都道府県の保健医療部局などで活動している人達もいます。臨床医となった卒業生の中にも、その優れた研究成果が評価されて海外の研究所や大学に招かれ、臨床医あるいは研究者として活躍している人も多く、また認定医や専門医の資格を得て、高度の専門知識と技術をもつ臨床家として医学の進歩をリードし、あるいは医学教育に携わっている卒業生も数多くいます。

卒業生の多くは、本学附属病院をはじめ全国の研修病院で研修を受け、臨床医としての道を歩みます。平成16年度から全国的に卒後臨床研究が必修化されましたが、本学附属病院では全国に先駆けて昭和63年から卒後臨床研修部（現、総合臨床教育センター、http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/sotsugo/）に専任教員を配置しています。

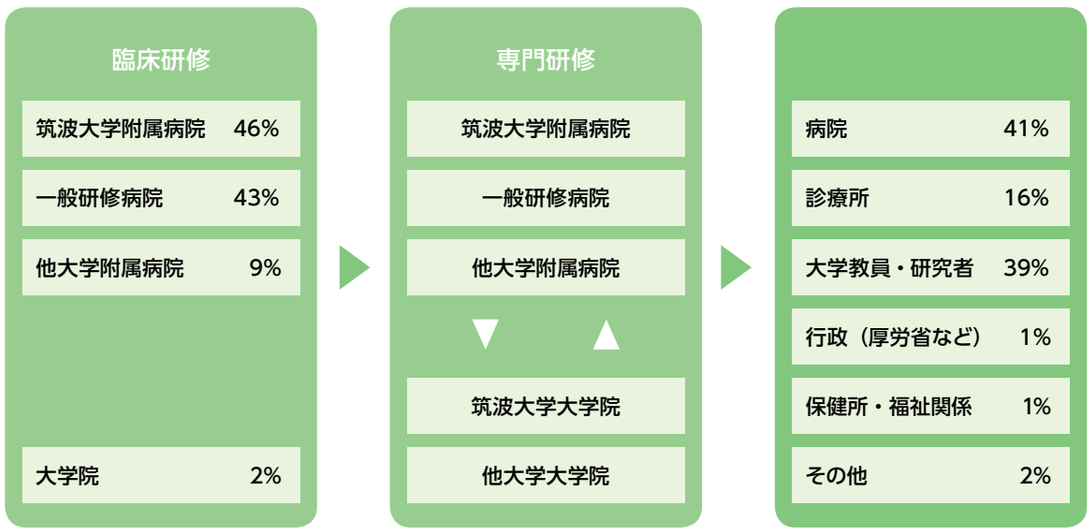

臨床実習（手術室）

ここでは、本学附属病院と指導体制や経験症例数などにおいて厳しい認定基準をクリアした茨城県内の院外研修施設での研修を組み合わせた先進的なプログラムのもとで研修医が質の高い研修を受けられるように整備しています。また、各学会の専門医制度も考慮したプログラムになっているため、レジデント修了後に試験を受けてそれぞれの領域の専門医になることができます。筑波大学附属病院では、平成18年度に次世代医療研究開発・教育統合センターが新設され、また、平成24年には新棟が完成し、各分野で世界の最先端の医療が実施できる診療・研究・教育の拠点としてさらなる発展を続けています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		自然科学、語学等の十分な基礎学力と豊かな創造性、探究心を有し、高い倫理観、協調性、コミュニケーション能力を持って、生涯にわたり人類の健康と福祉に貢献する強い意志を持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		自然科学、外国語についての十分な知識と理解、さらに応用する能力が必要である。特に自然科学や医学に関する英文記事を理解し要約する能力や、グループの中で積極的に討論に参加したり、意見をまとめる能力を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。 【地域枠】 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、小論文、面接により総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れている者の中から、医師となる資質が十分な人材を小論文、面接によって総合的に評価します。 【地域枠推薦入試】 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、小論文、面接により総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。
	私費外国人留学生入試	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、日本語での学習能力、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。
	編入学試験	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。

卒業後の進路



医学類HP（http://igaku.md.tsukuba.ac.jp/）で、もっと詳しい
医学類の情報（カリキュラム、進路、キャンパスライフ、入試など）を見ることができます。

医学群

看護学類

http://www.md.tsukuba.ac.jp/nurse/

[人材養成目的]　広い教養と深い人間理解を基盤に、人々のニーズに合った質の高い看護を提供し、保健・医療・福祉チームの一員として協働できる優れた看護職を育成するとともに、保健医療分野における行政官、国際的な視野に立った看護職など、広く社会に貢献する人材を養成することを目的とします。



実習風景

看護学とは

看護学とは人が生まれてから死を迎えるまでに直面する健康のあらゆるレベルの問題を人々が解決しようとするプロセスを支援する学問です。つまり看護は、病気や障害の治療過程にかかわるだけでなく、身体的、精神的、社会・文化的に健康でその人らしい生活が営めるよう地域や家族を含めた、病気の予防・健康の維持・増進に働きかけます。そして看護の対象となる人間のからだの構造・機能や疾病の理解のみならず、人々の生活環境や文化的背景、人間の発達に伴った社会・心理学的変化などの理解を通して、豊かな人間性を育む学問ともいえます。人々に看護を提供するための専門技術は、こうした幅広い人間理解と科学的な理論を基盤とした看護学のさまざまな演習や実習を有機的に取り入れながら修得していきます。

授業科目

	1年生	2年生	3年生	4年生		
基礎科目	総合科目Ⅱ 体育実技 第1外国語		総合科目Ⅲ	応用看護学演習 医療チーム連携演習 総合実習		
	総合科目Ⅰ 情報 国語	カウンセリング論 臨床心理学 臨床薬理学 臨床病態学 疫学 環境保健学演習 障害理解	保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ	看護師	保健師選択	養護教諭選択
専門基礎科目	人間関係論 教育心理学 行動科学 人体の構造と機能 人体の代謝と栄養 感染と免疫 人間環境論 保健統計学 家族社会学 人間工学 日本国憲法		成人看護学演習 クリティカルケア看護学実習 セルフケア看護学実習 継続ケア看護学実習 精神保健看護学演習 精神看護学実習 高齢者ヘルスプロモーション論 高齢者看護方法論 高齢者看護学実習 母性看護方法論 母性看護学演習 母性看護学実習 小児看護学演習 小児看護学実習 コミュニティ・エンパワメント論 在宅看護論実習 国際保健学 研究方法概論	看護の探究概説	公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護学応用論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護活動方法論	教職実践演習 養護実習
専門科目	基礎看護学概論 看護生命倫理 生活援助論演習 公衆衛生看護学概論 精神看護学概論 高齢者看護学概論	基礎看護技術 基本看護技術演習 フィジカルアセスメント 基礎看護学実習1 基礎看護学実習2 家族看護論 健康教育論 成人看護学概論 成人期疾病援助論 精神保健看護方法論 母性看護学概論 小児看護学概論 子どもの健康と障害 看護科学と社会	教育内容・方法論 道徳教育 障害児指導法 生徒指導・教育相談 養護概説	国際看護学／看護実践・ケアシステム開発学 看護人間工学／子どもの健康支援学 女性の健康支援学／精神の健康・障害支援学 高齢者ヘルスプロモーション		
選択科目	教職論	公衆衛生看護活動論 学校保健 産業保健				
		教育基礎学 道徳教育 特別活動 教育相談				

：基礎科目　：専門基礎科目　：専門科目
：看護師授業科目　：保健師選択科目　：養護教諭選択科目

注）保健師コースおよび養護コースは選抜制です。

医学群ガイドブックの請求方法

●医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html
●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は541390）

教育理念

近年の急激な社会環境の変化に伴い、看護や医療に求められる「質」が急速に変化しています。一方、看護を必要とする人たちが求める質の高い要請に対応できる看護師の数はまだまだ不足しています。本学類では、このような看護や医療に対する社会の要請に即応するために、広い教養と深い人間理解を基盤とし、大学病院のみならず地域の医療・福祉に従事している方々とも連携した教育をします。

人々のニーズに合った質の高い看護を提供し、専門性を生かして、保健、医療、福祉チームの一員として協働できる保健医療専門職を養成します。また、教育者、研究者、管理者としてそれぞれの専門分野で指導的役割を担い、社会に貢献できる人材を育成します。

特長

総合大学である特長を活かし、時間的に可能な限り、他学類あるいは他学群の授業を受けることができます。また、本学類以外の医学類や心理学類など他学類において医療・福祉に関連した科目を学ぶ学生達とチーム医療を学ぶことができます（医療チーム連携演習）。なお、受講を可能とする学群・学類や学年を定めている科目があります。さらに医学群以外の学群や学類とは距離的に離れているので移動時間の都合で受講できない場合もあります。

看護学類発足の経緯

看護学類は2016年3月に第10期生を送り出し、そして4月、14年目の春を迎えました。この間、看護・医療科学類看護学主専攻から看護学類へと組織改正が行われただけでなく、2007年度には大学院看護科学専攻博士前期課程（修士課程）が、そして2009年度には看護科学専攻博士後期課程（博士課程）が開設されました。この背景には急速に変化する疾病構造や医療の進歩に伴い、それに対応できる高度専門医療職者の育成へと社会のニーズが高まってきたことがあげられます。看護学類ではこのようなニーズに応えるために特徴的なカリキュラムを構成しています。

他学群・他学類の学生と一緒に受講する共通科目は、多くの学生との交流を通して豊富な知識の習得だけでなく、豊かな人間性の形成に役立ちます。さらに多くの留学生と交流することにより、グローバルな視野で物事を思考する国際性を養うことができます。また、1年次から医学類、医療科学類と合同で受講する科目を設けており、これは同じ医療職における各々の専門性と独自性、そして役割を考える機会となります。4年次には3学類に他大学生も参加するチーム医療演習を通して、医療における看護専門職の役割をより理解し深めることができます。正規の授業以外にも附属病院で行う研修会へ参加することで、最新の医療知識や医療安全などを学習することもできます。

看護学類の入学定員の数は70名で、3年次に10名の編入学を受け入れています。卒業要件を満たすと看護師の国家試験受験資格が得られます。2012年度の入学者から看護学類での助産師教育は実施せず、大学院で行っていますので助産師の国家試験受験資格は学類では取得できません。また選択により保健師の国家試験受験資格あるいは養護教諭一種免許の申請が可能となります。卒業生は、医療機関における看護職として、学校保健や産業保健、地域保健などにおいて人々の健康生活の維持・増進のために活躍しています。また、高度実践看護を目指し、専門看護師や教育・研究職を視野に入れて人間総合科学研究科看護科学専攻に進学している卒業生もいます。あるいは行政機関等において指導者として力を発揮する道もあるでしょう。

看護学類は高度専門医療職の育成を通して人々の健康と安全な社会の実現に貢献したいと考え、「筑波スタンダード」を具現化し“Made in University of Tsukuba”の看護を社会に発信することを目指しています。皆さんの積極的な参加を期待します。



保健師実習



看護学実習

取得できる資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

教員免許

養護教諭一種免許状

（所定の選択科目を修得する必要があります）

養護教諭二種免許状

（保健師国家試験合格後、申請により授与されます）

取得実績（看護学類の実績を示す）平成28年度

看護師	74名（100%）	養護教諭	5名
保健師	30名（100%）		

取得できる資格とその概要	
看護師	看護師の役割は、健康上の問題から引き起こされる、人々の身体的、心理的な苦痛を軽減し、問題を抱えた人自らが、その問題を解決できるように支援することです。また、看護師は、医療の高度化に順応し、常に研究心を持ちつづける、科学的看護の実践者でなければなりません。そのような看護師を育成するために、本学類では、総合大学の特性を生かし、看護学を中心にしながら、医学、心理学、社会学との連携を図っています。また、実践能力の向上を目指して、臨床実習のほかに、臨床実技試験（OSCE）や、医学類、医療科学類の学生たちとともにチーム医療を学ぶケア・コロキウムといった、他学でもまだ例の少ない先駆的な教育を実施しています。本学類の学生は、卒業時に学士（看護学）の学位が授与されます。卒業後は、取得予定の国家資格を生かし、高度な医療を提供できる総合病院から町の診療所まで、全国各地の医療機関で、看護師として勤務することが可能です。
保健師	地域には、乳児から高齢者まで、そして、健康な人から病気になってしまった方まであらゆる人々が生活しています。その方々の健康を守り、病気にならないように予防し、病気になっても早く回復できるように、そして、生きがいをもって健康的な生活ができるように、さまざまな支援活動を、公的な立場から行っている医療専門職が保健師です。保健師の多くは、現在、市町村の保健センターや保健所にて活動しております。また企業そして福祉施設でも活躍しています。 保健師の活動は地域の状況をアセスメントし、地域の健康問題を診断し地域の健康ニーズを把握します。地域の人々の健康ニーズに応じた、さまざまな保健事業サービスを企画、展開します。公衆衛生の拠点である保健所においては、地域の健康を守る広域的、専門的、技術的な活動を行っています。地域の人々に身近な自治体である市町村においては、健康診査、健康相談、健康教室、家庭訪問などを行い、人々の健康を守る活動を行っています。保健、医療、福祉等のさまざまな方々と連携し、地域の人々の健康を守るシステムづくりに関して活動しています。
養護教諭	養護教諭とは、学校で子どもの心身の保健管理・保健教育を担当する教員です。看護学と教育学の専門知識を兼ね備えた教員です。主に保健室に常駐し、けがや病気の応急処置、健康診断と保健指導、さまざまな問題や悩みをもつ子どもの健康相談、学校保健委員会のような委員会活動などを行っています。看護学類では、養護教諭一種免許状の取得に必要な看護学、教育学、心理学、医学などの科目が開講され、広い視野から学校保健・学校看護について学修していきます。4 年次の養護実習では実践を通して知識・技術を深めていきます。卒業後の進路には、大学院への進学や養護教諭としての就職などがあります。本学では将来指導的立場にたつための養護教諭専修免許状が取得できる大学院が設置されています。公立学校の養護教諭として就職する場合は、都道府県や市が行う教員採用試験に合格して採用されます。

※保健師コース、養護教諭コースは選抜制で人数の制限があります。

卒業後の進路

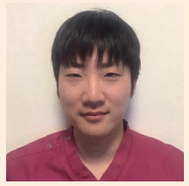
平成28年度進路状況
（看護学類）

病院（看護師・助産師）	65 名
市役所等（保健師）	7 名
養護教諭	2 名
進学	6 名
その他	0 名
合計	80 名

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		科学的な知識や語学力などの十分な基礎学力を有し、看護学に関する深い興味と関心があり、新しい保健医療福祉を支えるための看護技術を探求し開発できる能力と意欲を有する人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校での学習内容を深めておくと共に、とくに生物学および外国語については、十分な知識を有し理解していることが望ましい。また、優れた文章読解能力や文章表現能力を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	国語、理科、英語の学力を中心に、基礎学力を評価するとともに、看護を志向する動機、適性、感性、社会的適応力及び人間性等について総合的に判断します。
	推薦入試	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力について評価します。また、クラブ活動、地域活動、社会活動等の実績について評価します。
	国際バカロレア特別入試	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力、大学で看護学を修得するために必要な基礎知識ならびに思考力や学力などを総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	海外生活の経験を活かし、国際性と協調性を身に付け、グローバルな視点から保健医療福祉の分野を探求する意欲と能力をみます。
	編入学試験	医療人としての更なる飛躍を目指す動機に加えて、大学で看護学を修得するために必要な基礎知識ならびに思考力や学力などを総合的に評価します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert(学士)プログラム特別入試	日本のヘルスケアシステムやヘルスケア技術に興味を有し将来、ヘルスケアの学問的基盤に立った政策、管理担当者および、ヘルスケア技術者や教育・研究従事者として活躍を希望する人材を求めています。

先輩からのメッセージ



大山　創生

平成25年度卒業

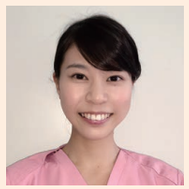
筑波大学附属病院勤務

みなさんこんにちは。私は筑波大学を卒業後、筑波大学附属病院に入職し看護師として日々働いています。私が感じた母校の魅力を少しだけ紹介させてください。

筑波大学の魅力としてまず挙げたいのは、総合大学であり全国から来た数多くの学生、教員が在籍していることです。1年次には総合科目で医学群以外との交流が有りました。また、授業、実習、部活、サークル、バイトなどでも数多くの人と出会い、お互いを知ることができました。筑波大学の学生は個性的で、学生の数だけ考え方がありました。それらはとても刺激的で、それに触れることで自分の視野が拡がっていったことを覚えています。

もうひとつの魅力としては、学生を支援する制度が整っていることです。入学前、一人暮らしの費用や、授業料がどのくらいかかるのか心配でした。しかし入学後は奨学金や、授業料免除の制度を活用し、ほとんど親の支援を受けずに卒業することができました。無料で診察をしてもらえる保健管理センターの存在も一人暮らしの学生にとっては助けになると思います。

看護学類を目指して受験される学生のみなさん、筑波大学では資格取得に向けた学習環境の充実はもちろん、筑波大学ならではのプラスアルファがあります。社会に出る前の最後の4年間を筑波大学で過ごし、ぜひそれぞれの人生にとっての大きな財産を得てください。



井本　京

平成27年度卒業

現在 筑波大学大学院人間総合科学研究科看護学専攻

受験生のみなさん、こんにちは。私は今年3月に看護学類を卒業し、助産学を学ぶために筑波大学大学院に進学しました。先日、無事に分娩介助実習が終了し、ほっとしているところです。

看護学類での生活を振り返ってみると、毎日が充実しておりあっという間の4年間でした。授業や実習で看護を学ぶことはもちろん、4年生の夏には、イリノイ大学シカゴ校のサマープログラムに参加させていただき、授業や病院実習で海外の看護を学ぶこともできました。このように、挑戦したいという自分の思いを実現できる環境があることが筑波大学の強みのひとつであると感じています。

また、医療以外を学ぶ学生と交流し、自分の世界を広げられることも、筑波大学ならではの強みであると思います。筑波大学では体育や芸術、心理学など本当にさまざまな専攻科が、ひとつの広いキャンパスに集まっており、授業やサークル活動などを通してたくさんの学生と出会うことができます。それぞれの考え方や生き方を感じ、刺激を受けることが、他者を理解し良質な関係を築くという看護において最も重要なものにもつながっていくのだと思います。

緑豊かな筑波大学で、個性豊かな仲間と優しく指導してくださる先生方とともに、素敵な大学生活を送ってください！

医学群

医療科学類

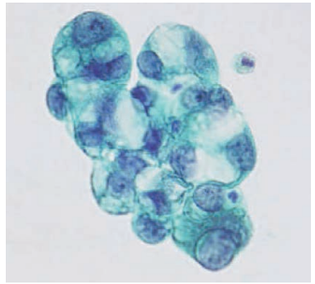
http://www.md.tsukuba.ac.jp/med-sciences/

[人材養成目的]　医学・医療の様々な分野で活躍するために必要な医科学の基礎的な知識、技能を修得し、医療人としての使命感と責任感を身に付け、将来、医療の向上と発展に貢献する医科学領域の研究・教育を推進する人材および診断や治療に必要な新たな技術の開発とその実践にかかわって高度専門医療を担う人材を養成します。

医療科学とは

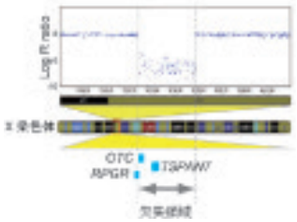
医療科学とは、基礎医学と臨床あるいは社会医学を包括的に捉え、人々の健康と安全に寄与する実践的な学問です。

わかりやすく言えば、医療に関連するいくつかの分野の橋渡しを科学的に支援し、医療が人間の幸福により寄与できるように考える分野とも言えましょう。



病理検査学実習で観察したがん細胞

先天代謝異常症のOTC欠乏症のゲノム診断



以前は診断が難しかったゲノム欠失の検出の証明も、DNAゲノム診断法の進歩で容易になった。診断を受けた子はOTC欠損症だけでなく、精神遅滞、網膜色素変性症の原因となる遺伝子*RPGR*, *TSPAN7*もないことが分かった。

特長

大学（University）は、特定の分野を深く学べると同時に広く教養を身につけることのできる場所です。筑波大学は、総合大学として幅広い学問分野の教育を通した人間教育を重視しており、医科学の専門的知識の習得とともに、幅広い教養を養うことができるのが特長です。

①医療科学教育のための独立した４年制教育組織です。
②3年次より医療科学主専攻と、国際医療科学主専攻（カリキュラムの項目参照）の２つのコースを選択できます。
③大学院修士課程および博士課程にスムースに連結し、学類大学院一貫教育を通して医科学スペシャリストとしてのスキルを高めます。

資格など

卒業時に臨床検査技師国家試験受験資格を取得できます。合格すると、臨床検査技師として、卒後すぐに医療職に就く道が開かれています。また、大学院終了後にも資格を活用して、社会貢献ができます。さらに臨床検査技師の資格を生かして、細胞検査士の資格や超音波検査士などより専門的な資格取得の道も開かれます。



実習風景

主専攻	専門的な授業科目
1 年次	人体構造学、人体機能学、生化学、微生物学、保健衛生論、医学検査学、医用工学、電子工学、医療史
2 年次	分子生物学、基礎医学総論、臨床心理学、疫学、臨床病態学、免疫検査学、病理組織学、細胞検査学、血液検査学、生化学成分検査学、生理機能検査学、病原微生物学、RI 検査技術学、医療経済学、医科学英語論文購読の基礎
3 年次	免疫検査学実習、RI 検査学実習、病原微生物学実習、生理機能検査学実習、遺伝子検査学、病態検査学、国際感染症学、臨床薬理学、輸血学、画像検査学、凝固・線溶学、検査情報管理学、バイオテクノロジー総論、細胞発生工学、遺伝子検査学、移植検査学、胚操作実験動物学、ライフサイエンスのための病態生化学、臨床実習
4 年次	医学検査学フロンティア、医療情報管理学、光医用工学、環境分析学、遺伝医学、バイオエレクトロニクス、イメージング総論、国際保健学、卒業研究

医学群ガイドブックの請求方法

●医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html
●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号は541390）

臨床検査技師について

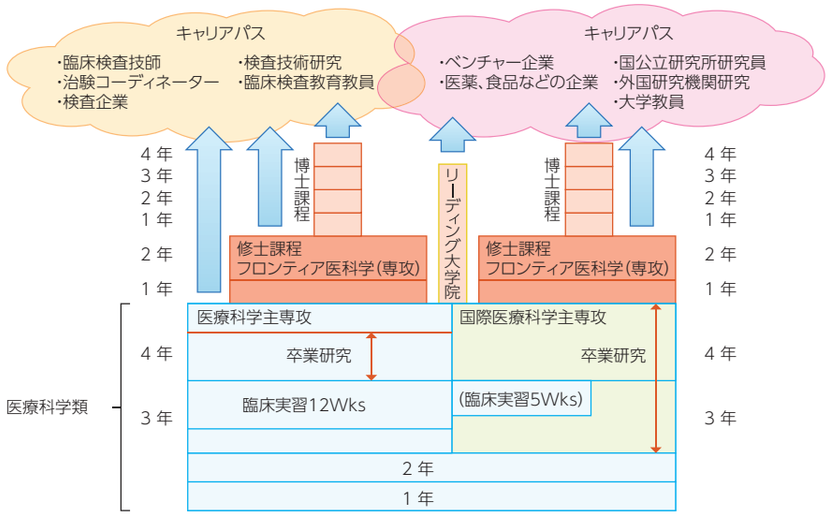
臨床検査技師とは、国家資格として臨床検査技能を認定された、医療に関わる多くの分野を支援するメディカルスタッフのことです。たとえば、病院では血液や尿などの生化学的検査をはじめとし、心電図や超音波（エコー）などの生理機能検査や、がんなどの確定診断に関わる病理検査、さらには細菌やウイルスの同定などの微生物検査や輸血など、広範な分野で、医師とともに医療に直接あるいは間接的に関わることのできる専門職です。このような、医療を支援する職種をコメディカルと呼んでいます。専門職としての活動分野は医療の進歩とともに広がっており、病院のみでなく医療関連企業などにおいても活躍しています。

カリキュラム

平成23年度入学生から、３年次に２つのコースのうちから選択できるようになりました。ひとつは、これまでの医療科学主専攻であり、もう一つは新たに設置された国際医療科学主専攻です（下図参照）。医療科学主専攻は、臨床検査技師教育を柱に、研究者としての素養も身につけるという理念で教育し、国際医療科学主専攻は、医科学領域のグローバルな課題に取り組める人材の育成を目指しています。とくに専門英語能力と研究実践力を養うことが特徴です。この２つのコースは、２年次までは同じカリキュラムで教育が行われます。

①２つのコース共通のカリキュラム(２年次まで)
１年次は総合科目や体育、外国語など全学と共通の科目を履修し、基礎教養を高めると同時に、生物学、化学、物理学、人体機能学、医療史などの医療系の基礎科目を学びます。
２年次では、免疫学、病理組織学、病原微生物学など医療科学の専門基礎科目や専門科目を中心としたカリキュラムです。それに加えて、医学英語論文の読み方などの研究者としてのスキルを高める科目が開講されます。

②２つのコースの、３年次からの教育カリキュラムの違い
医療科学主専攻は臨床検査技師教育を柱としていますので、臨床実習には１２週間を、卒業研究は約半年を充てます。一方、国際医療科学主専攻では、卒業研究は３年次から開始します。また、国際医療科学主専攻では医科学特論、医科学専門語学など国際的に活躍できるよう、語学の習熟にも力を入れます。２つの主専攻は、バイオテクノロジーや先端脳科学など共通に受講できる科目も多く、専攻が分かれても興味や将来像に則した学習ができるよう配慮しています。なお、臨床実習など国家試験関連科目は選択または自由科目として履修することが可能です。



卒業生からのメッセージ



三浦　悠樹
卒業年：2011年

所属：筑波大学グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム
卒業後の進路：米国スタンフォード大学医学部 Postdoctoral Fellow
出身高校：埼玉県立川越高校

皆さん、はじめまして。平成22年度卒業生の三浦悠樹です。

僕は「ヒトを理解したい」というシンプルな問いから、ヒトに関する医科学が学べる医療科学類を選びました。在学中の4年間では、基礎医学や臨床検査の知識を得ると同時に、病院実習を通して実際の医療現場を体験し、卒業研究では最先端の基礎医学の研究に触れる機会がありました。その中でも、卒業研究で取り組んだ、脳が発達する際の重要なプロセスである神経細胞突起伸長の分子メカニズムを自らの手で解明する「基礎研究」に最もやりがいを感じ、将来も基礎研究を続けたいと考え、5年間の博士課程への進学を決意しました。今年の3月に博士課程を修了し、4月から米国スタンフォード大学医学部にて博士研究員として、ヒトiPS細胞から再構築した3次元ヒト脳モデルを用いて、脳の発達障害である自閉症や統合失調症といった精神疾患の病態メカニズムの解明に取り組みます。将来的にこれらの精神疾患に対する治療薬や新規検査法の開発に寄与し、さらにヒトをヒトたらしめる脳の理解を通じて、かねてからの目標である「ヒトの理解」に迫りたいと考えています。

僕は医療科学類を卒業後、基礎研究を続ける道を選択しましたが、同級生は、病院で研究もこなしながら臨床検査技師として働いていたり、医薬品の開発における臨床試験の仕事に取り組んでいたりします。一方、僕と同様に博士課程に進学し基礎研究を続け、医療系の大学教授を目指す友人や製薬会社に就職し自分の手でがんの薬の開発を目指す友人もいます。このように、医療科学というキーワードを軸に多様なキャリアパスが開かれている点が医療科学類の最も魅力的な点です。

大学4年間の学びはゴールではなく、スタート地点だと卒業して実感しています。大学卒業後のキャリアを考慮する上で、病院実習や基礎研究など様々な経験が出来、多彩な卒後の選択肢を擁する医療科学類はとても魅力的な学類だと僕は思っています。そんな医療科学類に入学し、医療科学の分野をリードする人材となり、未来の医療科学類を共に盛り上げていってくれる後輩をお待ちしています。

③臨床検査技師としての専門教育

臨床検査技師の専門教育として重要な事は、正確で最新の知識をもって論理的に考えることができ、それを実践できる技能を持つことです。この技能を体得することも大変重要であり、そのため専門科目の多くには実習が組まれています。また、国家試験に対応するために医学検査学フロンティアという科目も設置され、できるだけスムースに資格の取得ができるようにしています。また、筑波大学医学群には、チームワーク演習という、医学類、看護学類、医療科学類、薬学部(東京理科大学)の４つの学部生が合同で実践的チームワーク医療について学ぶ、特徴的な科目もあり、幅広く医療を学ぶことができます。

④研究者養成としての専門教育

医療科学類では、専門性の高い研究者の育成を目指しています。研究者として重要な素養は、問題点を正確に理解し、それを解決するための科学的視点と適正な方法論を持つことです。専門基礎科目や専門科目で学んだことを基盤に、さらに研究者としての素養を涵養するために卒業研究を行います。これは、筑波大学医療医学系に属する多くの研究室のうちのいずれかに配属され、与えられた研究テーマに沿って研究をするものです。卒業研究によって、科学的視点や方法論の習得、論文の抄読や作成、さらにはプレゼンテーション力など、講義ではあまり触れない、研究者の基本を修練します。医療科学類生は、大学院の進学率も全国の関連学部のうちで最も高く、平成22～24年度では約60%でした。このように、多くの学生が大学院でさらに研究者としてのスキルを学びます。

⑤教育の支援体制

筑波大学医学群では、教育の支援体制としてPCMEというカリキュラムの進行を統括する部署があり、いろいろな面で合理的に教育にあたっています。また、カリキュラムを効率よく進行させるために学習支援ポータルサイトを設け、学習を支援しています。







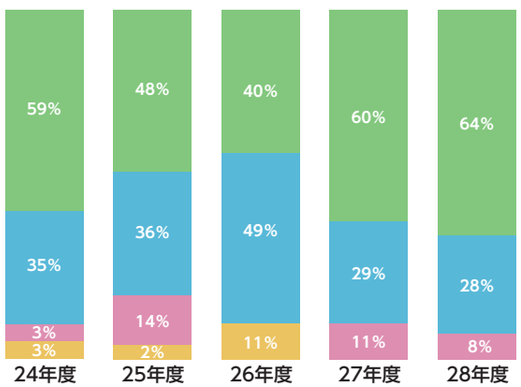
International Medical Science Training Course
(於：インドネシア大学)

卒業後の進路

進学と就職の２つの道があります。進学先としては、筑波大学人間総合科学研究科の修士課程であるフロンティア医科学専攻が主ですが、分野によってはその他の大学院（東京大学、北海道大学など）に、進学する学生もいます。

就職先としては、大学院での研究や臨床検査技師の資格を活かしたものが主ですが、一般企業に就職する場合もあります。また、臨床検査技師を対象とした資格には細胞検査士（卒後一定の研修が必要）、さらに臨床検査技師が資格要件となるものには超音波検査士、糖尿病療養指導士、健康食品管理士、治験コーディネーターなどがあります。病院や企業からの臨床検査技師の求人は増加しています。大学院を修了した臨床検査技師の求人も増えています。その他、大学院修了後に医学の知識を生かして企業に就職する学生も多く、さらに大学院博士課程を修了した学生は大学教員や研究員として就職しています。

これからは、人々の健康・疾病予防への関心の高まり、高齢化、環境重視などの社会的要請もあり、病院だけではなく多種多様な就職先や、就職形態が考えられます。真摯に勉学に励み、高い教養を身につけた学類生が新たな道を開拓していくことでしょう。



■進学
筑波大学大学院（フロンティア医科学、スポーツ医学、グローバル教育院一貫性博士課程）、東京大学大学院、東北大学大学院、北海道大学大学院、癌研付属細胞検査士養成所
■病院
筑波大学病院、筑波学園病院、筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院、日立総合病院、東京大学病院、慶応大学病院、昭和大学病院、北海道大学病院、龍ヶ崎済生会病院、千葉大学病院、国立病院機構水戸医療センター
■企業・公務員
島根県警本部、医療システム研究所、江東微生物研究所、パナソニックヘルスケア、東芝メディカルシステムズ
■その他

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		医科学の分野に強い関心をいだき、医科学分野の研究や医学・医療分野の検査技術において国際的に活躍する意欲を持つとともに、チーム医療での役割を理解し、行動することができる柔軟性を持った人材を求めています。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、日本語の文章表現力、英語の読み書き会話の能力を有し、医学や医療に関して関心のある分野と将来に対する希望を明確にもつことが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と数学、理科、英語の学力さらに医療を志す動機、適性、感性、社会的適応力などを総合的に評価します。
	推薦入試	医療人を志向する強い動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	医療や医科学を志向する動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力を総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	医療に対する高い関心、そして入学後に日本人とともに医療科学を学ぶのに必要な基礎学力と協調性を総合的に評価します。
	編入学試験	医療人としての更なる飛躍を目指す動機に加えて、大学で基礎あるいは臨床医学を修得するに足る基礎知識ならびに思考力や学力などを総合的に評価します。
私費外国人留学生特別コース入試（編入学）		(1) 求める人材 医療を取り巻く状況は急速に変化するなかで、感染症や生活習慣病等に関わる国際的な諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、医療科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

体育専門学群

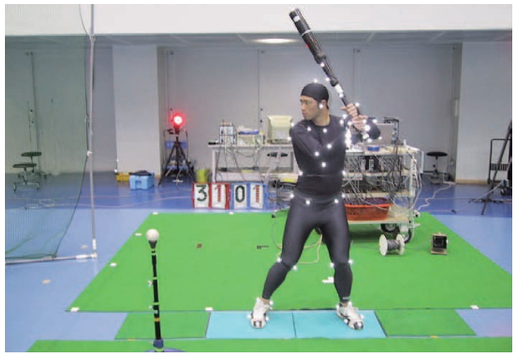
http://www.taiiku.tsukuba.ac.jp/gakugun/

[人材養成目的]　体育・スポーツを国内外に普及させる行動力を備えた人材を養成します。具体的には、優れた運動技能と幅広い運動経験を基盤に、体育・スポーツ及び健康に関する総合的な知識と最新の科学的知見を活かしながら、諸々の問題解決を図れる知・徳・体を具備した体育・スポーツ界のリーダーを育成します。

"21世紀には人類はスポーツなしには生きられない" といわれるほど、人々の生活における運動やスポーツの意味や価値が高まっています。本学群は、この様な時代の要請を受けて、「学校教育」、「公共スポーツ」、「スポーツ関係産業」そして「競技スポーツ」の最先端分野で活躍する有能な専門家を養成しようとしています。いずれの分野においても、幅広い教養と専門的知識をベースに、優れたスポーツパフォーマンスが発揮でき、科学的知識の探求に意欲を持ち、さらに創造的な実践に取り組むことのできる人材を養成しようとしています。



ラグビー大学選手権



体育総合実験棟での三次元動作分析
（体育総合実験棟のアリーナ）

カリキュラム構成

基礎科目	専門科目　約50単位				教職科目	
約30単位	キャリア支援科目 10単位 職業領域で活用される実践的な知識・技術を習得する科目群 （保健体育教師論、地域保健学、スポーツにおける情報戦略、運動療法論など）	分野別専門科目 10単位 体育学を構成する専門知識を発展的に学習する科目群 （スポーツ倫理学、スポーツ戦術論、動きの解剖学など）	卒業研究領域科目 14単位 選択した研究領域の最新の知見や研究方法を習得する演習・実習型科目群	実技系科目 4単位 専門とする運動種目の実技力と指導力のレベルアップを目的とする科目群	教育実習	4年 ↑ 3年
総合科目 外国語 情　報 国　語	**専門基礎科目　約40単位** 体育学を専門的に学ぶ全ての学生に必要な最低限の基礎的知識 体育・スポーツ学領域科目 コーチング学領域科目 健康体力学領域科目 実技理論・実習８単位				教育基礎学、教育心理学など	↑ 2年 ↑ 1年

カリキュラム

1・2年次では、幅広い教養としての国語、外国語、情報、総合科目や基礎的な専門科目及び各種実技理論・実習等の履修に重点が置かれます。

3年次以降はキャリヤ支援科目や卒業研究領域（分野）に対応した科目等、多様な講義、演習、実習、実験等が用意されています。

体育専門学群パンフレットの請求方法

●直接請求する場合は返信用封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には205 円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「体育専門学群案内請求」と必ず朱書きしてください。

請求先　〒305-8574 茨城県つくば市天王台１－１－１
筑波大学体育芸術エリア支援室学群教務担当（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールで請求できます。(p.175　資料請求番号561390)

●パンフレットの内容は、下記のアドレスでもご覧になれます。
http://www.taiiku.tsukuba.ac.jp/gakugun/index.html

特長

教員

本学群には、120余名の教員がおり、それぞれの専門性を発揮して国際的に誇ることのできる体系的なカリキュラムと充実した授業を展開しています。また、各種目の運動施設も整備されており、運動経験を高めるとともに、人生経験を深め、快適な学園生活を送れる場となっています。

課外活動

本学群では、運動部活動も専門教育とともに重視し、それぞれに顧問教員を置き、適切で高度な指導を行っています。その成果として、多くの運動部が国内の諸競技大会で優秀な成績をあげています。また、国際競技大会やオリンピックにも日本代表として出場し、輝かしい成績をあげている学生も多くいます。スポーツの国際交流の盛んな今日、本学群の学生が国際レベルの資質と実力をそなえて活躍することが期待されています。

筑波大学体育専門学群：スポーツの知と技の伝承と創造の空間

教育

◎体育・スポーツ界のリーダーを育成する
- 指導的立場に立てる中学校・高校教員の養成
- 体育・スポーツに精通した大学教員・研究者の養成
- 将来、指導的立場に立てるトップアスリートの養成
- 体育・スポーツ行政に関わる上級公務員の養成
- メディア業界、健康・スポーツ産業への体育・スポーツに精通した人材の輩出

研究

年間で約450件の論文・著書を公表し、約650件の学会発表を行っています。
- 「次世代型体育・スポーツ指導者養成システムの開発」
- 「たくましい心を育むスポーツ科学イノベーション」

◎体育・スポーツ界の発展に資する成果を創出し世界に発信する
- 新しい視点を提供できる体育・スポーツ・健康科学の構築
- 体育・スポーツ・健康科学に関わるプロジェクト（総合的）研究の推進
- スポーツによる開発支援（カンボジア・中央アジア）

地域貢献

◎体育系の教育研究成果を活かして地域に貢献する

評価

卒業生を対象に行った「キャンパスライフに関するアンケート」の結果では、本学群の大部分の学生は、第一志望として本学群に入学してきており、また本学での生活に「大いに満足した」と答えています。さらに約９割の学生は、「もし自分の子どもが本学に入学を希望すれば賛成する」と回答しています。このような結果は、本学群の教育条件や教育活動が大きな成果を収めている一つの証であるといえましょう。

卒業研究領域

キーワード；体育、スポーツ、運動、健康、文化、身体

分　野	領　域
体育・スポーツ学 （人文社会科学的分野：10領域）	体育・スポーツ哲学、体育史・スポーツ人類学、スポーツ社会学、武道学、体育・スポーツ経営学、スポーツ政策学、スポーツ産業学、体育科教育学、アダプテッド体育・スポーツ学、体育心理学
コーチング学 （種目特性、運動方法、指導方法など：17領域）	コーチング論・トレーニング学、スポーツ運動学、種目別コーチング論（体操、体操競技、陸上競技、水泳競技、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、ラケットバット、柔道、剣道、弓道、野外運動、舞踊）
健康体力学 （自然科学的分野：12領域）	健康教育学、環境保健学、運動生理学、運動生化学、運動栄養学、スポーツバイオメカニクス、応用解剖学、体力学、健康増進学、体育測定評価学、内科系スポーツ医学、外科系スポーツ医学

卒業生より一言



古谷真悟

茨城県教員
平成２３年度卒業

私は、サッカーでの活躍を夢見て体育専門学群へ入学しました。始めのうちは思い通りにならず、焦った時期もありましたが、３年生の冬頃からトップチームに入れるようになり、４年生の時の天皇杯で先発メンバーに選ばれたことは、よい思い出の１つです。また、体育学について広く深く学ぶと同時に、クラス代表や座長など運営的な役割を務めた経験から、入学時からの希望であった保健体育の教員になりたいとの思いを持ち続けることができました。ただ、卒論と修論で取り組んだ「未来の子どもの育ちの評価をどう考えるのか」などの問題に直面して、子どもたちの体をより良く育むために小学校の教員を目指したいと強く思うようになりました。大学院在籍中、さらに必要な勉強をしながら、なんとか免許を取得することができ、この春から小学校で新米教員として歩み始めました。“体専”では、「やってみたい」との意志さえあれば、できないことはないのではないかと思えるほど、いろいろな活動に携わることができます。悩み過ぎて立ち止まってしまうよりは、取り敢えずやってみる気持ちを大切にして下さい。もちろん、やるからにはしっかり準備することも大切です。



真下まなみ

株式会社セレスポ
平成２５年度卒業

私は現在、株式会社セレスポという様々なイベントの企画や制作などを手掛ける会社に勤務しながら、中学時代から本格的に始めた陸上競技を続けています。セレスポ陸上部は2013年に設立された新しいチームであり、選手やスタッフともに試行錯誤しながらも充実した日々を過ごしています。

在学中は、授業で体育・スポーツについての知識を身につけ、体力学研究室では、競技力向上に関する研究方法や考え方について学びました。また、陸上競技部では、インターカレッヂでの男女総合優勝に貢献すること、中長距離のブロック長として手本になるよう努め、また、自身の競技力向上や世界に目を向けながら練習に取り組みました。

体育専門学群では、授業場面だけでなく、様々な部活動の仲間と交流することで新たな見方を得ることができます。授業、研究、競技すべてをスムーズにこなすことはとても大変でしたが、同じ環境にいる仲間の存在が私を奮い立たせてくれました。筑波大学で出会った仲間は、これから先もたくさんの刺激を与えてくれる存在になると思います。

気概と行動の教育者



嘉納治五郎先生

講道館柔道の創始者
東京高等師範学校校長
アジアで最初のIOC委員

嘉納先生は、柔道の創始者として世界中に知られていますが、本学の前身である高等師範学校、東京高等師範学校の校長を通算23年間も務め、多大な業績を残された教育者でもあります。また、先生はアジア初の国際オリンピック委員会委員であり、体育・スポーツの普及（大日本体育協会設立、運動部活動の普及、駅伝など）に力を尽くされ、驚くべきことに100年以上も前に8000人以上の中国人留学生を受け入れています。そして、嘉納先生は柔道を世界に紹介しながら、「精力善用・自他共栄」の理念を確立しました。「精力善用」は、各自の持つ、あるいは高めた力や能力を意味のあることに有効に活用することを説いたものです。「自他共栄」はだれもが助け合いながら共に生きていくことを意味します。このような多大な業績を残された嘉納先生はわれわれの誇りです。



実技理論・実習「臨海実習」



「野外運動（雪上）」授業風景

資格など

教職科目の履修により、中学校及び高等学校教諭一種の教育職員免許状（保健体育）が取得できます。また、卒業に必要な単位を取得することによって、スポーツ指導者（日本体育協会が認定するスポーツリーダーなど）の資格を得るための養成講習会共通科目の講習及び試験が免除されます。

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（保健体育）
高等学校一種免許状（保健体育）
※努力次第では、教育学類等で開設する小学校教員免許に必要な単位を修得することにより、小学校一種免許状の取得も可能です。

社会教育主事、学芸員、司書教諭
JAF（公認）C級コーチ、健康運動指導士
日本体育協会スポーツ指導者養成講習会免除適応コース・ハンドボールコーチ・水泳コーチ承認校

卒業後の進路

最近の卒業後の主な進路をみますと、中・高校の教職に進む者が20%、企業等へ進む者が約40%、約30%の者は、高度な職業人や研究者を目指して大学院に進路を求めています。

本学体育系の大学院は、人間総合科学研究科の前期課程（修士）として体育学専攻、スポーツ健康システム・マネジメント専攻が、後期課程（博士）として体育科学専攻、スポーツ医学専攻、コーチング学専攻、ヒューマン・ケア科学専攻があり、教育研究科に学校教育専攻（修士）があります。



陸上競技場

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		体育・スポーツ・健康に関する領域に強い関心があり、教養を高め運動経験の幅を広げるだけではなく、これまで身につけた運動技能や関連する知識をさらに高めて、体育・スポーツの国内的・国際的発展に貢献する情熱と意欲を持った人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校の保健体育で学習する内容を理解し、さらに英語の基礎を習得していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	優れた学力及び運動能力を有し、体育・スポーツ・健康の分野での活躍が期待できる人材を選抜するために、学力と運動能力の両方を対等に評価します。
	推薦入試	ひとつの運動種目に抜群の技能を有し、体育・スポーツ・健康の分野での活躍ができる人材を選抜するために、本学群における修学力とともに、運動技能を重点的に評価します。
	AC入試	A（問題解決力型）ひとつの運動種目における優れた技能を重視し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的に評価します。 B（競技力型）抜群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	体育・スポーツ・健康に強い関心をもち、将来、体育・スポーツ・健康の分野の国際舞台で活躍できる学力、運動能力、国際性を総合的に評価します。
	帰国生徒特別入試（4月入学）	ひとつの運動種目に高度な技能および語学力（英語）を含む基礎学力を有し、将来国際舞台で活躍できる人材を選抜するために、学力（語学力を含む）と運動能力並びに国際的なセンスや行動力を評価します。
	私費外国人留学生入試	体育・スポーツに対する高い関心と優れた運動能力、そして大学での学修に必要な基礎学力・思考力・日本語能力を総合的に評価します。



サッカー場



テニスコート

芸術専門学群

http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/

[人材養成目的]　学際的・国際的な視野と確かな学力を持ち、かつ柔軟な発想力と豊かな表現力を備え、創造的活力に満ちた美術及びデザインの専門家を養成することを目的とします。

教育の内容・方法

知性と感性の統合

芸術専門学群には芸術学、美術、構成、デザインの主専攻があります。それぞれに共通する教育の特色は、総合大学にあることを活かした広い教養と、専門学群としての深い専門能力の育成です。そのために、まず皮相な既成概念を払拭し、知性と感性の統合を目指します。



彫塑実習風景



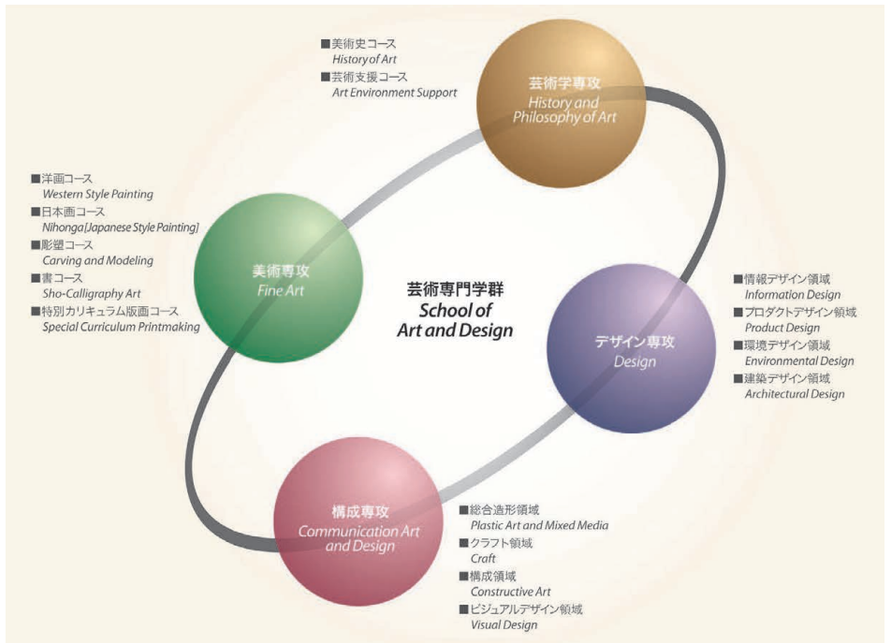
T＋ギャラリー

基礎と専門が統合されたカリキュラム

1・2年次では、様々な科目を自由に横断的に履修します。また専門にとらわれない芸術の基礎を学びます。３年次から主専攻に分かれ、より高度で専門的な科目を学び、テーマの絞り込みと方向付けを行い、４年次の卒業研究へと結びつけます。

「現場」と繋がる授業

企業や行政、美術館などに学生を送り、また学外の「現場」から講師を招聘するなど、社会と深く連携した大学教育を行います。また、全筑波大学の学生や教員、あるいは市民と協同する教育プログラムを展開し、コラボレーション力が高く、視野の広い、時代を読める学生を育成します。



学生の個性を尊重した教育

芸術教育における学生の個性は最も尊重すべきものです。そのため、３・４年次における専門教育は可能な限り少人数クラスとし、対話を通して個性を伸ばす指導を行います。

創造的表現力と論理的思考方法の両立

本学群では開学以来、卒業制作と論文執筆の二つを卒業要件としてきました。ものづくりを実践する一方で、確実な文章作成能力を養い、客観性に基づく論理的な思考方法や表現力の習得をめざします。

主専攻	コース/領域	専門科目
芸術学	美術史	芸術学、日本美術史、西洋美術史
	芸術支援	芸術支援学、美術館学、芸術教育学
美術	洋画	油絵、テンペラ、アクリル画
	日本画	日本画、古典模写、素材研究
	彫塑	塑造、鋳造、木彫、石彫、テラコッタ
	書	漢字、かな、漢字かな交じり書、書道史
	特別カリキュラム版画	木版画、銅版画、リトグラフ
構成	総合造形	平面構成、立体構成、色彩構成、機器構成、造形発想、オブジェ、立体造形、展示造形パフォーマンス、デジタルイメージ、陶磁、木工、広告、エディトリアルデザイン、パッケージ、ブランディング、イラストレーション、メディアアート、映像、現代アート
	クラフト	
	構成	
	ビジュアルデザイン	
デザイン	情報デザイン	情報デザイン、展示・サイン計画、インタラクションデザイン、メディア論、感性科学、製品デザイン、デザイン解析、環境デザイン、都市デザイン、ランドスケープデザイン、サイトプランニング、建築計画、建築設計、建築史
	プロダクトデザイン	
	環境デザイン	
	建築デザイン	

主専攻・コース・領域等は、1・2年次に希望を調査し、3年次に決定します。人数制限はありません。

達成すべき水準

卒業研究の公開

芸術専門学群の達成すべき水準は、卒業研究（卒業制作＋卒業論文）の公開に集約されます。卒業研究は４年間の集大成であり、学外の公立美術館で公開展示され、社会の評価を仰ぎます。また、卒業研究作品集は記録であると同時に、広く社会に向けて配布し筑波大学芸術専門学群の水準を示します。優秀作品は筑波大学芸術賞、芸術専門学群長賞として表彰され、筑波大学芸術賞については大学に収蔵されます。

より高度な研究のための基礎能力

芸術専門学群の教育は大学院人間総合科学研究科博士前・後期課程芸術専攻、感性認知脳科学専攻と強く連携しています。芸術系大学院に進学し、さらに研究を深めるために必要な、リテラシーや科学的思考など基礎的能力を涵養します。

卒業

<卒業研究>作品集

各年度の記録とし、広く社会に配布して筑波大学芸術専門学群の水準を示します。

<卒業研究>制作＋論文

卒業研究は4年間の集大成であり、重要な専門教育として位置付けられています。すべての卒業研究が学外の公立美術館等で公開展示されます。

芸術専門学群教育

総合大学にある芸術の特色を生かし、広い教養と深い専門性を持つ学生を育成します。3年から主専攻に分かれ、4年で卒業研究をまとめます。

交流：国内外の大学/国際交流協定大学/学内他学群・他学類・他専攻

連繋：企業・行政・教育等社会の現場/地域社会

芸術専門学群パンフレットの請求方法

●テレメールによる請求もできます（p.175　資料請求番号561380）

●直接請求する場合は返信用封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には250 円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「芸術専門学群案内請求」と必ず朱書きしてください。

請求先　〒305－8574 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学体育芸術エリア支援室学群教務担当（学生募集要項の請求先とは異なります。）

教育の質の保証

■芸術専門学群ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会を中心に、学生による授業評価アンケート等を行い継続的な教育方法の改善を行っています。

■海外の交流協定大学（現在11大学）と留学生の交換や交流展、ワークショップなどを開催し、国際感覚を身につけた学生を育成しています。

■作品や研究の発表を学内外において積極的に行うとともに各種公募への参加を奨めています。それにより学生は自身の力を認識し、教員は教育を客観視する機会を得ています。



卒業制作展

■芸術専門学群では、芸術専門学群学生生活支援室、クラス連絡会、クラス担任、卒業研究指導教員、全学的にはスチューデントプラザ、保健管理センターなどをとおして、教育等に関する学生の意見集約や生活改善を行い、学生生活が健康で有意義におくれるように支援しています。

卒業生の声



野角孝一　高知大学教育研究部
人文社会科学系教育学部門講師
筑波大学芸術専門学群
美術専攻
平成15年度 卒業
筑波大学大学院
博士課程人間総合科学研究科
芸術学専攻
平成20年度 修了

Q. 現在の仕事について
学群卒業後、大学院で５年間学びました。その後1年間の研究員を経て、2011年４月から四国にある高知大学教育学部で講師として働いています。専門とする日本画分野では主に実習や技法論などを教えており、特に日本画は画材等の扱いが難しいので、より分かりやすく解説するように心掛けています。また日本美術史や西洋美術史などの講義も行っており、学生さんたちに幅広い知識や経験を得る機会を提供しています。現場では教えるというより教えられることが多く、自分自身も成長しなければならないと感じる日々です。

Q. 大学で得たもの
最も勉強になったのはチームワークの大切さです。チームワークの良い学年は、制作する作品も良いということを感じています。それは自分のことだけではなく周りの人を気遣う余裕があるので、それが作品の魅力として自然に表れるのだと思います。作品を制作することはもちろん大切なことですが、先生方や友人・先輩・後輩など同じ分野に所属する周りの人との繋がりをしっかり築いた上で、はじめて落ち着いて制作が出来ることを学びました。

Q. 後輩へのメッセージ
大学から出される課題を、ただ受け身でやるだけでは得るものは少ないと思います。他の人より時間をかけて、じっくり課題に取り組むことが大切だと思います。大学４年間はとても短いものです。４年間で学んだことを大学院で充実・発展させるようなつもりで、時間をかけてより多くの作品を制作することも大切だと思います。また、積極的に展覧会に足を運んで本物を見ることも大切な勉強です。今になって思うと自分なりに努力したことしか、後になって残ることはないと思います。せっかく学ぶのであれば芸術にどっぷり浸かって、自分のやりたいことを見つけて挑戦してみてください。



大西民恵　デザイン専攻
平成13年度卒業
現在の職業：ソニー株式会社

Q1　現在の職業について
メーカーのデザイン部門でAV機器のプロダクトデザインをしています。事業部門の商品企画部や設計部と一緒に製品を作り上げていきます。こんな製品をつくりたい、という商品企画部からの依頼にユーザー像や使用シーンのイメージをふくらませて、ふさわしい形状・質感へ落とし込んだり、デザイン部門から商品企画のような視点も含めた製品デザインを行って、事業部門へ提案を行うこともあります。

Q2　大学で得たもの
授業で学ぶことのできたデザインの技術や知識は今も基礎力として役立っています。また総合大学である点を生かし、デザインだけでなく、認知科学や心理学等にも触れるよう努めていましたが、こうしたデザインとその周辺の関わりを併せて学べたことで、狭い意味でのデザインにとどまらず、人や社会との関わりを強く意識しながらデザインを行っていく視点を得られたと思っています。

Q3　後輩へのメッセージ
製品やサービスをデザインすることは、人の気持ちや生活をより良いものに変えていくためのモノやコトをつくり出していく行為だと思っています。自分自身が心地よいとか楽しいとか感じた体験をぜひ大切にし、心に留めておくようにしてみてください。そしてその留めたものを、誰かがお金を払ってでも体験したいと思えるような、モノやコトにつなげてみてください。モノやコトの向こう側に生まれる、使い手の気持ちを意識しながらデザインをしていかれるとよいと思います。







学生作品

卒業後の進路

卒業生の数だけ進路はあります

卒業生は、大学院への進学、企業への就職、あるいは独立した作家、デザイナーなど、様々な分野において自己を実現していきます。その一方で、社会から学群・大学院へと、再教育のため大学を訪れる者もいます。海外協定校への留学生の派遣など、芸術専門学群は開かれた大学として、外なる社会との絶え間ない還流を促し、創造の場を活性化していきます。

■卒業後の主な活動と就職先

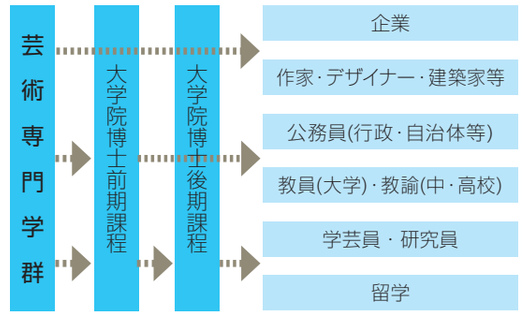
【企業】
インタフェースデザイン：ソニー、パナソニック、富士通、三菱電機、デンソー、京セラ　ほか
Webデザイン：ソニーデジタルデザイン　ほか
ゲーム・アミューズメントシステムデザイン：任天堂、バンダイ、セガ、タイトー、バンダイナムコゲームズ　ほか
プロダクトデザイン：パナソニック、トヨタ自動車、ソニー、ホンダ、東芝、日産、スズキ、スバル、三菱自動車、ダイハツ、マツダ、オカムラ、ミズノ、コクヨ、パナソニック電工、ゼブラ、シャープ、三菱電気、乃村工藝社、TOTO　ほか
編集・エディトリアル・グラフィックデザイン：朝日新聞、伊東屋、NHK出版、花王、コンセント、佐川印刷、サン・アド、サイバーエージェント、セプティーニ、ソニー、DNP、DNPメディアクリエイト、TBS、電通、ドラフト、凸版出版、博報堂、博報堂プロダクツ、パナソニック電工、プラビス、メディアネットワーク、森永製菓、ランドー・アソシエイツ、リクルート、レマン　ほか
建築・空間デザイン：鹿島建設、日建設計、SANAA、長谷工コーポレーション、大和ハウス工業、セキスイハイム、日本住研　ほか
都市計画・公園緑地デザイン、社会システムデザイン：横浜市、プレック研究所　ほか
芸術・文化関連：小学館、法蔵館書店、北海道新聞社、アートフロントギャラリー、シンワアートオークション、カウベル・コーポレーション、高島屋本社企業文化部　ほか

【作家・デザイナー】
画家、彫刻家、書家、造形作家、各種デザイナー、建築家、都市計画家、プロデューサー　ほか

【学芸員・研究員】
北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館、米沢市上杉博物館、福島県立博物館、福島県立美術館、茨城県五浦天心美術館、東京国立博物館、東京文化財研究所、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、埼玉県立近代美術館、群馬県立近代美術館、群馬県館林美術館、ポーラ美術館、山梨県立美術館、軽井沢高原文庫、高浜市やきものの里かわら美術館、新潟県立近代美術館、岐阜県現代陶芸美術館、富山県立近代美術館、奈良国立博物館、大原美術館、岡山県立博物館、愛媛県美術館、熊本市現代美術館、太田記念美術館、戸栗美術館　ほか

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		芸術を追求する熱意のある人材、社会的・国際的観点から創造にチャレンジする意欲のある人材、多領域に関わる知識や方法に基づいた美術・デザインによる表現によって社会に貢献する意欲のある人材を求めています。
入学までに学んでおいてほしいこと		美術・デザインの専門に関する基礎的な知識と技能及び幅広い基礎学力を習得していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	幅広い基礎学力と芸術の専門領域に関する能力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	基礎学力とともに特に芸術の専門領域に関する能力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校における学習や活動の成果に加え、芸術の専門領域に関する資質、能力、意欲を評価します。
	AC入試	問題発見・解決能力、行動力などの一般的能力に加え、芸術の専門領域に関する意欲、資質を評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力、問題発見・解決能力、行動力などの一般的能力と、芸術の専門領域に関する意欲、資質を評価します。
	帰国生徒特別入試（4月入学）	高等学校（中等教育）における学習や活動の成果に加え、芸術の専門領域に関する資質、能力、意欲を評価します。
	私費外国人留学生入試	高等学校（中等教育）における学習の成果や日本語能力に加え、芸術の専門領域に関する資質、能力、意欲を評価します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	高等学校（中等教育）における学習の成果や日本語能力に加え、提出された書類や作品等も含め、芸術に関する意欲、資質について総合的に評価します。



【大学】
筑波大学、東京学芸大学、千葉大学、広島大学、熊本大学、信州大学、岡山大学、高知大学、山梨大学、長崎大学、秋田公立美術工芸短期大学、多摩美術大学、宇都宮大学、北海道教育大学、福岡教育大学、九州産業大学、島根大学、神戸芸術工科大学　ほか

【公務員】
国土交通省、都市再生機構、横浜市、千葉市　ほか

【留学】
アメリカ、カナダ、ドイツ、イタリア、スウェーデン、フィンランド、スイス、スペイン、イギリス、オランダ、オーストラリア、中国、台湾、韓国 ほか

学ぶための環境

図書館

大学図書館は、大学における学習・教育・研究を支える不可欠な施設です。今日の大学教育は学生に単に知識を与えるだけでなく、考える能力を培うとともに、いかに知るかを教育し、国際化する社会に主体的に対応できる能力を育成することを目標としています。

大学図書館は、図書館資料の収集・保存・提供及びレファレンス・サービス等にとどまらず、急激な高度情報化・国際化に対応するために、インターネットによる情報の発信基地としての役割も果たしています。

■図書264万冊、雑誌30,000タイトル

現在264万冊の図書と30,000タイトルの雑誌を中央図書館、体育・芸術図書館、医学図書館、図書館情報学図書館および大塚図書館（東京キャンパス）の5つの図書館に配置しています。これらの資料は、だれでも自由に書架から取り出して利用できる全面開架となっています。

利用者が必要とする情報を迅速・的確に得られるようにするため、効果的なナビケーションを実現する検索システムを提供しています。

■施設・設備

館内には、学習・閲覧スペース、グループ学習のためのセミナー室、大学院生以上が利用できる研究個室等があり、快適な学習環境を提供しています。

図書館内のパソコンでは、蔵書検索をはじめ電子ジャーナルや各種データベースを使って文献を探すことができます。また学術情報メディアセンターの全学計算機システムのパソコンも設置されており、課題や情報探索、コンテンツ作成などに利用できます。

■Web によるサービス

https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/

図書館Webサイトでは、蔵書検索や図書の予約・取り寄せ、貸出期間の延長、セミナー室や研究個室の予約など、研究室や自宅のパソコンからいつでも利用できる各種Webサービスを提供しています。電子メールで図書館からのいろいろなお知らせを受け取る「メールサービス」も便利です。

■多様な取組とサービス

中央図書館には、貴重な図書館資料を展示する貴重書展示室があり、日本の出版文化をテーマとした常設展示を行うほか、特別展を開催し、地域の方々にも公開しています。また、国立大学図書館としては初めてボランティアを導入し、外国人や障害のある利用者への支援を行っています。

２階にはラーニング・スクエアとして、グループ学習スペースや学生サポートデスク等を備えた学習支援環境を展開しています。学生サポートデスクでは、大学院生のラーニング・アドバイザーが利用者の質問・相談に対応し、学習活動を多面的に支援しています。

各図書館では、図書館の利用・資料・事柄等に関する相談に応じたり、所蔵していない資料の取り寄せサービス等を行っています。また、図書館を上手に利用するための講習会を開催しています。

開館時間（筑波キャンパス）

平日 8：30 ～ 22：00(中央図書館は８：30 ～ 24：00)
土・日・祝休日 10：00 ～ 18：00(中央図書館は9：00 ～ 20：00 、医学図書館は9：00 ～ 22：00)

※休業期間中、年末年始および大塚図書館の開館時間については、図書館のWebサイトをご覧ください。また、開館時間の変更および臨時休館等はその都度、図書館Webサイト等でお知らせします。



大学院共通科目 "The Presentation"
（中央図書館ラーニング・スクエア）



外国語教育

外国語の教育を効果的に行うために、グローバルコミュニケーション教育センターが設置されています。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、朝鮮語の7つの外国語の授業が行われています。センター併設のメディアライブラリーでは、外国語の授業の復習をはじめ、さまざまな語学テープ、ビデオ、DVDの視聴及びパソコンを利用して、外国語を自主的に学習することができるようになっています。卒業するまでに複数の外国語を学習し、将来の就職や進学のために活用することが可能となっています。

グローバルコミュニケーション教育センター棟の複数のCALL教室を6時限目（16：45—18：00）に自習室として開放しています。自習オンラインコンテンツ（英語、中国語、フランス語、TOEFL対策等）を利用することができます。詳細は、グローバルコミュニケーション教育センターのホームページで確認してください。







GC Chat in English





Ask US Desk

体育

学生の体育に関する教育課程及び課外教育活動、本学主催の体育事業並びに本学教職員のレクリエーション活動の実施指導を行うとともに、体育施設を広く社会に開放し、体育・スポーツ活動の普及振興に寄与することを目的に体育センターが設置されています。センターでは学生・教職員、地域住民、全国現職教員等幅広い層を対象に体育・スポーツ事業や施設開放を行うとともに、体育施設の管理運営を行っています。

■スポーツ用具のレンタル

学生等は、スキー（板、靴）を学生部学生生活課から無料で借用することができます。



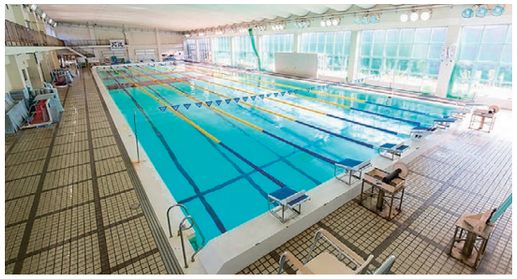
中央体育館


体操競技場


柔道場


陸上競技場


セキショウフィールド


屋内プール




トレーニング室

コンピュータとインターネット

教育や研究において、近年ではコンピュータとネットワークの利用は欠かせないものとなってきています。筑波大学では、コンピュータやネットワークを利用するために全学計算機システムおよび認証ネットワークシステムが用意されています。

全学計算機システムは、大学内のサテライトに1000台以上の端末（パソコン）が配置され、共通科目「情報」を始めとした、コンピュータを利用した情報基礎教育、コンピュータを用いた専門教育で利用されます。これらの端末は、授業外での学習やレポート作成などにも利用可能です。電子メールなどの基盤的な情報サービスも利用できます。

端末は、図書館やサテライトと呼ばれる部屋に配置されています。サテライトへの入室には学生証（ICカード）が必要です。 ICカードは印刷をする際にも利用します。端末は Windows および Linux の両方が使えるデュアルブート方式になっています。全学計算機システムについては次のページを参照してください。

http://www.u.tsukuba.ac.jp/

認証ネットワークシステムは、個人で所有するパソコンを学内ネットワークへ接続するためのものです。学生食堂や教室では、無線LANのアクセスポイントが用意されています。

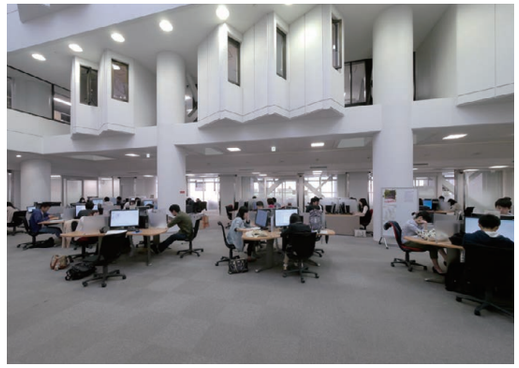
全学計算機システムや認証ネットワークシステムは学内ネットワークを介して、学外のSINET5などの超高速インターネットに接続されており、さまざまな教育、研究活動や、図書の検索、教員と学生のコミュニケーション等にも利用されています。

オープンコースウエア（OCW）

オープンコースウェア(OCW：OpenCourseWare)は、大学等で開講されている講義とその関連情報をインターネット上で無償公開する全世界的な活動です。国内ではJOCWが中心となって活動が展開されており、筑波大学も2006年から参加しています。

本学でも、ＯＣＷサイトとして「筑波大学オープンコースウェア（TSUKUBA OCW)」(http://ocw.tsukuba.ac.jp/）を開設し、コンテンツの拡充につとめています。

これを通じて、社会に対する新しいインターフェースを提供し、筑波大学が取り組んでいる新しい知の在り方を社会に問うていくことを目指しています。


サテライトの一例（中央図書館サテライト）



画材・文具店　写真・スポーツ店



画材店

国際交流

筑波大学は、国際的な学術交流によって、学術研究水準の向上を図り、国際的視野を持つ人材の養成を目指しています。

その目的のために、外国の大学との交流協定による学生や教員の海外派遣、単位互換制度、外国人教員や研究者の受入れなどを行っています。また、外国人留学生の受入れも積極的に進めています。

海外留学

海外の大学に留学することは、国際性豊かな感性を磨くとともに、幅広い視野から物事を考える習慣を身につける上で、貴重な経験となります。一口に海外留学といっても、相手大学で学位を取得するもの、単位を取得し単位互換により本学の卒業単位の一部とするもの、語学研修、異文化体験に至るまで、留学の形態・目的は様々です。

海外留学を希望する方は、早い時期から留学の準備を始める必要があります。留学する国の外国語の習得、留学説明会、各種情報誌、先輩等から情報を収集したり、留学を希望する大学から資料を取り寄せるなどして、しっかりした計画を立てることが大切です。

グローバル・コモンズ機構では、留学を希望する学生に、海外の大学の制度、TOEFL対策、奨学金及び留学ビザについて等、留学に関する各種情報を提供するとともに、海外の協定校へ交換留学を希望する学生に、個別の相談・指導業務を行っています。



交換留学制度

筑波大学では、平成29年4月1日現在65ヶ国・地域338の大学・研究所と国際交流協定を締結しており、301の大学と学生交流を実施しています。この協定に基づき、海外の大学に学生を派遣するものが、交換留学です。協定校への交換留学には、次のようなメリットがあります。

○筑波大学及び独立行政法人日本学生支援機構が実施する奨学金制度に申請できます。

○授業料相互不徴収に関する協定を締結している協定校にあっては、相手大学での授業料が免除されます。

平成28年度派遣　交換留学生数（学群のみ）

国　名	学群生
アメリカ	22
St. Jude Children's Research Hospital	1
オハイオ州立大学	6
カリフォルニア州立大学	3
ニューヨーク州立大学オスウェゴ校	1
ハワイ大学マノア校	2
マサチューセッツ大学アマースト校	3
ユタ州立大学	5
南インディアナ大学	1
イギリス	11
エディンバラ大学	3
オックスフォード・ブルックス大学	4
シェフィールド大学	1
マンチェスター大学	3
イタリア	2
カ・フォスカリ大学	1
ミラノ工科大学	1
インドネシア	11
ガジャマダ大学	4
ビヌス大学	4
ボゴール農科大学	3
ウクライナ	1
キエフ国立大学	1
ウズベキスタン	1
タシケント国立東洋学大学	1
オーストラリア	3
アデレード大学	1
オーストラリア国立大学	1
モナシュ大学	1
オランダ	1
ユトレヒト大学	1
カザフスタン	3
ユーラシア国立大学	1
新経済大学	2
カナダ	6
プリンスエドワード島大学	1
モントリオール大学	5
スウェーデン	2
スウェーデン王立美術大学	2
スペイン	4
サラマンカ大学	2
バルセロナ大学	2
スロベニア	2
リュブリャナ大学	2
タイ	14
カセサート大学	4
シーナカリンウィロート大学	1
タマサート大学	3
プリンス・オブ・ソンクラ大学	3
メーファールアン大学	3
チェコ	2
カレル大学	2
チリ	1
チリ大学	1
ドイツ	19
ケルン大学	6

国　名	学群生
ベルリン自由大学	6
ボン大学	3
マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク	2
ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2
トルコ	1
ボアジチ大学	1
フィリピン	3
フィリピン大学	3
フィンランド	1
ヘルシンキ芸術大学	1
ブラジル	3
サンパウロ大学	3
フランス	16
パリ第13大学	1
フランシュ＝コンテ大学	9
ボルドー大学	3
モンペリエ大学	3
ブルネイ	2
ブルネイ・ダルサラーム大学	2
ペルー	2
カトリカ大学	2
ポーランド	1
ワルシャワ大学	1
マレーシア	18
ウタラマレーシア大学	1
プトラマレーシア大学	1
マラヤ大学	2
マラ工科大学	2
マレーシアサインズ大学	4
マレーシアプトラ大学	2
マレーシア工科大学	5
マレーシア国民大学	1
モロッコ	6
アル＝アハワイン大学	6
リトアニア	3
ヴィリニュス大学	3
ロシア	17
カザン連邦大学	2
サンクトペテルブルグ大学	2
ノヴォシビルスク大学	1
モスクワ国立大学	3
モスクワ市立教育大学	6
モスクワ大学	1
極東連邦大学	2
韓国	4
KAIST	1
高麗大学	1
梨花女子大学	2
香港	2
香港中文大学	2
台湾	1
国立台湾芸術大学	1
中国	2
北京大学	2
総計	187

奨学金制度

■筑波大学海外留学支援事業　はばたけ！筑大生

次の5つのプログラムにより、学生の海外派遣を支援します。

①国際交流協定校交換留学支援プログラム
②キャンパスインキャンパス（CiC）等支援プログラム
③海外武者修行支援プログラム
④海外学会等参加支援プログラム
⑤語学系研修等参加プログラム

支援額 …… 50,000～200,000円（プログラム・派遣内容により異なる）
採用人数 …… 842人（平成28年度実績）

■つくばスカラシップ交換留学支援奨学金

筑波大学が学生交流に関する協定を締結している大学に、短期間（6ヶ月 ～ 1年以内）留学する学生に奨学金を支給する本学独自の制度です。

奨学金 …… 60,000～100,000円（月額・金額は留学先地域により異なる）
採用人数 …… 1名※学群のみの数
（平成28年度実績）

■海外留学支援制度（協定派遣）

筑波大学が学生交流に関する協定を締結している大学に、本学の教育組織等が実施する派遣プログラムにより、1年以内の期間派遣される学生に、独立行政法人日本学生支援機構が奨学金を支給する制度です。

奨学金 …… 60,000～100,000円（月額・金額は留学先地域により異なる）
本学の採用人数 …… 247名※学群のみの数
（平成28年度実績）

単位互換制度

海外の大学で学習する場合、「留学」の身分によるものと、「休学」の身分によるものがあります。「留学」の場合、本学の在学年限に換算され、留学先で履修した単位は、本学の卒業要件となる単位（学群の場合は60単位まで）に認められます。「休学」の身分であっても、教育上有益と認められるときは、休学期間中に外国の大学等において修得したものとみなし、認定されることがあります。

海外拠点

筑波大学では、数多くの国際交流事業を展開しています。その一つとして、教育研究活動の国際連携を推進するための海外拠点が設置されています。現在、チュニスオフィス（チュニジア）、タシケントオフィス（ウズベキスタン）、アルマトイオフィス（カザフスタン）、ホーチミンオフィス（ベトナム）、ジャカルタオフィス（インドネシア）、クアラルンプールオフィス（マレーシア）、北京オフィス（中国）、上海オフィス（中国）、ボンオフィス（ドイツ）、ボルドーオフィス（フランス）、アーバインオフィス（米国）、台湾オフィス（台湾）、サンパウロオフィス（ブラジル）の13ヵ所の事務所が活動しています。



ホーチミンオフィス（ベトナム）



ボルドーオフィス（フランス）

国際交流協定締結一覧

アジア(14)
中国：41、台湾：16、韓国：22、インド：4、インドネシア：7、カンボジア：2、タイ：11、パキスタン：1、バングラデシュ：3、ベトナム：22、マレーシア：4、ミャンマー：1、モンゴル：2、ラオス：1

オセアニア(2)
オーストラリア：10、ニュージーランド：2

北米・中南米(7)
カナダ：5、米国：27、コロンビア：2、チリ：1、ブラジル：12、ペルー：1、メキシコ：1

中近東(3)
サウジアラビア：1、トルコ：2、ヨルダン：1

ヨーロッパ(31)
イタリア：5、エストニア：1、オーストラリア：1、オランダ：7、英国：9、スウェーデン：3、スペイン：3、スロベニア：1、チェコ：1、デンマーク：1、ドイツ：19、ハンガリー：5、フィンランド：2、フランス：12、ベルギー：1、ポーランド：3、ラトビア：1、リトアニア：1、ルーマニア：2、ロシア：12、アゼルバイジャン：2、アルメニア：1、ウクライナ：1、ウズベキスタン：4、カザフスタン：7、キルギス：3、ジョージア：1、タジキスタン：2、トルクメニスタン：1、ベラルーシ：2、モルドバ：1

アフリカ(7)
アルジェリア：1、エジプト：3、チュニジア：5、ナイジェリア：1、モーリタニア：1、モロッコ：6、リビア：1

他(1)
国際連合

計65ヶ国・地域及びその他機関338協定

・詳細は下記サイトをご覧ください
〈http://www.kokuren.tsukuba.ac.jp/GP/gplist.html〉

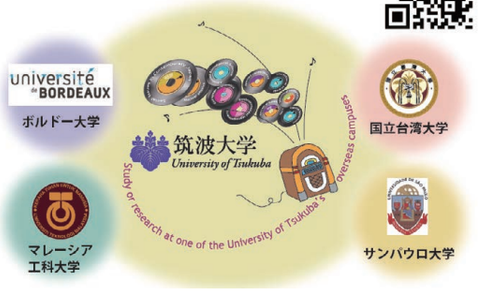
Campus-in-Campus (CiC) による海外留学について

Campus-in-Campus (CiC) とは、CiC 協定を締結した海外のパートナー大学と筑波大学との間で相互にキャンパス機能を共有し、学生・教員・研究者・職員等が国境や機関の壁を越えて（＝トランスボーダー）自由に教育研究活動ができる環境の実現を目指したものです。

学生は、「科目ジュークボックス」に登録された海外パートナー大学の授業科目を現地で履修することができ、修得された単位は筑波大学の単位としても認定を受けることができます。

学生交流の対象となる CiC 協定校（2017 年 4 月現在）：
国立台湾大学、ボルドー大学、マレーシア工科大学、サンパウロ大学

Course Jukebox




国立台湾大学の学生と交流する筑波大学生
（H28年12月，於：国立台湾大学）

国際交流の場としてのスチューデント・コモンズの活用

本学にはグローバル人材の育成を目的として、グローバル・コモンズ機構が設置されています。第一エリアには、日本人学生と留学生の交流の場としてスチューデント・コモンズ（共有スペース）を開設しています。
スチューデント・コモンズには、次のような多彩な活用方法があります。



・国際交流イベント等に
スチューデント・コモンズでは定期的に国際交流イベントが開催されるほか、スクリーンやプロジェクター、小テーブル付の椅子が設置してあり、事前申請により各種イベントやミニ講義などに活用できます。

・留学相談や英文書類作成等に
専門のスタッフが、留学希望の学生に本学の留学情報の提供や、留学のための英文書類作成のサポート（ライティング・ヘルプデスク）等を行います。

・語学の勉強に
TOEFL、TOEIC、ビジネス英語や専門英語などの教材を多く取り揃えており、貸出しも可能です。

・留学情報収集に
本学の留学に関するチラシやパンフレットを入手できます。

・マルチメディアの活用に
無線LANの使用が可能です。室内には、i Pad と Big Pad も設置してありますので、様々な情報収集に役立ちます。

・フリースペースとして
イベント開催時以外は勉強したり、おしゃべりしたり自由に出入りできます。

留学を希望するみなさんへ

柴山 博康（生物資源学類）
留学先：ユタ州立大学（アメリカ）
留学期間：平成27年9月～平成28年5月

留学して後悔した、と言う人を私は見たことがありません。私自身、毎授業出される膨大な量の宿題を毎日徹夜してやったり、言語や人種の壁を前になかなか友達を作れず苦しむこともありましたが、そんな私も後悔は一切していません。もちろん、ラスベガスやマイアミで友達と遊んだこと、日本には無い雄大かつ荘厳な大自然に囲まれてキャンプをしたことなど、楽しいこともたくさんありました。しかし、そういった感想レベルではなく、留学を通して得た経験と成長の質が、日本で過ごす9ヵ月では絶対に得られないものばかりだったからです。

私の場合特に大きかったのは、自分と異なる価値観・生き方を、身を持って知ったことと、自分のコミュニケーション能力が通用しなかったことです。どちらも、私が日本で生活していて一度も見改めたことがなかったものでした。

文化、言語、人種、気候など様々な要素が異なる環境には適応するだけでも労力を要し、さらにその中で自分のやりたいことをやるとなると、強い意志とより一層の努力が必要となります。

しかし、その努力は一時的には辛くとも、本当に楽しいものです。相手が何を言っているか少しずつ聴けるようになった、冗談が伝わってみんなが笑った、こんなこと日本じゃありえないよ。私にとってはそういったことがかけがえのない喜びでした。

皆さんもそれぞれの目標、やりたいことを胸にぜひ留学に行ってみてください。今想像している何倍もの楽しいことが待っていますよ。

小林 安寿（人文学類）
留学先：北京大学（中国）
留学期間：平成27年9月～平成28年7月

「まさか私が中国に留学するなんて。」大学一年生の私が3年後の私の姿を見たらきっとそう言うでしょう。これまでの人生、中国と全く縁のなかった私が留学を決心したのは、アジアをバックパッカーとして旅行していた時に、経済発展に伴って、多様な民族・文化・価値感などが変化し始めている姿に驚いて、今、世界で何が起きているのか自分の目で見てみたい！と強く思ったことがきっかけです。当初は中国語もままならなかった私ですが、こうして強い好奇心に駆られて、北京大学に1年間留学しました。

留学の一番の意味は困難に出会えることだ、と私は思います。普段、日本で日本人として生活している時は、困難にはたまにしか出会えません。知らず知らず「普通」を考えて、「普通」に従って、「普通」に生きています。しかし、留学先ではそうもいきません。バスに乗るのも困難、食事をするのも困難、チョコレート一つ買うことだって困難がつきまといます。これは中国の話だけではありません、どこに行っても同じです。海外では道を歩けば自然と困難が降ってきます。一見、こうした困難は悪と捉えられがちですが、この「困難」こそが留学の醍醐味だと思います。これらには自分探しのヒントや、成長の鍵、人生を謎解く手がかりがぎっしり詰まっています。

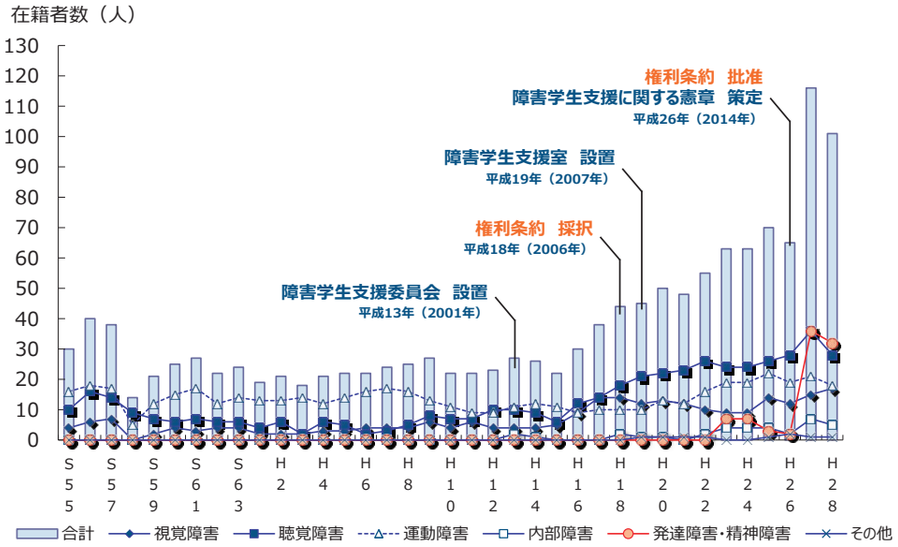
確かに、留学をすると現地の語学や文化も学ぶことができます。でも留学はそれだけじゃない。ぜひ、筑波大学での学びを活かして、さらなる広がる世界に飛び込んでみてほしいと思います。

障害学生支援・LGBT学生支援

筑波大学では、開学以来多くの障害のある学生が学んでおり、積極的に支援しています。現在、視覚障害、聴覚障害、運動障害、内部障害、発達障害等の障害のある100名以上の学生が、学群・学類と大学院のさまざまな分野に在籍しています。LGBT学生への支援も行っています。

※アクセシビリティ部門では、各障害の状態に応じて、保健管理センターやキャリアサポート部門等と連携して、支援を行っています。

障害学生在籍者数の推移



ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター アクセシビリティ部門

筑波大学には、障害のある学生の修学を支援する組織として、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターの「アクセシビリティ部門」があります。アクセシビリティ部門では、障害学生の支援に関する方針の検討、全学的な環境整備に関する調整、各教育組織および事務組織との連携を密にして、全学に平等にいきわたる支援体制を作っています。

<アクセシビリティ部門>
場所：スチューデントプラザ2階
開室時間：月～金 8:30-12:15／13:15-17:15
TEL：029-853-4584　FAX：029-853-2257
Email：shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp
URL：http://dac.tsukuba.ac.jp/shien/
※詳細はアクセシビリティ部門のホームページをご覧ください。

支援の特色

❶すべての学生の成長を期待する学生中心の支援活動

障害学生の日常的な修学支援のために「ピア・チューター（学習補助者）制度」を設け、本学で学ぶ多くの学生が支援活動の中核を担っています。障害学生自身もピア・チューターとして、養成講座の企画・運営や他の障害学生への支援に携わるなど、学生たちが主体的な支援活動を展開しています。

また、すべての学生への理解・啓発を目的として、総合科目Ⅰ「障害学生とともに学ぶ共生キャンパス」を開設し、障害のある人々と共生する心を育てています。

❷各学群・学類、各研究科・専攻の専門性に基づく支援内容

全学の方針に基づいて、各教育組織が障害学生に対する支援の責任を担っています。このことにより、各分野の教育内容に応じた支援の専門性が保障されています。

❸障害科学に裏付けられ、全学に平等に行きわたる支援体制

障害科学を専門とする教員が中心となってアクセシビリティ部門の専門部会を構成し、本学全体の障害学生支援を支えています。支援対象の範囲や具体的な支援内容等について、専門的な見地から指導・助言を行っています。

主な支援内容

●入学まで

大学説明会参加者への支援、入試での特別な配慮の実施に関する教育組織への助言、入学時相談（注1）

●学修支援

障害学生個々の配慮依頼文書作成・周知、定期試験等における特別な配慮の実施、ピア・チューター制度（注2）、障害別支援・準備室（注3）の整備、大学図書館における障害者サービス（対面朗読・文献複写等）

●学内のバリアフリー化

学生宿舎バリアフリー室への入居、個々のニーズに応じた施設・設備の改善にあたってのアドバイス

●一般学生の啓発・指導

総合科目Ⅰ「障害学生とともに学ぶ共生キャンパス」の開設、障害別ピア・チューター養成講座（一部授業化：自由科目（特設）「障害学生支援技術」）の開講

（注1）障害学生の入学時には、個別相談会を実施します。
障害学生本人、保護者、クラス担任、語学や実習・実技科目の担当者、アクセシビリティ部門員、関係事務局等が一堂に集まって打ち合わせを行います。支援ニーズの把握、具体的な支援内容の確認、大学の支援体制に関する情報提供などが主な内容です。

（注2）障害の種類や程度、学習環境（学群・大学院、理系・文系等）等、個々の障害学生の状況に応じて、修学上必要な支援を提供する制度です。支援の時間数は、障害の程度や学習環境等を考慮して、アクセシビリティ部門で決定します。
ピア・チューターは原則として本学の学生から募集し、専門的かつ効率的な支援を行ってもらうために「ピア・チューター養成講座」を開講しています。
ピア・チューターには、大学の規定に基づいて謝金を支給し、また、一定時間の活動に対しては学長名の活動証明書を発行しています。
ピア・チューターによる支援内容としては、授業準備、受講時の情報支援、授業の課題作成補助、キャンパス内の移動支援などがあります。

（注3）現在は、視覚障害、聴覚障害、運動・内部障害の支援・準備室があります。それぞれ必要な機器を備え、障害学生の学習室として、また支援活動の拠点として使われています。

ＰＣ要約筆記



パソコン要約筆記（手前）の画面を見ながら聴覚障害学生（奥）が授業に参加しています。

対面朗読



ピア・チューター（右）が教科書を音読し、視覚障害学生（左）が点字電子手帳でメモを取りながら聞いています。

LGBT学生支援

筑波大学では、LGBT を含むセクシュアル・マイノリティの学生に対して、「LGBT 等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」に基づき、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターの「ダイバーシティ部門」が相談窓口を設け、各学生が有意義で快適な学生生活を送れるよう、関係組織と協力してサポートしています。
<ダイバーシティ部門>
場所：スチューデントプラザ2階
開室時間：月～金　8:30-12:15／13:15-17:15
TEL：029-853-8504
E-mail：diversity-au@un.tsukuba.ac.jp
URL：http://diversity.tsukuba.ac.jp/

T-ACT つくばアクションプロジェクト

T-ACT推進室

T-ACTって何？

「大学生になったら、こんな学生生活を送りたい！」という素敵なイメージはありますか？その心に秘めた「やってみたい！」を楽しんでいるイメージがある一方で、大学の授業やサークルなどで「やってみたい！」ができなかったらどうしよう……と、不安になることもあるかもしれません。そんな不安も解消でき、自分の「やってみたい！」を実現できる仕組みが、筑波大学特有の学生支援「つくばアクションプロジェクト」、略称「T-ACT」です。

T-ACTで「やってみたい!」をやってみよう!

T-ACTは、学生の「やってみたい！」を応援します。自分の趣味を深める、留学生と交流する、とにかく楽しいイベントを企画する、授業とは違う学問的な活動をする、などなど様々な活動が可能です。実際に多くの学生がT-ACTを活用して、自発的な活動を展開させてきました（活動事例参照）。

専任の教員が「T-ACTフォーラム」という部屋で、いつでも相談にのっています。企画立案から手続きの相談、物品の援助など、実現までを手厚く支援しています。ボンヤリした想いでもかまいません。それが、大学の活動として認められる形で実現できるよう、全力で支援をします。

自分だけの特別な「やってみたい！」を応援する学生支援が、筑波大学にはあるのです。

T-ACTの活動事例紹介

●筑波大学ビッグバンドプロジェクト
●Namaste Tsukuba（Supporting Indians Students）
●テコンドーを試してみませんか？
●ホンモノ体験～つくばの食を味わう～
●みんなで作る筑波大学産昆虫目録
●話したくても話せない・・・～「場面緘黙」と向き合って～
●つくバグ2016　土壌生物の観察を通した体験学習
●投票所設置プロジェクト
●盆踊りプロジェクト　―盆LIVE―
●Young Americans つくばスペシャル2016に参加しよう！
●世界一大きな授業2016@TSUKUBA
●ゆめ花火プロジェクト2016
●つくばアイドル誘致プロジェクト（実行編）
●T-1グランプリ2016～つくばでお笑いライブを～
●学生プレゼンバトル2016

T-ACTでボランティア活動

「ボランティア活動をやってみたい！」という場合もT-ACTを活用できます。T-ACTでは4つの活動方法があります。①自分で企画を立ちあげる、②他の人が立てた企画に参加する、③T-ACTが受け付けた地域活動団体が募集する活動に参加する、④地域活動団体と一緒に活動を創りあげる、です。ボランティアサークルとは違ったルートで、ボランティアができます。専任のボランティアアドバイザーも、学生の活動をサポートしています。

T-ACTはみなさんをお待ちしております!

このように、T-ACTでは学生の「やってみたい！」を実現させるための様々な支援を行っています。ぜひ、みなさんも筑波大学に入学して、T-ACTで活動してみませんか？

いまだ眠っている自分の可能性を、筑波大学で、T-ACTで花開かせてください。



異文化交流日本食パーティ



盆踊りプロジェクト―盆LIVE―



T-ACTフォーラム

大学に入ってすぐに、好きな研究をしよう！ 先導的研究者体験プログラム

Advancing Researcher Experience

学群生の自主的な研究活動を支援します！

高校生のみなさんは「大学に入ったら、好きな研究ができる！」と思っているかもしれません。でも、残念ながらそれは間違いです。多くの大学では、自分の好きなことを研究テーマとして、研究室で研究できるようになるのは４年生からになります。

でも、筑波大学は違います。筑波大学には「先導的研究者体験プログラム（Advancing Researcher Experience: ARE）」という制度があり、自分のやりたい研究を大学１年生から行えるのです。もちろん、単に「やりたい」というだけではダメで、研究計画書を作成し、審査を受けて採択される必要はあるのですが、採択されれば、アドバイザ教員の指導のもと、研究のレベルに応じた研究費をもらいながら、研究ができます。

AREに応募可能なのは、筑波大学の学群１～３年生です。平成28年度は43名の学生が参加し、研究活動を行ってきました。

大学入学前に研究経験があり、今すぐ研究を始めたい人はもちろんですが、「これまで研究の経験はないけど、研究をしたい！」という人も、研究交流室で研究計画書の書き方指導等のサポートを受けながら計画書を作成することができます。また、「研究者入門」（春学期）という授業を受けて、研究者について基本的な知識を学ぶこともできます。

大学に入ったら自分の大好きな研究をとことん極めたいあなた。是非、筑波大学に入って、AREに応募してください！



認定式の様子



研究発表会の様子

文部科学大臣表彰　受賞学生のコメント



生命環境学群　生物資源学類　4年

迊町　洋祐

このたびは、第3回サイエンス・インカレにおいて文部科学大臣表彰を頂戴し、誠に光栄に思うとともに、これまでの研究生活を振り返って感慨深いものがあります。発表したテーマ自体はインカレのために新たに立ち上げたもので、継続的な研究の集大成というわけではありませんでした。しかしながら、研究や発表の経験の積み重ねが、今回のテーマでも多分に活かされました。私が様々なテーマで研究し発表を行えたのは、AREによるところが大きいと強く感じています。数多くの大学の学生研究支援プログラムや、そこでの研究を見て参りましたが、学生が独自のテーマを自身の手で進めるということを重視するARE の在り方は、際立った特長であるように思えます。この独自性・主体性こそが研究活動の要であり、今回の表彰もこの点を特に評価されたものであると考えております。今後とも多くの学生が自ら研究を行い、存分に力を発揮することで大学を盛り上げ、ひいては諸分野の発展につながることを願うものであります。（所属・学年は第３回サイエンス・インカレ当時）

医・食・住環境

心と身体の健康管理

■保健管理センター

定期健康診断、急病時や負傷時の応急治療・処置、健康相談（内科、整形外科、精神科、歯科の診療）などを行っています。健康上の問題が生じたときは、まず保健管理センターを訪れることをお勧めします。

さらに、同センター内には、学生の様々な悩みに対し、相談に応じている学生相談室があります。4年間の学生生活を送る間には、精神的疲労、健康不安、対人関係、進路、家庭の問題など多くの悩みを抱えることもあり得ます。このような時には、学生相談室で相談することも大切です。

■総合相談窓口

総合相談窓口は、ちょっと困ったことがあったら気軽に相談に立ち寄ってもらうための、なんでも相談窓口です。

・予約はいりません。随時対応します。
・カウンセラーが相談を担当します。



保健管理センター

学生教育研究災害傷害保険

正課中・学校行事中はいうまでもありませんが、課外活動中・学校施設内を含めた教育研究活動中のほとんどの傷害事故や通学中の事故が補償の対象となる「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）という補償救済制度があります。本学では、入学後安心して教育を受け研究活動が行えるよう、全員の加入を義務付けしています。

食堂、喫茶、書籍部等

学内には食堂、喫茶、売店や書籍部などの福利厚生施設が多数あり、学生の利便を図っています。

食堂、喫茶は各エリアにあり、学生のニーズに応えられるようメニューに工夫をこらし、より安く、おいしいものをめざしています。書籍部も各エリアにあり専門的な書籍も購入することができます。

売店には日常生活用品のほか、画材等の専門用品を扱う店もあります。





パン屋

学生宿舎、アパート等

■学生宿舎（平砂・追越・一の矢・春日）

約4,000人分の個室があり、新入生はトイレ、補食室、洗濯室（100円/回）、シャワー室（100円/回）が共用の一般単身（約10㎡）と呼ばれるタイプの部屋に1年間優先的に入居できるよう配慮されています。なお、2年次以降の入居募集も数種類用意されていますが、定員を超えた場合は、書類選考・抽選で入居者を決定することになります。また、室内にはベッド・机・椅子・洗面台（春日は除く。）が設置されています。

平砂・追越・一の矢の共用棟には、管理事務室・理容室又は美容室・電気店、一部の共用棟に浴場（180円/回）・食堂・売店があります。なお、春日は１号棟1階に管理事務室があります。

全室にLANが敷かれ、インターネットが利用できます。（民間プロバイダーとの個別契約不要）

また、キャンパスの国際化推進のため、平成29年4月から国際交流を重視したシェアハウスタイプの学生宿舎（グローバルヴィレッジ）が運用開始されました。



学生宿舎

■アパート、マンション等

上級生の多くが大学周辺のアパート、マンション等で暮らしています。最近はアパート、マンションなどの種類も豊富になっており、経費に見合った選び方ができます。

アパート等をさがす方法は、先輩からの引継ぎ、知人の紹介、不動産業者への照会などがありますが、学生生活課の窓口でも物件の資料を閲覧できるようになっています。平均的なアパート（6畳・台所・バス・トイレ付）の家賃は、月額約35,000円～ 50,000円ぐらいで、礼金及び敷金については、それぞれ家賃の1 ～ 2 ヶ月分相当です。





宿舎に入居する新入生を歓迎する在学生



学生宿舎（グローバルヴィレッジ）

授業料・奨学金

授業料等

入学料　　282,000円
授業料（第1期 春学期）267,900円
　　（第2期 秋学期）267,900円
（年額　　535,800円）
●1年次納入額 817,800円

なお、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

■授業料免除制度

各期（第1期・第2期）ごとに納入すべき授業料の全額または一部を免除する制度があります。

経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められることが申請資格となります。



スチューデントプラザ


就職資料室

奨学金

奨学金制度としては、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、日本学生支援機構、地方公共団体、民間奨学団体があります。

■筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」

留学生に対する経済支援、学生への海外留学支援及び緊急時の学資支援を行うことにより、学生が安心して勉学に専念できる環境を確保することを目的とした奨学金制度です。

詳細については、ホームページ（奨学金・修学支援）の筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」をご覧ください。

■日本学生支援機構

日本学生支援機構の奨学金（貸与）は、経済的な理由により修学に困難がある優秀な学生に対し、学資の貸与を行うことにより、国家･社会に有意な人材を育成することを目的とした奨学金制度で、留学生には申込資格がありません。

奨学金の種別・貸与月額・募集時期（平成29年度参考例）

事項＼種別	第一種奨学金	第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金
貸与月額	30,000円 45,000円（自宅通学） 51,000円（自宅外通学）	次の5種類から選択できます。 30,000円 50,000円 80,000円 100,000円 120,000円	入学年度において、希望により基本月額に定額（10 、20 、30 、40 、50万円）を増額して受けることが可能。（初回振込時の1回限り。）
貸与形態	無利子貸与	有利子貸与（利率算定方法選択制）	
募集期間	4月中旬～ 4月下旬 その他家計急変のための緊急･応急採用については、年間を通じて随時。		
備　考	全てweb掲示及びホームページにより周知しますので、十分に注意してください。		

本学の日本学生支援機構奨学生数
（平成29年3月1日現在）
●第一種奨学生　　1,554人
●第二種奨学生　　1,409人
合　計　　2,963人
併用（内数）　　301人

■地方公共団体及び民間奨学団体奨学金

奨学生の募集は、大学を通じて募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学に募集案内が送付されてきた奨学団体はホームページに掲載されています。
(http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/scholarship-links.html)

アルバイト

学生生活課が、アルバイト求人を受付け、情報を提供しています。

求人は、「家庭教師」「語学教師」「塾講師」「その他（一般）」の4区分で受付けています。

学群新入生へのアルバイト紹介は10月から行います。

なお、平成28年度のおよその報酬額（時給金額）は下表のとおりです。

アルバイトの報酬

区分	時給金額
家庭教師	約 1,500 ～ 2,500 円
語学教師	約 1,500 ～ 2,000 円
塾講師	約 1,200 ～ 2,500 円
その他	約 800 ～ 1,000 円



学内風景

学生の生活費

筑波大学の学生生活実態調査による生活費は以下の表のようになっています。

平成20～24年度の平均支出（学生生活実態調査）

調査年度	アンケート回収率	食費	住居費	就学費	交通費	通信費	その他	計
平成20年度	48.6%	26	37	6	8	6	18	101
平成22年度	44.6%	24	35	6	7	6	16	94
平成24年度	32.1%	23	30	3	4	4	14	79

1ヶ月の平均的な支出：単位は千円

学年ごとの支出内訳（平成24年度学生生活実態調査）

調査年度	食費	住居費	就学費	交通費	通信費	その他	計
1年次	20	16	2	3	2	10	53
2年次	23	32	3	5	3	17	83
3年次	24	38	4	4	4	14	88
4年次	24	37	3	6	5	16	91
全体	23	30	3	4	4	14	79

1ヶ月の平均的な支出：単位は千円

学生組織

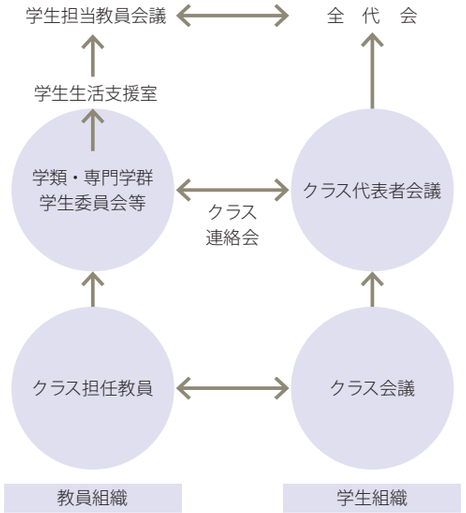
クラス制度

入学すると、原則として20～40人ごとにクラスが編成され、1年生の春学期にクラス単位の「フレッシュマン・セミナー」が開設されます。クラスには学生により自主的に運営される組織として、クラス会議が置かれ、学習、生活全般にわたる話し合いが持たれます。

全学学類・専門学群代表者会議（全代会）

各クラスは、年度初めにクラス代表を選出します。このクラス代表により、各学類・専門学群ごとにクラス代表者会議が構成されます。さらにここから代表3名が選出され、全学学生を代表する全代会を構成します。

これらの組織の運営は全て学生に任されており、全代会においては、学生の意向を反映させるため、学生生活、教育活動等に関する事項を自主的に討議する組織となっています。



学内行事と学生による実行委員会

学園祭（雙峰祭）

本学の学園祭（雙峰祭）は11月に開催されます。研究や課外活動の成果を発表して、広く大学を社会に紹介するとともに、大学と市民との交流を行う機会となっています。学園祭の運営は、全代会の下部組織として学生が組織する学園祭実行委員会が行っています。


学園祭



学園祭企画



学園祭ステージ

スポーツ・デー

本学では、全学の学生にスポーツ活動の機会を提供し、健康で明朗な大学生活の充実と学内スポーツ活動の振興を図ることを目的に、春と秋の2回、スポーツ・デーを開催しています。球技などさまざまな種目に、学生や教職員のチームあるいは個人で自由に参加します。この行事の企画と運営は、全代会の下部組織であるスポーツ・デー学生委員会が、体育会の協力のもとで行っています。



スポーツ・デー

宿舎祭（やどかり祭）

宿舎祭は、本学の四十余年の伝統の中で、学生が生み出した行事であり、宿舎に暮らす学生同士の親睦を深める場であるとともに、地域の方々との交流の場となっています。その企画、運営は学生の自発的組織である宿舎祭実行委員会が行っています。


宿舎祭

学外関連団体

茗渓会

筑波大学の同窓会です。設立は東京高等師範学校時代の明治15年にさかのぼります。全国に80の支部があり、会員数は約5万人。全国各県の教育界で指導的立場にあるなど、各界で活躍中です。
http://www.meikei.or.jp/

文化系サークル

文化系サークル連合会　http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~bunsa/wiki/doku.php

課外活動団体文化系（文化系サークル連合会組織団体）

	構成員数
I.T.C.（International Talking Club）	8
アマチュア無線クラブ	24
Amusement Creators	12
E.S.S.（English Speaking Society）	39
池坊華道部	16
囲碁部	19
宇宙工学研究会	14
映画研究部	20
ＳＦ研究会アルビレオ	10
園芸クラブ	17
海洋研究会	84
歌留多部	35
斬桐舞	38
CLOVER ～難民と共に歩むユース団体～	34
現代視覚文化研究会	114
茶道同好会	36
茶道部和敬清寂社	35
山岳旅の会	12
社会福祉研究会	189
写真部さくら組	25
手話サークル	35
将棋部	22
図画団	46
ストーリーテリング研究会	18
Ｔ．Ａ．Ｓ．Ｃ．	25
筑波大鉄研「旅と鉄道の会」	33
つくば鳥人間の会	28
筑波文学の会	13
天文研究会	65
TOJOK - ON	116
ねっしー・自然教育研究会	70
文芸部	31
マジシャンズクラブ	31
漫画研究会	31
野外活動クラブ	29
野生動物研究会	42
歴史探訪会	51



つくば鳥人間の会



ねっしー・自然教育研究会

一般学生団体文化系

	構成員数
アイセック筑波大学委員会	18
Association of African Students, University of Tsukuba(AASUT)	16
宇宙技術プロジェクト	15
韓国留学生会	34
クイズ研究会	9
CoMedつくば	16
ジオネットアース	38
宿舎祭実行委員会	148
聖書研究会	17
台湾留学生会	20
チェスサークル Café Rejansu	10
中国留学生学友会	17
つくっく	29
筑波医学生国際交流連盟（TIMSA）	47
つくば犬鷲会	11
筑波学生文芸賞運営委員会	6
筑波大学公務員志望者の会	6
つくばぬいぐるみ病院	19
つくばピア	11
つくばフェアトレード推進委員会FRAT	7
つくばポケモン大好きクラブ	27
筑波民俗學研究会	6
つくばろぼっとサークル	12
TED×U Tsukuba学生団体	21
TICA（Tsukuba International Christian Assembly）	16
TPC（Tsukuba Programming Circle）	13
Data Driven Service Engineering道場	8
桐政会	7
TCG 研究会	6
とんぴくりん	10
日本史研究会	24
日本マラウイ学生団体	13
のうりんむら	90
花火研究会	9
HS CaT	36
プライマリケア研究会	17
ぷよぷよサークル UPC	9
Free Education（エフィ）	34
お菓子作りサークル ヘンゼルとグレーテル	33
僕らの夏休みProject筑波大学支部	20
麻雀同好会	36
学び場さくら塾	25
ミステリー研究会	7
ラジオサークル roots	8
留学生交流会 TISA	21
ルービックキューブ同好会	19
LGBTQA サークルにじひろ	15
学生フォーミュラチーム	10
TSUKUBA BIBLE CLUB	15
国際問題研究会（IIRA）	14
就活支援団体TAKE@WAY	12
Brains	6
Tsukuba for 3.11	15
環境サークル エコレンジャー	5
フライヤーズクラブ アイオロス	16
ゆにっと	5
UTIC（University of Tsukuba International Community）	6
Youth Ending Hunger筑波	7



手話サークル



歌留多部

体育系サークル

体育会　http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/

課外活動団体体育系
（体育会組織団体）

	構成員数
■部会	
アーチェリー部	24
合気道部	6
アイススケート部	12
男子アイスホッケー部	10
女子アイスホッケー部	10
アメリカン・フットボール部	57
オリエンテーリング部	56
鹿島神流武道部	26
空手道部	17
弓道部	24
剣道部	57
硬式庭球部	35
硬式野球部	112
サイクリング部	68
蹴球部	159
女子サッカー部	26
柔道部	48
準硬式野球部	26
少林寺拳法部	6
水泳部	70
スキー部	12
漕艇部	19
男子ソフトボール部	24
女子ソフトボール部	8
体操部	16
体操競技部	30
卓球部	38
ダンス部	21
トライアスロン部	41
軟式庭球部	26
馬術部	33
男子バスケットボール部	62
女子バスケットボール部	21
バドミントン部	42
男子バレーボール部	22
女子バレーボール部	18
男子ハンドボール部	35
女子ハンドボール部	24
フィールドホッケー部	13
ヨット部	7
ライフセービング部	11
ライフル射撃部	13
ラグビー部	90
男子ラクロス部	50
女子ラクロス部	22
陸上競技部	247
■同好会	
剣道同好会	33
サッカー同好会	88
バスケットボール同好会	57
トランポリン同好会	34
バドミントン同好会	153
バレーボール同好会	47
ハンドボール同好会	16
フェアリースキークラブ	25
ワンダーフォーゲルクラブ	42
医学アイスホッケー部	52
医学空手道部	13
医学弓道部	71
医学剣道部	27
医学硬式庭球部	97
医学ゴルフ部	56
医学サッカー部	55
医学準硬式野球部	46
医学水泳部	76
医学スキー部	22
医学ソフトテニス部	48
医学卓球部	32
医学バスケットボール部	51
医学バドミントン部	82
医学バレーボール部	34
医学ハンドボール部	48
医学ヨット部	24
医学ラグビー部	60
医学陸上競技部	86


アメリカン・フットボール部


ダンス部

一般学生団体体育系

	構成員数
アルティメットチームINVERHOUSE	60
弓道同好会春霞	107
競技合気道クラブ	7
硬式テニス愛好会 FOREST	120
硬式テニスサークル ADVANT	57
Fancy Tennis Club	131
柔道同好会	21
水泳同好会	31
SPIKERS'Inc	70
ソフトテニスサークルOn the Line	40
卓球同好会	132
知的障害者スポーツ支援「スポーティア」	18
筑波ジョギングクラブ	41
WTF テコンドー同好会	7
Tsukuba Basketball Club	88
Tsukuba Futsal Club	61
筑波マリンダイビングクラブ	26
図情バスケットボールサークル	55
軟式野球同好会 TSUKUBA JOKERS	32
軟式野球部	31
Picnic Tennis Team	158
武道護身空手部	31
ULIS バドミントン部	137
ULIS バレーボール部	135
陸上競技同好会	171
WorldFut Tsukuba	52
スポーツ愛好会	42
ラグビー同好会U.T.C	34
ボウリングクラブ	27
体和塾	11
ボクシングサークル	42
カヌークラブ	4
キックボクシング同好会	6


硬式野球部



蹴球部


柔道部


陸上部

芸術系サークル

芸術系サークル連合会　http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~geisa/

課外活動団体芸術系（芸術系サークル連合会組織団体）	構成員数
アカペラサークル Doo-Wop	113
E.L.L.（筑波軽音楽協会）	128
応援部 WINS	67
合唱団むくどり	18
管弦楽団	127
ギター・マンドリン部	28
劇団竹蜻蛉	23
劇団筑波小劇場	19
混声合唱団	43
ジャグリングサークル Sheep	27
写真部	21
JAZZ 愛好会	57
書道部	36
吹奏楽団	101
男声合唱団メンネルコール	8
津軽三味線倶楽部無絃塾	33
筑波音楽協会	64
筑波能・狂言研究会	13
つくばフォーク村	72
THK 筑波放送協会	57
ときめき太鼓塾	32
人形劇団 NEU	8
ピアノ愛好会	69
ViCC—映画をつくる会—	30
舞踏研究会	39
ブロックフレーテ同好会	10
邦楽部	30
ミュージカル集団 ESSASSA	68
落語研究会	27

一般学生団体芸術系	構成員数
アイドル研究会	35
医学フィルハーモニー	29
劇団 SONIC BOOM	10
ダブルダッチサークル purplume	37
筑波大学ケルト音楽愛好会T-Celt	24
バンドストッククラブ PBCM	45
弾き語りクラブ「アンプラグド」	37
フォルクローレ愛好会	39
フォルクローレサークル南	11
ヒーローアクション同好会	11
作曲サークルDTM Lab	35
ジャズ楽団	26
Vehicle Styling Club	7
焼き物をつくる会	34
Real jam	34


アカペラサークルDoo-Wop


ときめき太鼓塾


合唱団むくどり


混声合唱団


写真部



舞踏研究会

名刺一枚、誰にでも会える 筑波大学新聞

https://www.tsukuba.ac.jp/public/newspaper/shinbunindex.html

筑波大学新聞の創刊は 1974 年 10 月。大学誕生の翌年でした。それ以来、脈々と書き続けられた大学新聞は、現在も年７回、各約２万部を発行し、大学やその周辺で配られているほか、全国の大学やマスコミ、一部卒業生などに発送されています。そして、大学新聞の大きな特徴は、取材、編集を学生記者が行っていることです。



1974 年から発行を続ける筑波大学新聞

ある編集会議を再現してみましょう。「ノーベル賞受賞歴のある名誉教授の話を聞きたい。１面に掲載してほしい」と話すのは学内担当記者。その横ではスポーツ担当記者がすでに原稿を書いています。内容は「ラグビー日本代表選手の学生のインタビュー記事」。これも１面トップ候補です。

筑波大には多士済々な有名人が集まっています。世界をリードする研究者。五輪メダリストなどスポーツ界のトップ……。これらの人々の取材は記者たちの仕事の一つです。「名刺一枚、誰にでも会える」のが、大学新聞の記者の醍醐味です。



編集会議の様子

編集会議は終わりません。大学新聞には一般紙同様、警察と市役所の担当記者がいます。「つくば市長とのインタビューを計画中」というのは市役所担当記者。傍らでは「大学周辺で起きた事件に関する新事実がある」と警察担当（サツ回り）記者が話す。地域社会とも結びつくことが出来るのも、大学新聞の記者の面白さです。

記者たちの原稿が出そろうと整理記者（レイアウト担当）の出番。慣れた手つきで見出しをつけ、新聞を組み上げます。みな入学後、一から始め、これらの取材のノウハウや、レイアウト技術を身につけました。



優れた大学新聞を決める
「大学新聞コンテスト」の授賞式の様子

2015 年暮れ。編集室に嬉しいニュースが届きました。その年の優秀な大学新聞を決める「第５回大学新聞コンテスト」（朝日新聞社など特別後援）で最優秀の「朝日新聞社賞」に選ばれたのです。

「大学周辺が暗く、危険だ」とのサツ回り記者の指摘で、「つくばに街灯を」という長期連載を行った結果、市役所が動き、大学の周りに街灯が設置され始めた。それらが評価されたのです。部員一同、社会を動かすジャーナリズムの力を強く感じました。


学内で取材する筑波大学新聞記者

無論、大学新聞は学生の身近な問題に関する報道も続けています。朝が忙しい学生のための朝食レシピから、学内外での自転車マナーまで。学生に関係が深い問題を記事化し、放送局や全国紙の取材を受けた記者もいます。先輩にはマスコミで活躍している人も多くいます。大学新聞で活動したい方、いつでも歓迎します。

就職・進学・取得免許・国家試験等

キャリア支援

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターキャリアサポート部門では、社会人となるための支援プログラム（キャリア支援ガイダンス、本学 OB・OGと在学生との交流会や総合科目開設など）を実施しています。また、『つくばキャリアポートフォリオ』というフォルダーを学生に配布し、大学生活での様々な経験から得られる「気づき」「気持ち」を、手書きで記録し、集約してもらい、その過程において自己理解を深め、自らのキャリアを構築していけるよう支援を行っています。

就職支援

キャリアサポート部門では就職ガイダンス、公務員採用模擬試験・教員採用模擬試験等を実施しています。就職ガイダンス等については、学年を問わず参加できます。

また、就職活動を支援するため「ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターキャリアサポート部門HP」を運用しています。このHPは、企業の求人情報、教員・公務員の採用情報、就職ガイダンス情報、模擬試験情報、などの情報を迅速に提供することにより就職活動を支援するもので、いつでも利用することができます。

筑波大学のキャリア形成支援プログラム

筑波大学には、学生の学びと将来を関連づけていくための様々なプログラムが用意されています。キャリアサポート部門では、授業やガイダンス、個別相談、ワークショップなどを通じて、学生が自分自身について考えながら社会についての視野を広げ、将来に向けて具体的な準備を進めていけるようサポートしています。なお、下記以外にも、各学群・学類ごとの支援プログラムが用意されています。

入学 → 視野を広げ、自己を高める → 将来に向けて具体的に行動する → 卒業

フレッシュマンセミナー	全学群・学類の必修科目として「フレッシュマンセミナー」を開講しています。１年次の春学期に、毎週１回行われ、大学生活の入門の時間として、筑波大学の全ての学びの土台となる科目です。
総合科目 キャリアデザイン	学年に応じて、キャリア形成の力を高めるための科目を開設しています。 働く自分 Career Development in Global Context
CDP科目	「CDP(Career Development Program)科目」は、授業を通じてキャリア形成を考えるのに役に立つ内容を含んでいる科目です。

各種就職ガイダンス	オリエンテーション、公務員就職ガイダンス、教員就職ガイダンスなど、就職活動を進めるにあたって必要な心構えやスキルを高めるための講座等を開設しています。
学内企業説明会	企業・団体等の採用担当者やOB・OGが来学し、企業の概要説明を行い、直接質問に応じてくれます。企業研究や将来を考えるための機会として活用されています。
就活フォローアップ講座	大学の施設内で、エントリーシート、グループディスカッション、面接対策を実施しています。

つくばキャリアポートフォリオ（CARIO）

自己成長診断システム（SAGASU）

キャリア・就職相談

キャリアインタビュー 本学OB・OGとの交流会

国家試験受験結果　平成28年度（平成29年2月実施）

卒業生の、医師国家試験、看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験、臨床検査技師国家試験の合格実績を紹介します。

国家試験	本学受験者数		本学合格者数		本学合格率		全国平均	
第111回医師国家試験	114	(107)	112	(106)	98.2%	(99.1)%	88.7%	(91.8)%
第103回保健師国家試験	30	(30)	30	(30)	100.0%	(100.0)%	90.8%	(94.5)%
第100回助産師国家試験	3	(3)	3	(3)	100.0%	(100.0)%	93.0%	(93.2)%
第106回看護師国家試験	74	(74)	74	(74)	100.0%	(100.0)%	88.5%	(94.3)%
第63回臨床検査技師国家試験	33	(30)	32	(30)	97.0%	(100.0)%	78.7%	(89.9)%

＊（　　）内は現役生

教育職員免許状取得状況

過去４年間に、卒業時に教員免許状を取得した人数と免許状の種類を紹介します。

学類	年度	種類毎の人数	免許合計	人数
人文学類	28	国語（中４・高３）/ 社会 14/ 地歴 22/ 公民 9/ 英語（中７・高７）	66	32
	27	国語（中３・高４）/ 社会 6/ 地歴 9/ 公民 6/ 英語（中６・高７）/ 特別支援１	42	20
	26	国語（中９・高 10）/ 社会 14/ 地歴 20/ 公民 17/ 英語（高 2）	72	33
	25	国語（中８・高 12）/ 社会 13/ 地歴 17/ 公民 6/ 英語（中３・高４）	63	30
比較文化学類	28	国語（中４・高４）/ 社会 1/ 地歴 1/ 公民 1	11	5
	27	国語（中４・高４）/ 社会 2/ 地歴 2/ 公民 2/ 英語（中１・高３）	18	10
	26	国語（中２・高２）/ 社会 1/ 地歴 4/ 公民 2/ 英語（中３・高３）	17	10
	25	国語（中６・高７）/ 社会 1/ 地歴 1/ 英語（中１・高２）	18	9
日本語・日本文化学類	28	国語（中７・高８）	15	8
	27	国語（中 12・高 13）/ 社会 1/ 地歴 1/ 英語（中１・高１）	29	15
	26	国語（中４・高７）/ 社会 1/ 地歴 1	13	8
	25	国語（中９・高 12）/ 社会 2/ 地歴 2/ 公民 1	26	14
社会学類	28	社会 3/ 地歴 1/ 公民 3	7	3
	27	社会 1/ 公民 1	2	1
	26	社会 3/ 地歴 1/ 公民 3	7	3
	25	社会 3/ 公民 3/ 英語（中１・高１）	8	3
国際総合学類	28	英語（中６・高９）	15	9
	27	社会 1/ 公民 1/ 英語（中１・高１）	4	2
	26	英語（中３・高５）	8	5
	25	社会 1/ 公民 1/ 英語（中５・高６）	13	7
教育学類	28	小学校 3/ 国語（中 1･高 4）/ 社会 3/ 地歴 3/ 公民 2/ 数学（中 4･高 4）/ 理科（中 1･高 1）/ 英語（中３・高３）	32	16
	27	小学校 6/ 国語（中 2･高 3）/ 社会 4/ 地歴 2/ 公民 2/ 数学（中 2･高 2）/ 理科（中 2･高 2）/ 保体（中１・高１）/ 英語（中５・高６）/ 特別支援１	41	21
	26	国語（中 2･高 3）/ 社会 4/ 地歴 4/ 公民 5/ 数学（中 3･高 4）/ 理科（中 1･高 1）/ 英語（中３・高３）	33	16
	25	国語（中３・高３）/ 社会 8/ 地歴 8/ 公民 4/ 数学（中１・高１）/ 英語（中３・高３）	34	16
心理学類	28	数学（中１・高１）/ 英語（中１・高１）	4	2
	27	数学（中１・高１）	2	1
	26	社会 3/ 地歴 1/ 公民 3/ 数学（中 1）	8	4
	25	国語（中５・高５）/ 数学（中１・高１）/ 英語（中１・高１）	14	6
障害科学類	28	小学校 1/ 国語（中 1･高 1）/ 社会 5/ 地歴 3/ 公民 1/ 保体（中 2･高 2）/ 英語（中 6･高 6）/ 特別支援 14	42	14
	27	小学校 1/ 国語（中 3･高 3）/ 社会 4/ 地歴 1/ 公民 3/ 理科（中 1･高 1）/ 保体（中 1･高 1）/ 英語（中 2・高 2）/ 特別支援 11	34	12
	26	国語（中４・高４）/ 社会 1/ 地歴 2/ 公民 1/ 福祉 1/ 英語（中 2・高 2）/ 特別支援 9	26	9
	25	国語（中 2･高 2）/ 社会 2/ 地歴 1/ 公民 1/ 数学（中 2･高 1）/ 美術（中 1･高 1）/ 保体（中 2・高 2）/ 福祉 1/ 特別支援 9	27	10
生物学類	28	理科（中 13・高 19）	32	19
	27	理科（中 15・高 18）	33	18
	26	理科（中 22・高 25）	47	25
	25	理科（中 26・高 26）	52	26
生物資源学類	28	理科（中７・高９）/ 技術 2/ 農業 3	21	10
	27	社会 1/ 理科（中７・高 12）	20	13
	26	理科（中６・高 14）/ 農業 2	22	15
	25	公民 1/ 理科（中５・高 15）/ 農業 1	22	16
地球学類	28	地歴 2/ 理科（中３・高７）	12	9
	27	理科（中６・高６）	12	6
	26	理科（中２・高４）	6	4
	25	社会 1/ 地歴 1/ 理科（中５・高６）	13	6

学類	年度	種類毎の人数	免許合計	人数
数学類	28	数学（中 15・高 22）	37	22
	27	数学（中 8・高 13）	21	13
	26	数学（中 21・高 22）	43	22
	25	数学（中 12・高 15）	27	15
物理学類	28	理科（中 4・高 6）	10	6
	27	数学（中 1・高 1）/ 理科（中 1・高 5）	8	5
	26	数学（中 6・高 10）/ 理科（中 10・高 18）	44	19
	25	数学（高 4）/ 理科（中 6・高 17）	27	18
化学類	28	理科（中 8・高 18）	26	18
	27	理科（中 9・高 16）	25	16
	26	理科（中 9・高 15）	24	15
	25	理科（中 6・高 11）	17	11
応用理工学類	28	数学（中 1・高 4）/ 理科（中 1・高 2）	8	5
	27	数学（中 2・高 2）/ 理科（高 2）	6	4
	26	数学（中 1）/ 理科（中 1・高 2）	4	3
	25	数学（中 3・高 3）/ 理科（中 5・高 6）	17	7
工学システム学類	28		0	0
	27	数学（高 1）	1	1
	26	数学（中 1/ 高 2）	3	2
	25	理科（高 1）	1	1
社会工学類	28	数学（中 4・高 5）	9	5
	27		0	0
	26	数学（中 6・高 6）	12	7
	25	公民 1/ 数学（中 4・高 6）	11	7
情報科学類	28		0	0
	27	数学（中 1・高 1）/ 情報 2	4	2
	26	数学（中 4・高 5）/ 情報 4	13	5
	25	数学（高 1）	1	1
情報メディア創成学類	28	数学（中 2・高 2）/ 情報 2	6	2
	27		0	0
	26		0	0
	25	数学（中 3・高 3）/ 情報 2	8	3
知識情報・図書館学類	28	情報 2	2	2
	27	社会 1/ 公民 2/ 数学（中 1・高 1）/ 情報 1	6	3
	26	公民 1/ 数学（中 1・高 1）/ 情報 3	6	5
	25	社会 3/ 公民 6/ 数学（中 4・高 5）/ 情報 4	22	13
看護学類	28	養護 5	5	5
	27	養護 5	5	5
	26	養護 15	15	15
	25	養護 12	12	12
体育専門学群	28	保体（中 137・高 166）	303	167
	27	社会 1/ 地歴 1/ 保体（中 114・高 144）/ 特別支援 1	261	146
	26	保体（中 122・高 156）	278	156
	25	国語（中 1・高 1）/ 保体（中 114・高 131）	247	133
芸術専門学群	28	国語（中 4・高 4）/ 美術（中 18・高 29）/ 書道 4/ 特別支援 1	60	33
	27	国語（中 4・高 5）/ 美術（中 17・高 30）/ 工芸 2/ 書道 5	63	35
	26	国語（中 4・高 7）/ 美術（中 10・高 15）/ 工芸 1/ 書道 9	46	25
	25	国語（中 1・高 3）/ 美術（中 20・高 24）/ 書道 4	52	28
		合計　平成 28 年度	723	392
		27 年度	637	349
		26 年度	747	406
		25 年度	732	392

進路状況（学群）

進路状況（平成28年度）

学群・学類 ＼ 進路等		卒業者	進学者	うち本学大学院	企業（自営業を含む） 農業	林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業、物品賃貸業	サービス業	小計	教員	公務員 国家公務員（国大法除）	独立行政法人等	地方公務員	小計	研修医	就職者小計	研究生等	資格・試験等準備 他	帰国	その他
人文・文化学群	人文学類	115	34	27					2	12	1	2	2	8	2	14	43	2	1	6	8	15		60	1	17		
	比較文化学類	85	12	9						14		4	2	4	2	21	47	1		1	8	9		57		15		
	日本語・日本文化学類	40	7	6					2	2			2	6	1	7	20	6		3	1	4		30		3		
社会・国際学群	社会学類	115	16	12					3	11		3	1	12		23	53	1	8	4	18	30		84		13	1	1
	国際総合学類	93	14	8					1	10	1	7	7	3	3	23	55	2	4		4	8		65		9	5	
人間学群	教育学類	36	8	8						1						4	5	4	2	3	4	9		18	1	8		
	心理学類	49	15	10						7			4	2		9	22	1	2		1	3		26		6		
	障害科学類	34	10	10									1	5		5	11	3		2	5	7		21		3		
生命環境学群	生物学類	89	60	55	1				1	5		2	4	3		4	20	1	2			2		23		4	2	
	生物資源学類	149	103	97	2					6			4	8	1	6	27	2	2		5	7		36		8		2
	地球学類	57	39	37					1	2		2			1	4	10				1	1		11	1	4	1	
理工学群	数学類	44	31	29										1		5	6	5						11		1		
	物理学類	61	44	40						4					1	7	12	1						13	1	2		
	化学類	49	40	40					1					1			2	3						5		3	1	
	応用理工学類	146	119	113						2			2	1	2	5	12				2	2		14	1	8	1	1
	工学システム学類	134	118	112						4			1	1	1	5	12			1	2	3		15				
	社会工学類	133	55	50					2	4	1	4	1	10	5	31	58			1	8	9		67		8		
情報学群	情報科学類	93	70	67						2				2		14	18				1	1		19		3		
	情報メディア創成学類	61	39	38						3		2				15	20							20				
	知識情報・図書館学類	115	24	23					1	9		4	2	2		38	56		1	4	19	24		80	1	4		
医学群	医学類	107																					106	106		1		
	看護学類	81	6	2												65	65	2			7	7		74				
	医療科学類	35	21	16						1						11	12				1	1		13		1		
体育専門学群		249	53	52					6	29	3	6	10	14	7	40	115	29			10	10		154	1	28		
芸術専門学群		98	32	31					2	7		6	7	3		17	42	2		1	1	2		46		13		
学群合計		2,268	970	892	3				22	135	6	42	50	86	26	373	743	65	22	26	106	154	106	1,068	7	162	11	4

※データには早期卒業者が含まれる。

平成28年度就職先例

主な就職先企業等名を掲載しています。「株式会社」などの表記をはじめ、企業名を適宜省略しています。進学者、教員、公務員、研修医、その他については、p.145 の表と各教育組織のページを見てください。

人文学類	那須信用組合、東日本興業、朝日新聞社、西部ガス、四谷大塚、NHK、グランディハウス、ウエスタンコーポレーション、凸版印刷、三越伊勢丹、共同エンジニアリング、明治図書出版、加藤文明社、三井住友信託銀行、DOWA ホールディングス、ニチレイロジグループ、アクモス、グレープストーン、ウィル・コーポレーション、西日本シティ銀行、アパホテル、フィナンシャル・エージェンシー、源吉兆庵、ルクサ、NTT ドコモ、アワーズ、千葉県立房総のむら、ヨドバシカメラ、アート、みずほ銀行、キユーピー、第一ビルデイング、SG・フードホールディングス、呉竹荘、足利銀行、日本郵政、山形テレビ、JTB パブリッシング、日本生命保険、星野リゾート・マネジメント、つうけんアドバンスシステムズ、潤工社、ENEOS グローブエナジー　など
比較文化学類	ミクニ、ジェイデバイス、アステラス製薬、エイチ・アイ・エス、八十二銀行、レンゴー、昭和電工、東北新社、アルファ・アソシエイツ、アルファテック・ソリューションズ、丸正印刷、フージャースコーポレーション、NTT 東日本、鈴木ハーブ研究所、モリタホールディングス、社会福祉法人しんまち元気村グループ、パスコ、セプテーニ・ホールディングス、テレビ信州、日本新聞協会、NHK、ジュピターショップチャンネル、モードツー、経済法令研究会、林電子、日本貨物鉄道、筑波銀行、GMO ペイメントゲートウェイ、ボルテージ、茨城計算センター、電通アドギア、スズキ、ダイテックグループ、オープンハウス、横河ブリッジホールディングス、ビッグツリーテクノロジー＆コンサルティング、三菱商事ファッション、オープンリソース、レナウン、アイテル、国際自動車、日本写真印刷、あしたのチーム、福島銀行、ゼネラルパートナーズ、リブネット、NSG グループ　など
日本語・日本文化学類	光陽、群馬銀行、日本生命保険、エコス、ダイナック、リブセンス、D2C、iLandscape、常陽銀行、山手学院、エム・エス・ピー、マンパワーグループ、長谷工ビジネスプロクシー、長谷工コーポレーション、池田泉州銀行、マイナビ、トレンド・プロ、淡交社、七十七銀行、日本私立学校振興・共済事業団　など
社会学類	クックパッド、ニューオータニ、日本経済新聞社、毎日新聞社、アイレップ、エイチ・アイ・エス、JP 三越マーチャンダイジング、テクノプロ・IT 社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ東京本社、日本写真印刷、富士経済、オプト、住友金属鉱山、紀陽カード、阪急阪神ビジネストラベル、ポラス、キャップジェミニ、西日本新聞社、読売 IS、はが野農業協同組合、日本総合研究所、東洋経済新報社、茨進、大東建託、日立製作所、ジェイエイシーリクルートメント、テルモ、三井住友トラスト・システム＆サービス、エリアリンク、野村證券、横浜銀行、DNP コミュニケーションデザイン、USEN、JP ハイテック、三菱重工業、イー・ギャランティ、星野リゾート・マネジメント、日本総合システム、富士重工業、明治安田生命保険相互会社、りそなグループ、みずほ証券、エクセルシア、江崎グリコ、三菱東京 UFJ 銀行、三井住友銀行、アイネス、三井住友海上あいおい生命保険、セプテーニ・ホールディングス、ワークスアプリケーションズ、フォーバル、MS & AD システムズ、三井住友信託銀行　など
国際総合学類	アートシステム、全国信用協同組合連合会、証券ジャパン、楽天、博報堂、インテリジェンス、インテリジェンスビジネスソリューションズ、伊藤忠プラスチックス、アライドアーキテクツ、朝日新聞社、ワークスアプリケーションズ、シバックス、共同通信社、ルミネ、茨城計算センター、農林中央金庫、リンクコーポレイトコミュニケーションズ、ウルシステムズ、ジーシーシー、バロー、ビジネスコンサルタント、シンプレクス、NTT データシステム技術、デンソー、大和ハウス工業、郵船コーディアルサービス、東北電力、昭和シェル石油、グリー、日立ソリューションズ、川崎重工業、ネス・グローバル、NHK、アビームコンサルティング、三井住友ファイナンス＆リース、JTB 関東、日本たばこ産業、学研日の出教室、JFE エンジニアリング、日東工器、光通信、日本出版販売、双葉インターナショナル、楽天、貝印、アイエスエイ、グッドパッチ、ecommit、ガイアックス、ソラシドエア、トプコン、中川政七商店、エンプラス　など
教育学類	名広愛児園、新日本有限責任監査法人、社会福祉協議会、日油、河合塾　など
心理学類	阪和興業、エス・ティー・シー、カドカワ、カワチ薬品、ディップ、東急エージェンシー、タカラスタンダード、オリックス・リビング、富士機材、国家公務員共済組合連合会、PwC あらた監査法人、日本生命保険、東京産業、コーセー、NTT データソフィア、大関、筑邦銀行、エル・ティー・エス、SCSK、三菱自動車工業、河合塾マナビス、アステラス製薬　など
障害科学類	素心会、常陽銀行、かんぽ生命保険、アメリカンファミリー生命保険、常陽銀行、にっこりの森、アクセンチュア、アドバンストインテリジェント サービス、りそな銀行、JK ホールディングス、同愛会　など
生物学類	ピーシーデポ・コーポレーション、三井ホーム、サイゼリヤ、アステラス製薬、ヤクルト、鳥居薬品、カネコ種苗、東京海上日動あんしん生命保険、トライグループ、田辺三菱製薬、東京動物園協会、日産プリンス茨城販売、水戸ヤクルト販売、トップアスリートグループ、クリーク・アンド・リバー、JTB ワールドバケーションズ、ヤフー、三菱東京 UFJ 銀行、日本全薬工業　など
生物資源学類	いつ和、ウェブクルー、パナソニック、日本フードパッカー、デンソー、リクルート北海道じゃらん、キリン、茨城県メディカルセンター、エノテカ、日本政策金融公庫、全国農業協同組合連合会、明治安田生命保険、アルファテック・ソリューションズ、peko、野村證券、岩手銀行、カネコ種苗、オービック、アニコム損害保険、三菱食品、アーネストワン、野村證券、JA 全農いばらき、東洋冷蔵　など
地球学類	レイヤーズ・コンサルティング、JTB ワールドバケーションズ、日本気象協会、NTT データ CCS、朝日航洋、タカラレーベン、日本住宅、新日鐵住金、NLT テクノロジー、ウェザーニューズ　など
数学類	デジタルデータソリューション、ソフテス、数理進学予備校 E'z、福岡銀行、エヌデーデー、トータルシステムデザイン　など
物理学類	富士ソフト、Speee、アドソル日進、オープンハウス、アイアールエル、ダイナパック、SCRAP、アスパーク、キーエンス、アイン食品、エス・ジー、ルネサスイーストン　など
化学類	常陽銀行、清水建設　など

応用理工学類	第一化成、NEC ネクサソリューションズ、日本トラスティ・サービス信託銀行、リビングライフ、上田日本無線、グローブライド、日商岩井紙パルプ、原子力安全推進協会、パラカ、野村総合研究所、幸福の科学、セプテーニ・ホールディングス　など
工学システム学類	フェニックス 2、システムデイ、WHILL、日経 BP、オリエンタルモーター、茨城計算センター、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、マネージメントサービス、ヒビノ、富士重工業、星野リゾートグループ、幸福の科学　など
社会工学類	インターロジック、KDDI、日本オラクル、ソフトバンク、日本総合研究所、東日本銀行、みずほフィナンシャルグループ、日本生命保険、塩野義製薬、アメリカンファミリー生命、証券保管振替機構、テンプスタッフ、リンクバル、SMBC 日興証券、博報堂 DY メディアパートナーズ、SAP ジャパン、ワークスアプリケーションズ、データ・フォアビジョン、スターダストプロモーション、税理士法人山田＆パートナーズ、リンクアンドモチベーション、日本ヒューレット・パッカード、みずほ情報総研、シンプレクス、スターツコーポレーション、アバナード、三井住友銀行、東洋ビジネスエンジニアリング、東急リバブル、エジソン、みずほ銀行、三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー、NTT データ、LIXIL、トライアルカンパニー、ソフトバンクグループ、エヌジェーケー、ブリヂストンサイクル、野村総合研究所、アクセンチュア、オーダーチーズ、三井不動産リアルティ中国、アトレ、カクニシビルダー、NTT ファシリティーズ、コスモスイニシア、オリエンタルコンサルタンツ、日本空港コンサルタント、西松建設、パシフィックコンサルタンツ、東京ガス、K プロビジョン　など
情報科学類	Donuts、Gunosy、イー・アンド・エム、エイジア、クックパッド、クレスコ、スルガ銀行、ディー・エヌ・エー、ベックマン・コールター、ミクシィ、伊藤忠テクノソリューションズ、新日鉄住金ソリューションズ、大塚商会、富士通、野村證券、富士通 CIT、TwoGate、ワークスアプリケーションズ　など
情報メディア創成学類	任天堂、富士通エンジニアリングテクノロジーズ、NTT ビジネスソリューションズ、SCSK、JAL インフォテック、富士ソフト、インテージテクノスフィア、ユーザーローカル、J ストリーム、ヤフー、オールアバウト、ヤマハ、凸版印刷、中央出版、DMM.com ラボ、遠鉄システムサービス、日本コントロールシステム、レバレジーズ、よみうりランド、ファンコミュニケーションズ　など
知識情報・図書館学類	ノア・テクノ、シンワ検査、睦月会、ナチュラルライフ、ワークスアプリケーションズ、ソフトバンク、日本たばこ産業、常磐システムエンジニアリング、ライテック、デジタルアイデンティティ、日本自動車研究所、日立 INS ソフトウェア、ジール、ニチイケアパレス、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー、佐川印刷、花王カスタマーマーケティング、アクセンチュア、JR 九州、常陽銀行、BuzzFeed Japan、ディスパ、DMM. Com グループ、エプソンアヴァシス、富士ゼロックス、船井総合研究所　東京本社、三信電気、楽天、大和証券グループ、オービック、みずほトラストシステムズ、富士通、Yscompany、那須印刷、富士通ゼネラル、グローカルマーケティング、CBC ラジオ、神田外語大学、NTT ドコモ、日本電気、セザックス、レジェンド・アプリケーションズ、日販コンピュータテクノロジイ、慶應義塾大、広芸インテック、フォーカスシステムズ、棟匠、フェローズ、マーキュリー、インテグレートテクニカルサービス、臨海、NHK、聖隷福祉事業団、地方公務員共済組合連合会、ディレクトリー　など
看護学類	筑波大附属病院、東京医科歯科大医学部附属病院、千葉大医学部附属病院、慶応義塾大病院、聖路加国際大聖路加国際病院、昭和大附属病院、国立がん研究センター中央病院、国立国際医療研究センター病院、下総精神医療センター、横浜市立みなと赤十字病院、横浜南共済病院、虎の門病院、神奈川県立こども医療センター、東京都立小児総合医療センター、埼玉県立小児医療センター、筑波メディカルセンター病院、筑波記念病院、吉川中央総合病院、済生会横浜市東部病院、つくばセントラル病院、龍ヶ崎済生会病院、三井記念病院、取手北相馬保健医療センター医師会病院、日本赤十字社医療センター、龍ケ崎済生会病院、ミモザ　など
医療科学類	九州大学病院、千葉大学医学部附属病院、琉球大学医学部附属病院、杏林大学医学部付属病院、新松戸中央総合病院、嬉泉病院、NTT 東日本関東病院、済生会熊本病院、癌研究会、JA 茨城県厚生連、北斗病院、テルモ　など
体育専門学群	アルビレックス新潟、図南サッカークラブ、新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ、栃木県民球団、栃木ブレックス、TSV ミュンヘン・グロスハーデン柔道クラブ、ミズノ、アシックスジャパン、ゆうちょ銀行、三菱東京 UFJ 銀行、三井住友銀行、西日本シティ銀行、愛知銀行、七十七銀行、水戸信用金庫、東京海上日動火災保険、アメリカンファミリー生命保険会社、三井住友海上あいおい生命保険、三井住友海上火災保険、損害保険ジャパン日本興亜、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、伊藤忠商事、関彰商事、毎日新聞社、テレビ埼玉、九州朝日放送、WOWOW、JR 東海、JR 東日本、ソフトバンク、ALSOK 常駐警備、綜合警備保障、セコム、トヨタ自動車、パナソニック、旭化成、旭化成ホームズ、横浜ゴム、アサヒグループ食品、新日鐵住金広畑製鉄所、大成建設、日本たばこ産業、日立オートモティブシステムズ、日立製作所、武蔵コーポレーション、本田技研工業、東レ、昭和シェル石油、京葉ガス、デンソー、山崎製パン、積水化学工業、赤城乳業三越伊勢丹、中部電力、ナカノフドー建設、三井不動産ビルマネジメント、横浜ビー・コルセアーズ、三菱オートリース、三菱電機ビルテクノサービス、守谷商会、サンヒット、アールビーズ、アイシン・エィ・ダブリュ、アクシオン福岡、アスリートプランニング、アドバ、アルパイン、アルペン、いわきスポーツクラブ、ヴェリタス・インベストメント、オービック、オープンハウスグループ、オリエントコーポレーション、クラブツーリズム、コナミスポーツアンドライフ、すかいらーく、ゼビオ、ソニーセミコンダクタ、大京アステージ、大広、つくばウェルネスリサーチ、データスタジアム、ドーム、ニチハ、ニュートン、パソナ、ハプティック、ファーストリテイリング、ファクトリージャパングループ、フロンティアインターナショナル、マイナミホールディングス、ミツウロコグリーンエネルギー、ユニバーサルエンターテインメント、リストインターナショナルリアルティ、リンツ＆シュプルングリージャパン、ルネサンス、K-plus、LIXIL、NEC ネッツエスアイ、THINK フィットネス、埼玉医科大学、藤枝 MYFC、茨城県体育協会、島根県体育協会、大分県体育協会、長谷川体育施設　など
芸術専門学群	本田技術研究所、カトーレック、グッドライフ OS、くらコーポレーション、リーガルコーポレーション、茨城ダイハツ販売、乗馬クラブクレイン、ブライダルプロデュース、三菱 UFJ 代行ビジネス、ソフトバンクグループ、ネクスト、イー・スピリット、秋田商工会議所、ソニーグローバルソリューションズ、ノリタケカンパニーリミテド、スペース　本社、中川装身具工業、博報堂アイ・スタジオ、バンダイナムコオンライン、ライフサポート・エガワ、ワークスアプリケーションズ、カスタネット、日本ビジネスアート、JUKI、ねこのてカンパニー、ジャクエツ、木下工務店レジデンス、三交クリエイティブ・ライフ、たき工房、ホンダ産業、エイチ・アイ・エス、東京ますいわ屋、一建設、コクヨサプライロジスティクス、たき工房、プラビス・インターナショナル、アイディーエイ、カクダイ、天平庵、青森銀行、北海信用金庫、東武宇都宮百貨店　など

大学院

筑波大学の大学院には修士課程、博士課程及び専門職学位課程があります。また、社会人再教育のための夜間大学院・昼夜開講制の実施、短期在学コース・長期履修学生制度・博士後期課程「早期修了プログラム」など標準修業年限の弾力化、筑波研究学園都市等の研究機関の施設・設備や人的資源を活用して大学院教育を行う連携大学院方式の実施など教育方法・形態の多様化を図っています。

修士課程

修士課程は、高度の専門性を備えた職業人を養成するとともに、社会人の再教育の機会を提供する2年の課程です。通常の専門分野の区分にとらわれない学際的な教育課程を編成し、高度の総合的視野を備えた有能な人材の育成を目指しています。

●教育研究科

http://www.kyouiku.tsukuba.ac.jp/

広い視野に立って精深な学識を授け、教育の分野における研究能力及びその専門性に対応する識見と諸能力を養うことを目的とし、スクールリーダーシップ開発専攻、教科教育専攻の2つの専攻を置いています。２専攻ともその設立の趣旨に沿って現職の教員を積極的に受け入れるよう努力しています。

博士課程

博士課程では、専門的分野における研究者の養成または研究型高度専門職業人の養成を目的として、幅広い知識を基盤とした高い専門性を涵養する高度な教育を行っています。

人文社会科学研究科、ビジネス科学研究科（夜間）、数理物質科学研究科、システム情報工学研究科、生命環境科学研究科、人間総合科学研究科、図書館情報メディア研究科の7研究科からなり、区分制博士課程（前期（2年）、後期（3年））、前・後期の区分を設けない5年一貫制博士課程（医学を履修する課程にあっては4年）、後期の課程のみの3年制博士課程、修士課程（2年）から構成されています。

●人文社会科学研究科

http://www.hass.tsukuba.ac.jp/

人文・社会科学の多領域にわたる複合的問題に対応するため、両分野を広域的に融合させ、多様な問題を生み出す現代社会そのものを自律的対象とした教育研究を進めるとともに基礎研究を充実させ、新しい社会的・学問的要請に応え得る広い視野・優れた独創性・高度な研究能力をもった研究者、高い専門性・優れた国際的実務能力を有する高度専門職業人を養成します。

●ビジネス科学研究科

http://www.gsbs.tsukuba.ac.jp/

「経済のグローバル化」と「個の多様化」の急速な進展に伴い、「グローバルネットワーク時代」に突入しつつあるビジネス社会は、一方で少数の巨大企業がグローバルに覇権を競い合い、また、他方で多様な個性豊かな小規模の企業（ベンチャー企業など）が激しく競い合う、メガコンペティション市場となっています。その大規模市場に対応して事態を的確に分析し解決できる先進的リーガルマインドを持った経営者や専門的人材を育成します。

●数理物質科学研究科

http://www.pas.tsukuba.ac.jp/

自然科学の基礎とその科学技術への応用について、理学及び工学両分野の教員の協力による高度な教育・研究指導を行い、急激な社会の変化に的確に対応できる基礎から応用まで幅広い視野と優れた研究能力を備えた研究者・高度専門職業人を養成します。

●システム情報工学研究科

http://www.sie.tsukuba.ac.jp/

社会基盤を支える「情報システム」、工学の新たな領域である「工学システム」、社会を工学の視点からとらえる「社会システム」、および、これら3つのシステムが内包する「リスク」に関する教育と研究を幅広く、統合的に行っています。社会との関係も含めた環境の調和、デファクトスタンダード化されるような社会的インパクトを持つ先端的技術開発、不確実性を持つシステムに対処可能な工学的手法の開発など、個別技術の開発に留まらず、包括的かつグローバルな視野で21世紀の人類の発展に寄与する研究者および高度専門職業人を養成することを目的としています。

●生命環境科学研究科

http://www.life.tsukuba.ac.jp/

人間を含む多様な生物の生命現象とそれを支える地球環境の基礎科学的探究、生物資源の保全や持続的利用の自然科学的・社会科学的な応用探求、さらに新たな価値観に基づく地球生命系と人類の共存といった総合的探求等をテーマとした研究・教育により、専門領域の知識と技術を横断的に習得します。

●人間総合科学研究科

http://www.chs.tsukuba.ac.jp/

多様な価値観に対応する教育、高齢化社会における健康・医療・福祉、文化遺産の保全、社会システムに起因するストレス、難病等解決しなければならない多くの問題に対応するため、人間の生物身体的側面、教育福祉的側面及び精神文化的側面の3側面を常に統合すべく人間に関する知識を再編する努力を払いつつ、総合的な視野をもった優れた研究者及び高度専門職業人を養成します。

●図書館情報メディア研究科

http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/

知識と情報を基盤とした人々の活動と社会の発展を支えるために、知識資源の流通と新しい知識の創造と共有に係る人材を養成します。情報の意味にこだわった研究、未来志向の図書館研究、情報化にともなう技術と社会制度の問題、ビッグ・データから有益な情報を引き出して人や社会に役立てる研究などに取り組んでいます。

専門職学位課程

専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的として実践的な教育を行っています。

ビジネス科学研究科に法曹専攻、国際経営プロフェッショナル専攻の2つの専攻を置いています。

グローバル教育院

グローバル教育院では「博士課程教育リーディングプログラム」に採択された学位プログラムや、筑波大学が独自に開設する学術分野横断的な学位プログラムの運営を行っています。

博士課程教育リーディングプログラム

◆ヒューマンバイオロジー学位プログラム　http://hbp.tsukuba.ac.jp/

生命科学、医学、計算科学、物質科学を横断した複合的方法論を駆使して、ヒトの生命の維持、適応、継承のメカニズムを理解し、これらに関する研究力、専門力を修得した上で、ヒトが人らしく生きる社会の創造を先導できる国際的トップリーダーを養成します。

以下のような取り組みを駆使し、地球規模課題の解決に向けて、国際的合意を生み出すことのできる目利き力、突破力および完結力を備えた博士人材を養成します。

・適正技術学修に代表される地球航海型武者修行学修が可能
・先端研究者、挑戦的企業人のみならずアントレプレナーシップにも繋がる組織を作る指導力の習得
・戦略的な企画に基づいた専門力と人間力を涵養するコースワークを海外連携大学、産業界で実施

博士課程教育リーディングプログラム

◆エンパワーメント情報学プログラム　http://www.emp.tsukuba.ac.jp/

現実の社会に広がるさまざまな地球規模課題に取り組み、本質を探究し実問題を解決する応用力、多角的で複眼的な俯瞰力と最先端の新しい学問領域の地平を切り開く独創力、成果を世界に広く伝えつつ世界を導くリーダーシップ力を発揮できるグローバル博士人材を養成します。

以下のような取り組みを駆使し、多様な文化的背景を有する人々が集まる国際社会において、イニシアティブを発揮できるグローバル人材を育成します。

・「分野横断力」「魅せ方力」「現場力」という３つの人材養成目標を定め、学生が日常的に切磋琢磨し、展示を通じてシステムを洗練する研究スタイルが特徴の「エンパワースタジオ」や、学生が寝食を共にし、コラボレーションを促進する「エンパワー寮」といった人材育成の場を提供
・情報学、工学、芸術、心理学、神経科学、臨床医学、看護科学、ビジネス科学、企業法学からなる複合領域の連携体制を整備

◆ライフイノベーション学位プログラム　http://tlsi.tsukuba.ac.jp/

分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野でグローバルに活躍する研究者及び高度専門職業人を養成します。

ライフイノベーション学位プログラムは、つくば市や海外での素晴らしい学びの機会を提供し、4つの専門領域ー「病態機構、創薬開発、食料革新、環境制御」における世界有数の専門家と学生間の相互作用を促進します。本学位プログラムは、大学の専門的知識と、つくばライフサイエンス推進協議会に属する企業や研究機関の実践的知識を融合させているのが特徴です。

さらに、オックスフォード幹細胞研究所（イギリス）、ワーゲニンゲン大学（オランダ）、モンペリエ大学、ボルドー大学（フランス）カリフォルニア大学サンディエゴ校などの海外のトップクラスの大学からの教授陣が本プログラムに参加しており、学生は学位論文作成にあたってアドバイスを受ける機会も得られます。

大学院研究科と対応する主な出身学群・学類

研究科	専攻	課程等	対応する主な出身学群・学類
教育	スクールリーダーシップ開発、教科教育	■＊	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類、教育学類、心理学類、障害科学類、生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類、物理学類、化学類
人文社会科学	哲学・思想、歴史・人類学、文芸・言語	○	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、国際総合学類
	現代語・現代文化、国際公共政策	△□	
	国際地域研究	■	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、国際総合学類、生物資源学類
	国際日本研究	△□＊	
ビジネス科学（夜間社会人大学院）	経営システム科学、企業法学	△☆	社会人対象のため、特に対応する出身学群・学類はありません
	企業科学	□☆	
	法曹、国際経営プロフェッショナル	▲☆	
数理物質科学	数学	△□＊	数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類
	物理学、化学、電子・物理工学、物性・分子工学	△□※＊	
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー	□※＊	
	物質・材料工学	▼※＊	
システム情報工学	社会工学	△□※＊	社会学類、国際総合学類、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類、情報科学類、情報メディア創成学類
	リスク工学	△□＊	
	コンピュータサイエンス、知能機能システム、構造エネルギー工学	△□※＊	
生命環境科学	環境バイオマス共生学	○※	生物学類、生物資源学類、地球学類
	地球科学	△※	
	生物科学	△□※＊	
	生物資源科学、環境科学	△※＊	
	地球環境科学、地球進化科学	□※	
	国際地縁技術開発科学、生物圏資源科学、生物機能科学、持続環境学	□※＊	
	生命産業科学	□※＊	
	先端農業技術科学	▼※	
人間総合科学	フロンティア医科学	■＊	教育学類、心理学類、障害科学類、看護学類、医療科学類、体育専門学群、芸術専門学群
	教育学、心理、世界遺産	△	
	障害科学	△□	
	体育学	△＊	
	感性認知脳科学	△□※	
	看護科学、芸術	△□＊	
	教育基礎学、学校教育学、心理学、体育科学、世界文化遺産学	□	
	ヒューマン・ケア科学	▼※	
	スポーツ医学、コーチング学	▼	
	スポーツ国際開発学共同専攻	■	
	大学体育スポーツ高度化共同専攻	▼	
	生命システム医学、疾患制御医学	◎※＊	医学類
	スポーツ健康システム・マネジメント	■☆	社会人対象のため、特に対応する出身学群・学類はありません
	生涯発達	△☆	
	生涯発達科学	□☆	
図書館情報メディア	図書館情報メディア	△□※＊	情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類

■修士課程　○５年一貫課程　△博士前期課程　□博士後期課程　▼後期の課程のみの博士課程
◎医学を履修する４年制課程　※連携大学院方式を実施　▲専門職学位課程　＊昼夜間開講　☆夜間開講（東京キャンパス）
博士後期課程、後期の課程のみの博士課程には、大学院の２年の課程を経て進学します。

学内で活躍する大学院生

つくば院生ネットワーク（TGN）

URL: http://tgn.official.jp/

つくば院生ネットワークとは

「せっかく総合大学に入学したのに、自分の専攻や学類に閉じこもってしまうのはもったいない」。そう考えた有志の学生が集まったのが、つくば院生ネットワーク(TGN)です。TGNは2010年度に発足し、多様な学問をもっと身近にするために、学生同士の異分野コミュニケーションや、学生と一般の方との科学コミュニケーションを促進する活動をしています。

異分野の学生や一般の方に自分の研究や学問分野について伝えようとするとき、自然と自分の問題意識の根本を考え直すことになります。異分野の学生や一般の方からの質問に触れると、これまでに気がつかなかった新しい視点に気が付きます。異分野・科学コミュニケーションは、受け取る側にとってはもちろん、伝える側にとっても、他には代えられない学びにつながります。2017年度のメンバー数は、多様な学問分野から集まった学群生・院生、あわせて約10名です。

TGNの多彩な活動

「学生プレゼンバトル」では、学群生や院生のプレゼンターが、異分野の学生・教員や、職員・一般の方に向けて、自身の研究や学問分野についてわかりやすくプレゼンテーションします。学園祭にて行われる本戦では、集まった約200人の聴衆が、わかりやすかったと思うプレゼンテーションに投票し、筑波大学No.1プレゼンターを決定します。

「駅前キャンパス」は、つくば駅前のBiViつくば内筑波大学サテライトオフィスで実施する、研究者と地域住民が学術交流をする企画です。2015年度は、筑波大学の学生・修了生・教員が一般の方に対し、4日間にわたりポスター発表や講演を行うことによって、筑波大学の学問を社会に還元しました。この企画は、副学長から表彰を受けました。

2017年度は「つくば学会」という新たな企画を実施する予定です。この企画は筑波大学内の学生同士による異分野交流をより一層促進させる企画になっています。このように新たな学術交流を行う企画を提案し、それを実現させるのがTGNの活動のおもしろさでもあります。

大学院共通科目「ザ・プレゼンテーション」

さらにTGNは、異分野・一般の方向けプレゼンテーションの技術を学ぶ機会を提案しています。2012年度、TGNは、大学院共通科目委員会と共に、正式な授業科目「ザ・プレゼンテーション」を企画しました。学長も担当教員のひとりとなっているこの科目では、毎回学内から多様な第一線研究者を招き、プレゼンテーションの技術を学びます。もちろん、この科目は学群生も聴講することができます。2015年度は附属図書館とも協働し、筑波大学の授業科目としては初めて、中央図書館の利用者が行き交うラーニング・コモンズを基本的な開講場所として授業を実施しました。これも、学問を身近にする工夫です。

TGNは、学生の目線から、「学問が身近になるには」や「こんなことを学びたい」を考えて行動しています。学生の行動が大学を動かしてしまうこともある、自由で自律的な雰囲気も、筑波大学らしさの1つと言えるのではないでしょうか。せっかくの総合大学。様々な学問分野の学生と交流しましょう！

（システム情報工学研究科 知能機能システム専攻 安藤 潤人）





連携大学院とつくばの研究所

筑波大学は平成4年度に日本で初めて連携大学院を設置しました。

連携大学院では、多くの研究所が設置されている筑波研究学園都市や1都4県に所在する国立、独立行政法人（国立研究開発法人を含む）、民間の研究所の研究者を、筑波大学の教授・准教授として迎えています。それにより、学生は最新の設備と機能を有する研究機関において広い領域で最先端レベルの研究指導を受けることができます。

大学の1年生から4年生までの間にはあまり接することのなかった、研究所に勤務する研究者の研究生活に触れることができるとともに、より多くの研究分野に興味を広げていくことができます。

また、平成16年度からは研究機関の研究者で専攻を組織する、新たな連携大学院方式（連係大学院専攻）もスタートしています。

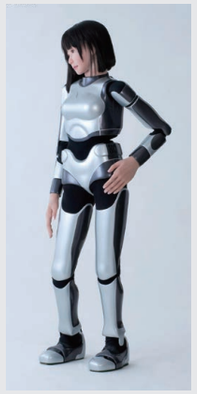
筑波大学の連携大学院は、現在では教授136名、准教授68名、学生定員303名という規模になりました。また、教育研究協力に関する協定を29研究機関と締結しています。



情報棟と第二事業所



集積型フレキシブル CIGS 太陽電池



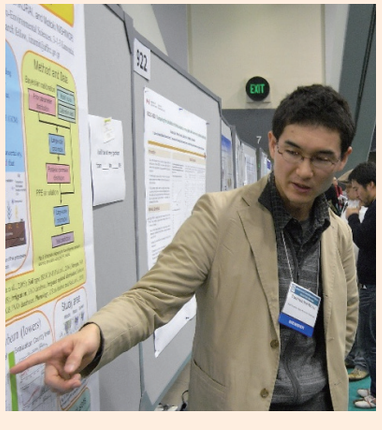
HRP-4C



パロ

（提供：国立研究開発法人 産業技術総合研究所）

先輩からのメッセージ



飯泉　仁之直

（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
農業環境変動研究センター 主任研究員）
生物資源学類、バイオシステム研究科および
生命環境科学研究科地球環境科学専攻を修了

生物資源学類とバイオシステム研究科（修士課程）では主に農業経済学を学びました。都内での就職を経て研究職に就きたいと思うようになり、生命環境科学研究科地球環境科学専攻（博士課程後期）に編入学し、気象学・気候学を新たに学びました。博士課程では気候変化が水稲共済金額に与える影響を評価し、この研究が縁で、現在の職場である農業環境技術研究所に2007年にポスドクとして採用されました。2011年からはテニュアトラックの任期付研究員として世界の作物生産変動予測について研究をしています。博士課程での私の研究分野は農学と気候学の境界領域でしたが、生命環境科学研究科にはその両方の分野の先生方がおられ、大変助かりました。学生時代に研究所でアルバイトができたことも進路を考えるうえで良かったと思います。つくばでは研究所が身近なので、研究職に関心がある方には、学生のうちに研究所でアルバイトしてみることをお勧めします。

連携大学院方式に関係する研究機関

(国)気象研究所
(国)国土技術政策総合研究所
○ 物質・材料研究機構
○ 防災科学技術研究所
○ 国立環境研究所
○ 農業・食品産業技術総合研究機構
○ 森林研究・整備機構
○ 産業技術総合研究所
○ 国際農林水産業研究センター
○ 土木研究所
○ 建築研究所
○ 理化学研究所
○ 宇宙航空研究開発機構
(独)国立科学博物館
アステラス製薬(株)
　つくば研究センター
　つくばバイオ研究センター
日本電気(株)筑波研究所
エーザイ(株)筑波研究所

連携大学院以外の大学院

大学共同利用機関法人**高エネルギー加速器研究機構（総合研究大学院大学）**



(注)(厚)は厚生労働省、(国)は国土交通省、(独)は独立行政法人(そのうち、○は国立研究開発法人)、(公財)は公益財団法人。

進路状況（大学院）

平成28年度修士課程・博士前期課程

研究科	修了者	進学者	うち本学大学院	就職者	就職者の内訳 企業	教員	大学教員	公務員	独法等	就職活動中の者	学振・外部資金研究員等	研究生等	資格・試験等準備他	帰国	職務復帰	その他
教育	79 (27) [1] 〈1〉	1	1	58 (20)	7 (2)	46 (15)		5 (3)		1 (1)			7 (2)	1 (1) [1] (1)	11 (3)	
人文社会科学（修士課程）	39 (19) [33] (16)	7 (4) [6] (4)	6 (4) [6] (4)	9 (6) [5] 〈3〉	8 (5) [5] 〈3〉				1 (1)				2 [1]	13 (7) [13] (7)	8 (2) [8] 〈2〉	
人文社会科学（博士前期課程）	57 (38) [36] (27)	13 (6) [5] 〈2〉	13 (6) [5] 〈2〉	23 (15) [14] 〈11〉	16 (12) [13] 〈10〉	4 (2) [1] 〈1〉		3 (1)		2 (1)			3 (3) [1] 〈1〉	15 (12) [15] 〈12〉	1 (1) [1] 〈1〉	
ビジネス科学（博士前期課程）	57 (11)	4 (1)	4 (1)										2 (1)		51 (9)	
ビジネス科学（専門職学位課程）	31 (9) [1]													1 [1]	30 (9)	
数理物質科学（博士前期課程）	266 (33) [24] 〈3〉	30 (1) [11]	27 (1) [10]	224 (31) [8] 〈2〉	198 (26) [8] 〈2〉	11 (2)		10 (2)	5 (1)	4			3	5 (1) [5] 〈1〉		
システム情報工学（博士前期課程）	455 (71) [102] (33)	35 (5) [11] (2)	34 (5) [11] 〈2〉	379 (57) [67] 〈24〉	371 (53) [66] 〈23〉	1 (1)	1 (1) [1] (1)	4 (2)	2	9 (1)		1	5 (2) [1] 〈1〉	23 (6) [23] (6)	3	
生命環境科学（博士前期課程）	292 (119) [78] (35)	49 (9) [18] (5)	44 (9) [15] 〈5〉	193 (93) [20] 〈14〉	162 (84) [19] 〈13〉	5 (1)		25 (8) [1] 〈1〉	1	3 (1)	1 (1) [1] 〈1〉	2	5 (1) [1] 〈1〉	35 (13) [35] 〈13〉	4 (1) [3] 〈1〉	
人間総合科学（修士課程）	93 (51) [18] 〈13〉	21 (9) [8] 〈5〉	17 (9) [7] 〈5〉	27 (13)	26 (12)			1 (1)		2 (1)		1	7 (5)	10 (8) [10] (8)	24 (15)	1
人間総合科学（博士前期課程）	359 (179) [51] (29)	66 (28) [8] 〈2〉	64 (26) [8] 〈2〉	160 (79) [12] 〈7〉	117 (57) [11] 〈6〉	21 (10) [1] 〈1〉	7 (1)	11 (9)	4 (2)	18 (8)	2 (1)		33 (17) [2] 〈1〉	29 (19) [29] 〈19〉	51 (27)	
図書館情報メディア（博士前期課程）	51 (21) [15] 〈11〉	5 (2) [2] 〈2〉	5 (2) [2] 〈2〉	39 (16) [10] 〈8〉	36 (14) [9] 〈7〉	1 (1) [1] 〈1〉		1	1 (1)	1 (1)			2	3 (1) [3] 〈1〉	1 (1)	
修士合計	1,779 (578) [359] (168)	231 (65) [69] 〈22〉	215 (63) [64] 〈22〉	1,112 (330) [136] (69)	941 (265) [131] (64)	89 (32) [3] 〈3〉	8 (2) [1] 〈1〉	60 (26) [1] 〈1〉	14 (5)	40 (14)	3 (2) [1] 〈1〉	4	69 (31) [6] 〈4〉	135 (68) [135] (68)	184 (68) [12] 〈4〉	1

（注）1　（　）内は女子を内数で示す
[　]は、留学生を内数で示す　〈　〉は留学生のうち女子を内数で示す

平成28年度産業分類別進路状況（修士課程・博士前期課程）

研究科	企業（自営業を含む） 農業	林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業、物品賃貸業	サービス業	小計	教員	公務員 国家公務員（国立大法除）	独立行政法人等	地方公務員	小計	合計
教育研究科						1			1 1			5 1	7 2	46 15	3 1		2 2	5 3	58 20
人間総合科学研究科（修士課程）						13 5			1	1 1		11 6	26 12				1 1	1 1	27 13
人文社会科学研究科（修士課程）			1 1			1 1				1 1		5 2	8 5			1 1		1 1	9 6
人文社会科学研究科（博士前期課程）					1 1	2 2		1 1	1 1			11 7	16 12	4 2	1		2 1	3 1	23 15
ビジネス科学研究科（博士前期課程）																			
数理物質科学研究科（博士前期課程）					1	149 20	4	8 2	2	3 1		31 3	198 26	11 2	5	5 1	5 2	15 3	224 31
システム情報工学研究科（博士前期課程）					16 2	154 11	7	38 6	5	5 1	3	143 33	371 53	2 2		2	4 2	6 2	379 57
生命環境科学研究科（博士前期課程）	1				9 3	87 47	1	2	9 7	3 1		50 26	162 84	5 1	9 4	1	16 4	26 8	193 93
人間総合科学研究科（博士前期課程）	1				5 3	27 13	1 1	6 4	9 4	3	1 1	64 31	117 57	28 11	1	4 2	10 9	15 11	160 79
図書館情報メディア研究科（博士前期課程）						5 3		6			1	24 11	36 14	1 1		1 1	1	2 1	39 16
ビジネス科学研究科（国際経営）																			
修士合計	2		1 1		32 9	439 102	13 1	61 13	28 13	16 5	5 1	344 120	941 265	97 34	19 5	14 5	41 21	74 31	1,112 330

※下段は女子を内数で示す。

平成28年度博士後期課程

研究科	修了者	進学者	うち本学大学院	就職者	就職者の内訳 企業	教員	大学教員	公務員	独法等	就職活動中の者	学振・外部資金研究員等	博士特別研究員	研究生等	資格・試験等準備他	帰国	職務復帰	その他
人文社会科学（一貫制博士課程）	13 (8) [5] 〈3〉			2 (2) [1] 〈1〉			1 (1)		1 (1) [1] 〈1〉			3 (3) [2] 〈2〉		5 (3)	1 [1]	2 [1]	
人文社会科学（博士後期課程）	7 (6) [3] 〈3〉			2 (2)	1 (1)		1 (1)				1			1 (1)	3 (3) [3] 〈3〉		
ビジネス科学（博士後期課程）	5 (1)															5 (1)	
ビジネス科学（専門職学位課程）	27 (6)													3 (1)		24 (5)	
数理物質科学（博士後期課程）	52 (6) [7]			15 (3)	10 (2)	1	2 (1)	1	1		14 (3) [2]	8			4 [4]	11 [1]	
数理物質科学（3年制博士課程）	15 (5) [12] 〈4〉			1	1						12 (3) [10] (2)				2 (2) [2] 〈2〉		
システム情報工学（博士後期課程）	63 (9) [19] 〈7〉			19 (2) [5] 〈2〉	12 (2) [4] 〈2〉	1			6 [1]		7 (1) [6] 〈1〉	5 [1]		1 (1) [1] 〈1〉	4 (2) [4] 〈2〉	26 (3) [2] (1)	1
生命環境科学（一貫制博士課程）	5 (2) [1] 〈1〉			3		1		1	1			1 (1)			1 (1) [1] 〈1〉		
生命環境科学（博士後期課程）	96 (30) [34] (13)			21 (6) [2]	13 (2) [2]		3 (2)		5 (2)	5 (1)	12 (5) [4] 〈2〉	6 (2) [6] 〈2〉			23 (9) [22] 〈9〉	28 (7)	1
生命環境科学（3年制博士課程）	5 (1) [2] 〈1〉														2 (1) [2] 〈1〉	3	
人間総合科学（一貫制博士課程）	57 (16) [8] 〈5〉			27 (5)	23 (4)		1 (1)		3	3 (1)	2	1 (1) [1] (1)	1	1 (1)	7 (4) [7] (4)	15 (4)	
人間総合科学（博士後期課程）	64 (34) [9] (6)			28 (12) [2] 〈2〉	8 (3)	1 (1)	16 (7) [1] 〈1〉	1	2 (1) [1] 〈1〉	4 (4)	6 (2)	9 (5) [5] 〈2〉			2 (2) [2] (2)	15 (9)	
人間総合科学（3年制博士課程）	26 (7) [3]			13 (4) [1]	3 (1)		8 (3)		2 [1]	2 (1)	2	3 (1)			1 [1]	5 (1) [1]	
図書館情報メディア（博士後期課程）	5 (2)			2 (1)			2 (1)					1 (1)				2	
グローバル教育院（一貫制博士課程）	10 (2) [5] (1)			5 (1) [1]	4 [1]		1 (1)				5 (1) [4] (1)						
博士合計	450 (135) [108] (44)			138 (38) [12] 〈5〉	75 (15) [7] 〈2〉	4 (1)	35 (18) [1] (1)	3	21 (4) [4] 〈2〉	14 (7)	61 (15) [26] 〈6〉	37 (14) [15] 〈7〉	1	11 (7) [1] 〈1〉	50 (24) [49] 〈24〉	136 (30) [5] (1)	2

（注）（　）内は女子を内数で示す
[　]は、留学生を内数で示す　〈　〉は留学生のうち女子を内数で示す

平成28年度就職先例

主な就職先企業等名を掲載しています。「株式会社」などの表記をはじめ、企業名を適宜省略しています。

修士課程・博士前期課程

研究科	専攻	就職先例
教育	教科教育、スクールリーダシップ開発	【企業等】ポッカサッポロフード＆ビバレッジ、河合塾マナビス、JP 三越マーチャンダイジング、エン・ジャパン、WRI ソリューション、TDI システムサービス、スプリックス、【教員】茨城県、東京都、千葉県、埼玉県、長野県、秋田県、福井県、北海道、大阪府、愛媛県、栃木県、岐阜県、静岡県、広島県、富山県、横浜市、金沢市、つくば市、高崎市、筑波大学附属中、慶應義塾高、水戸女子高、興南高、樹徳高、常総学院高、中部大学春日丘中・高、長崎南山高、駿河甲府高、東洋大学附属牛久高、日本大学山形高、東京学館高、千葉明徳高、江戸川学園取手中・高、東洋高、山形明正高、開智日本橋学園中、【公務員等】国立教育政策研究所、吉岡町役場、佐賀県庁　など
人文社会科学	国際地域研究、現代語・現代文化、国際公共政策、法学、国際地域研究、国際日本研究	【企業等】イオン銀行、ブレーンバンク、NEC ソリューションイノベータ、FRONTEO、マルハニチロ、シャープ、アビームコンサルティング、フォーバル、富士ソフト、インテリジェンス、インテージテクノスフィア、ミロク情報サービス、日本事務器、日本司法支援センター、朝日新聞社、楽天、富士ソフト、安川電機、CTRIP JAPAN、千駄ヶ谷日本語学校、ノジマ、レクシード、ぜん、【教員】秋田県、関東学園大学附属高、つくば文化学園、【公務員等】愛媛大、航空自衛隊、千葉県庁、流山市役所　など
数理物質科学	数学	【企業等】ユニリタ、日鉄日立システムエンジニアリング、FBS、コムチュア、SMBC 日興証券、ジーダット、中央コンピュータシステム、TKC、住友生命保険相互会社、ANA Cargo、NTT 研究所、キヤノン IT ソリューションズ、【教員】栃木県、茨城県、樹徳高、麗澤中・高、【公務員等】つくば市役所　など
	物理学	【企業等】日本電気航空宇宙システム、日本経済広告社、日置電機、オリンパス、ソニーセミコンダクタ、大陽日酸、日本電気計器検定所、トプコン、クイック、エヌアイディ、菱友システムズ、ニッセイ情報テクノロジー、レジェンド・アプリケーションズ、新光電子つくば事業所、キヤノン、ソニー、ダイハツ工業、ミツミ電機、C Channel 、中国電力、三菱東京 UFJ 銀行、ヤマハ、JR 東日本、パイオニア、ソニービジネスソリューション、アシックス、富士電機、三菱スペース・ソフトウエア、日産自動車、太陽誘電、サン・エム・システム、アルバック・クライオ、野村総合研究所、JX 日鉱日石エネルギー、本田技研工業、ソディック、日本電気、日立製作所、【教員】群馬県、茨城県、埼玉県、常総学院高、水戸葵陵高、【公務員等】特許庁、気象庁、国土地理院、量子科学技術研究開発機構、日本原子力研究開発機構、高エネルギー加速器研究機構、皇宮警察本部　など
	化学	【企業等】味の素ファインテクノ、信越化学工業、リンテック、日本カーバイド工業、東京パワーテクノロジー、日油、日本曹達、内藤環境管理、材料科学技術振興財団、ブリヂストン、大陽日酸、荒川化学工業、大日本塗料、ニチレイ、電気化学工業、ルネサスエレクトロニクス、デンソー、丸善出版、資生堂、日本重化学工業、日産化学工業、興国インテック、スリーボンド、住友ゴム工業、大協精工、日本光電工業、旭化成、ディーエイチシー、藤森工業、DIC、【教員】茨城県、【公務員等】警視庁、群馬大、日本原子力研究開発機構　など
	電子・物理工学	【企業等】日立製作所、スタンレー電気、JR 東日本、JR 東海、東京エレクトロングループ、三菱電機、三菱電機エンジニアリング、シチズン時計、双日、古河電気工業、トプコン、日本自動車研究所、住友重機械工業、東芝メディカルシステムズ、トヨタ自動車、ソニー、サンケン電気、花王、ダイテックグループ、NHK、日本ガイシ、いすゞ自動車、潤工社、ジーテクト、アップ、ボッシュ、日本たばこ産業、シャープ、日本サイプレス、ワークスアプリケーションズ、日清食品ホールディングス、富士電機、矢崎総業、新陽社、ルネサスエレクトロニクス、新日鉄住金エンジニアリング、安川情報システム、日立化成、レノボ・ジャパン、レシップホールディングス、横河電機、本田技研工業、村田製作所、北陸電力、ミツカングループ、アイベックステクノロジー 、小松製作所、ミツトヨ、三菱重工業、明治グループ、【公務員等】茨城県警察本部　など
	物性・分子工学	【企業等】デンソー、花王、三菱マテリアル、NOK、横河メータ＆インスツルメンツ、日立製作所、丸善石油化学、TDK、ルネサスセミコンダクタ マニュファクチュアリング、NEC トーキン、日本精機、三葉製作所、YKK、デンカ生研、住友化学、三菱電機、キヤノン、ソニー・LSI・デザイン、ツムラ、東洋紡、日油、アズビル、リケン、マツダ、ソニー、ニプロ、帝人ファーマ、三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所、日本ガイシ、ローツェ、能美防災、飯塚鉄工所、日立国際電気、三菱日立パワーシステムズ、旭硝子、コニカミノルタ、石原産業、クアーズテック、NTT ドコモ、コンチネンタル・オートモーティブ、オージス総研、渡辺電機工業、VSN、浜松ホトニクス、JX 日鉱日石金属、天昇電気工業、ヒロセ電機、日東金属工業、フジクラ、信越ポリマー、ミツトヨ、【公務員等】東京都庁、埼玉県庁　など

研究科	専攻	就職先例
システム情報工学	社会システム工学、リスク工学	【企業等】日本臓器製薬、富士ゼロックス、富士通システムズ・イースト、小松製作所、日本アイ・ビー・エム、東芝プラントシステム、日本航空、日本ユニシス、みずほ情報総研、マツダ、トヨタ自動車、浩野、昭和シェル石油、JR 東海、パイオニア、三菱日立パワーシステムズ、住友商事、富士通、インターネットイニシアティブ、日産自動車、NTT ドコモ、NTT ファシリティーズ、清水建設、本田技研工業、富士通研究所　など
	コンピュータサイエンス	【企業等】ヤフー、サイボウズ、リクルートホールディングス、富士通、リコー、シャープ、パイオニア、NTT コミュニケーションズグループ、フューチャーアーキテクト、ワークスアプリケーションズ、キヤノン、サイバーエージェント、NTT データ、富士ゼロックス、日立製作所、京セラ、エージェント、エーピーコミュニケーションズ、マーベラス、富士通ソフトウェアテクノロジーズ本社、日立パワーソリューションズ、日本電気、三菱電機インフォメーションネットワーク、NTT 東日本、フロム・ソフトウェア、IDC フロンティア、大日本印刷、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、本田技研科技有限公司、NTT コムウェア、ソニー、日本ユニシス、システムサポート、ソニー・LSI・デザイン、リクルートマーケティングパートナーズ、日立ソリューションズ、数理計画、IHI、エキサイト、三菱電機、ソフトバンク・テクノロジー、ドワンゴ、凸版印刷、ソニー・コンピュータエンタテインメント、セプテーニ・ホールディングス、コナミデジタルエンタテインメント、サイバーダイン、新日鉄住金ソリューションズ、グリー、スタンレー電気、VOYAGE GROUP、ジーシーシー、日本サイプレス、ジェイテクト、フリークアウト、フィックスターズ、ノジマ、日本電気通信システム、アニメイトラボ、日本総合システム、デンソー、インターネットイニシアティブ、ソフトバンクグループ、ボルテージ、オロ、NTT ドコモ、コロプラ、セルシス、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、エクステージ、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー、オプティム、ピクシブ、レシップホールディングス、日本電機、住友電気工業、KDDI、本田技研工業、NTT 研究所、伊藤忠テクノソリューションズ、システムインテグレータ、ルネサスシステムデザイン、インテリジェンスビジネスソリューションズ　など
	知能機能システム	【企業等】本田技研工業、キヤノン、パナソニック、日立製作所、小松製作所、ソフトバンク、リコー、デンソー、オリンパス、ファナック、京セラ、楽天、Rapyuta Robotics 、日本総合研究所、パナソニックシステムネットワークス開発研究所、リンクス、東京電力、テラテクノロジー、博報堂 DY デジタル、トプコン、JR システム、富士通テン、ミズノ、NTT データ、アルプス技研、ソニー、日本ビジネスシステムズ、華為技術日本、三菱電機、住友重機械工業、ナリス化粧品、成田国際空港、日立オートモティブシステムズ、トヨタ自動車、日立ハイシステム 21、リブセンス、JR 東日本、スクウェア・エニックス、三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所、ヤマハ、豊田自動織機、オリエンタルランド、クックパッド、アイヴィス、ディー・エヌ・エー、ミクシィ、新日鉄住金ソリューションズ、昭和電工、日産自動車、Goertek、モリタホールディングス、NTT ドコモ、フリービット、TIS、小森コーポレーション、NTT コミュニケーションズグループ、東芝三菱電機産業システム、任天堂、日立産業制御ソリューションズ、日鉄住金テックスエンジ、ヤマハ発動機、三菱電機メカトロニクスソフトウエア、総合車両製作所、日本光電工業、KDDI、ぐるなび、農中情報システム、フューチャーアーキテクト、【公務員等】東京都庁　など
	構造エネルギー工学	【企業等】日産自動車、IHI、電源開発、日立化成、日立製作所、川崎重工業、小松製作所、富士重工業、富士通、JFE スチール、トヨタ自動車、IHI インフラシステム、成田国際空港、三菱ケミカルホールディングス、ソニー、東京ガス、リンクス、ブリヂストン、マツダ、宇宙技術開発、豊田自動織機、中国電力、JR 東日本、JR 東海、電力中央研究所、アドバンテスト、オリエンタルランド、阪急電鉄、ドコモ・システムズ、デンソー、明星電気、大林組、NTT ドコモ、日本工営、NIPPO、LIXIL、坂本工業、JX 日鉱日石エネルギー、パナソニック、三菱電機自動車機器、日本構造エンジニアリング、中国中鉄二院工程集団有限責任公司、東京地下鉄、日本光電工業、ヤマハ発動機、サンデン、竹中土木、本田技研工業、東レ、アイシン精機、ミツバ、大成建設、日揮、NTT 東日本、TOTO、鴻池組、中部電力、新日鐵住金、東京電力、日本サムスン、日置電機、【公務員等】鉄道建設・運輸施設整備支援機構、宇宙航空研究開発機構　など
	社会工学	【企業等】日本アイ・ビー・エム、清水建設、大和総研ホールディングス、JR 東日本メカトロニクス、ハイシンクジャパン、みずほ情報総研、中央復建コンサルタンツ、昭和、三井住友信託銀行、CBRE、日本アイ・ビー・エム・ビズインテック、NTT データ、森トラスト・ホテルズ＆リゾーツ、利達ソフト、東京急行電鉄、NTT コムウェア、パシフィックコンサルタンツ、国際航業、JFE システムズ、TOKYO PLENZA、中国連合通信有限公司、ソニー、ビジネスコンサルタント、地域ブランディング研究所、東日本旅客鉄道（JR 東日本）、インフォメーション・ディベロプメント、第一生命保険、建設技術研究所、日建設計、マクロミル、コニカミノルタ、ワークスアプリケーションズ、DATUM STUDIO、キヤノン IT ソリューションズ、東日本高速道路、パイオニア、NTT ドコモ、ヴァリューズ、フージャースコーポレーション、ISID アドバンストアウトソーシング、efx.com 証券、日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ、パクテラ・テクノロジー・ジャパン、NTT ファシリティーズ、マヌ都市建築研究所、富士フイルム、豊田通商、TIS、NTT コミュニケーションズグループ、リクルートキャリア、NIPPO、ヴイエムウェア 東京オフィス、大成建設、JBS ホールディングス、ユニアデックス、ソルト、商工組合中央金庫、日立製作所、フューチャーアーキテクト、名古屋鉄道、三菱重工業、アサツーディ・ケイ、ジュピターテレコム、三菱総研 DCS、ワークスアプリケーションズ、アシックス、LIXIL、野村総合研究所、キヤノン、【教員】西華師範大、東洋女子高、【公務員等】横浜市役所、茨城県庁、東京都庁　など

研究科	専攻	就職先例
生命環境科学	生物科学	【企業等】武田薬品工業、テクノプロ、三井農林、キヤノン、片山化学工業研究所、日本年金機構、日立システムズパワーサービス、サクセスホールディングス、エヌシーアイ総合システム、参天製薬、コンチネンタル・オートモーティブ、富士通、トキワ、日本製粉、マニー、浜島書店、doubLe、NRI システムテクノ、【教員】富山県、千葉県、大成女子高、【公務員等】秋田県立大、静岡県庁、愛媛県庁　など
	生物資源科学	【企業等】日本製紙、第一三共、アステラス製薬、日本曹達、ファンケル、日本電気、IDAJ、P＆G、永谷園、昭和産業、協和発酵キリン、フマキラー、岩城製薬、グレープストーン、ケンコーマヨネーズ、日本カーバイド工業、シンジェンタジャパン、ヤクルト本社、クレオ、タカラスタンダード、ハウス食品、ポッカサッポロフード＆ビバレッジ、ヤマサ醤油、シチズン時計、日清製粉グループ、エネルギー・エージェンシーふくしま、東ソー、アメフレック、ソニー、丸大食品本社、材料科学技術振興財団、MC フードスペシャリティーズ、月島機械、ニチレイバイオサイエンス、ミルボン、ミニストップ、宇宙技術開発、キリン、中外臨床研究センター、倉敷紡績、ダイキン工業、いつでん、ソニー銀行、山崎食品、東京精密、JNC、イー・アール・エム日本、花王、サリックス・マーチャンダイズ・システムズ、富士テクニカルリサーチ、日清食品ホールディングス、合同会社野畑ファーム、日鉄住金環境、日本たばこ産業、イオンリテール、ヤンマー、フレンテ、エバラ食品工業、ジーピーエス、シーボン、プレック研究所、大林組、テーブルマーク、富士通、常光、味の素、日本技術貿易、JSP、医療システム研究所、江崎グリコ、東洋インキ SC ホールディングス、野口リゾートマネジメント、田辺三菱製薬、日立ハイテクノロジーズ、誠和　本社、旭化成ファーマ、ハスクバーナ・ゼノア、ADEKA、NEC ソリューションイノベータ、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ、【教員】鳳凰高、【公務員等】農林水産省、文部科学省、国税庁、関東信越国税局、茨城県庁、東京都庁、埼玉県庁、広島県庁、水資源機構　など
	地球科学	【企業等】大東建託、NEC ソリューションイノベータ、二宮書店、北陽建設、地質基礎工業、ナビタイムジャパン、日本航空、TOKAI コミュニケーションズ、パシフィックコンサルタンツ、マツダ、旭化成アミダス、日立公共システム、ピーアップ、東京建設コンサルタント、エイム 、松田産業、日本工営、山口県農業共済組合、九州経済調査協会、アルパイン情報システム、竹中工務店、遠藤インターナショナル、八千代エンジニヤリング、テラテクノロジー、【教員】海城中・高、【公務員等】気象庁、東京都庁、宮崎県庁、帯広市立図書館　など
	環境科学	【企業等】三機工業、太平洋セメント、構造計画研究所、日本アイ・ビー・エム、日本コントロールシステム、ピーエスシー、日比谷アメニス、日本製紙、日本水工設計、 JTB 情報システム、東京パワーテクノロジー、TOTO エムテック、ジョンソンコントロールズ、アルプス技研、六花亭製菓、IHI、神鋼物流、キャスレーコンサルティング、エイツーヘルスケア、キリン、日立キャピタル、大塚製薬、NTT データ CCS、建設技術研究所、水道機工、ヒゲタ醤油、JX 日鉱日石エネルギー、オリエンタルコンサルタンツグローバル、三菱商事、新晃工業、富士通フロンテック、伊藤忠テクノソリューションズ、TDK、【公務員等】農林水産省　林野庁、東京都庁、つくば市役所、スリランカ政府　など
人間総合科学	看護科学	【企業等】東京女子医科大病院、つくばセントラル病院、聖マリアンナ医科大横浜市西部病院、昭和大附属病院、医療法人社団五風会　さっぽろ香雪病院、【教員】東京情報大　など
	芸術	【企業等】電通、神戸市民文化振興財団、ロータス、日建設計コンストラクション・マネジメント、ニューヨーカー、イング、ネクスト、平成建設、JR 東日本、ティーピーリンクジャパン、T&K TOKA、セントランス、アスティア、日立コンサルティング、YKK AP、パナソニックアプライアンス社、岡村製作所、世界堂、NetEase Games、ハルヤマ研磨工業、ミサワホーム中国、【教員】横浜美術大、【公務員等】都市再生機構、佐久市役所　など
	世界遺産	【企業等】福島県文化振興財団、ホームロジスティクス、神鋼物流、北条工務店、オリエンタルコンサルタンツ、ショーワグローブ、エジソン、【公務員等】東北歴史博物館、大磯町役場　など
	教育学、心理、障害科学	【企業等】信濃毎日新聞、大洋社、至空会、けやきの郷、インテリジェンス、本田技研工業、レオパレス 21、トランスコスモス、照桑福祉会、LITALICO、インテージ、八十二銀行、品川心療内科、下館病院・しもだてメディカルポート、【教員】東京都公立特別支援学校、静岡県立藤枝特別支援学校焼津分校、千葉県館山市立第二中学校、筑波大学附属視覚特別支援学校、横浜市公立中学・高等学校、神奈川県立中原養護学校、【公務員等】高齢・障害・求職者雇用支援機構、東京都庁、守谷市役所、下妻市役所、横浜市こども青少年局青少年相談センター、千曲市役所　など
	感性認知脳科学	【企業等】オリンパス、アイドゥー、日本クレア、サイトサポート・インスティテュート、三菱自動車工業、Kaien、【公務員等】国立天文台　など
	体育学	【企業等】ミズノ、アレナトーレ、イトマンスイミングスクール、シスメックス、日本空港ビルデング、学校法人山梨学院、関彰商事、塩野香料、ベンダーサービス、農業生産法人耕す、しんかま駅前整形外科、JFE 商事、サイバーエージェント、滋賀銀行、クロス・マーケティンググループ、卑弥呼、日本ビソー、産経新聞社、綜合警備保障、日本食品分析センター、ツムラ、マツダ、ヨネックス、三越伊勢丹、ナガセ、ダイハツ工業、花王、セントラルスポーツ、スコットランドナショナル柔道チーム、アビームコンサルティング、一般財団法人　電力中央研究所、三菱東京 UFJ 銀行、JR 東日本、日本体育協会、カーブスジャパン、いきいき整形外科、レノファ山口、松本山雅、コネクシオ、アシックス、公益財団法人　日本サッカー協会、訪問看護ステーションつくば、かがわ総合リハビリテーション事業団、シミック、GWC、ホリプロ、ネットリンクス、横浜市体育協会、ドーム、ジャパン・リニューアブル・エナジー、東電通、ヴィエムウェア、つくば FC、ANA エアポートサービス、アルボラーダ、日本レストランエンタプライズ、ゼロイン、星野リゾート・マネジメント、三信電気、【教員】茨城県、滋賀県、大阪府、広島県、福岡県、香里ヌヴェール学院小、浅野中・高、茗溪学園中・高、日本大学中・高、大成女子高、茨城県立医療大、流通経済大、聖徳大、岐阜聖徳学園大、高松大学、東葉高等、【公務員等】筑波技術大、横浜市役所、海上自衛隊　など
	フロンティア医科学	【企業等】シミック、メディサイエンスプラニング、武蔵野、キッセイ薬品工業、中外医科学研究所、エスフーズ、伊藤忠ケミカルフロンティア、三菱マテリアル、フクダ電子、データフォーシーズ、イーピーエス、NTT コム ソリューションズ、明星食品、中外製薬、大塚製薬工場、新日本科学 PPD、群馬銀行、筑波大学附属病院、アボットジャパン、浜松ホトニクス、あいち小児保健医療総合センター、アンテスグループ、コスモ・バイオ、ノボノルディスクファーマ、【公務員等】渋谷区役所　など

研究科	専攻	就職先例
図書館情報メディア	図書館情報メディア	【企業等】アピリッツ、大和総研ホールディングス、日本アイ・ビー・エム、チームラボ、NTT コミュニケーションズ、大日本印刷、NTT データ、KDDI、日立ソリューションズ、東京サウンドプロダクション、思学舎、ソフトバンク・テクノロジー、U-NEXT、NHK アート、日本電子計算、東和システム、USEN、日本農業新聞、日立公共システム、富士通ビー・エス・シー、富士ソフト、日本電気通信システム、野村不動産、日本テラデータ、富士通、岡村製作所、任天堂、NTT データシステム技術、LINE、リクルートホールディングス、インテージテクノスフィア、ヒューマンリソシア、ぐるなび、ハイテクシステム、BookLive、楽天、【教員】つくばインターナショナルスクール、【公務員等】農業・食品産業技術総合研究機構、小美玉市役所　など

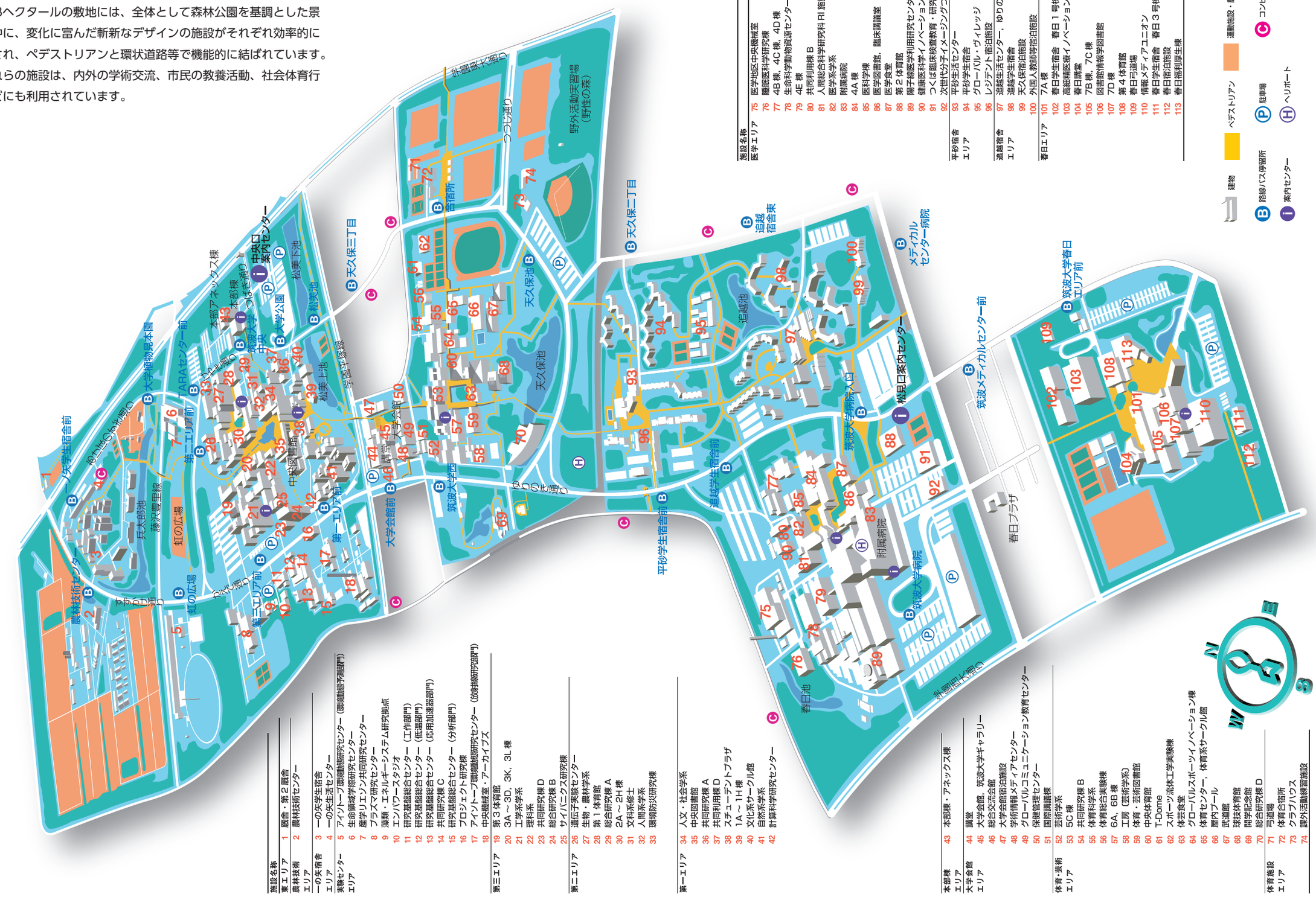
博士後期課程・一貫制博士課程・３年制博士課程

人文社会科学研究科		【企業等】ベネッセコーポレーション、【教員】山口県立大、滋賀大、【公務員等】日本学術振興会　など
生命環境科学研究科		【企業等】三菱製紙、思学舎、テクノスルガ・ラボ、タキイ種苗、グッドマン、AJS、大原薬品工業、テルモ、住友重機械工業、アステラス製薬、第一設備工業、アドバンス、テクノプロ【教員】東京大、東北大、宇都宮大、慶應義塾大、東邦中・高、【公務員等】産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、国際農林水産業研究センター、森林総合研究所、茨城県霞ケ浦環境科学センター　など
数理物質科学研究科		【企業等】東京理科大、NTT データ、テクノプロ、旭ダイヤモンド工業、マテリアル、旭硝子、東芝研究開発センター、高度情報科学技術研究機構、とめ研究所、日本ゼオン、テルモ、【教員】島根大、流通科学大、茨城県、【公務員等】防衛装備庁、産業技術総合研究所　など
システム情報工学研究科		【企業等】電力中央研究所、ヤフー、日本電気、チームラボ、富士通研究所、Rolls-Royce@NTU Corporete Lab、自然科学研究機構核融合科学研究所、東芝メディカルシステムズ、サイバーダイン、スクウェア・エニックス、放送衛星システム、【教員】小山工業高専、【公務員等】産業技術総合研究所、日本原子力研究開発機構、土木研究所、産業技術総合研究所　など
図書館情報メディア研究科		【教員】千葉大、三重大　など
グローバル教育院		【企業等】花王、マツダ、島津製作所、NEC 中央研究所、【教員】岐阜大　など
人間総合科学研究科	ヒューマン・ケア科学専攻、スポーツ医学専攻、コーチング学専攻、体育科学専攻、看護科学専攻	【企業】八郷病院、介護老人保健施設ごぎょうの里、東京海上日動火災保険、日立製作所、アスタリール、体力医学研究所、茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター、【教員】東京大、岐阜大、福岡大、埼玉大、名桜大、法政大、武蔵野大、目白大、立命館大、東京有明医療大、つくば国際大、帝京大、植草学園大、【公務員等】日本学術振興会、京都大、名古屋市役所、日本スポーツ振興センター　など
	生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻	【企業等】筑波大附属病院、近畿大医学部附属病院、熊本大医学部附属病院、第一三共、北九州市立八幡病院、ノバルティスファーマ、霞ヶ浦医療センター、ひたちなか総合病院、日立製作所日立総合病院、横浜労災病院、国立循環器病研究センター、つくばトータルヘルスプラザ、つるみ矯正歯科、聖隷佐倉市民病院、茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター、県西総合病院、茨城西南医療センター病院、高萩協同病院、【教員】埼玉県立大、【公務員等】国立国際医療研究センター研究所、筑波大　など
	芸術専攻、教育基礎学専攻、学校教育学専攻、心理学専攻、障害科学専攻	【企業】江戸東京博物館、KDDI 総合研究所、エー・イー・企画、【教員】筑波大、金沢大、玉川大、愛知教育大、福山市立大、帝京科学大、東京成徳大、東北師範大、八千代高、【公務員等】日本学生支援機構

キャンパスマップ

258ヘクタールの敷地には、全体として森林公園を基調とした景観の中に、変化に富んだ斬新なデザインの施設がそれぞれ効率的に配置され、ペデストリアンと環状道路等で機能的に結ばれています。

これらの施設は、内外の学術交流、市民の教養活動、社会体育行事などにも利用されています。



施設名称		
医学エリア	75	医学地区中央機械室
	76	睡眠医科学研究棟
	77	4B 棟，4C 棟，4D 棟
	78	生命科学動物資源センター
	79	4E 棟
	80	共同利用棟 B
	81	人間総合科学研究科 RI 施設
	82	医学系学系
	83	附属病院
	84	4A 棟
	85	医科学棟
	86	医学図書館，臨床講義室
	87	医学食堂
	88	第２体育館
	89	陽子線医学利用研究センター
	90	健康医科学イノベーション棟
	91	つくば臨床検査教育・研究センター
	92	次世代分子イメージングつくば画像検査センター
平砂宿舎エリア	93	平砂生活センター
	94	平砂学生宿舎
	95	グローバル・ヴィレッジ
	96	レジデント宿泊施設
追越宿舎エリア	97	追越生活センター，ゆりのき保育所
	98	追越学生宿舎
	99	天久保宿泊施設
	100	外国人教師等宿泊施設
春日エリア	101	7A 棟
	102	春日学生宿舎　春日１号棟，春日２号棟
	103	高細精医療イノベーション棟
	104	春日講堂
	105	7B 棟，7C 棟
	106	図書館情報学図書館
	107	7D 棟
	108	第４体育館
	109	春日弓道場
	110	情報メディアユニオン
	111	春日学生宿舎　春日３号棟
	112	春日宿泊施設
	113	春日福利厚生棟

建物　ペデストリアン　運動施設・農場　緑地

B 路線バス停留所　P 駐車場　C コンビニエンス・ストア

i 案内センター　H ヘリポート

施設名称		
第二エリア	1	厩舎・第２厩舎
農林技術エリア	2	農林技術センター
一の矢宿舎エリア	3	一の矢学生宿舎
	4	一の矢生活センター
実験センター	5	アイソトープ環境動態研究センター（環境動態予測部門）
エリア	6	生命領域学際研究センター
	7	産学リエゾン共同研究センター
	8	プラズマ研究センター
	9	藻類・エネルギーシステム研究拠点
	10	エンパワースタジオ
	11	研究基盤総合センター（工作部門）
	12	研究基盤総合センター（低温部門）
	13	研究基盤総合センター（応用加速器部門）
	14	共同研究棟 C
	15	研究基盤総合センター（分析部門）
	16	プロジェクト研究棟
	17	アイソトープ環境動態研究センター（放射線研究部門）
	18	中央機械室・アーカイブズ
第三エリア	19	第３体育館
	20	3A ～ 3D，3K，3L 棟
	21	工学系学系
	22	理科系
	23	共同研究棟 D
	24	総合研究棟 B
	25	サイバニクス研究棟
第二エリア	26	遺伝子実験センター
	27	生物・農林学系
	28	第１体育館
	29	総合研究棟 A
	30	2A ～ 2H 棟
	31	文科系修士
	32	人間系学系
	33	環境防災研究棟
第一エリア	34	人文・社会学系
	35	中央図書館
	36	共同研究棟 A
	37	共同利用棟 D
	38	スチューデントプラザ
	39	1A ～ 1H 棟
	40	文化系サークル館
	41	自然系学系
	42	計算科学研究センター

施設名称		
本部棟・アネックス棟エリア	43	本部棟・アネックス棟
大学会館エリア	44	講堂
	45	大学会館，筑波大学ギャラリー
	46	総合交流会館
	47	大学会館宿泊施設
	48	学術情報メディアセンター
	49	グローバルコミュニケーション教育センター
	50	保健管理センター
	51	国際講義棟
体育・芸術エリア	52	芸術学系
	53	5C 棟
	54	共同研究棟 B
	55	体育科学系
	56	体育総合実験棟
	57	6A，6B 棟
	58	工房（芸術学系）
	59	体育・芸術図書館
	60	中央体育館
	61	T-Dome
	62	スポーツ流体工学実験棟
	63	体芸食堂
	64	グローバルスポーツイノベーション棟
	65	体育センター，体育系サークル館
	66	屋内プール
	67	武道館
	68	球技体育館
	69	開学記念館
	70	総合研究棟 D
体育施設エリア	71	弓道場
	72	体育合宿所
	73	クラブハウス
	74	課外活動練習施設

共同利用施設

研究・教育活動に必要な大型、あるいは特殊な施設・設備の共同利用や、教職員、学生に対する各種の研究・教育上のサービスの提供などを目的として、共同利用施設を設置しています。

全国共同教育研究施設

計算科学研究センター (p.6)

下田臨海実験センター

伊豆半島の先端下田の豊富な生物環境を利用して海洋生物学と関連する分野の基礎研究・応用研究を推進することにより、海洋生物の細胞機能、発生、多様性、行動、進化、生態、ならびに海洋環境、地球環境と生物の関わりを解明しています。



つくば機能植物イノベーション研究センター

食料・生物資源の安定的な確保に向けた植物バイオテクノロジーと遺伝資源保全利用を基調とした基盤的遺伝子研究から生産・流通を見据えた応用的研究並びに研究成果を活用したイノベーションの創出支援と教育への展開に寄与することを目的とする研究教育を行っています。



プラズマ研究センター

プラズマ物理学及びその応用、特に電位・電場によるプラズマ閉じ込めの向上並びにプラズマの高性能化に関する研究・教育及び機器改善・開発等、核融合実用を目指す学術研究を行っています。



研究基盤総合センター

生命領域学際研究センター(TARA)
グローバルコミュニケーション教育センター
体育センター
生命科学動物資源センター
山岳科学センター
大学研究センター
陽子線医学利用研究センター
アドミッションセンター
教育開発国際協力研究センター
知的コミュニティ基盤研究センター
学際物質科学研究センター(TIMS)
特別支援教育研究センター
北アフリカ研究センター
学術情報メディアセンター
研究基盤総合センター
アイソトープ環境動態研究センター
つくば臨床医学研究開発機構
サイバニクス研究センター(p.4)
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター
つくばスポーツ医学・健康科学センター
保健管理センター
理療科教員養成施設
心理・心身障害教育相談室（筑波キャンパス）
心理・発達教育相談室（東京キャンパス）
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
人工知能科学センター
トランスボーダー医学研究センター

大学会館

大学会館は、本学の職員及び学生の教養を深め、相互の親密なる交流の場として機能するとともに、内外の大学その他の研究機関及び地域社会等との交流に供すること等により、学問の進展及び地域文化の向上に寄与することを目的としています。主な施設として、講堂、大学ギャラリー、会議室、レストラン、旅行代理店、郵便局、売店等があります。

◆筑波大学ギャラリー

筑波大学ギャラリーは、筑波大学の歴史的資料や芸術作品等を展示し、広く社会に向けた情報発信をするために整備された展示施設です。このギャラリーには、朝永振一郎博士、白川英樹博士及び江崎玲於奈博士のノーベル賞受賞者記念の展示、オリンピックで活躍した選手をはじめとする体育・スポーツの展示、歴史と伝統のある附属学校の展示、石井昭氏から寄贈された美術品を展示しています。



◆筑波大学アートスペース

筑波大学アートスペースは、筑波大学で育まれた豊かな感性と知性、崇高な創造の発表の場として、また、国内外の優れた作品や茨城の郷土の作家たちの作品を紹介しております。



総合交流会館

総合交流会館は、平成15年の本学開学30周年（創基131年）を記念し、「人」と「情報」の交流拠点として国際交流、国内交流、地域交流、同窓交流、学内交流という5つの交流に資するために寄附事業により建設されました。大学会館とその周辺の既存施設や環境も取り込みながら、大学と社会とを結ぶ表玄関となる魅力的なゾーン形成がされています。主な施設として、多目的ホール、マルチメディアルーム、同窓交流室、ラウンジ等があります。



研修施設

ゼミや合宿などに利用できる研修施設が学内外にあります。

学内：開学記念館

学外：山中共同研修所（山梨県山中湖村）
館山研修所（千葉県館山市）



筑波大学データ

平成29年度都道府県別入学者数

都道府県	入学者数	男	女
北海道	48	29	19
青森県	23	7	16
岩手県	18	14	4
宮城県	19	11	8
秋田県	13	9	4
山形県	12	10	2
福島県	42	24	18
茨城県	347	198	149
栃木県	58	36	22
群馬県	76	47	29
埼玉県	182	132	50
千葉県	187	114	73
東京都	296	176	120
神奈川県	113	71	42
新潟県	40	26	14
富山県	18	12	6
石川県	22	16	6
福井県	13	9	4
山梨県	16	12	4
長野県	52	35	17
岐阜県	21	15	6
静岡県	73	51	22
愛知県	78	49	29
三重県	15	6	9
滋賀県	9	8	1
京都府	17	14	3
大阪府	40	24	16
兵庫県	28	19	9
奈良県	20	11	9
和歌山県	4	1	3
鳥取県	3	1	2
島根県	4	3	1
岡山県	21	13	8
広島県	29	14	15
山口県	14	10	4
徳島県	4	2	2
香川県	13	9	4
愛媛県	25	13	12
高知県	4	0	4
福岡県	40	27	13
佐賀県	11	6	5
長崎県	16	10	6
熊本県	19	10	9
大分県	15	10	5
宮崎県	16	9	7
鹿児島県	13	9	4
沖縄県	24	14	10
高校卒業程度認定試験	2	1	1
外国の学校等	42	24	18
文部科学大臣の指定した者	1	0	1
在外教育施設	1	0	1
計	2,217	1,371	846

※出身高校等の所在都道府県別の入学者数を表す。

教員数　平成29年5月1日現在

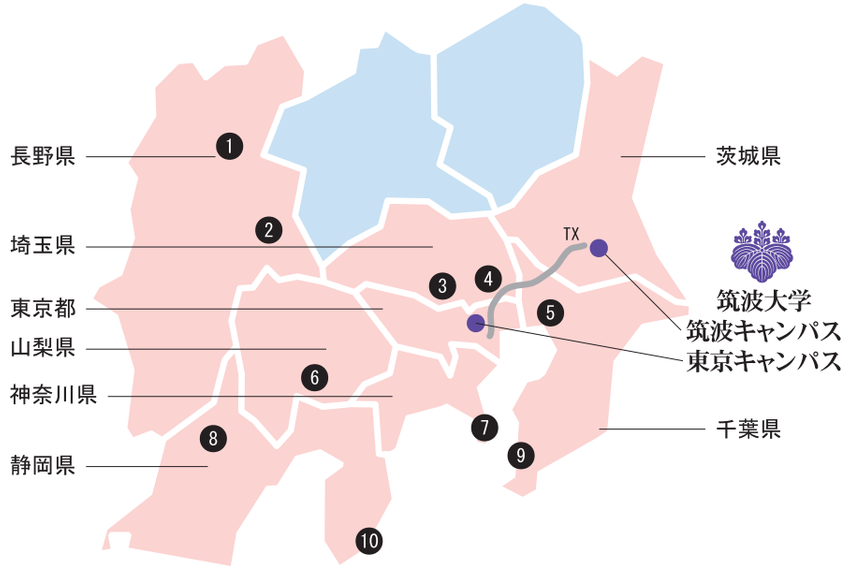
区分	現員						
	学長・副学長 専任の部局長等	教授	准教授	講師	助教	助手	計
系・重点研究センターに属さない教員	14	19	16	0	17	0	66
人文社会系	1	93	90	4	39	0	227
ビジネスサイエンス系	1	29	22	1	2	0	55
数理物質系	1	65	66	30	55	0	217
システム情報系	1	71	74	6	44	0	196
生命環境系	1	82	75	16	77	0	251
人間系	1	50	34	5	22	0	112
体育系	1	41	44	2	38	0	126
芸術系	1	23	20	0	13	0	57
医学医療系	1	114	101	167	88	1	472
図書館情報メディア系	1	23	20	5	13	0	62
計算科学研究センター	0	14	9	3	11	0	37
生命領域学際研究センター	0	5	0	4	9	0	18
大学教員計	24	629	571	243	428	1	1,896

学生数　平成29年5月1日現在

学類・専門学群	1年	2年	3年	4年	5年	6年
人文学類	127 (60)	129 (73)	118 (51)	165 (79)		
比較文化学類	83 (54)	90 (62)	84 (50)	108 (69)		
日本語・日本文化学類	48 (37)	44 (34)	45 (30)	57 (41)		
社会学類	94 (35)	95 (32)	99 (41)	124 (44)		
国際総合学類	102 (56)	91 (49)	99 (59)	132 (71)		
教育学類	36 (10)	37 (19)	36 (15)	47 (16)		
心理学類	55 (35)	51 (30)	56 (37)	65 (30)		
障害科学類	38 (29)	37 (24)	38 (28)	39 (33)		
生物学類	100 (44)	96 (49)	100 (43)	106 (50)		
生物資源学類	151 (72)	147 (86)	142 (75)	163 (76)		
地球学類	56 (17)	56 (17)	57 (15)	68 (28)		
数学類	42 (5)	41 (6)	40 (4)	48 (2)		
物理学類	63 (7)	66 (6)	65 (7)	76 (7)		
化学類	52 (12)	53 (18)	55 (13)	56 (9)		
応用理工学類	128 (12)	128 (21)	137 (16)	157 (20)		
工学システム学類	139 (13)	133 (14)	142 (12)	169 (19)		
社会工学類	126 (22)	124 (31)	126 (26)	155 (32)		
情報科学類	86 (14)	84 (8)	106 (7)	134 (9)		
情報メディア創成学類	55 (12)	55 (20)	67 (15)	83 (16)		
知識情報・図書館学類	107 (50)	103 (65)	120 (66)	137 (69)		
医学類	138 (53)	142 (55)	133 (50)	126 (37)	118 (45)	138 (41)
看護学類	72 (68)	71 (70)	80 (80)	88 (80)		
医療科学類	38 (23)	39 (29)	45 (28)	47 (33)		
体育専門学群	247 (64)	255 (76)	254 (86)	276 (77)		
芸術専門学群	109 (91)	111 (88)	107 (83)	141 (111)		
合計	2,292(895)	2,278(982)	2,351(937)	2,767(1,058)	118 (45)	138 (41)

※（ ）は女子数を表す。

キャンパス等所在地



東京キャンパス

附属学校教育局	Ⓐ
大学研究センター	〃
特別支援教育研究センター	〃
社会人大学院（夜間）	〃
理療科教員養成施設	〃

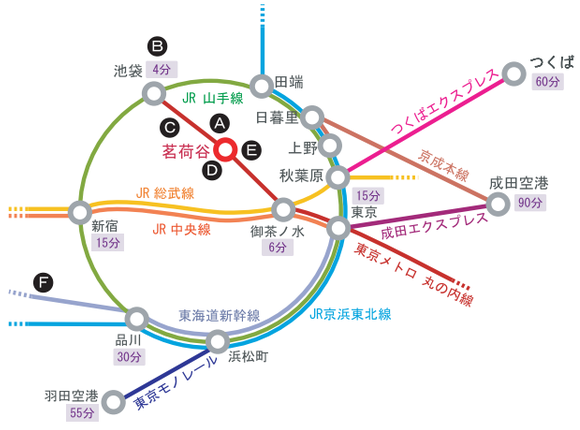
附属学校

附属小学校	Ⓐ
附属中学校	Ⓓ
附属駒場中学校	Ⓕ
附属高等学校	Ⓓ
附属駒場高等学校	Ⓕ
附属坂戸高等学校	❸
附属視覚特別支援学校	Ⓒ
附属聴覚特別支援学校	❺
附属大塚特別支援学校	Ⓔ
附属桐が丘特別支援学校	Ⓑ
附属久里浜特別支援学校	❼

その他

山岳科学センター菅平高原実験所	❶
山岳科学センター八ヶ岳演習林	❷
山岳科学センター井川演習林	❽
下田臨海実験センター	❿
館山研修所	❾
山中共同研修所	❻
戸田艇庫・合宿所	❹

東京キャンパス（茗荷谷）までのアクセス

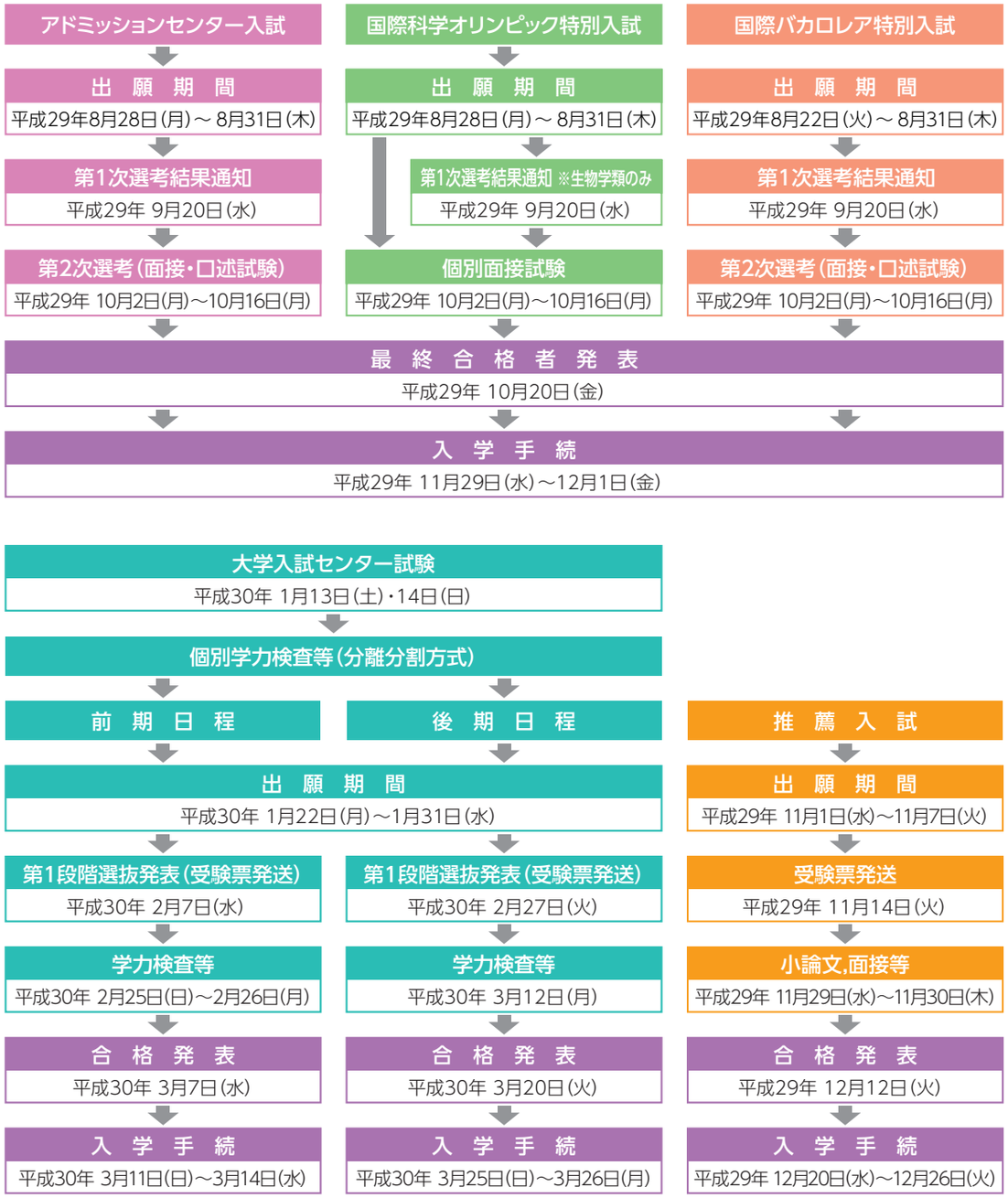


入試情報

アドミッション・ポリシー

筑波大学は、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。

入学者選抜日程の概要



日程については、変更になる場合がありますので、学生募集要項を必ずご確認願います

入学準備教育に係る各教育組織の取組みについて（平成29年度入学者）

アドミッションセンター入試

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

●日本語・日本文化学類

日本語・日本文化学類のホームページトップに「入学案内」コーナーを作りhttp://www.japanese.tsukuba.ac.jp/admission/ に「推薦図書　―日本語・日本文化学類に入学するまでに読んでほしい本―」として、おもに、入学後1年目に履修する科目を担当している教員からの推薦図書を掲載している。

●生物学類

入学手続きを完了した学生に、入学後に必要な学力やスキルを記した課題ならびに指定教科書を知らせ、入学前の自主学習を指示している。

●生物資源学類

推薦入試とほぼ同様の入学前教育を実施した。加えて、AC入試合格者の興味に対応して、学類の卒業研究発表会や、教授の退職前最終講義等に関する情報を伝えた。

●地球学類

合格者本人および所属高等学校長宛に、大学入試センター試験の受検を推奨し、その自己採点結果、およびその結果に基づく入学までの勉強プランの提出を依頼している。(これは入学までに基礎学力はもとより、自分の長所を伸ばし、短所を克服する狙い)。また年度末までに、この勉強プランの成果一式を提出することを義務付けている。

●社会工学類

数学科目に関する入学前の準備の手引きを送付している。

国際科学オリンピック特別入試

●生物学類

入学手続きを完了した学生に、入学後に必要な学力やスキルを記した課題ならびに指定教科書を知らせ、入学前の自主学習を指示している。

●地球学類

合格者本人および所属高等学校長宛に、大学入試センター試験の受検を推奨し、その自己採点結果、およびその結果に基づく入学までの勉強プランの提出を依頼している。(これは入学までに基礎学力はもとより、自分の長所を伸ばし、短所を克服する狙い)。また年度末までに、この勉強プランの成果一式を提出することを義務付けている。

国際バカロレア特別入試

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

推薦入試

●人文学類

人文１年生が「国語Ⅲ」で取り組んでいるブックレビュー集を所属高校に送付し、同じように人文系の本や論文に対するブックレビュー(A4一枚程度)を書いて送るよう依頼した。送られてきたブックレビューは、人文学類担当の国語教員とＴＡの協力によりコメントを付し返送した。

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

●日本語・日本文化学類

日本語・日本文化学類のホームページトップに「入学案内」コーナーを作りhttp://www.japanese.tsukuba.ac.jp/admission/ に「推薦図書　―日本語・日本文化学類に入学するまでに読んでほしい本―」として、おもに、入学後1年目に履修する科目を担当している教員からの推薦図書を掲載している。

●生物学類

入学手続きを完了した学生に、入学後に必要な学力やスキルを記した課題ならびに指定教科書を知らせ、入学前の自主学習を指示している。

●生物資源学類

特別な教材は用いず、合格者が自ら判断・選択したコンテンツで自習させた。合格直後に、学類から合格者に手紙で連絡し、基礎学力診断テスト(学類が作成)を自宅で受験させ、答案を学類に郵送させた。それをもとに、学類は学習法を電子メールとウェブサイトで合格者に指示し、学習計画を立てさせ、電子メールで返送させた。１月にスクーリングを実施し、筑波大学に合格者を集めた。そこで基礎学力診断テストを再び行い、それまでの学習効果をチェックした。ひとりひとりにチューター(学類上級生や大学院生)を配置し、合格者はチューターと相談しながら学習計画を修正した。以後、入学までの毎週末に、合格者は学習進捗状況をチューターにメールで報告し、チューターは合格者に助言と激励を返送した。英検・TOEICの受験を奨励したが、大学入試センター試験の受験は、あえて奨励していない。大学入試問題演習は避け、教科書レベルの基礎基本を重視した自主学習を促した。その結果、推薦・AC入試合格者はプレースメントテストで一般入試合格者を上回る成績を挙げるに至った。

●社会工学類

数学科目に関する入学前の準備の手引きを送付している。

●体育専門学群

入学予定者・保護者・学校長・クラス担任・部活顧問に文書を送付し次の内容を依頼している。

(1)英語の基礎を学習・復習しておくこと(保護者・学校に指導依頼)

(2) 学群長推薦書(課題図書)の中から2冊を選択し、印象に残った部分の要旨および印象に残った理由を各2400字程度にまとめ、提出を求めた(保護者・学校に指導依頼)。

●芸術専門学群

高等学校長宛に文書を送付し、入学予定者に英語の基礎的学習を行っておくよう依頼している。

■個別学力検査等

大学入試センター試験を課す、前期・後期日程試験を次のように実施しています。

【前期日程】

学習内容の理解度と、それに基づく思考力・応用力を評価します。各教育組織が入学者選抜方針に応じて設定する試験科目は、入学後の学習に求められる基礎能力を端的に示しています。

また、高等学校教育の内容を踏まえつつ、思考力・応用力を測る問題の作成に努めるとともに、多様化する高等学校教育への対応を図っています。

【後期日程】

小論文・論述試験や面接など様々な形式の試験によって、各専門分野への関心や入学後の学習に必要な基礎能力を総合的に評価します。いずれの場合も論理的な思考力・表現力を重視した評価を行い、大学入試センター試験が測る能力とは異なる、本質に迫る理解力や分析力を重視して評価します。

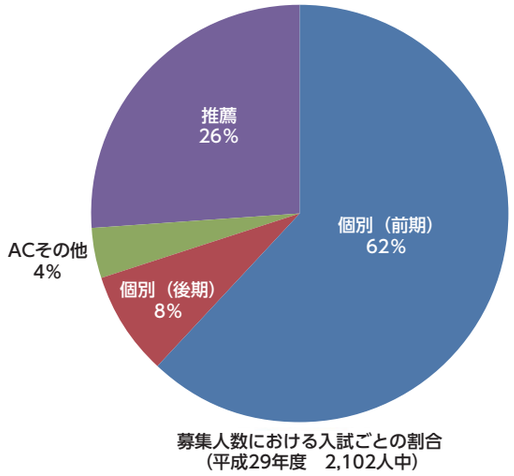
なお、一部の学群・学類では、後期日程試験を実施していません。





平成29年度　募集人員

個別（前期）	個別（後期）	AC その他	推薦	合計
1,309	177	80	536	2,102



募集人数における入試ごとの割合
（平成29年度　2,102人中）

平成29年度　個別学力検査等（前期日程）実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	志願者倍率	個別学力検査等受験者数	合格者数	総合点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	入学辞退者数	追加合格者	入学者数	過去の志願倍率 28年度	過去の志願倍率 27年度
人文・文化学群	人文学類	70	229	3.3	225	82	1,350	1,092	912	960.9	6	0	76	3.8	2.8
	比較文化学類	50	154	3.1	148	57	1,800	1,429	1,248	1,304.8	7	1	51	2.8	2.8
	日本語・日本文化学類	27	181	6.7	172	34	900	657	600	621.7	1	0	33	3.6	3.7
社会・国際学群	社会学類	64	404	6.3	387	79	1,250	1,159	960	1,009.0	12	0	67	5.8	6.7
	国際総合学類	60	253	4.2	251	64	1,300	1,156	1016	1,064.0	3	0	61	2.5	2.9
人間学群	教育学類	28	105	3.8	100	31	800	700	624	647.4	2	0	29	3.6	4.5
	心理学類	38	217	5.7	208	43	800	732	617	647.9	1	0	42	4.8	5.1
	障害科学類	20	82	4.1	79	23	800	728	616	647.0	0	0	23	3.6	4.4
生命環境学群	生物学類	37	115	3.1	112	40	1,800	1,457	1,251	1,310.5	3	0	37	2.8	2.5
	生物資源学類	63	233	3.7	226	66	900	750	665	696.8	4	1	63	3.7	2.7
	地球学類	33	93	2.8	92	34	1,000	840	682	719.6	2	2	34	2.8	2.9
理工学群	数学類	28	72	2.6	72	30	1,000	803	682	722.5	1	1	30	2.2	2.9
	物理学類	43	158	3.7	151	45	1,000	783	673	714.8	3	3	45	3.7	2.9
	化学類	35	108	3.1	105	38	1,000	790	685	719.0	4	3	37	2.6	2.5
	応用理工学類	82	274	3.3	266	89	1,000	811	698	732.0	2	0	87	2.1	3.3
	工学システム学類	82	327	4.0	317	91	1,000	831	698	736.5	2	0	89	4.0	4.3
	社会工学類	80	340	4.3	336	93	760	651	554	590.1	4	0	89	4.3	3.5
情報学群	情報科学類	50	220	4.4	214	59	1,250	1,012	838	895.6	2	0	57	4.5	4.0
	情報メディア創成学類	30	129	4.3	127	35	1,700	1,501	1,224	1,291.7	1	0	34	4.2	4.7
	知識情報・図書館学類	60	209	3.5	204	68	1,900	1,548	1,317	1,401.4	3	0	65	2.5	2.8
医学群	医学類	63	306	4.3	284	71	2,000	1,818	1,647	1,705.5	2	2	71	4.5	4.0
	医学類地域枠(全国)	10	27		27	5	2,000	—	—	—	0	0	5		
	医学類地域枠(茨城)	4				3	2,000	—	—	—	0	0	3		
	看護学類	45	141	3.1	129	48	1,600	1,279	1,135	1,183.8	2	0	46	2.4	3.0
	医療科学類	22	83	3.8	76	24	1,600	1,298	1,133	1,191.5	2	0	22	2.1	3.3
体育専門学群		140	558	4.0	469	144	1,400	1,267	1,103	1,140.1	4	0	140	3.8	4.0
芸術専門学群		45	157	3.5	154	49	1,400	1,230	992	1,091.7	3	2	48	4.0	4.2
合　計		1,309	5,175	4.0	4,931	1,445					76	15	1,384	3.6	3.7

平成29年度　個別学力検査等（後期日程）　実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	志願者倍率	個別学力検査等受験者数	合格者数	総合点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	入学辞退者数	追加合格者	入学者数	過去の志願倍率 28年度	過去の志願倍率 27年度
人文・文化学群	人文学類	17	243	14.3	107	25	1,400	1,176	1,014	1,058.0	5	0	20	12.6	10.9
	比較文化学類	5	112	22.4	41	6	1,500	—	—	—	1	0	5	18.2	13.2
	日本語・日本文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	心理学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	障害科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生命環境学群	生物学類	20	113	5.7	55	21	1,100	963	878	906.4	1	0	20	4.9	5.3
	生物資源学類	20	126	6.3	75	24	1,000	840	765	788.8	0	0	24	9.0	4.2
	地球学類	5	55	11.0	31	6	550	—	—	—	0	0	6	8.4	12.2
理工学群	数学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	物理学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	応用理工学類	22	190	8.6	64	25	1,150	1,057	948	981.6	8	5	22	7.7	9.3
	工学システム学類	20	199	10.0	90	26	800	732	653	676.7	3	0	23	9.7	10.5
	社会工学類	15	177	11.8	88	15	680	581	538	556.7	2	2	15	10.3	11.9
情報学群	情報科学類	12	118	9.8	55	12	800	708	601	638.9	4	4	12	7.1	8.5
	情報メディア創成学類	8	79	9.9	38	10	1,400	—	—	—	1	0	9	7.0	8.8
	知識情報・図書館学類	15	124	8.3	68	18	1,100	958	851	886.8	3	0	15	7.3	7.9
医学群	医学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	看護学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	医療科学類	3	42	14.0	17	3	1,000	—	—	—	0	0	3	18.7	9.7
体育専門学群		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芸術専門学群		15	180	12.0	125	23	1,200	1,033	857	944.8	2	0	21	14.3	14.9
合　計		177	1,758	9.9	854	214					30	11	195	9.4	9.2

合格者が10人以下の学群・学類についての点数は公表しない。

■推薦入試

一般公募制の推薦入試です。指定校制度はありません。高等学校における平素の学習や活動の成果などによって、志願者を総合的に評価します。しっかりとした学習習慣・生活習慣を身につけた志願者の中から、小論文・面接によって、明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、各専門分野への適応性を示す人材を選抜します。

体育専門学群、芸術専門学群では、高度な実技能力を評価しています。

障害科学類では障害者を、生物資源学類では専門高校・総合学科卒業見込み者を対象とした推薦入試を実施しています。医学類においては地域枠推薦入試を実施しています。

平成29年度　推薦入試　実施結果

学群・学類 ＼ 事項			募集人員	志願者数	志願者倍率	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数	過去の志願倍率 28年度	27年度
人文・文化学群	人文学類		28	50	1.8	50	28	0	28	2.2	1.3
	比較文化学類		20	42	2.1	42	20	0	20	1.8	1.7
	日本語・日本文化学類		10	22	2.2	22	11	1	10	3.5	2.3
社会・国際学群	社会学類		16	40	2.5	40	16	1	15	2.3	3.1
	国際総合学類		20	59	3.0	59	20	0	20	2.2	2.7
人間学群	教育学類		7	26	3.7	26	7	0	7	3.1	3.9
	心理学類		12	45	3.8	45	12	0	12	3.3	3.0
	障害科学類	一般推薦	15	22	1.9	22	12	0	12	2.3	2.1
		障害者特別入試		6		6	3	0	3		
生命環境学群	生物学類		15	32	2.1	32	17	0	17	1.8	2.0
	生物資源学類	一般推薦	33	62	2.0	62	36	0	36	2.1	2.1
		専門高校・総合学科特別入試		3		3	0	0	0		1.2
	地球学類		10	24	2.4	24	10	0	10	1.3	2.1
理工学群	数学類		10	30	3.0	30	10	0	10	3.2	2.7
	物理学類		15	35	2.3	35	15	0	15	2.5	2.2
	化学類		13	26	2.0	26	13	0	13	1.6	1.8
	応用理工学類		16	29	1.8	29	16	0	16	1.1	2.0
	工学システム学類		20	77	3.9	77	20	2	18	3.8	2.5
	社会工学類		20	41	2.1	41	20	0	20	1.8	2.0
情報学群	情報科学類		10	21	2.1	21	11	0	11	1.8	2.6
	情報メディア創成学類		8	25	3.1	25	8	0	8	2.8	2.5
	知識情報・図書館学類		20	23	1.2	23	20	0	20	2.2	2.3
医学群	医学類	一般推薦	36	197	5.5	197	37	0	37	5.6	5.2
		地域枠	22	80	3.6	80	20	0	20	3.5	3.7
	看護学類		25	65	2.6	65	25	0	25	3.0	2.9
	医療科学類		12	36	3.0	36	13	0	13	2.8	2.8
体育専門学群			88	136	1.5	135	91	0	91	1.7	1.6
芸術専門学群			35	153	4.4	153	37	0	37	4.3	4.7
合　計			536	1,407	2.6	1,406	548	4	544	2.6	2.6

■アドミッションセンター（AC）入試

ペーパーテストでは測れない学力―問題発見・解決能力―を重視する選抜です。

志願者が自由に作成する自己推薦資料に基づいて、明確な目的意識を持ち、自ら学び自ら考え、主体的に判断して行動する人材を選抜します。学校長の推薦は必要ありません。調査書の成績基準もありません。既卒者、社会人も出願できます。

なお、この入試の合格者は、募集人員より多い場合も少ない場合もあります。合格者が募集人員に満たない場合は、その分の人数を「個別学力検査等（前期日程）」の募集人員に含めますが、合格者が募集人員より多い場合は、ほかの入試の募集人員が減ることはありません。詳しくは、本学アドミッションセンターホームページをご覧ください。
http://ac.tsukuba.ac.jp

平成29年度　アドミッションセンター入試　実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	志願者倍率	第1次選考後の受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数	過去の志願倍率 28年度	27年度
人文・文化学群	人文学類	5	12	2.4	7	4	1	3	4.0	2.0
	比較文化学類	5	21	4.2	10	4	0	4	7.0	4.6
	日本語・日本文化学類	3	10	3.3	4	1	0	1	4.0	5.0
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	心理学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	障害科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生命環境学群	生物学類	3	15	5.0	5	3	0	3	6.3	8.0
	生物資源学類	4	20	5.0	8	4	0	4	2.0	6.3
	地球学類	2	7	3.5	3	1	0	1	4.0	2.5
理工学群	数学類	2	3	1.5	1	0	0	0	0.5	3.0
	物理学類	2	3	1.5	0	0	0	0	5.5	4.0
	化学類	2	2	1.0	1	0	0	0	3.0	2.0
	応用理工学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	工学システム学類	8	35	4.4	11	5	0	5	3.6	4.0
	社会工学類	5	2	0.4	0	0	0	0	1.2	4.2
情報学群	情報科学類	8	14	1.8	8	4	0	4	2.5	2.6
	情報メディア創成学類	4	23	5.8	4	2	0	2	3.8	3.5
	知識情報・図書館学類	5	12	2.4	9	6	0	6	3.8	3.6
医学群	医学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	看護学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	医療科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—
体育専門学群		12	129	10.8	25	15	0	15	12.6	11.4
芸術専門学群		5	51	10.2	4	2	0	2	10.8	10.2
合　計		75	359	4.8	100	51	1	50	5.1	5.2

■国際科学オリンピック特別入試

筑波大学は、理数分野における秀でた人材の育成を応援したいと考えています。そのため、理数分野に関して高度な理解力、思考力、応用力と強い学習意欲を持つ人を対象に特別入試を行っています。

国際科学オリンピック特別入試は、過去3年間に、生物学、地学、地理、数学、物理学、化学、情報の国際科学オリンピックに出場した人や、その代表者選考会等において一定の成績を収めた人を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価する入試です。

平成29年度　国際科学オリンピック特別入試　実施結果　過去の状況

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	志願者倍率	第1次選考後の受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数	28年度 志願者数	28年度 合格者数	27年度 志願者数	27年度 合格者数
生命環境学群	生物学類	5	9	1.8	9	5	0	5	6	4	3	2
	地球学類	若干名	3	—	3	1	0	1	4	1	2	1
理工学群	数学類	若干名	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	物理学類	若干名	0	—	0	0	0	0	2	2	2	0
	化学類	若干名	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
情報学群	情報科学類	若干名	2	—	2	1	0	1	3	0	2	1
	情報メディア創成学類	若干名	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計		—	14	—	14	7	0	7	15	7	9	4

■国際バカロレア特別入試

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。

平成29年国際バカロレア特別入試　実施結果　過去の状況

学群・学類 ＼ 事項		志願者数	合格者数	入学者数	28年度 志願者数	28年度 合格者数
人文・文化学群	人文学類	0	0	0	0	0
	比較文化学類	1	1	0	0	0
	日本語・日本文化学類	0	0	0	0	0
社会・国際学群	社会学類	1	0	0	0	0
	国際総合学類	2	0	0	3	1
人間学群	教育学類	3	0	0	1	0
	心理学類	2	1	0	0	0
	障害科学類	0	0	0	0	0
生命環境学群	生物学類	1	0	0	0	0
	生物資源学類	1	0	0	0	0
	地球学類	0	0	0	0	0
理工学群	数学類	0	0	0	0	0
	物理学類	0	0	0	1	1
	化学類	1	0	0	0	0
	応用理工学類	0	0	0	0	0
	工学システム学類	0	0	0	0	0
	社会工学類	2	0	0	0	0
情報学群	情報科学類	0	0	0	0	0
	情報メディア創成学類	0	0	0	0	0
	知識情報・図書館学類	0	0	0	0	0
医学群	医学類	6	1	1	4	1
	看護学類	0	0	0	0	0
	医療科学類	2	0	0	1	1
体育専門学群		0	0	0	0	0
芸術専門学群		2	1	0	3	1
合　計		24	4	1	13	5

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

■私費外国人留学生入試

日本国籍をもたず、外国人のための教育を受けた人のための入試です。大学入試センター試験を免除し、日本留学試験を課しています。

平成29年私費外国人留学生入試　実施結果　過去の状況

学群・学類 ＼ 事項		志願者数	合格者数	入学者数	28年度 志願者数	28年度 合格者数	27年度 志願者数	27年度 合格者数
人文・文化学群	人文学類	2	0	0	1	1	2	0
	比較文化学類	5	1	1	5	1	2	1
	日本語・日本文化学類	4	1	1	1	0	2	1
社会・国際学群	社会学類	20	3	3	12	3	17	2
	国際総合学類	6	2	2	5	2	1	0
人間学群	教育学類	4	0	0	3	0	1	0
	心理学類	8	0	0	13	1	10	1
	障害科学類	0	0	0	2	2	1	0
生命環境学群	生物学類	24	1	1	6	2	8	1
	生物資源学類	10	2	2	4	1	10	3
	地球学類	1	0	0	2	0	1	1
理工学群	数学類	7	1	1	1	1	4	0
	物理学類	8	2	2	4	2	4	1
	化学類	10	2	2	7	0	9	2
	応用理工学類	12	3	0	6	2	17	3
	工学システム学類	20	4	1	16	1	17	2
	社会工学類	10	2	2	10	2	6	3
情報学群	情報科学類	25	1	1	15	2	12	2
	情報メディア創成学類	7	0	0	6	1	2	0
	知識情報・図書館学類	5	1	1	2	2	1	0
医学群	医学類	2	1	1	2	0	2	0
	看護学類	0	0	0	0	0	1	0
	医療科学類	2	0	0	0	0	1	1
体育専門学群		0	0	0	1	0	0	0
芸術専門学群		5	0	0	0	0	2	0
合　計		197	27	21	124	26	133	24

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

■帰国生徒特別入試

外国の高校を卒業する帰国生徒が翌年の春まで待たずに10月に入学できる制度です。平成29年度は、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群で実施します。

体育専門学群と芸術専門学群では、4月入学の帰国生徒特別入試を行っています。

平成28年度帰国生徒特別入試(10月入学) 実施結果　過去の状況

学群	学類	志願者数	合格者数	入学者数	27年度 志願者数	27年度 合格者数	26年度 志願者数	26年度 合格者数
人文・文化学群	人文学類	—	—	—	2	0	3	0
	比較文化学類	—	—	—	2	2	1	0
	日本語・日本文化学類	—	—	—	2	0	0	0
社会・国際学群	社会学類	5	2	2	5	1	2	1
	国際総合学類	15	5	5	8	4	5	2
人間学群	教育学類	3	0	0	3	0	1	1
	心理学類	6	1	1	1	0	4	3
	障害科学類	0	0	0	0	0	0	0
生命環境学群	生物学類	2	1	1	1	1	1	1
	生物資源学類	0	0	0	3	2	0	0
	地球学類	2	0	0	2	1	0	0
理工学群	数学類	0	0	0	1	0	0	0
	物理学類	—	—	—	—	—	0	0
	化学類	1	0	0	5	0	0	0
	応用理工学類	—	—	—	—	—	0	0
	工学システム学類	—	—	—	—	—	2	0
	社会工学類	—	—	—	—	—	1	0
情報学群	情報科学類	—	—	—	—	—	—	—
	情報メディア創成学類	—	—	—	—	—	—	—
	知識情報・図書館学類	—	—	—	—	—	—	—
医学群	医学類	—	—	—	—	—	—	—
	看護学類	—	—	—	—	—	—	—
	医療科学類	—	—	—	—	—	—	—
体育専門学群		—	—	—	—	—	—	—
芸術専門学群		—	—	—	—	—	—	—
合　計		34	9	9	35	11	20	8

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

平成29年度帰国生徒特別入試(4月入学) 実施結果　過去の状況

学群・学類 ＼ 事項	志願者数	合格者数	入学者数	28年度 志願者数	28年度 合格者数	27年度 志願者数	27年度 合格者数
体育専門学群	2	1	1	6	2	3	2
芸術専門学群	3	0	0	3	1	2	0
合　計	5	1	1	9	3	5	2

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

■編入学試験

高等専門学校や短期大学卒業後さらに学びたい人等を対象とした学群編入学試験、医学を志す人を対象とした医学類編入学試験（2年次編入）を実施しています。 学群編入学は3年次編入が原則ですが、2年次編入となる場合があります。編入年次は合格発表時にお知らせします。

平成29年度　編入学試験実施結果　過去の状況

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	28年度 志願者数	28年度 合格者数	27年度 志願者数	27年度 合格者数
人文・文化学群	人文学類	—	—	—	—	—	—	—	—
	比較文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—
	日本語・日本文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—
社会・国際学群	社会学類	10	79	11	10	84	11	81	11
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	—	—	—	—	—	—	—	—
	心理学類	—	—	—	—	—	—	—	—
	障害科学類	—	—	—	—	—	—	—	—
生命環境学群	生物学類	若干名	16	5	3	12	4	5	1
	生物資源学類	10	30	11	11	38	12	24	11
	地球学類	若干名	5	2	2	9	1	5	1
理工学群	数学類	若干名	8	2	0	2	0	12	2
	物理学類	若干名	19	3	2	19	3	10	3
	化学類	若干名	11	2	1	6	1	6	1
	応用理工学類	10	62	28	10	54	23	56	27
	工学システム学類	若干名	87	13	6	70	6	85	13
	社会工学類	若干名	32	4	3	17	4	13	5
情報学群	情報科学類	10	99	26	21	106	25	76	24
	情報メディア創成学類	10	41	20	16	56	19	58	19
	知識情報・図書館学類	10	43	15	15	37	14	46	16
医学群	医学類	5	125	9	5	149	7	175	10
	看護学類	10	30	12	10	25	10	34	10
	医療科学類	3	11	3	3	9	3	4	3
体育専門学群		—	—	—	—	—	—	—	—
芸術専門学群		—	—	—	—	—	—	—	—
合　計		—	698	166	118	693	143	690	157

情報科学類及び情報メディア創成学類の志願者数については、単願者及び併願第1志望者の合計である。
※情報科学類の第２志望者は16名、情報メディア創成学類の第２志望者は63名である。

見学／体験学習／受験相談

大学説明会（学類・専門学群）

毎年度夏季の指定日（3日間）、高校生及び既卒者を対象に、筑波大学の教育・研究を正しく理解し、適切な進路を選択する上での参考にしていただくため、大学の概要説明や学類・専門学群の特色などを詳細に説明した後、学内諸施設等を紹介するものです。

実施日　平成29年8月5日(土)、6日(日)、11日(金・祝)
http://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus

体験学習

高校生を対象に、大学教育の一端を体験していただくため、学群・学類において最先端の内容をよりわかりやすく授業を実施するもので、実際に講義・実験等を体験していただきます。
http://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus/work-study.html

進学相談

アドミッションセンターでは、アドミッションセンター教員による進学相談を行っています。また、入学案内、募集要項、各学群・学類のパンフレット等も配布しています。
http://ac.tsukuba.ac.jp

大学院説明会・専攻公開

大学生・高等専門学校専攻科・社会人及び高校生を対象に、大学院での教育研究を公開する催しです。
http://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus/graduate.html

キャンパスツアー

主に高校生を対象とした団体専用のツアーです。筑波大学に興味のある80名以内の団体を受け入れています。

また、大学概要説明（アドミッションセンター教員）、大学紹介DVD視聴、教育・研究センター見学、模擬授業等のご要望にも対応しています。

申し込みは
http://www.tsukuba.ac.jp/tour-top
電話　029－853－2063/2064

キャンパス開放

筑波大学は、いつでもキャンパスを自由に見学することができます。ただし、建物内への立ち入りはご遠慮ください。（図書館、学生食堂等は利用可能です。）

注）駐車場について
自動車で来学の場合は、「松見口」「中央口」の各案内センター（p.160 、161を参照）において、所定の手続きを行い、指定場所に駐車願います。



大学説明会の様子（筑波大学循環バス）


大学説明会の様子



大学説明会の様子

学生募集要項等請求方法

入学者選抜の詳細は、「入学者選抜要項」及び「学生募集要項」などで確認してください。
これらの資料や入学案内は以下の方法で請求できます。

(1) 筑波大学のホームページから請求する場合

本学のホームページからOFFテレメールを利用して資料請求ができます。
パソコン：http://www.tsukuba.ac.jp/admission
ケータイ：http://www.daigakujc.jp/tsukuba

(2) インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）または自動音声応答電話で請求する場合

① 以下のいずれかの方法でOFFテレメールにアクセスしてください。

インターネット （パソコン・スマホ・ケータイ）	http://telemail.jp	バーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要
自動音声応答電話	IP 電話　050-8601-0101　（24時間対応） ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話しください。登録された音声が不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。	

② 希望の資料の資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	送　料（予定）	発送開始日（予定）
入学案内 2018	561320	250 円	6 月下旬
入学者選抜要項	581320	180 円	7 月下旬
入学案内 2018 ＋入学者選抜要項	561300	250 円	7 月下旬
学生募集要項（個別学力検査等・推薦入試）	581310	250 円	9 月下旬
入学案内 2018 ＋学生募集要項（個別学力検査等・推薦入試）	541300	300 円	9 月下旬

※上記以外の募集要項については、本学ホームページに掲載します。
http://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/list_guidebooks.html

学群・学類案内

資料名	資料請求番号	送料（予定）
人文学類案内	541380	250円
比較文化学類案内	561330	215円
日本語・日本文化学類案内	561340	180円
社会学類案内	561540	140円
国際総合学類案内	541430	180円
教育学類案内	541330	140円
心理学類案内	541340	250円
障害科学類案内	561280	140円
生物学類案内	561290	180円
生物資源学類案内	561530	180円
地球学類案内	583310	140円

資料名	資料請求番号	送料（予定）
数学類案内	583510	120円
物理学類案内	583670	120円
化学類案内	583680	120円
応用理工学類案内	546340	140円
工学システム学類案内	541440	140円
社会工学類案内	546360	140円
情報科学類案内	541280	140円
情報メディア創成学類案内	541290	140円
知識情報・図書館学類案内	561270	140円
医学群案内	541390	215円
体育専門学群案内	561390	140円
芸術専門学群案内	561380	215円

③ ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。
※テレメールをご利用済みの方はお届け先の登録は不要です。

※資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管してください。

※請求から1～2日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては３日以上かかります。１週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※料金の支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後２週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です。（コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円。窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。）複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※学生募集要項は、本学ホームページからの請求に限り、通常受付終了後も引き続きテレメール速達対応（レターパックプラス）で請求受付を行います。速達対応の料金は、上記の（2）②に記載の料金とは異なりますので、テレメールの資料請求画面でご確認ください。

【通常受付期限】平成30年1月25日（木）正午まで　【速達対応受付期限】平成30年1月28日（日）正午まで

上記(1)、(2)の請求方法についてのお問合せ先
テレメールカスタマーセンター　IP電話　050－8601－0102（受付時間 9：30 ～ 18：00）